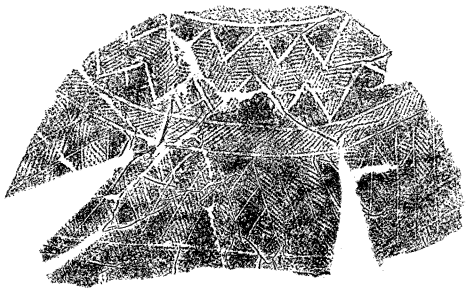
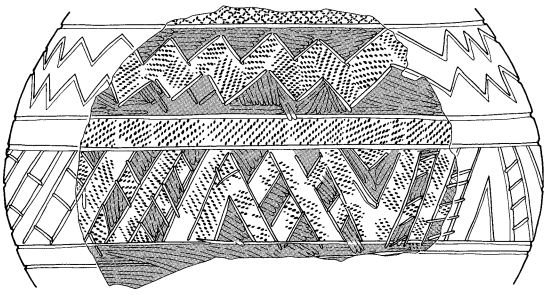
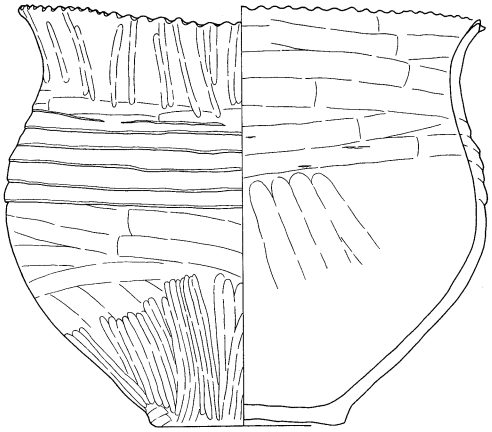
千葉県八千代市

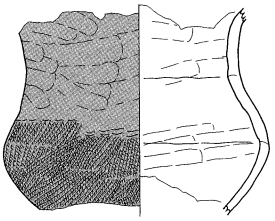
平沢遺跡e地点

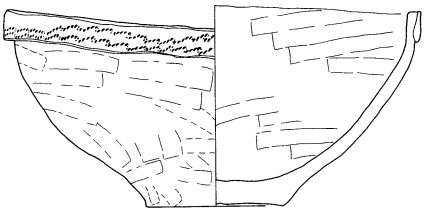
—福祉施設建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—











平成２８年度

社会福祉法人鳳雄会
八千代市教育委員会

例　言

1．本書は，八千代市教育委員会が平成27～28年度民間開発等埋蔵文化財調査事業として実施した発掘調査の報告書である。この調査は福祉施設建設に伴うもので，事業者である社会福祉法人鳳雄会の委託を受けて実施した。

2．調査を行なった遺跡は平沢遺跡ｅ地点（遺跡№217）で，所在地は八千代市上高野151-４，152－１である。

3．調査及び整理は以下のとおり実施した。

確認調査　平成27年度市内遺跡調査事業として，国庫及び県費の補助を受けて実施した。
期間　平成27年７月17日～７月31日　面積472㎡/4,860㎡（担当：轟　直行）

本調査　期間　平成28年１月　６日～６月15日　面積2,635㎡（担当：轟）

本整理　期間　平成28年７月　４日～平成29年３月24日（担当：轟）

4．出土した遺物のほか，写真・図面等の調査資料は八千代市教育委員会が保管している。

5．調査参加者は以下のとおりである。

本調査　池山史華，石井友菜，石田　香，板橋三郎，内田紀子，大倉志子，片山敬太，桂田　肇，桐原　誠，窪坂雄志，小弓場直子，佐藤悠登，鈴木一代，鈴木宏和，住山裕香，高木秀夫，谷川春菜，高橋宏昂，鳥羽良子，豊田俊吉，長瀬吉太朗，長妻和佳，野本雄太，橋本喜正，長谷川恵理子，林　和也，濱田友美子，原田雪子，蛭間裕子，福田浩子，松村由美，松本康太郎，八幡奈緒子，山田藤子，山本みつ江（あいうえお順）

本整理　石井友菜，小弓場直子，鈴木宏和，高橋宏昂，長谷川恵理子，濱田友美子，林和也，松本康太郎，八幡奈緒子，山下千代子（あいうえお順）

6．本書の遺物実測図作成は石井・小弓場・鈴木・高橋・轟・長谷川・濱田・松本・八幡・山下，トレースは小弓場・轟・八幡・山下が行ない，図版作成は鈴木・轟・林，遺物観察表は石井・鈴木・高橋・轟・林・松本，遺物写真撮影は轟，編集・執筆は轟・林が行なった。

7．発掘調査の遂行および報告書の作成にあたって植木雅博，尾崎沙羅，小林　嵩，峰村　篤の各氏にご教示を賜った。厚く御礼申し上げる。

凡　例

１．本書における遺構実測図の用例

（１）図中における方位は世界測地系による公共座標に基づく。

（２）縮尺率は以下のとおりである。

竪穴建物跡 1/80，炉跡 1/40，溝跡 1/400，ピット 1/40，遺物微細図 1/10

（３）竪穴建物跡の計測では竪穴壁の上端間の長軸長・短軸長・深さを測ることが一般的である。しかし，今回検出された弥生時代の竪穴建物跡には竪穴壁の外側に浅い掘り込みがなされたものが多く，上記の方法をそのまま適用することは難しい。そこで今回は浅い掘り込みを上部，竪穴壁を下部として分け，上部の数値については下部の数値の次に括弧内にて表記した。

例　**規模**：長軸 5.91m(7.00m)，短軸 4.62m(6.17m)，深さ 0.58m(0.77m)

（４）竪穴建物跡で検出された焼土範囲をセクション図で示しているが，この焼土範囲はおおよその検出された層位を示したものであり，厳密なものではない。

（５）スクリーントーンの用例

竪穴建物跡の焼土範囲・炉跡の被熱面

（６）遺構の切り合い関係については，４Ｐが 10 号竪穴建物跡に壊されていた場合，以下のように表記した。

例　４Ｐ＜ 10 号竪穴建物跡

２．本書における遺物実測図の用例

（１）縮尺率は以下のとおりである。

旧石器時代：石器 1/1

縄文時代：土器拓影図 1/3

弥生時代：土器実測図 1/4，土器拓影図・土製品・石製品 1/3

（２）実測した土器については遺存範囲を表現した。

（３）口径や底径といった寸法を復元した場合は遺物観察表の数値を括弧で括った。

（４）スクリーントーンの用例

土器の赤彩部分

（５）胎土の観察にはデジタルマイクロスコープ（秀マイクロンプロ）を使用し，倍率 150 倍で観察を行なった。

本　文　目　次

例　　言

凡　　例

本文目次

第１章　調査経過および平沢遺跡の概要
　第１節　調査に至る経緯と調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
　第２節　平沢遺跡の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

第２章　検出された遺構と遺物
　第１節　旧石器時代・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
　第２節　縄文時代・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
　第３節　弥生時代・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
　第４節　中世以降・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・69
　第５節　縄文時代～中近世・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・71

報告書抄録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・巻末

挿　図　目　次

第１図　平沢遺跡と周辺の遺跡
第２図　平沢遺跡の各調査地点
第３図　調査区と検出された遺構
第４図　基本層序
第５図　旧石器時代の遺物
第６図　遺構外出土の縄文土器
第７図　１号竪穴建物跡（１）
第８図　１号竪穴建物跡（２）
第９図　２号竪穴建物跡（１）
第10図　２号竪穴建物跡（２）
第11図　３号竪穴建物跡（１）
第12図　３号竪穴建物跡（２）
第13図　４号竪穴建物跡（１）
第14図　４号竪穴建物跡（２）
第15図　５号竪穴建物跡（１）
第16図　５号竪穴建物跡（２）
第17図　６号竪穴建物跡（１）
第18図　６号竪穴建物跡（２）
第19図　７号竪穴建物跡（１）
第20図　７号竪穴建物跡（２）
第21図　８号竪穴建物跡（１）
第22図　８号竪穴建物跡（２）
第23図　８号竪穴建物跡（３）
第24図　９号竪穴建物跡（１）
第25図　９号竪穴建物跡（２）
第26図　10号竪穴建物跡（１）
第27図　10号竪穴建物跡（２）
第28図　11号竪穴建物跡（１）

第29図　11号竪穴建物跡（２）
第30図　12号竪穴建物跡（１）
第31図　12号竪穴建物跡（２）
第32図　12号竪穴建物跡（３）
第33図　13号竪穴建物跡
第34図　14号竪穴建物跡
第35図　15号竪穴建物跡（１）
第36図　15号竪穴建物跡（２）
第37図　16号竪穴建物跡（１）
第38図　16号竪穴建物跡（２）
第39図　17号竪穴建物跡
第40図　18号竪穴建物跡（１）
第41図　18号竪穴建物跡（２）
第42図　18号竪穴建物跡（３）
第43図　19号竪穴建物跡
第44図　20号竪穴建物跡（１）
第45図　20号竪穴建物跡（２）
第46図　遺構外出土の弥生土器
第47図　１号溝跡・２号溝跡（１）
第48図　１号溝跡・2号溝跡（２）
第49図　２Ｐ・３Ｐ・５Ｐ・６Ｐ
第50図　８Ｐ・９Ｐ・10Ｐ
第51図　11Ｐ・13Ｐ
第52図　14Ｐ・16Ｐ・17Ｐ
第53図　19Ｐ・20Ｐ・22Ｐ
第54図　23Ｐ・25Ｐ
第55図　26Ｐ・27Ｐ
第56図　28Ｐ・29Ｐ・30Ｐ
第57図　31Ｐ・32Ｐ
第58図　ピット出土遺物

表目次

第１表　平沢遺跡と周辺の遺跡
第２表　平沢遺跡における過去の調査概要
第３表　旧石器時代遺物観察表
第４表　遺構外出土縄文土器観察表
第５表　１号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）
第６表　１号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）
第７表　２号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）
第８表　２号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）
第９表　３号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）
第10表　３号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）
第11表　４号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）
第12表　４号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）
第13表　５号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）
第14表　５号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）
第15表　６号竪穴建物跡出土遺物観察表
第16表　７号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）
第17表　７号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）
第18表　８号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）
第19表　８号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）
第20表　８号竪穴建物跡出土遺物観察表（３）
第21表　９号竪穴建物跡出土遺物観察表
第22表　10号竪穴建物跡出土遺物観察表
第23表　11号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）
第24表　11号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）
第25表　12号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）
第26表　12号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）
第27表　13号竪穴建物跡出土遺物観察表
第28表　14号竪穴建物跡出土遺物観察表
第29表　15号竪穴建物跡出土遺物観察表
第30表　16号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）
第31表　16号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）
第32表　16号竪穴建物跡出土遺物観察表（３）
第33表　17号竪穴建物跡出土遺物観察表
第34表　18号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）
第35表　18号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）
第36表　19号竪穴建物跡出土遺物観察表

第 37 表　20 号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）
第 38 表　20 号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）
第 39 表　遺構外出土弥生土器観察表
第 40 表　１号溝跡出土遺物観察表
第 41 表　２号溝跡出土遺物観察表
第 42 表　ピット一覧表
第 43 表　ピット出土遺物観察表

写 真 図 版

写真図版 1
写真図版 2
写真図版 3
写真図版 4
写真図版 5
写真図版 6
写真図版 7
写真図版 8
写真図版 9
写真図版 10
写真図版 11
写真図版 12
写真図版 13
写真図版 14
写真図版 15
写真図版 16
写真図版 17
写真図版 18
写真図版 19
写真図版 20
写真図版 21
写真図版 22

第１章　調査経過および平沢遺跡の概要

第１節　調査に至る経緯と調査の概要

確認調査までの経緯　平成27年４月14日付で社会福祉法人鳳雄会理事長黒田明美氏(以下「事業者」という。）から，平沢遺跡（遺跡№217）の包蔵地内にあたる八千代市上高野151－４，152－１を対象とする文化財保護法第93条第１項の規定による土木工事の発掘届が八千代市教育委員会（以下「市教委」という。）に提出された。これに対して市教委は取扱いの協議によって確認調査を行なうこととし，準備が整った平成27年７月17日に確認調査を開始した。

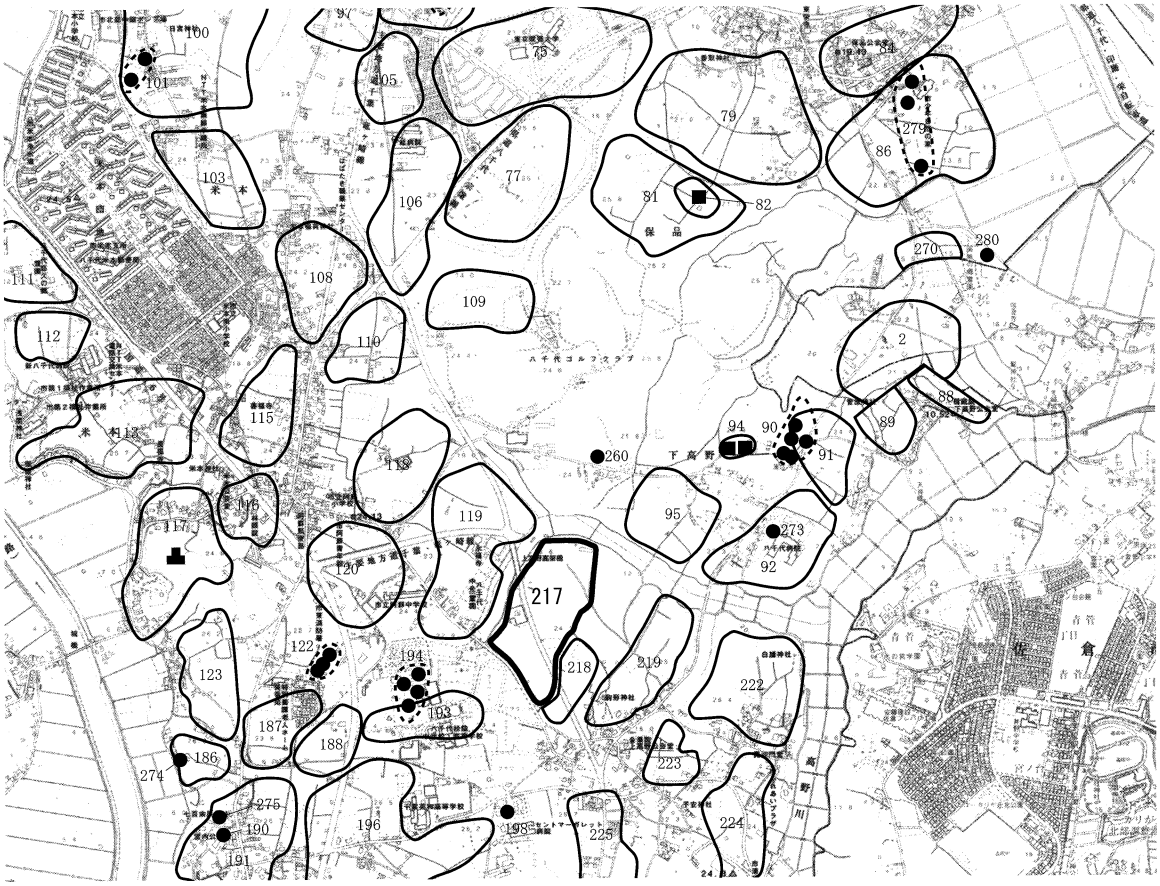
確認調査　確認調査は，平成27年度市内遺跡調査事業として国庫及び県費の補助を受けて実施し，対象面積4,860㎡のうち472㎡を調査した。その結果，遺構としては弥生時代の竪穴建物跡６軒，弥生時代の可能性がある溝跡２条・土坑３基が確認された。

保存協議　確認調査の結果をもとに協議範囲を2,635㎡として市教委と事業者間で検討した結果，協議範囲全域に対して記録保存の措置をとることとなった。市教委は事業者に対して平成27年11月５日付で調査にかかる費用の見積もりを提示し，事業者は同年12月１日付で調査依頼書を提出し，同年12月４日付で市教委はこれを受託した。そして，同年12月10日付で市・市教委・事業者の三者間で保存措置に関する協定を締結し，同日に市と事業者間で本調査の委託契約を締結した。市教委は準備が整った平成28年１月６日に本調査を開始した。

本調査の方法　市教委は測量会社に委託して世界測地系の座標を調査区内とその周辺に取り付けた。そして，この座標を基準に光波測量機を使用して調査に関わる測量を行なった。掘削作業については表土の掘削を重機で行なった。

廃土山の関係から本調査ではスイッチバック方式を採用した。平成27年度は調査区の2/3で，平成28年度に残りの1/3で調査を行なった。確認調査の結果から基本層序３層で弥生時代後期の竪穴建物跡などを検出できることが想定された。しかし，遺構確認面を３層および４層（ソフトローム層）の２面に分けて調査を行なう期間的・予算的余裕はなかった。そのため，本調査では基本層序３層の面で検出された遺構の範囲とその周辺のみ基本層序３層を残し，遺構が確認されなかったところについては基本層序４層まで下げて遺構確認を行なうこととした。遺物の点上げは光波測量機を使用し，選定した遺物のみに限定した。

本調査の経過　平成27年度調査区では平成28年１月６日から機材搬入を行ない，１月12日～２月４日にかけて重機による表土剥ぎを行ない，竪穴建物跡や土坑，溝跡が検出された。なお，表土剥ぎと併行して検出された遺構の調査にも取りかかった。埋め戻しおよび平成28年度調査区の表土剥ぎを２月24日から開始し，３月31日に終了した。平成28年度調査区での調査は４月１日から開始し，竪穴建物跡や土坑，平成27年度調査区で確認された溝跡の続きが検出された。埋め戻しは６月10日から開始し，同月15日に終了し，調査の全工程を終了した。



第１図　平沢遺跡と周辺の遺跡

第２節　平沢遺跡の概要

平沢遺跡と周辺の遺跡　ここでは平沢遺跡の主たる時代である弥生時代を中心に周辺の遺跡について述べていきたい。平沢遺跡の北西側には谷を挟んで阿蘇中学校東側遺跡があり，平沢遺跡と同様に弥生時代後期の竪穴建物跡が数軒確認されている。さらに北に進むと弥生時代中期末の宮ノ台式期に属する竪穴建物跡群と方形周溝墓群，そして弥生時代後期に属する 90 軒を超す竪穴建物跡群が確認された栗谷遺跡がある。また栗谷遺跡に隣接した上谷遺跡は奈良・平安時代の大規模集落で 200 棟を超す掘立柱建物跡群，1,000 点を超す墨書･刻書土器が確認され，弥生時代後期の竪穴建物跡群も調査された。同じく隣接する雷遺跡でも弥生時代後期の竪穴建物跡が複数確認されている。平沢遺跡から見て東側には上高野白幡遺跡があり，弥生時代中期末（宮ノ台式期）の集落が確認されている。平沢遺跡から見て北西部にある米本団地の近隣には逆水遺跡があり，この遺跡からは弥生時代中期末（宮ノ台式期）に属する方形周溝墓群に加え，弥生時代後期に属する竪穴建物跡群も確認されている。

平沢遺跡の立地　平沢遺跡は標高約 22 ～ 26 m，現水田面との比高差が約 20 m（新川側）で細い谷津に面した台地，いわゆる村上台上に立地している。

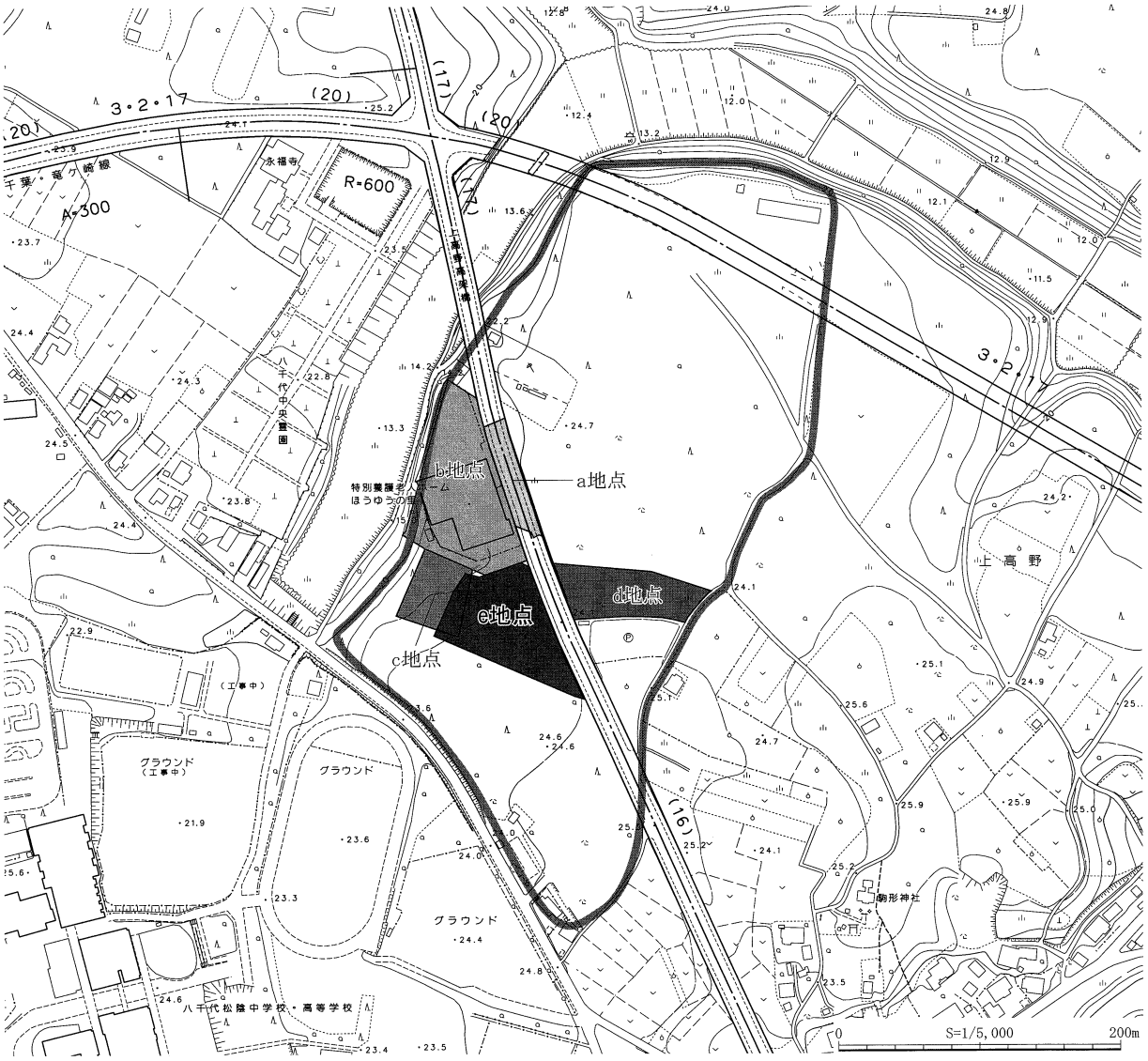
これまでの調査　平沢遺跡では過去に４度の調査が行なわれ，それらの結果を第１表に載せた。ｂ地点で検出された溝跡２条については出土遺物もないことから奈良・平安時代に属すか

第１表　平沢遺跡と周辺の遺跡

遺跡No.	遺跡名	水系	種別	時代	遺跡No.	遺跡名	水系	種別	時代
74	神野群集塚	印旛沼	塚	中近世	117	米本城跡	新川	城館跡	弥生，古代，中近世
75	栗谷遺跡	印旛沼	集落跡	縄文，弥生，古墳，古代	118	上宿遺跡	新川	包蔵地	古代
77	上谷遺跡	印旛沼	集落跡	縄文，弥生，古墳，古代	119	阿蘇中学校東側遺跡	高野川	包蔵地，集落跡	旧石器，縄文，弥生
79	郷遺跡	印旛沼	包蔵地	縄文，古代	120	赤作遺跡	高野川	包蔵地	縄文，古代
81	保品庚塚	印旛沼	包蔵地	縄文，古代	122	米本塚	新川	塚	中近世
82	間谷塚群	印旛沼	塚	中近世	123	立野台遺跡	新川	包蔵地	縄文
86	おおびた遺跡	印旛沼	包蔵地，集落跡	旧石器，縄文，弥生，古墳，古代	186	宝喜作台遺跡	新川	包蔵地	古代
88	山の越遺跡	高野川	包蔵地	縄文，古代	187	村上奈機遺跡	新川	包蔵地	縄文，古代
89	天神遺跡	高野川	包蔵地	縄文，古代	188	村上新山西遺跡	新川	包蔵地	古代
90	作畑塚群	高野川	塚	中近世	190	七百余所神社古墳	新川	古墳	古墳
91	作畑遺跡	高野川	集落跡	縄文，古代	191	村上宮内遺跡	新川	包蔵地，集落跡	縄文，古墳，古代
92	下高野新山遺跡	高野川	集落跡	縄文，古墳，古代	193	村上新山遺跡	高野川	集落跡	縄文，古代
94	大久保三山塚	高野川	塚	中近世	194	村上新山塚群	高野川	塚	中近世
95	丸山遺跡	高野川	包蔵地	縄文，古代	196	西山遺跡	新川	集落跡	古墳，古代
97	役山遺跡	新川	包蔵地	縄文，弥生，古代	198	上高野相野庚申塚	新川	塚	中近世
98	向境遺跡	新川	集落跡	縄文，弥生，古代	**217**	**平沢遺跡**	**高野川**	**包蔵地，集落跡**	**旧石器，縄文，弥生，中近世**
100	逆水遺跡	新川	集落跡	縄文，弥生，古墳，古代，中近世	218	殿台遺跡	高野川	包蔵地	旧石器，縄文，古代，中近世
101	逆水塚群	新川	塚	中近世	219	堂の上遺跡	高野川	包蔵地	縄文，古代
103	大山遺跡	新川	包蔵地	旧石器，縄文，弥生	222	上高野白幡遺跡	高野川	包蔵地，集落跡	縄文，弥生
105	役山東遺跡	新川	包蔵地	縄文，弥生，古代	223	笹堀込遺跡	高野川	包蔵地	古代
106	雷遺跡	新川	集落跡	縄文，弥生，古墳，古代	224	毘沙遺跡	高野川	包蔵地	古代
108	下宿東遺跡	新川	包蔵地	古代	225	上高野大山遺跡	高野川	包蔵地	古代
109	向割遺跡	新川	包蔵地	古代	260	下高野庚申塚	高野川	塚	中近世
110	上宿東遺跡	新川	包蔵地	縄文，古代	270	南谷遺跡	印旛沼	集落跡	古墳
111	青柳台遺跡	新川	包蔵地	縄文，古代	273	下高野新山古墳	高野川	古墳	古墳
112	蛸池台遺跡	新川	包蔵地	縄文，古墳，古代	274	宝喜作台入定塚	新川	古墳，塚	古墳，近世
113	米本辺田台遺跡	新川	包蔵地	縄文，古代	275	七百余所神社塚	新川	塚	中近世
115	上宿西遺跡	新川	包蔵地	古代	279	おおびた古墳群	印旛沼	古墳	古墳
116	天神輪遺跡	新川	包蔵地	縄文，古代	280	南谷古墳	印旛沼	古墳	古墳

第２表　平沢遺跡における過去の調査概要

地点名	調査形態	調査期間	検出遺構	出土遺物	文献
a 地点	本調査	H7. 4. 10 ～ 6. 30	弥生時代（後期竪穴建物跡10軒・土坑１基），時期不明（溝跡１条・土坑１基）	縄文土器（田戸下層式・条痕文系・黒浜式・阿玉台式・加曽利Ｅ式・称名寺式・堀之内１式），縄文時代石器（石鏃），弥生土器（後期），弥生時代土製品（紡錘車）	八千代市教育委員会編 2013『千葉県八千代市　平沢遺跡ａ地点・殿台遺跡ａ地点
b 地点	本調査	H22. 1. 28 ～ 4. 21	縄文時代（ピット２基）弥生時代（後期竪穴建物跡４軒・ピット１基），奈良・平安時代（溝跡２条，ピット８基）	旧石器時代石器（槍先形尖頭器・剥片），縄文土器田戸下層式・条痕文系・黒浜式・諸磯ａ式・浮島式・興津式・五領ヶ台式・阿玉台式・加曽利Ｅ式・称名寺式・堀之内式・加曽利Ｂ式），弥生土器（後期），弥生時代土製品，弥生時代石器（砥石）	八千代市教育委員会編 2011『千葉県八千代市　平沢遺跡ｂ地点』
c 地点	確認調査	H23. 7. 6 ～ 20	縄文時代（土坑１基），弥生時代（後期竪穴建物跡２軒）	弥生土器（後期土器）	八千代市教育委員会編 2013『千葉県八千代市　市内遺跡発掘調査報告書　平成 24 年度』
d 地点	確認調査	H25. 7. 16 ～ 7. 23	なし	縄文土器（加曽利Ｅ式），縄文時代土製品（土製円盤），古墳時代後期～奈良・平安時代土師器	八千代市教育委員会編 2015『千葉県八千代市　市内遺跡発掘調査報告書　平成 26 年度』



第２図　平沢遺跡の各調査地点

どうか判断をするのは難しいが，各調査地点ではおおむね旧石器時代・縄文時代・弥生時代に関わる遺構・遺物が確認されている。その中でも弥生時代後期と考えられる竪穴建物跡が多く確認されており，その数は各調査地点のものを合わせて 16 軒である。

第３図　調査区と検出された遺構

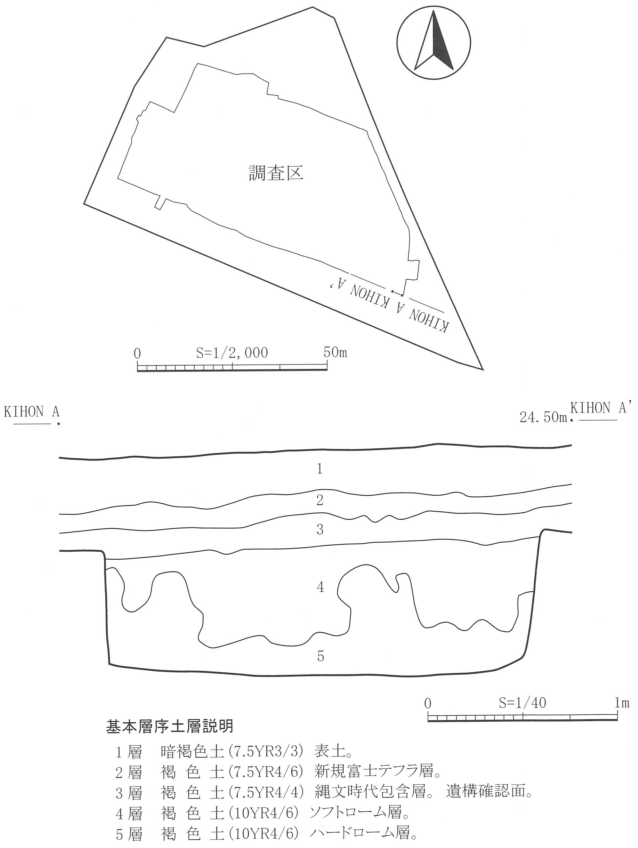
第２章　検出された遺構と遺物

今回の調査では弥生時代後期の竪穴建物跡が 20 軒，中近世に属する可能性がある溝跡２条，縄文時代～中近世のいずれかに属すると考えられる土坑 25 基が検出された。また，遺構には伴わないが，縄文前期～後期に属す縄文土器も出土した。

今回の調査で出土した遺物は旧石器時代のナイフ形石器が１点で重量は 5.3g，縄文土器・弥生土器は 3,857 点で重量が 54,415g，弥生時代石器が 10 点で重量は 111g，弥生時代土製品が９点で重量は 205g，中近世の砥石が２点で重量は 140g であった。

基本層序については，地点によって色調に若干の違いがありつつも，今回の調査で２層とした層が平沢遺跡ｃ地点で確認されたⅡｂ層（暗褐色土，褐色土を斑状に含む，新規富士テフラ層）に対応すると考えられる。３層は縄文時代前期～後期にかけての土器が出土したことから縄文時代の包含層と考えられる。

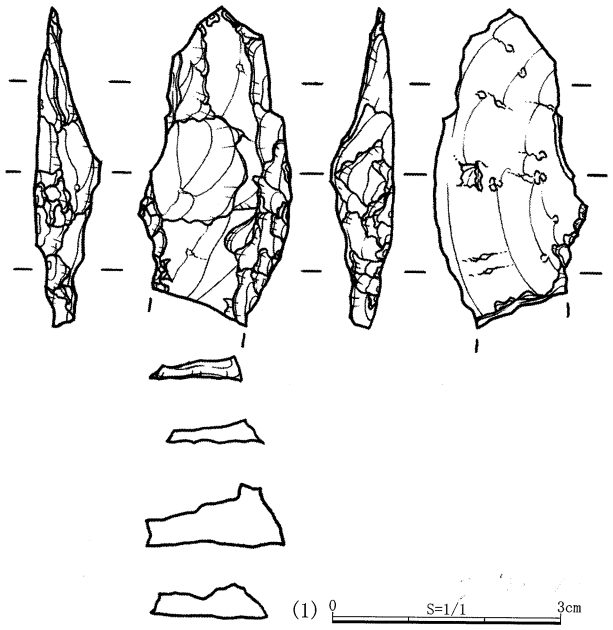
遺構確認面については，確認調査の結果から基本層序３層で弥生時代後期の竪穴建物跡や土坑，溝跡を検出できることが想定された。しかし，遺構確認面を３層および４層の２面に分けて調査を行なう期間的・予算的余裕はなかった。そのため，本調査では基本層序３層の面で検出された遺構の範囲とその周辺のみ基本層序３層を残し，遺構が確認されなかったところについては４層まで掘り下げて遺構確認を行なった。



基本層序土層説明

1層　暗褐色土(7.5YR3/3) 表土。
2層　褐 色 土(7.5YR4/6) 新規富士テフラ層。
3層　褐 色 土(7.5YR4/4) 縄文時代包含層。遺構確認面。
4層　褐 色 土(10YR4/6) ソフトローム層。
5層　褐 色 土(10YR4/6) ハードローム層。

第４図　基本層序



第５図　旧石器時代の遺物

第３表　旧石器時代遺物観察表

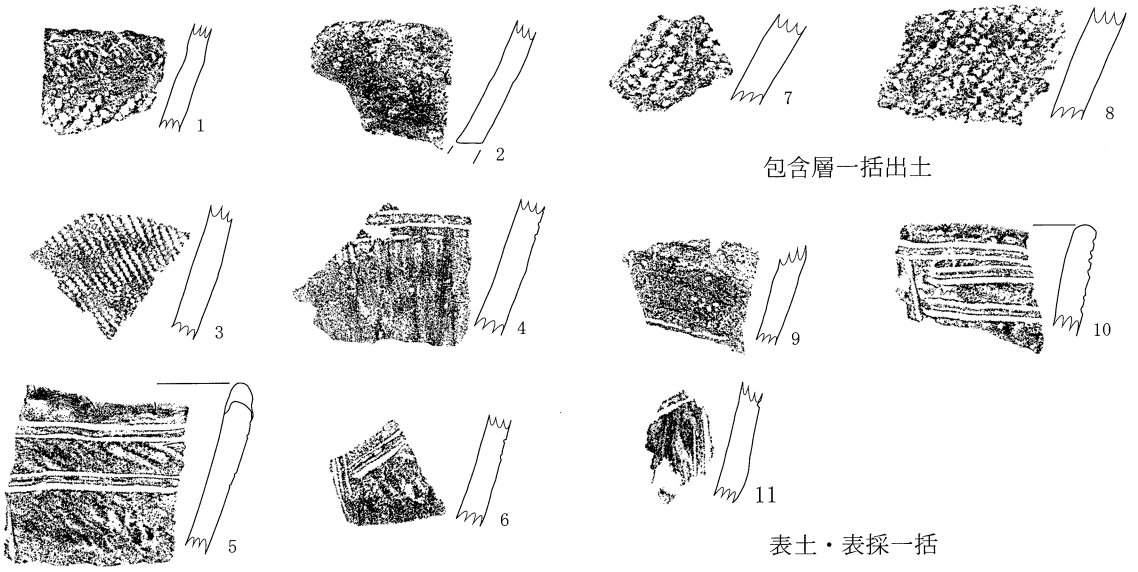
石器						
遺物No.	型式・器種等	石材	寸法	観察所見	出土層位	備考
1	ナイフ形石器	黒曜石	最大長：42.5mm 最大幅：20.0mm 最大厚：8.5mm	横長剥片を素材としている。両側縁に急傾斜な剥離が施され，表面の中央に素材面が残存しており，その面により刃部が形成されている。下部は折損しているため，背面基部調整の有無は不明。ただし，両側縁の加工により，基部がすぼまっている。この黒曜石はにごっていて茶色がかっている。小さな珠顆が多量に含まれることと色調から，信州産よりも柏峠あるいは高原山産である可能性が高い。	基本層序 4層	

第１節　旧石器時代

遺構検出作業に伴うジョレンがけの際に黒曜石製ナイフ形石器がソフトローム層から１点出土した。

第２節　縄文時代

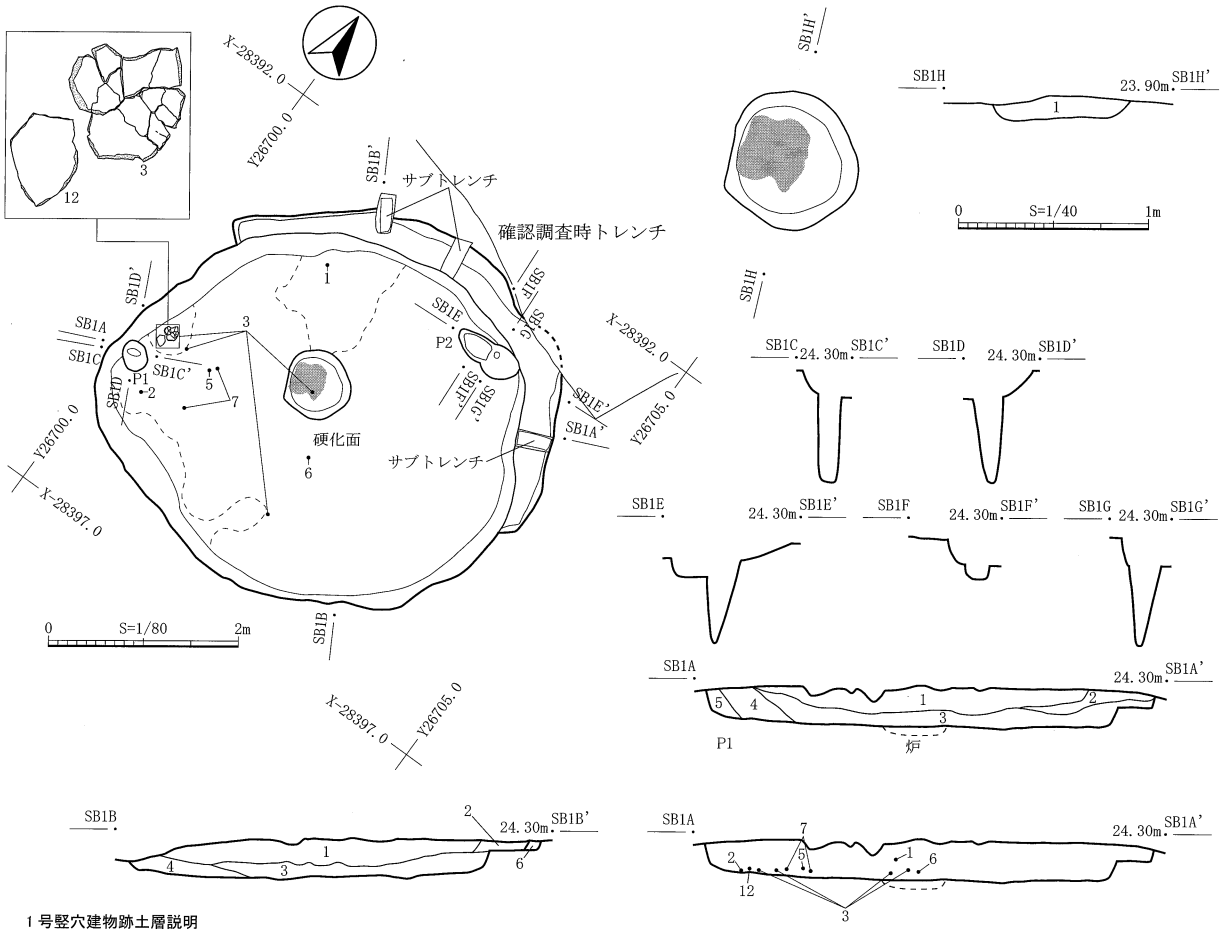
今回の調査では縄文時代に位置づけられる遺構は検出されなかったが，包含層から縄文時代前期～後期の土器が出土し，表土出土および表面採集でも何点かの縄文土器が確認された。なお，土器型式が同定できないものは遺物観察表において大別による表記とした。１は縄文時代前期末の可能性がある深鉢である。２は雲母を含んでいることから阿玉台式土器の可能性もあるが，胎土だけで判断することは難しいことから縄文時代中期の深鉢とした。３は縄文時代中期後半～後期初頭と考えられる深鉢，５・６は堀之内１式土器，７・８は加曾利Ｅ式土器である。９も２と同様の理由により縄文時代中期とした。10・11は堀之内１式土器である。



第６図　遺構外出土の縄文土器

第４表　遺構外出土縄文土器観察表

土器									
遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
1	縄文前期末？ 深鉢	胴部 破片	－	外面：にぶい橙色(7.5YR6/4) 内面：橙色(5YR7/6)	外面：ナデ，LR 内面：ナデ	石英，長石， 黒色粒	なし	基本層序 3層	
2	縄文中期 深鉢	胴部 破片	－	外面：にぶい黄橙色(10YR7/4) 内面：褐灰色(10YR4/1)	外面：ナデ 内面：ミガキ	雲母，石英， 角閃石，長 石，黒色粒	なし	基本層序 3層	
3	縄文中期後半 ～後期初頭 深鉢	胴部 破片	－	外面：にぶい橙色(7.5YR7/4) 内面：にぶい橙色(7.5YR7/4)	外面：RL 内面：ナデ	石英，角閃 石，長石， 黒色粒	なし	基本層序 3層	
4	縄文後期初頭 深鉢	胴部 破片	－	外面：明赤褐色(2.5YR5/6) 内面：褐灰色(7.5YR4/1)	外面：ナデ，沈線 内面：ナデ	石英，角閃 石，長石， 黒色粒	外面：なし 内面：コゲ	基本層序 3層	
5	堀ノ内１式 深鉢	胴部 破片	－	外面：にぶい褐色(7.5YR6/3)， 黒斑 内面：にぶい褐色(7.5YR6/3)	外面：無節Ｒ 内面：ミガキ	石英，角閃 石，長石， 黒色粒	なし	基本層序 3層	
6	堀ノ内１式 深鉢	胴部 破片	－	外面：にぶい赤褐色(5YR5/4) 内面：褐灰色(7.5YR4/1)	外面：沈線 内面：ミガキ	石英，角閃 石，長石， 黒色粒	なし	基本層序 3層	
7	加曾利Ｅ式 深鉢	胴部 破片	－	外面：浅黄橙色(7.5YR8/6) 内面：褐灰色(7.5YR4/1)	外面：RL 内面：ナデ	石英，長石， 橙色粒，黒 色粒	なし	包含層	
8	加曾利Ｅ式 深鉢	胴部 破片	－	外面：橙色(5YR6/6)，黒斑 内面：褐灰色(5YR4/1)	外面：LR 内面：ナデ	石英，角閃 石，長石， 橙色粒，黒 色粒	なし	包含層	
9	縄文中期 深鉢	胴部 破片	－	外面：にぶい黄橙色(10YR7/4) 内面：黒褐色(7.5YR3/1)	外面：ナデ 内面：ミガキ	雲母，石英， 角閃石，長 石	外面：スス 内面：なし	表土	
10	堀ノ内１式 深鉢	口縁 破片	－	外面：浅黄橙色(10YR8/4)， 黒斑 内面：にぶい黄橙色(10YR6/3)， 灰褐色(7.5YR4/2)	外面：沈線 内面：ミガキ	石英，角閃 石，長石， 黒色粒	なし	表土	
11	堀ノ内１式 深鉢	胴部 破片	－	外面：にぶい赤褐色(5YR5/4) 内面：褐灰色(5YR4/1)	外面：ナデ，沈線 内面：ナデ	石英，角閃 石，長石， 黒色粒	なし	表土	



1号竪穴建物跡土層説明

1層　黒 色 土(7.5YR2/1) しまりやや強い，粘性やや弱い。ロームブロック・粒子微量含む。
2層　黒褐色土(7.5YR3/2) しまり強い，粘性やや弱い，ローム粒子微量含む。
3層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり強い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子少量含む。
4層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや強い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子中量含む。
5層　明褐色土(7.5YR5/8) しまりやや弱い，粘性やや弱い，ロームブロック中量，ローム粒子微量含む。
6層　暗褐色土(7.5YR3/4) 基本層序3層。掘り過ぎ。

1号竪穴建物跡炉跡土層説明

1層　暗赤褐色土(5YR3/6) しまり中，粘性やや弱い。ロームブロック少量，ローム粒子微量，焼土ブロック少量，焼土粒子微量含む。

第7図　1号竪穴建物跡（1）

第3節　弥生時代

1号竪穴建物跡

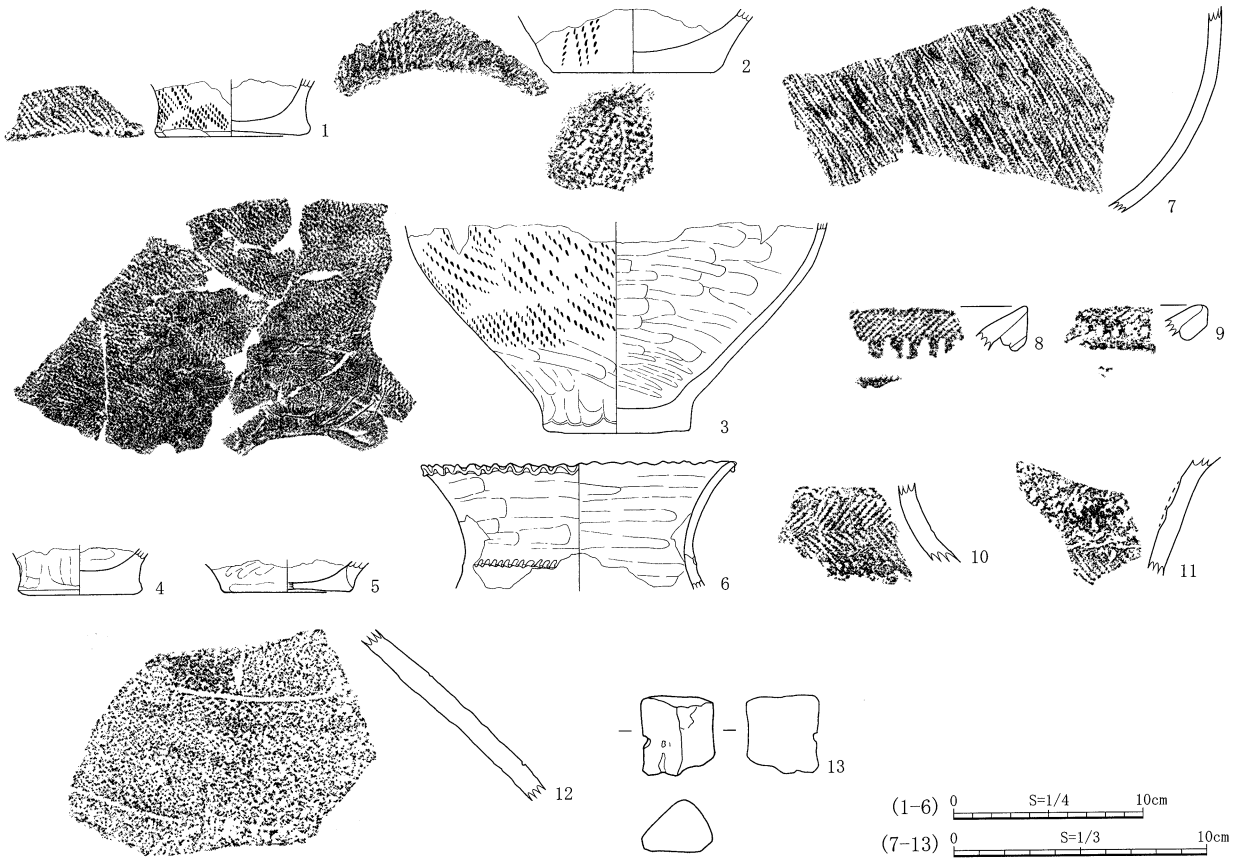
時期：弥生時代後期　**検出面**：基本層序3層　**平面形態**：不整円形

規模：長軸長4.53m(4.92m)，短軸長3.91m(4.13m)，深さ0.36m(0.41m)

構造：炉が1基，柱穴と考えられるピットが2基検出された。床は一部がやや弱いながらも大部分が硬化していた。炉には被熱面があったが，焼土の検出はまばらであった。本遺構の北西側から東側にかけて竪穴壁上端部から外方に向かって浅い掘り込みが確認され，その底面は平坦であった。埋土2層がこの浅い掘り込みから竪穴壁内面に向かって入り込んでいることから，この浅い掘り込みは本遺構に関わりがあると考えられる。

埋土堆積状況：いわゆるレンズ状堆積で，2層は浅い掘り込み部から竪穴壁内側に向かって流れ込んでいた。

出土遺物点数：弥生土器160点，弥生時代石器2点



第８図　１号竪穴建物跡（２）

第５表　１号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）

土器									
遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
1	弥生後期 甕	底部 遺存 20%	底　径：(7.8)cm 遺存高：3.0cm	外面：にぶい赤褐色 (5YR5/4) 内面：褐灰色 (10YR4/1)	外面：RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，白色粒，黒色粒	外面：なし 内面：コゲ	上層	
2	弥生後期 甕	底部 遺存 40%	底　径：(8.4)cm 遺存高：3.3cm	外面：浅黄色 (2.5Y7/4) 内面：浅黄色 (2.5Y7/4)	外面：ナデ，撚糸文 R，底部に圧痕あるが原体は不明 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒	なし	床面直上	
3	弥生後期 甕	胴～底部 遺存 30%	底　径：(7.6)cm 遺存高：11.0cm	外面：明赤褐色 (5YR5/6)，灰褐色 (7.5YR4/2) 内面：明赤褐色 (5YR5/6)，灰褐色 (7.5YR4/2)	外面：ナデ，RL ＋ L・L 内面：ナデ，ミガキ	石英，角閃石，白色粒	外面：ススあり 内面：コゲ	下層 床面直上	
4	弥生後期 甕	底部 遺存 45%	底　径：(6.0)cm 遺存高：2.4cm	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/4) 内面：褐灰色 (7.5YR4/1)	外面：ヘラナデ，ナデ 内面：ナデ	石英，白色粒	なし	上層	
5	弥生後期 甕	底部 遺存 30%	底　径：(6.6)cm 遺存高：1.6cm	外面：明赤褐色 (5YR5/8) 内面：灰褐色 (7.5YR5/2)	外面：ナデ 内面：ナデ	石英，白色粒，黒色粒	外面：なし 内面：コゲ	下層	
6	弥生後期 甕	口縁～胴部 遺存 20%	口　径：(16.6)cm 遺存高：6.7cm	外面：橙色 (5YR6/6) 内面：橙色 (5YR6/6)，黒褐色 (7.5YR3/1)，黒斑	外面：ナデ，指による交互押捺 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒	外面：ススあり 内面：なし	上層 下層	
7	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：明黄褐色 (10YR7/6)，灰褐色 (7.5YR6/2) 内面：橙色 (5YR6/6)，褐灰色 (7.5YR4/1)，黒斑	外面：ナデ，RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層	
8	弥生後期 壺	口縁部 破片	－	外面：黒褐色 (10YR3/2) 内面：にぶい黄褐色 (10YR5/3)	外面：複合口縁，ナデ，キザミ，LR 縄文 内面：ナデ	石英，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層	
9	弥生後期 壺	口縁部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6) 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面：複合口縁，ナデ，キザミ，LR 縄文 内面：ナデ	シャモット，石英，黒色粒	なし	埋土	
10	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR7/6) 内面：にぶい橙色 (7.5YR7/4)，褐灰色 (7.5YR6/1)，黒斑	外面：ナデ，RL，LR，S 字状結節文 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石	なし	床面直上	
11	弥生後期 壺	頸部 破片	－	外面：明黄褐色 (10YR6/6) 内面：灰黄褐色 (10YR6/2)，赤彩	外面：ナデ，ミガキ，RL，S 字状結節文 内面：ナデ，ミガキ	石英，黒色粒	なし	下層	
12	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：にぶい橙色 (5YR6/4) 内面：にぶい橙色 (5YR6/4)	外面：ナデ，ミガキ，附加条３種ないしは網目状撚糸文，沈線 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石	なし	床面直上	器面の磨耗著しい，縦区画文あり

第６表　１号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）

石製品						
遺物No.	型式・器種等	石材	寸法	観察所見	出土層位	備考
13	弥生後期 軽石	軽石	最大長：32mm 最大幅：29mm 最大厚：21mm	白色の軽石。3面を磨面として使用したと考えられる。	下層	

出土遺物重量：弥生土器 1,629g，石器 51g

遺物出土状況：遺物は１～２層を上層，３層以下を下層として取り上げ，遺物は上層から床面直上にかけて出土した。３の一部は床面直上から出土し，土器内面を上に向けた状態で置かれ，その後土圧によって潰れたものと考えられる。

遺物：いずれも弥生時代後期に位置づけられる。９・10・12 の壺にはシャモットが含まれており，他の土器とは胎土の上で一線を画している。13 の軽石は３面を磨面として使用したと考えられる。

２号竪穴建物跡

時期：弥生時代後期　**検出面**：基本層序３層　**平面形態**：胴張隅丸長方形

規模：長軸長 6.22m(6.26m)，短軸長 5.21m(5.66m)，深さ 0.54m(0.78m)

構造：炉が１基，柱穴と考えられるＰ１～Ｐ４，性格不明のＰ５が検出された。床面は一部を除いて大部分が強く硬化していた。炉には被熱面が見られ，炉の２層では焼土ブロックが多量に検出された。北東側から南東側にかけて竪穴壁上端部から外側に向かって浅い掘り込みが確認され，その底面は緩やかに傾斜していた。また，南東側にも浅い掘り込みの痕跡が残っており，竪穴壁上端部から外に向かって若干傾斜していた。

埋土堆積状況：いわゆるレンズ状堆積で，４層は浅い掘り込みから竪穴壁内側に向かって入り込んでいた。

出土遺物点数：弥生土器 112 点，弥生時代土製品１点

出土遺物重量：弥生土器 1,874g，弥生時代土製品 50g

遺物出土状況：遺物は１～３層を上層，４層を下層として取り上げた。上層では遺物の出土が少なく，遺物の多くは下層から床面直上にかけて出土した。３は床面直上から出土し，内面を上に向けた状態から土圧によって潰れたものと考えられる。紡錘車は完形の状態で下層から出土した。

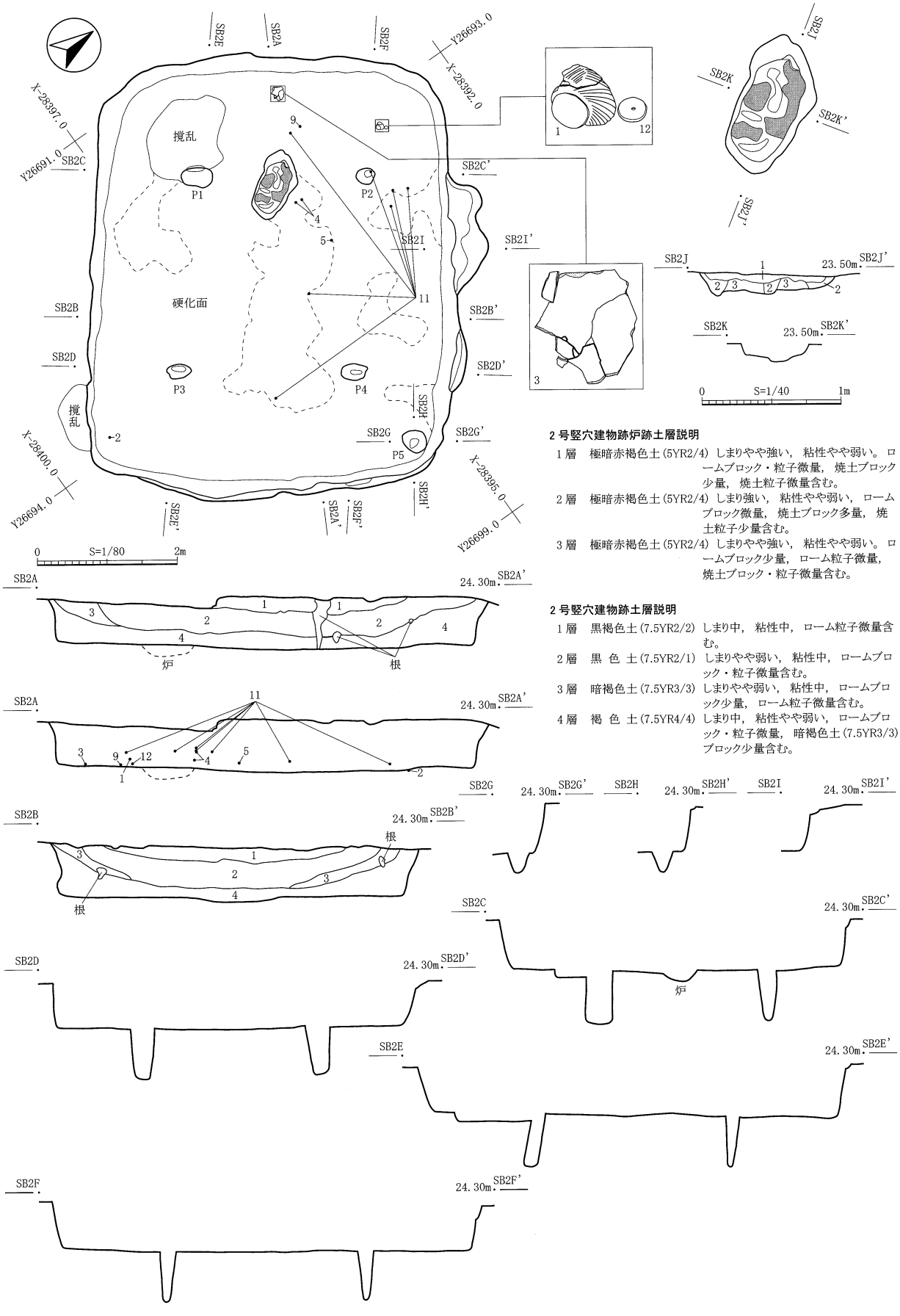
遺物：２・３・８・11 の胎土にはシャモットが含まれている。３は区画文に附加条３種ないしは網目状撚糸文と考えられる原体が使用されている。11 は大型壺で外面は摩耗しており，内面も剥落が著しい。12 の紡錘車には紐を十字に括りつけた痕が見られる。

３号竪穴建物跡

時期：弥生時代後期　**検出面**：基本層序３層　**平面形態**：胴張隅丸長方形

規模：長軸長 4.85m，短軸長 4.56m(4.81m)，深さ 0.85m(0.95m)

構造：炉が１基，そして位置的に貯蔵穴と考えられるＰ１が検出された。一方で，本遺構は



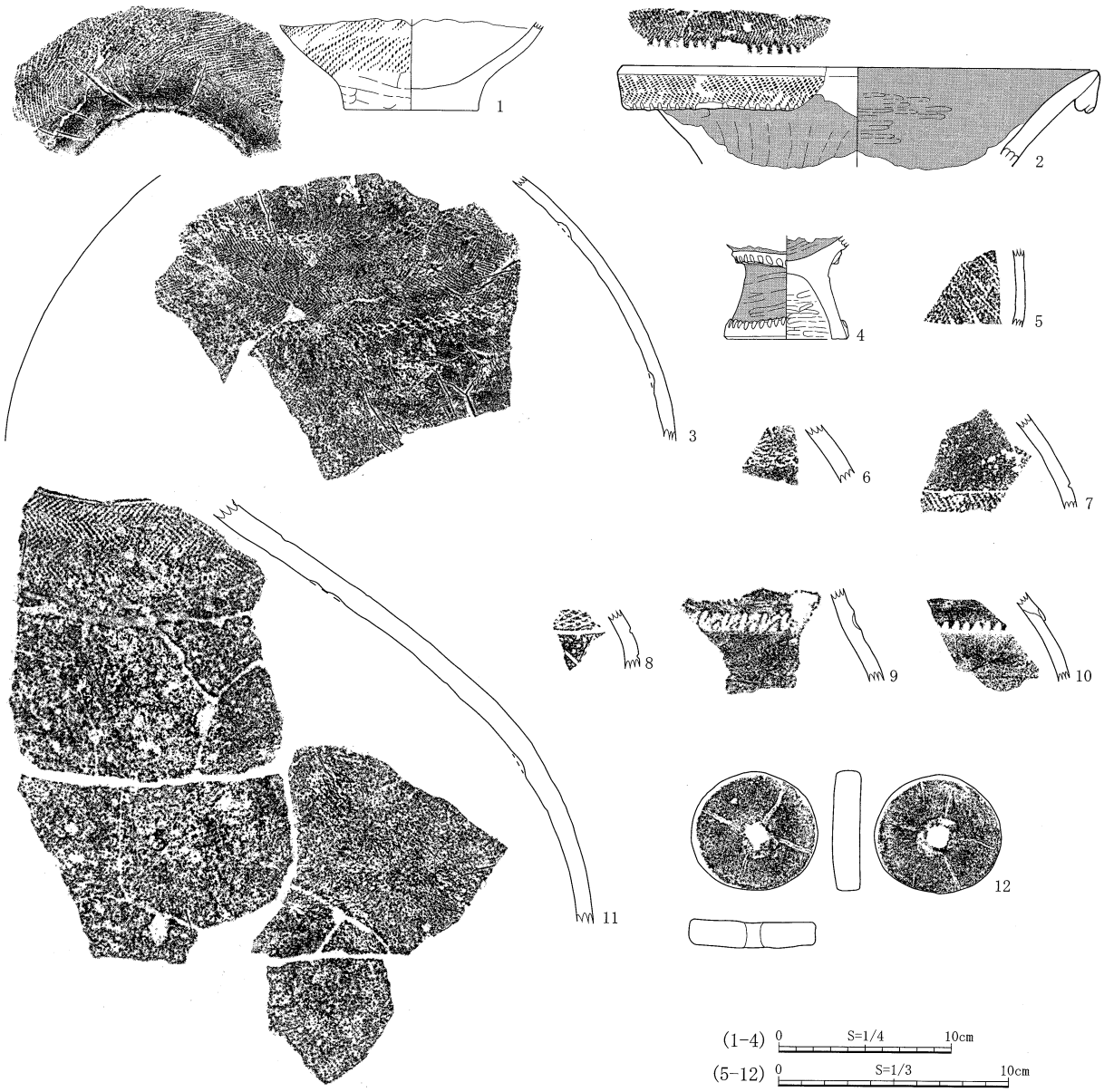
2号竪穴建物跡炉跡土層説明

1層　極暗赤褐色土(5YR2/4) しまりやや強い，粘性やや弱い。ロームブロック・粒子微量，焼土ブロック少量，焼土粒子微量含む。
2層　極暗赤褐色土(5YR2/4) しまり強い，粘性やや弱い，ロームブロック微量，焼土ブロック多量，焼土粒子少量含む。
3層　極暗赤褐色土(5YR2/4) しまりやや強い，粘性やや弱い。ロームブロック少量，ローム粒子微量，焼土ブロック・粒子微量含む。

2号竪穴建物跡土層説明

1層　黒褐色土(7.5YR2/2) しまり中，粘性中，ローム粒子微量含む。
2層　黒色土(7.5YR2/1) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
3層　暗褐色土(7.5YR3/3) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック少量，ローム粒子微量含む。
4層　褐色土(7.5YR4/4) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量，暗褐色土(7.5YR3/3)ブロック少量含む。

第９図　２号竪穴建物跡（１）



第 10 図　２号竪穴建物跡（２）

第７表　２号竪穴建物跡遺物観察表（１）

土器・土製品									
遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
1	弥生後期 甕	胴～底部 遺存 70%	底　径：7.7cm 遺存高：5.3cm	外面：橙色 (7.5YR7/6) 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面：ナデ，LR＋R・R 内面：ナデ	石英，白色粒，黒色粒	外面：ススあり 内面：コゲあり	下層	
2	弥生後期 壺	口縁～頸部 遺存 15%	口　径：(27.4)cm 遺存高：5.8cm	外面：橙色 (7.5YR7/6)，赤彩 内面：橙色 (7.5YR7/6)，赤彩	外面：複合口縁，ナデ，LR，RL 内面：ミガキ	シャモット，石英，白色粒	なし	床面直上	
3	弥生後期 壺	胴部 遺存 15%	遺存高：(15.5)cm	外面：浅黄橙色 (7.5YR8/6)，赤彩 内面：浅黄橙色 (7.5YR8/6)	外面：LR，RL縄文，附加条３種ないしは網目状撚糸文，ミガキ 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，黒色粒	なし	床面直上	内面剝落著しい
4	弥生後期 高坏	坏～脚部 遺存 60%	底　径：(7.0)cm 遺存高：6.0cm	外面：灰黄褐色 (10YR5/2)，赤彩 内面：灰黄褐色 (10YR5/2)，赤彩	外面：突帯・複合脚，キザミ，ミガキ 内面：ミガキ	石英，角閃石，黒色粒	なし	下層	
5	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：灰褐色 (5YR6/2) 内面：明黄褐色 (10YR6/8)，褐灰色 (10YR4/1)	外面：撚糸文Ｒ 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層	

第８表　２号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）

遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
6	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：褐灰色（5YR4/1） 内面：灰黄褐色（10YR5/2）	外面：Ｓ字状結節文， ミガキ 内面：ナデ	白色粒	なし	下層	
7	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：灰褐色（7.5YR5/2） 内面：橙色（7.5YR6/8）	外面：ミガキ，RL，沈線 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒	なし	上層	
8	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：橙色（7.5YR6/6） 内面：橙色（7.5YR6/6）	外面：附加条３種（無節）・ 刺突，沈線 内面：ナデ	シャモット，石英，黒色粒	なし	床面直上	
9	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色（2.5YR6/6） 内面：橙色（2.5YR6/6）	外面：ナデ，キザミ 内面：ナデ	石英，白色粒	なし	床面直上	
10	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色（2.5YR6/6） 内面：にぶい褐色（7.5YR5/3）	外面：ナデ，キザミ 内面：ナデ	雲母，石英，白色粒	なし	床面直上	
11	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：橙色（7.5YR7/6） 内面：明黄褐色（10YR7/6）	外面：ミガキ，LR，RL， 沈線 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石	なし	下層	外面：磨耗激しい 内面：剝落著しい
12	弥生後期 紡錘車	遺存 100%	直　径：5.5cm 厚　さ：1.2cm	外面：褐灰色（7.5YR4/1）， にぶい褐色（7.5YR5/3） 内面：褐灰色（7.5YR4/1）， にぶい褐色（7.5YR5/3）	ナデ	石英，角閃石，白色粒	なし	下層	紐を括りつけた痕あり

深さ１ｍ近くの竪穴建物跡であるにもかかわらず，柱穴と考えられるピットは検出されなかった。南西側の壁に沿って未硬化面が広がっていたが，それ以外の床面は強く硬化していた。炉には被熱面が見られ，炉跡の２層からは焼土ブロックが多量に確認された。本遺構の東側には浅い掘り込みが認められ，その面は緩やかに傾斜していた。

埋土堆積状況：いわゆるレンズ状堆積を呈しており，A-A’セクションの東側では６層（基本層序３層）を浅く掘り込んだと考えられる立ち上がりが確認された。その立ち上がりから竪穴壁の内側に向かって２層が流れ込んでいた。一方，１層は基本層序２層である新規富士テフラ層の可能性がある。もしそうであるならば，本遺構は新規富士テフラ層が堆積する以前に構築され，本遺構がほぼ埋まりきった時期に新規富士テフラ層は堆積したと考えられる。

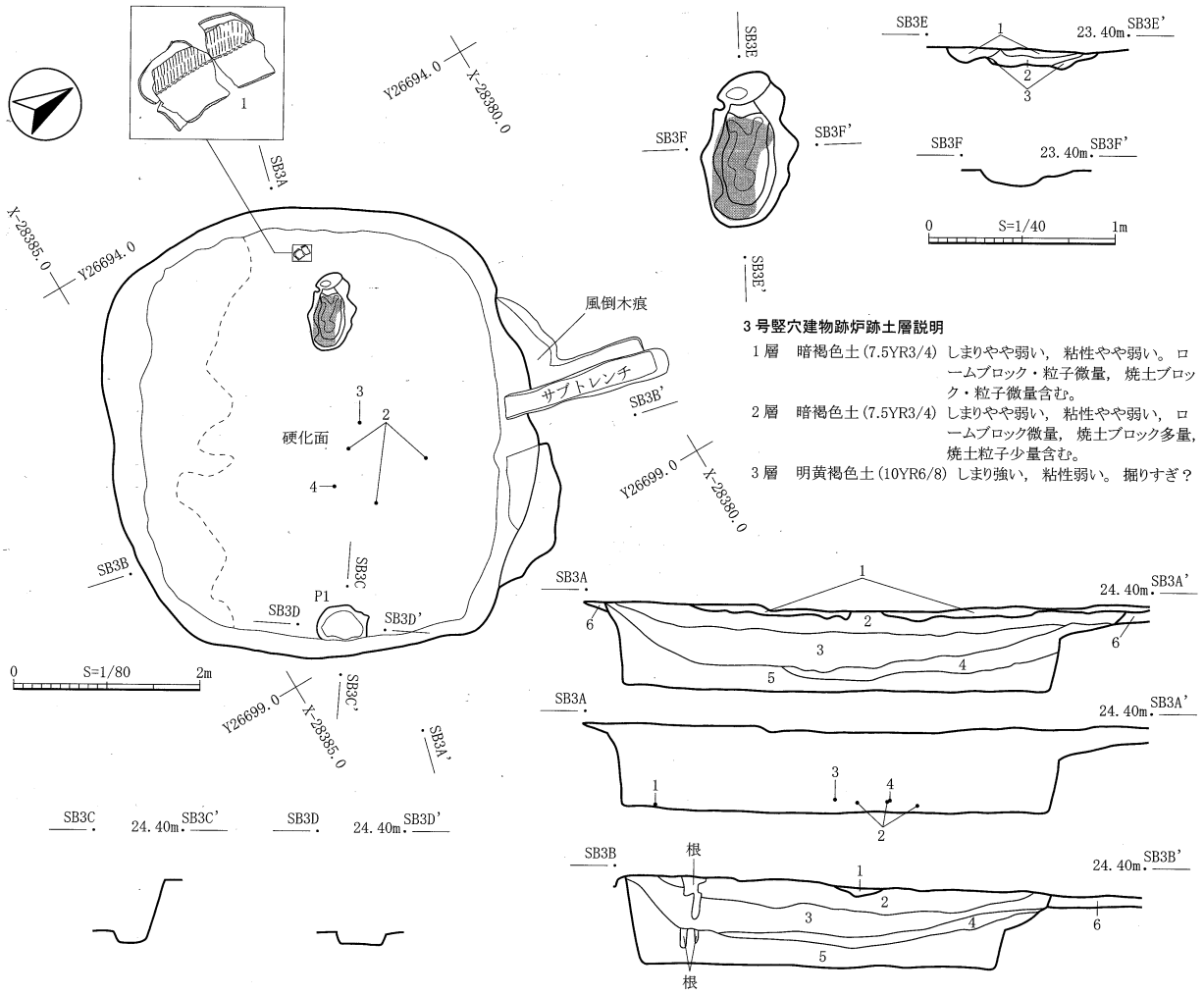
出土遺物点数：弥生土器 147 点

出土遺物重量：弥生土器 1,403g

遺物出土状況：１～４層を上層とし，５層を下層として遺物を取り上げた。遺物は上層から床面直上にかけて出土したが，上層では遺物量が少なく，下層から床面直上にかけてやや多い状況だった。１は床面直上から出土し，横向きの状態で床面に置かれ，その後に土圧によって潰れたものと考えられる。

遺物：１は小形甕で外面に赤彩が施されている。また，直前段半撚の縄文も施されており，上端のＳ字状結節文に似た文様は直前段半撚の原体の上端を結んで施文したことによって生じた可能性がある。

備考：遺構検出段階では本遺構の埋土２層にあたると考えられる黒褐色土が竪穴壁上端部よりも外方で広く確認されていた。そのため，壁上端部外方に浅い掘り込みが広く存在した可能性があった。しかし，本遺構の調査時には上端部外側に浅い掘り込みがあることを認識しておらず，本遺構のプランをより明確にするためにジョレンによる面下げを行なって



3号竪穴建物跡炉跡土層説明

1層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性やや弱い。ロームブロック・粒子微量，焼土ブロック・粒子微量含む。
2層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性やや弱い，ロームブロック微量，焼土ブロック多量，焼土粒子少量含む。
3層　明黄褐色土(10YR6/8) しまり強い，粘性弱い。掘りすぎ？

3号竪穴建物跡土層説明

1層　褐 色 土(7.5YR4/4) しまり強い，粘性やや弱い。ロームブロック・粒子微量含む。基本層序2層か？
2層　黒褐色土(7.5YR2/2) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。
3層　黒 色 土(7.5YR2/1) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
4層　黒褐色土(7.5YR4/4) しまりやや弱い，粘性やや弱い，ロームブロック微量，ローム粒子少量含む。
5層　明褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子中量含む。
6層　暗褐色土(7.5YR3/4) 基本層序3層。

第11図　3号竪穴建物跡（1）

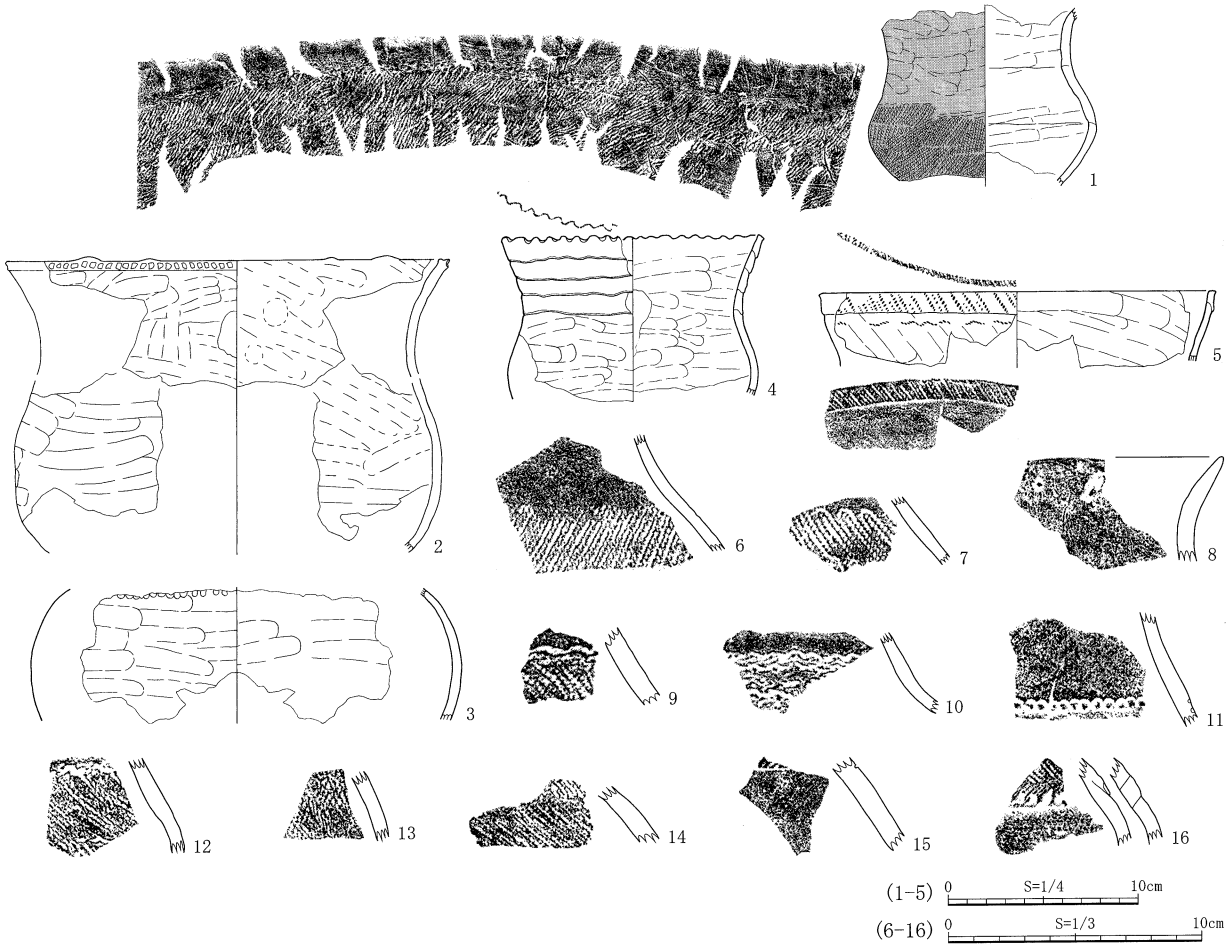
しまった。その結果，本遺構の東側の一部を残して浅い掘り込みの大部分を削り取ってしまったと考えられる。また，北東側の竪穴壁沿いにサブトレンチを入れたのは壁と思われる位置のロームが脆く，そこが壁か否かという点とロームが脆い理由を確定させるためであった。その結果，本遺構に風倒木痕が絡んでいたことが明らかとなった。

4号竪穴建物跡

時期：弥生時代後期　**検出面**：基本層序3層　**平面形態**：隅丸方形

規模：長軸長2.93m，短軸長2.88m，深さ0.32m

構造：炉が1基，そして位置的に貯蔵穴と考えられるP1，性格不明のP2が検出された。床面は一部が硬化していた。炉の埋土3層からは焼土ブロック・粒子が少量検出されたが，被熱面は確認されなかった。



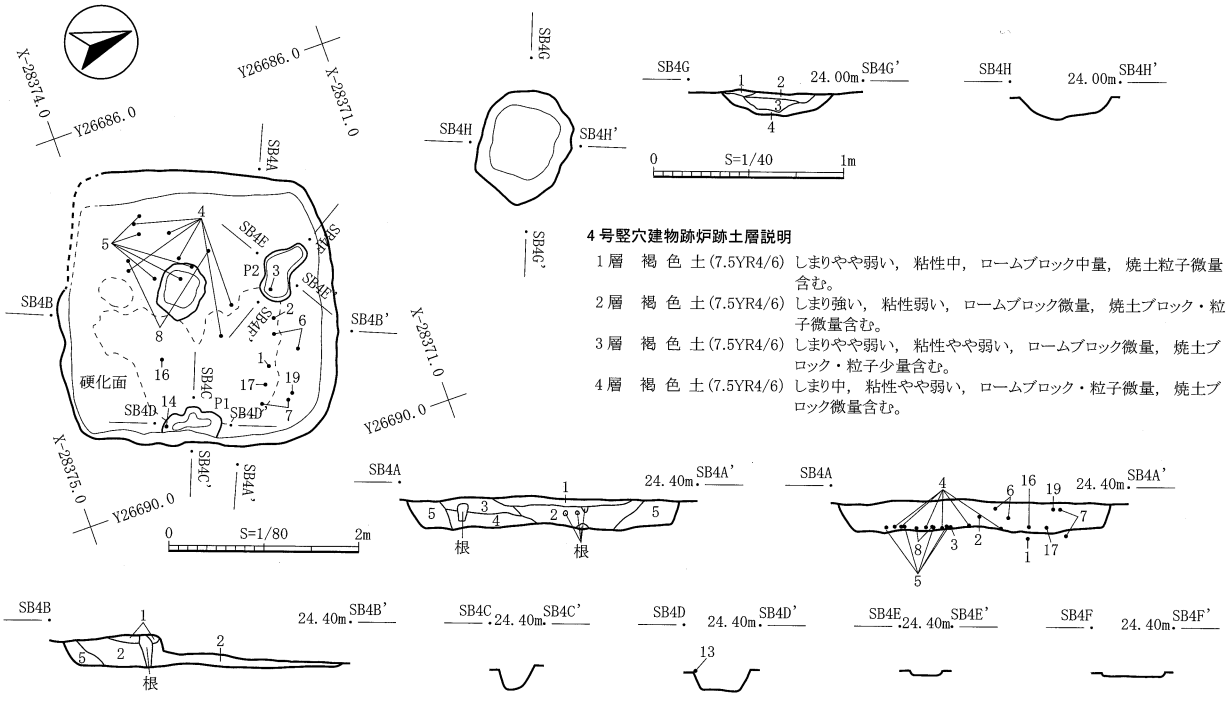
第 12 図　３号竪穴建物跡（２）

第９表　３号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）

土器									
遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
1	弥生後期 甕	頸～胴部 遺存 90%	胴部最大径：12.0cm 遺存高：9.5cm	外面：明赤褐色 (2.5YR5/8), 浅黄橙色 (7.5YR8/6), 赤彩, 黒斑 内面：浅黄橙色 (7.5YR 8/6), 黒斑	外面：指ナデ，直前段半撚 (LL)，それの上端をそのまま縛っている？ 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：コゲあり	床面直上	
2	弥生後期 甕	口縁～胴部 遺存 15%	口　径：(23.4)cm 胴部最大径：(22.4)cm 遺存高：15.4 cm	外面：橙色 (7.5YR7/6), 橙色 (7.5YR6/6) 内面：橙色 (7.5YR7/6), 橙色 (7.5YR6/6)	外面：ナデ，縄によるキザミ 内面：ナデ	角閃石，白色粒	外面：ススあり 内面：なし	上層 下層 床面直上	
3	弥生後期 甕	胴部 遺存 15%	胴部最大径：(21.6)cm 遺存高：7.0cm	外面：浅黄橙色 (10YR8/4), にぶい黄橙色 (10YR6/3) 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：ナデ，キザミ 内面：ナデ	石英，白色粒，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層	
4	弥生後期 甕	口縁～胴部 遺存 20%	口　径：(13.4)cm 胴部最大径：(13.2)cm 遺存高：8.5 cm	外面：褐灰色 (5YR4/1) 内面：明赤褐色 (2.5YR5/6)	外面：ナデ，口縁端部交互押捺 内面：ナデ	石英，角閃石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層	
5	弥生後期 浅鉢	口縁～胴部 遺存 15%	口　径：(20.8)cm 遺存高：3.7 cm	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/4), 明黄褐色 (10YR6/6) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/4), 明黄褐色 (10YR6/6)	外面：複合口縁，ナデ，RL＋L・L，S 字状結節文 内面：ナデ	角閃石，白色粒	なし	床面直上 炉	
6	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：灰褐色 (10YR4/1) 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面：ナデ，LR＋R・R 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	上層	
7	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：明赤褐色 (5YR5/6) 内面：明赤褐色 (5YR5/6)	外面：ナデ，RL 3 条 内面：ナデ	石英，角閃石	なし	埋土一括	
8	弥生後期 甕	口縁～頸部 破片	－	外面：灰黄褐色 (10YR5/2) 内面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)	外面：ナデ 内面：ナデ	石英，角閃石	外面：ススあり 内面：ススあり	下層	
9	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6) 内面：橙色 (5YR6/6)	外面：ナデ，S 字状結節文，RL 内面：ナデ	石英，角閃石	なし	下層	
10	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい黄褐色 (10YR 5/3) 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：ナデ，S 字状結節文 内面：ナデ	白色粒，黒色粒	なし	下層	

第 10 表　３号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）

遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
11	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい黄橙色 (10YR 6/4) 内面：にぶい黄橙色 (10YR 6/4)，灰黄褐色 (10YR4/2)	外面：ナデ，円筒状工具による刺突 内面：ナデ	石英，白色粒，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層	
12	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：黒褐色 (10YR3/2) 内面：明黄褐色 (10YR7/6)，にぶい黄褐色 (10YR5/3)	外面：S 字状結節文，撚糸文 R 内面：ナデ	石英，角閃石	外面：ススあり 内面：なし	下層	
13	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい黄橙色 (10YR 7/4) 内面：にぶい黄褐色 (10YR5/3)	外面：RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，角閃石	外面：ススあり 内面：なし	下層	
14	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：灰褐色 (7.5YR5/2) 内面：橙色 (5YR6/6)	外面：RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒	なし	下層	
15	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：橙色 (5YR6/6)，にぶい橙色 (5YR6/4) 内面：橙色 (2.5YR6/8)	外面：ナデ，LR，沈線 内面：ナデ	石英，角閃石	なし	下層	
16	弥生後期 無頸壺	口縁～胴部 破片	－	外面：にぶい黄橙色 (10YR 5/3) 内面：にぶい黄橙色 (10YR 5/3)	外面：複合口縁，ナデ，LR，RL，縄によるキザミ 内面：ナデ	石英，白色粒，黒色粒	なし	下層	



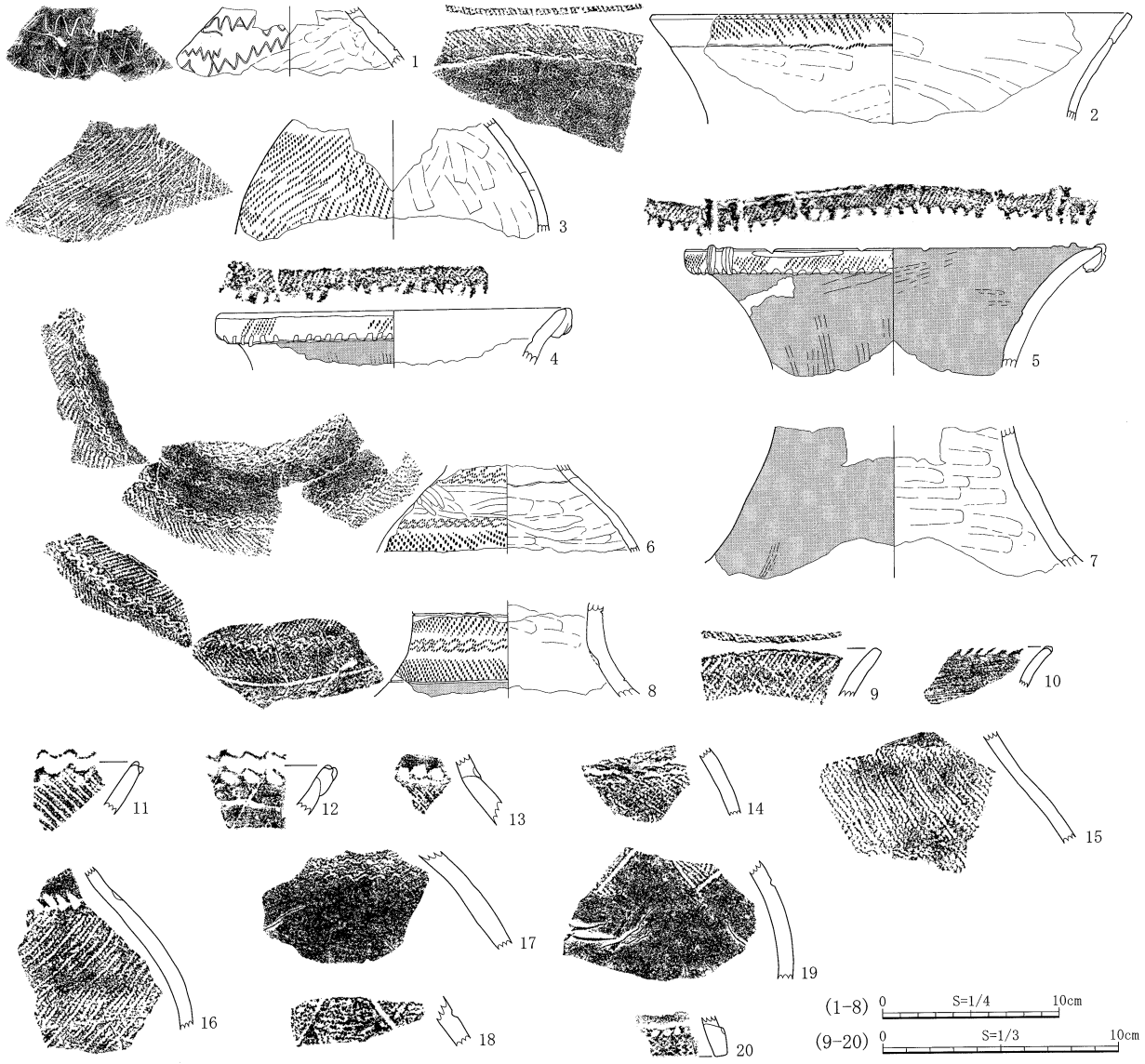
第 13 図　４号竪穴建物跡（１）

埋土堆積状況：本遺構の埋土では２層でロームブロックが中量検出され，３層でもロームブロックが少量検出された。さらに，埋土はいわゆるレンズ状堆積ではなく，いびつであることも踏まえると，本遺構は人為的に埋め戻されたものと考えられる。

出土遺物点数：弥生土器 215 点

出土遺物重量：弥生土器 1,957g

遺物出土状況：１層を上層とし，２～５層を下層として遺物を取り上げた。遺物は上層から床面直上にかけて出土した。埋土の特徴から本遺構は人為的に埋め戻された可能性があ



第 14 図　４号竪穴建物跡（２）

第 11 表　４号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）

土器									
遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	ススコゲ	出土層位	備考
1	弥生後期 壺	肩部 遺存 20%	遺存高：3.9cm	外面：橙色 (7.5YR6/6)，黒斑 内面：橙色 (7.5YR6/6)，黒斑	外面：ナデ，ヘラ描波状文 内面：ナデ，ユビオサエ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
2	弥生後期 甕	口縁～頸部 遺存 15%	口　径：(26.8)cm 遺存高：6.2cm	外面：黒褐色 (7.5YR3/1) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/3)，灰褐色 (7.5YR4/2)	外面：ナデ，RL ＋ L・L，端末を縛ってＳ字状結節文状になっている 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層	一部にＳ字状結節文あり，内面剝落あり
3	弥生後期 甕	胴部 遺存 20%	遺存高：6.5cm	外面：橙色 (5YR6/6)，橙色 (7.5YR7/6) 内面：褐灰色 (7.5YR4/1)	外面：ナデ，LR+R・R 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	床面直上	
4	弥生後期 壺	口縁～頸部 遺存 20%	口　径：(19.8)cm 遺存高：3.2cm	外面：橙色 (7.5YR7/6)，赤彩 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：複合口縁，LR，キザミ，ミガキ 内面：不明（剝落により判別できず）	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層 床面直上	器面の剝落著しい
5	弥生後期 壺	口縁～頸部 遺存 30%	口　径：(23.6)cm 遺存高：6.8cm	外面：黄橙色 (10YR8/6)，灰褐色 (7.5YR6/2)，赤彩，黒斑 内面：赤彩，黒斑	外面：複合口縁，ナデ，キザミ，ミガキ，LR，棒状浮文 内面：ミガキ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層 床面直上	
6	弥生後期 壺	肩部 遺存 30%	遺存高：5.0cm	外面：橙色 (7.5YR6/6)，黒斑 内面：橙色 (7.5YR6/6)，黒斑	外面：ミガキ，RL，LR，Ｓ字状結節文 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層 下層	

第12表　４号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）

遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
7	弥生後期 壺	頸部～肩部 遺存30%	遺存高：8.0cm	外面：橙色(7.5YR7/6)，赤彩 内面：にぶい黄橙色(10YR 7/4)	外面：ミガキ 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，白色粒，黒色粒	なし	上層 床面直上	外面剝落顕著
8	弥生後期 壺	頸部～肩部 遺存20%	遺存高：5.4cm	外面：明赤褐色(5YR5/6)，黒斑 内面：褐灰色(7.5YR4/1)	外面：LR，RL，S字状結節文，沈線 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石	なし	下層	外面剝落顕著
9	弥生後期 甕	口縁部 破片	－	外面：黒褐色(10YR3/1) 内面：灰褐色(7.5YR4/2)，橙色(7.5YR7/6)	外面：LR＋R・R＋R？ 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒，黒色粒	外面：ススかすか 内面：なし	下層	
10	弥生後期 甕	口縁部 破片	－	外面：褐灰色(7.5YR4/1) 内面：褐灰色(7.5YR4/1)	外面：ナデ，縄によるキザミ 内面：ナデ	石英，白色粒，黒色粒	なし	下層	
11	弥生後期 甕	口縁部 破片	－	外面：にぶい褐色(7.5YR5/4) 内面：：にぶい褐色(7.5YR 5/3)	外面：キザミ，RL＋L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒，黒色粒	なし	下層	大粒の石英多量含む
12	弥生後期 甕	口縁部 破片	－	外面：橙色(5YR6/6) 内面：橙色(5YR6/6)	外面：ナデ，指による交互押捺 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒，黒色粒	なし	下層	
13	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色(7.5YR6/6)，黒斑 内面：橙色(7.5YR6/6)	外面：ナデ，縄によるキザミ，RL+L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒，黒色粒	なし	下層	
14	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：黒色(7.5YR2/1) 内面：黒色(7.5YR2/1)	外面：RL，S字状結節文 内面：ナデ	石英，白色粒	なし	下層	
15	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：褐灰色(7.5YR4/1) 内面：にぶい褐色(7.5YR5/3)	外面：ナデ，LR＋L 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒	外面：ススかすか 内面：なし	下層	
16	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：灰黄褐色(10YR4/2) 内面：にぶい黄褐色(10YR 5/4)	外面：ナデ，縄によるミガキ，LR+R・R 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒，黒色粒	外面：ススかすか 内面：なし	下層	
17	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：褐灰色(5YR4/2)，赤彩 内面：橙色(7.5YR6/6)	外面：ナデ，ミガキ，S字状結節文 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，白色粒，黒色粒	なし	下層	
18	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：橙色(7.5YR6/6) 内面：にぶい黄橙色(10YR 7/4)	外面：ナデ，LR，沈線 内面：剝落で判別不可	シャモット，石英，角閃石，白色粒，黒色粒	なし	下層	
19	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：明赤褐色(5YR5/6)，赤彩 内面：にぶい黄橙色(10YR 7/4)，黒斑	外面：ミガキ，LR，沈線 内面：ナデ	海綿骨針，石英，角閃石，白色粒，黒色粒	なし	上層	
20	弥生後期 高坏	脚部 破片	－	外面：浅黄橙色(10YR8/4)，赤彩 内面：赤彩	外面：複合脚，ナデ，ミガキ，附加条３種 内面：ナデ	石英，角閃石	なし	下層	

り，埋め戻しに伴いながら遺物は廃棄されたものと考えられる。４と５は下層から床面直上にかけて本遺構に散らばった状態で出土した。

遺物：２の外面には端末を縛ってＳ字状結節文状になった縄文が施されている。５・７・８・18の胎土にはシャモットが含まれている。11の胎土には大粒の石英が多量に含まれている。19の胎土には海綿骨針が含まれている。

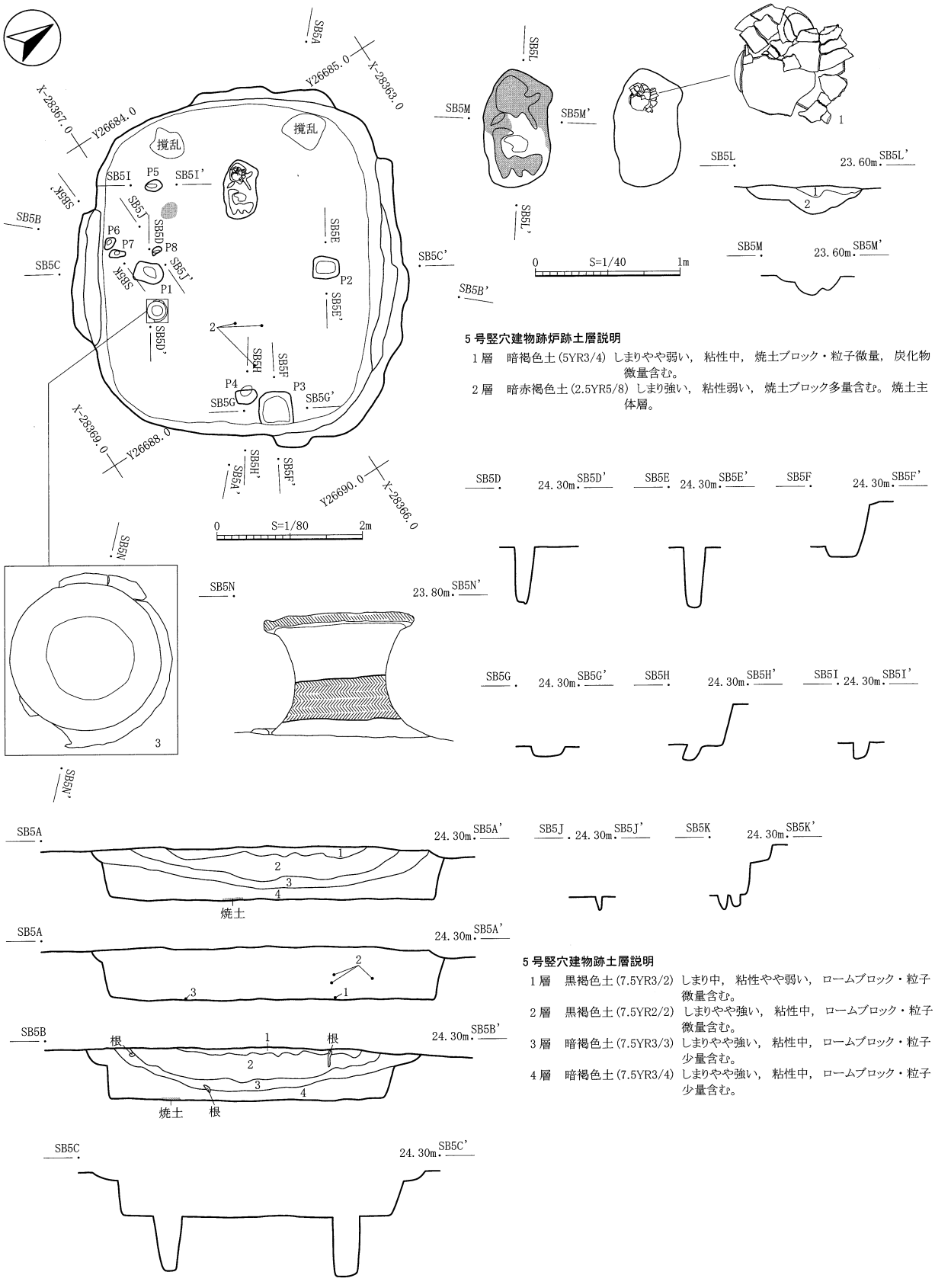
５号竪穴建物跡

時期：弥生時代後期　**検出面**：基本層序３層　**平面形態**：胴張隅丸長方形

規模：長軸長4.67m(4.84m)，短軸長4.31m(4.62m)，深さ0.55m(0.74m)

構造：本遺構の床面は全体が強く硬化していた。炉は１基検出され，Ｐ１およびＰ２は柱穴と考えられる。炉では被熱面が認められ，炉の２層からは焼土ブロックが多量に確認された。竪穴壁沿いで検出されたＰ３は貯蔵穴と考えられ，Ｐ４は壁から炉に向かって斜め方向に掘りこまれていることから入口施設に関わるピットと考えられる。Ｐ５～Ｐ８は性格不明のピットで，本遺構に伴うピットかどうかも含めて判断することは難しい。北東側から南東側，南西側，そして北西側において竪穴壁上端部から外側に向かって掘り込みが確認された。その断面の形状としては緩やかに傾斜するものと半Ｕ字状を呈したものが認められた。

埋土堆積状況：いわゆるレンズ状堆積で，本遺構の北東から東側，南西側，北西側で確認さ



5号竪穴建物跡炉跡土層説明

1層　暗褐色土(5YR3/4) しまりやや弱い，粘性中，焼土ブロック・粒子微量，炭化物微量含む。

2層　暗赤褐色土(2.5YR5/8) しまり強い，粘性弱い，焼土ブロック多量含む。焼土主体層。

5号竪穴建物跡土層説明

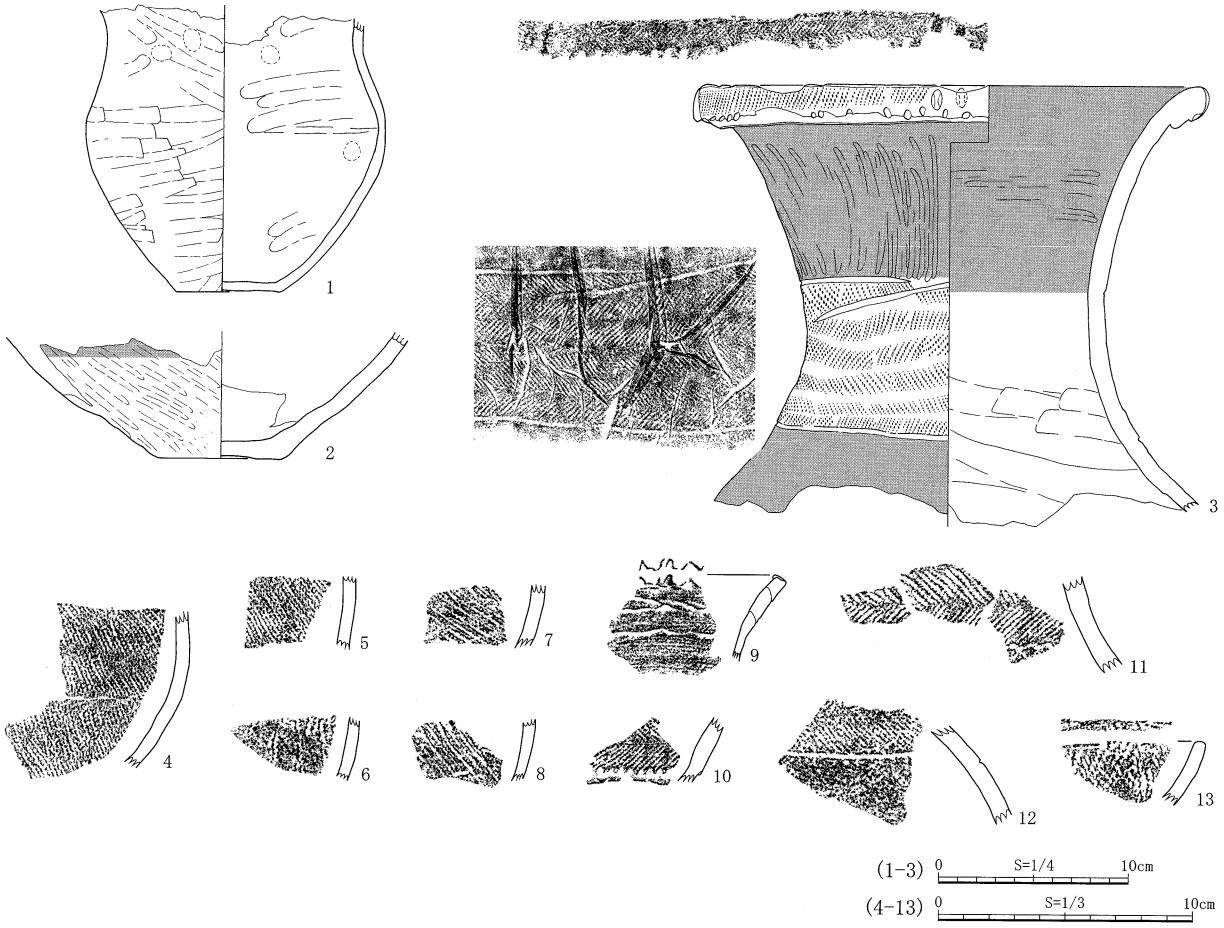
1層　黒褐色土(7.5YR3/2) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。

2層　黒褐色土(7.5YR2/2) しまりやや強い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。

3層　暗褐色土(7.5YR3/3) しまりやや強い，粘性中，ロームブロック・粒子少量含む。

4層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや強い，粘性中，ロームブロック・粒子少量含む。

第15図　5号竪穴建物跡（1）



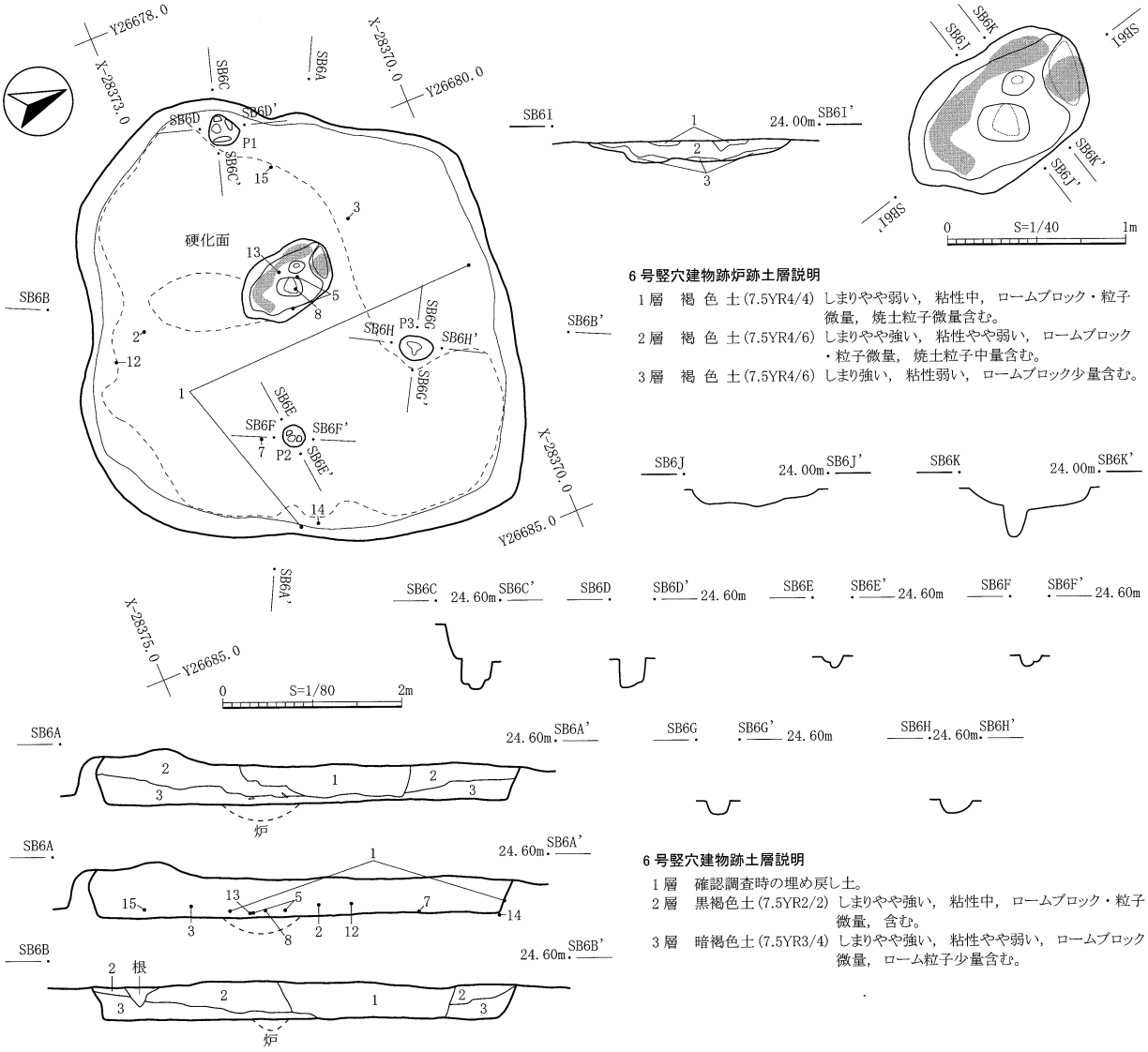
第 16 図　５号竪穴建物跡（２）

第 13 表　５号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）

土器									
遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
1	弥生後期 甕	頸部～底部 遺存 95%	底　径：5.3cm 胴部最大径：15.8cm 遺存高：14.4cm	外面：明褐色 (5YR5/6)，黒斑 内面：明褐色 (5YR5/6)	外面：工具ナデ，頸部・底部に一部指ナデ 内面：指ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：コゲ共に底部に集中	炉埋土 上層	
2	弥生後期 壺	胴部～底部 遺存 40%	底　径：6.5cm 遺存高：6.8cm	外面：橙色 (5YR6/6)，にぶい赤褐色 (5YR5/4) 内面：橙色 (5YR6/6)，にぶい赤褐色 (5YR5/4)	外面：ミガキ 内面：ナデ	シャモット，石英，黒色粒	なし	上層 下層	内面の剝落激しい
3	弥生後期 壺	口縁～肩部 遺存 100%	口　径：26.4cm 遺存高：22.5cm	外面：浅黄橙色 (10YR8/4)，赤彩，黒斑 内面：浅黄橙色 (10YR8/4)，赤彩	外面：複合口縁，ミガキ，沈線，RL，LR 内面：ナデ，ミガキ	シャモット，石英，角閃石，黒色粒	なし	床面直上	大粒の黒色粒多く含む。転用器台か。
4	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6) 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面：RL＋L・L 内面：ナデ	角閃石，白色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層	内面やや剝落あり
5	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい赤褐色 (5YR5/4) 内面：にぶい赤褐色 (5YR5/4)	外面：RL＋L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒，黒色粒	なし	上層	
6	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/4) 内面：にぶい褐色 (7.5YR 5/4)，灰褐色 (5YR4/2)	外面：RL＋L？ 内面：ナデ	石英，白色粒，黒色粒	なし	下層	
7	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR7/6)，灰褐色 (7.5YR5/2) 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：RL＋L・L 内面：ナデ	石英，白色粒，黒色粒	なし	下層	
8	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/4) 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面：RL＋L・L 内面：ナデ	石英，白色粒，黒色粒	なし	下層	
9	弥生後期 甕	口縁部 破片	－	外面：浅黄橙色 (10YR8/4)，褐灰色 (10YR4/1) 内面：橙色 (7.5YR6/6)，にぶい褐色 (7.5YR5/3)	外面：ナデ，交互押捺 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒，黒色粒	なし	床面直上	
10	弥生後期後半 壺	口縁部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR7/6) 内面：橙色 (7.5YR7/6)，赤彩	外面：LR，RL 内面：ミガキ	石英，白色粒，黒色粒	なし	下層	

第 14 表　５号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）

遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
11	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/3)	外面：LR，RL 内面：ナデ	石英，白色粒，黒色粒	なし	上層	内面やや剝落あり
12	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：灰褐色 (5YR4/2) 内面：橙色 (5YR6/6)	外面：ミガキ，RL，沈線 内面：ナデ	シャモット，石英，白色粒	なし	上層	内面やや剝落あり
13	弥生後期 浅鉢	口縁部 破片	－	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/3) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/3)	外面：ミガキ，RL＋Lか （撚りがほどけて判別難） 内面：ミガキ	白色粒，黒色粒	なし	下層	内面やや剝落あり



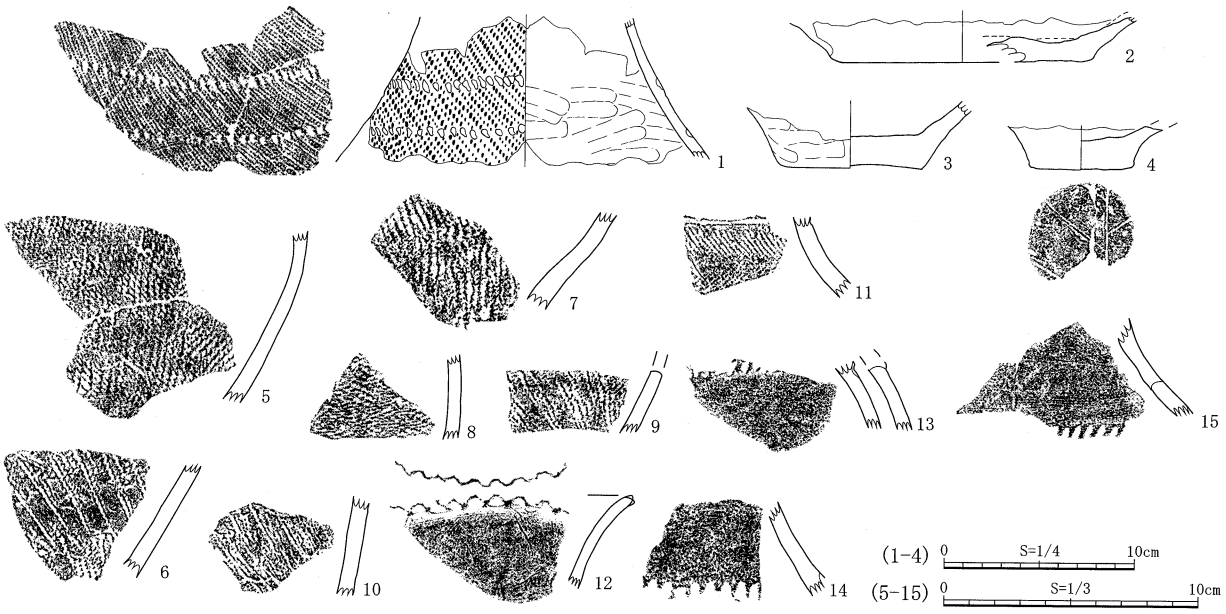
第 17 図　６号竪穴建物跡（１）

れた浅い掘り込みから竪穴壁の内側に向かって３層・４層が入り込んでいた。

出土遺物点数：弥生土器 78 点

出土遺物重量：弥生土器 3,395g

遺物出土状況：１～２層を上層，３～４層を下層として遺物を取り上げた。上層出土の遺物はやや少なく，遺物の多くは下層から床面直上にかけて出土した。３は若干傾きながらも口縁部を上にした状態で床面直上から出土した。一方，１は炉の埋土１層上端から出土し

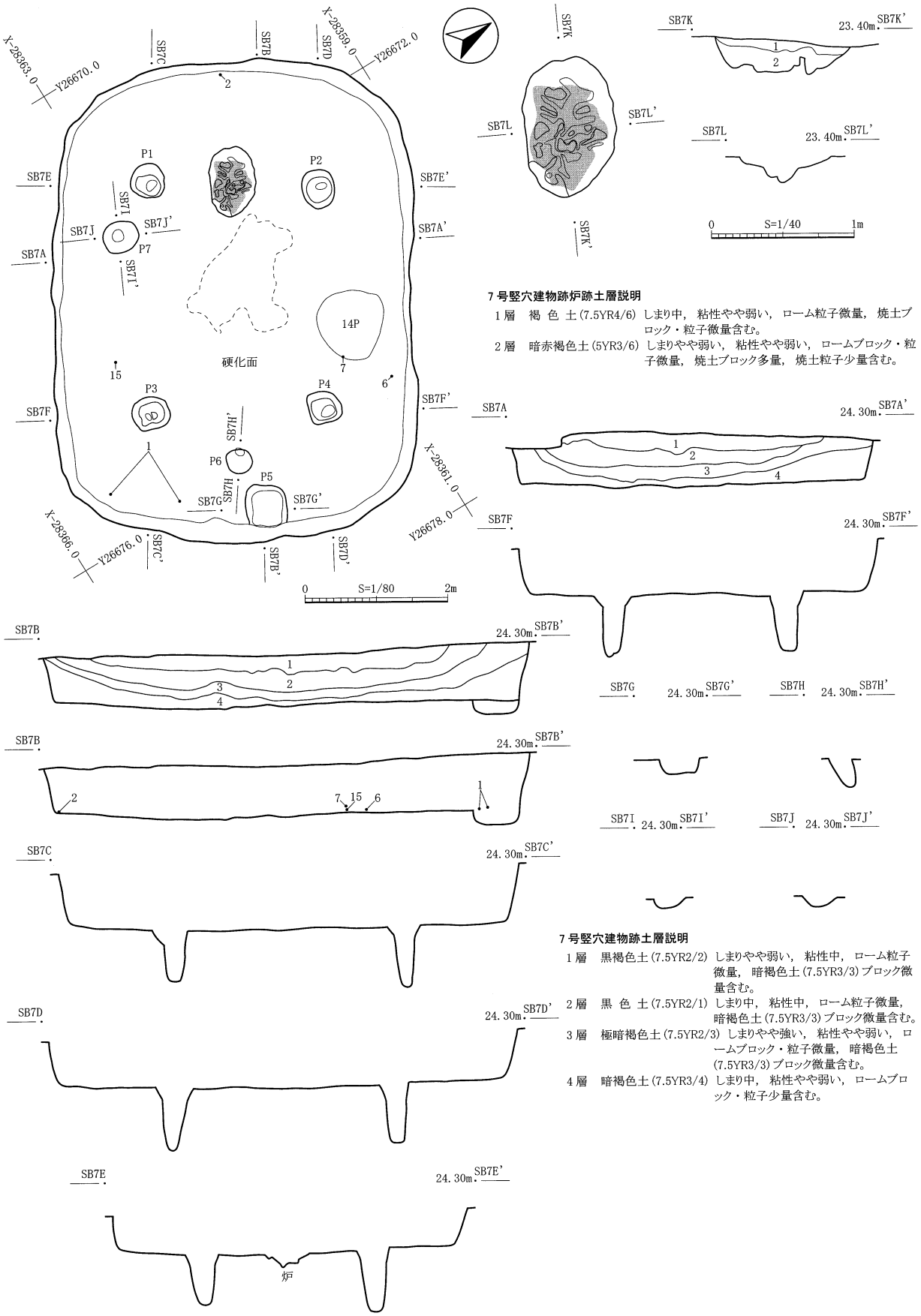


第 18 図　６号竪穴建物跡（２）

第 15 表　６号竪穴建物跡出土遺物観察表

土器									
遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
1	弥生後期 壺	頸～肩部 遺存 20%	遺存高：7.6cm	外面：橙色 (7.5YR6/6) 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面:RL ＋ L･L, キザミ（工具不明） 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒，黒色粒	なし	下層 床面直上	大粒の石英多量含む
2	弥生後期 壺	底部 遺存 25%	底　径：(13.8)cm 遺存高：2.3cm	外面：橙色 (2.5YR6/8) 内面：橙色 (5YR7/8)	外面：ナデ 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒	なし	下層	内面剝落顕著
3	弥生後期 甕	底部 遺存 70%	底　径：(7.6)cm 遺存高：3.6cm	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/3) 内面：黒褐色 (7.5YR3/1)	外面：ナデ 内面：ナデ	石英，角閃石，砂粒	外面：なし 内面：コゲ	下層	
4	弥生後期 甕	底部 遺存 100%	底　径：5.3cm 遺存高：2.2cm	外面：橙色 (5YR7/6)，黒斑 内面：褐灰色 (5YR4/1)，黒斑	外面：ナデ 内面：ナデ	石英，黒色粒	なし	下層	底部に木葉痕あり
5	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6)，にぶい赤褐色 (5YR5/4) 内面：にぶい褐色 (7.5YR6/3)	外面：ナデ，LR ？ 内面：ナデ	石英，黒色粒	外面：なし 内面：コゲ	下層	
6	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：灰褐色 (7.5YR6/2) 内面：灰褐色 (7.5YR5/2)	外面：RL ＋ L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	No. 9 と同一個体の可能性あり
7	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6) 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面：RL 内面：ナデ	石英，白色粒，黒色粒	外面：ススor 内面：なし	床面直上	
8	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/3) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/3)	外面：LR ？ 内面：ナデ	石英，白色粒，黒色粒	外面：なし 内面：コゲ	下層	
9	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/3) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/3)	外面：RL ＋ L 内面：ナデ	角閃石，白色粒，黒色粒	外面：ススor 内面：なし	下層	No. 6 と同一個体の可能性あり
10	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/3) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/3)	外面：ナデ，LR ＋ R か直前段３条か？ 内面：ナデ	石英，白色粒，黒色粒	外面：なし 内面：コゲ	下層	
11	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6) 内面：灰黄褐色 (10YR5/2)	外面：LR・RL，沈線 内面：ナデ	シャモット，角閃石，白色粒	なし	下層	
12	弥生後期 甕	口縁～頸部 破片	－	外面：褐灰色 (7.5YR4/1) 内面：灰褐色 (5YR4/2)	外面：ナデ，交互押捺 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒，黒色粒	外面：ススor 内面：なし	下層	
13	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：明褐色 (7.5YR5/6) 内面：明褐色 (7.5YR5/6)	外面：ナデ，キザミ 内面：ナデ	石英，白色粒，黒色粒	なし	下層	
14	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：褐灰色 (10YR5/1) 内面：にぶい赤褐色 (5YR4/4)	外面：ナデ，キザミ 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒	外面：ススor 内面：なし	下層	
15	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：明赤褐色 (5YR5/6) 内面：橙色 (5YR6/6)	外面：ナデ，キザミ 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒，黒色粒，砂粒	なし	下層	

た。１は底面が斜め上方向を向き，さらには肩部あたりがちょうど炉の埋土１層上端に接するように出土したことから，底面を斜め上方向に向けつつ横にした状態で置かれ，その後土圧によって潰れたものと考えられる。



7号竪穴建物跡炉跡土層説明

1層　褐 色 土(7.5YR4/6) しまり中，粘性やや弱い，ローム粒子微量，焼土ブロック・粒子微量含む。

2層　暗赤褐色土(5YR3/6) しまりやや弱い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量，焼土ブロック多量，焼土粒子少量含む。

7号竪穴建物跡土層説明

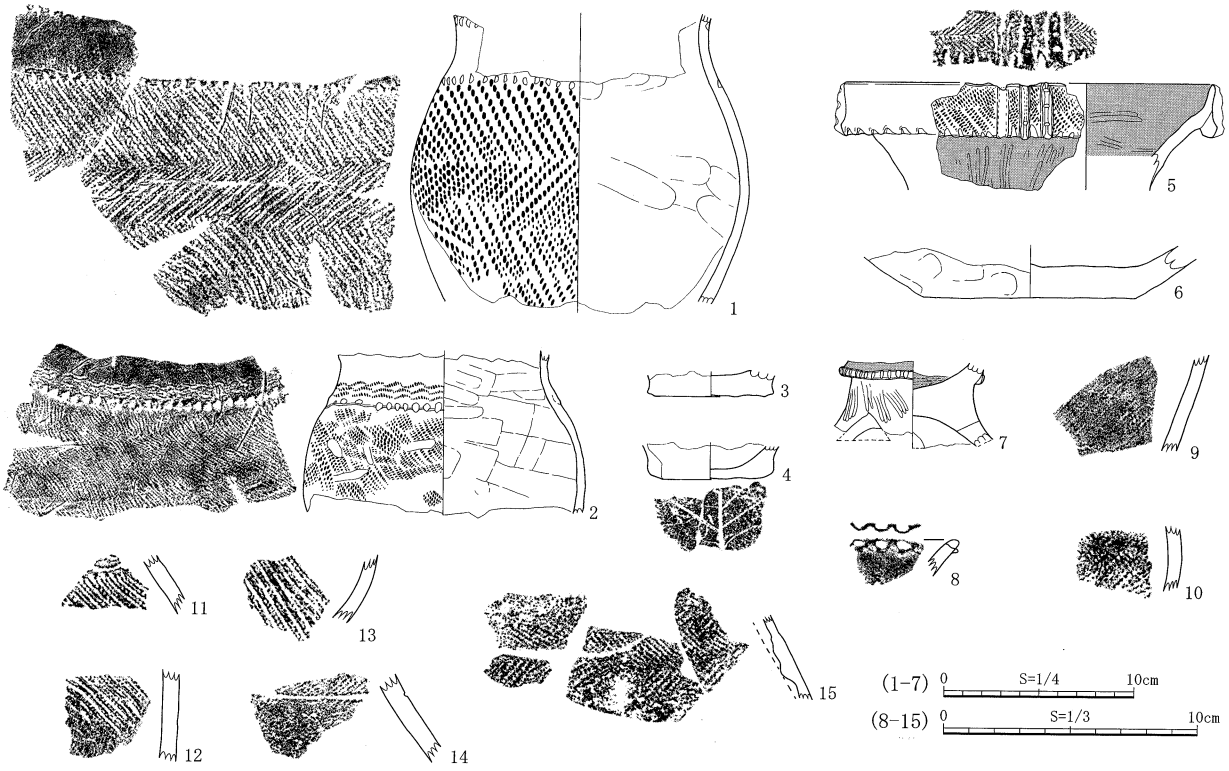
1層　黒褐色土(7.5YR2/2) しまりやや弱い，粘性中，ローム粒子微量，暗褐色土(7.5YR3/3)ブロック微量含む。

2層　黒 色 土(7.5YR2/1) しまり中，粘性中，ローム粒子微量，暗褐色土(7.5YR3/3)ブロック微量含む。

3層　極暗褐色土(7.5YR2/3) しまりやや強い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量，暗褐色土(7.5YR3/3)ブロック微量含む。

4層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子少量含む。

第19図　7号竪穴建物跡（1）



第 20 図　7 号竪穴建物跡（2）

第 16 表　7 号竪穴建物跡出土遺物観察表（1）

土器									
遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
1	弥生後期 甕	頸部～胴部 遺存 20%	胴部最大径：(17.8)cm 遺存高：15.3cm	外面：橙色 (7.5YR6/6)，にぶい褐色 (7.5YR5/4) 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面：ナデ，キザミ，RL+L・L，LR+R・R 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒，黒色粒	外面：スス 内面：なし	上層 下層 床面直上	大粒の石英多量含む
2	弥生後期 甕	頸部～胴部 遺存 25%	胴部最大径：(15.0)cm 遺存高：8.4cm	外面：黄橙色 (7.5YR7/8)，黒斑 内面：黄橙色 (7.5YR7/8)	外面：ナデ，縄文によるキザミ，直前段 3 条 RL 内面：ヘラナデ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，赤色粒、黒色粒	なし	床面直上	内面剝落あり
3	弥生後期 壺	底部 遺存 20%	底　径：(6.6)cm 遺存高：1.3cm	外面：橙色 (5YR6/6) 内面：明赤褐色 (5YR5/6)	外面：ナデ 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒，黒色粒	なし	上層 下層 床面直上	
4	弥生後期 甕	底部 遺存 20%	底　径：(6.6)cm 遺存高：1.8cm	外面：にぶい赤褐色 (5YR5/4) 内面：コゲ付着により不明	外面：ナデ 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒，黒色粒	外面：なし 内面：コゲ	上層 下層	底部木葉痕あり
5	弥生後期 壺	口縁部 遺存 15%	口　径：(19.3)cm 遺存高：5.7cm	外面：橙色 (7.5YR6/6)，赤彩 内面：橙色 (7.5YR6/6)，赤彩	外面：キザミ，ミガキ，棒状浮文，LR・RL 内面：ミガキ	角閃石，石英，長石，黒色粒	なし	床面直上	
6	弥生後期 壺	底部 遺存 45%	底　径：(11.2)cm 遺存高：2.8cm	外面：橙色 (7.5YR7/6) 内面：浅黄橙色 (7.5YR8/6)	外面：ナデ 内面：剝落により不明	シャモット，石英，角閃石，長石	なし	下層	内面剝落顕著
7	弥生後期 高坏	坏部底面～脚部上部 遺存 100%	遺存高：4.5cm	外面：灰褐色 (7.5YR5/2) 内面 坏部：橙色 (7.5YR7/6)，赤彩 脚部：にぶい橙色 (7.5YR 6/4)	外面：キザミ，ミガキ，隆帯 内面：ミガキ，ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
8	弥生後期 甕	口縁部 破片	－	外面：黒褐色 (7.5YR3/1) 内面：灰褐色 (7.5YR5/2)	外面：ナデ，押捺 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	床面直上	
9	弥生後期 甕？	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR7/6)，にぶい褐色 (7.5YR5/3) 内面：橙色 (7.5YR7/6)，にぶい褐色 (7.5YR5/3)	外面：ナデ，LR+R，S 字状結節文 内面：ナデ	角閃石，白色粒，黒色粒	なし	上層	
10	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：明赤褐色 (5YR5/6) 内面：灰褐色 (5YR4/2)	外面：LR？ 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒	なし	上層	
11	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：灰褐色 (5YR4/2) 内面：灰褐色 (5YR4/2)	外面：RL＋L・L，S 字状結節文 内面：ナデ	石英，白色粒，黒色粒	なし	下層	
12	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (5YR6/6) 内面：橙色 (5YR6/6)	外面：ナデ，RL+L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，白色粒，黒色粒	外面：スス 内面：なし	上層	

第17表　７号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）

遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
13	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：黒褐色(7.5YR3/1) 内面：黒褐色(7.5YR3/1)	外面：RL＋L・L 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
14	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：橙色(5YR6/6) 内面：橙色(5YR6/6)，褐灰色(10YR4/1)	外面：ナデ，LR，沈線 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，白色粒，黒色粒	なし	床面直上	
15	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：にぶい黄橙色(10YR6/4)，黒斑 外面：浅黄橙色(7.5YR8/4)	外面：LR，RL，S字状結節文 内面：剥落で不明	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	床面直上	外面摩耗ひどく，内面剥落顕著により調整不明

遺物：２・３・12の壺にはシャモットが含まれている。３は転用器台の可能性があるが，転用器台にしばしば見られる断面の研磨痕は見られない。１の内面底部にはコゲが見られ，炊飯に使われた可能性がある。

６号竪穴建物跡

時期：弥生時代後期　**検出面**：基本層序３層　**平面形態**：不整胴張隅丸方形

規模：長軸長4.75m　短軸長4.7m　深さ0.63m

構造：炉が１基，そして掘り込みはやや浅いが，柱穴と考えられるＰ１が検出された。Ｐ２とＰ３は掘り込みがかなり浅く，本遺構に伴うものかどうかも含めてその性格は不明である。炉には被熱面が見られたが，炉の埋土からは焼土ブロックは検出されず，２層から焼土粒子が中量検出された。床面は一部を除いて硬化していた。

埋土堆積状況：いわゆるレンズ状堆積を呈していた。１層は確認調査時に掘削したトレンチの埋め戻し土である。

出土遺物点数：弥生土器45点

出土遺物重量：弥生土器834g

遺物出土状況：２層を上層とし，３層を下層として遺物を取り上げた。上層から出土した遺物は少なく，遺物の多くは下層から床面直上にかけて出土した。総じて遺物の出土量は少なかった。

遺物：１の土器の胎土には大粒の石英が多量に含まれており，他の土器とは胎土期の特徴上一線を画す。６・９は同一個体の可能性がある。11の胎土にはシャモットが含まれている。

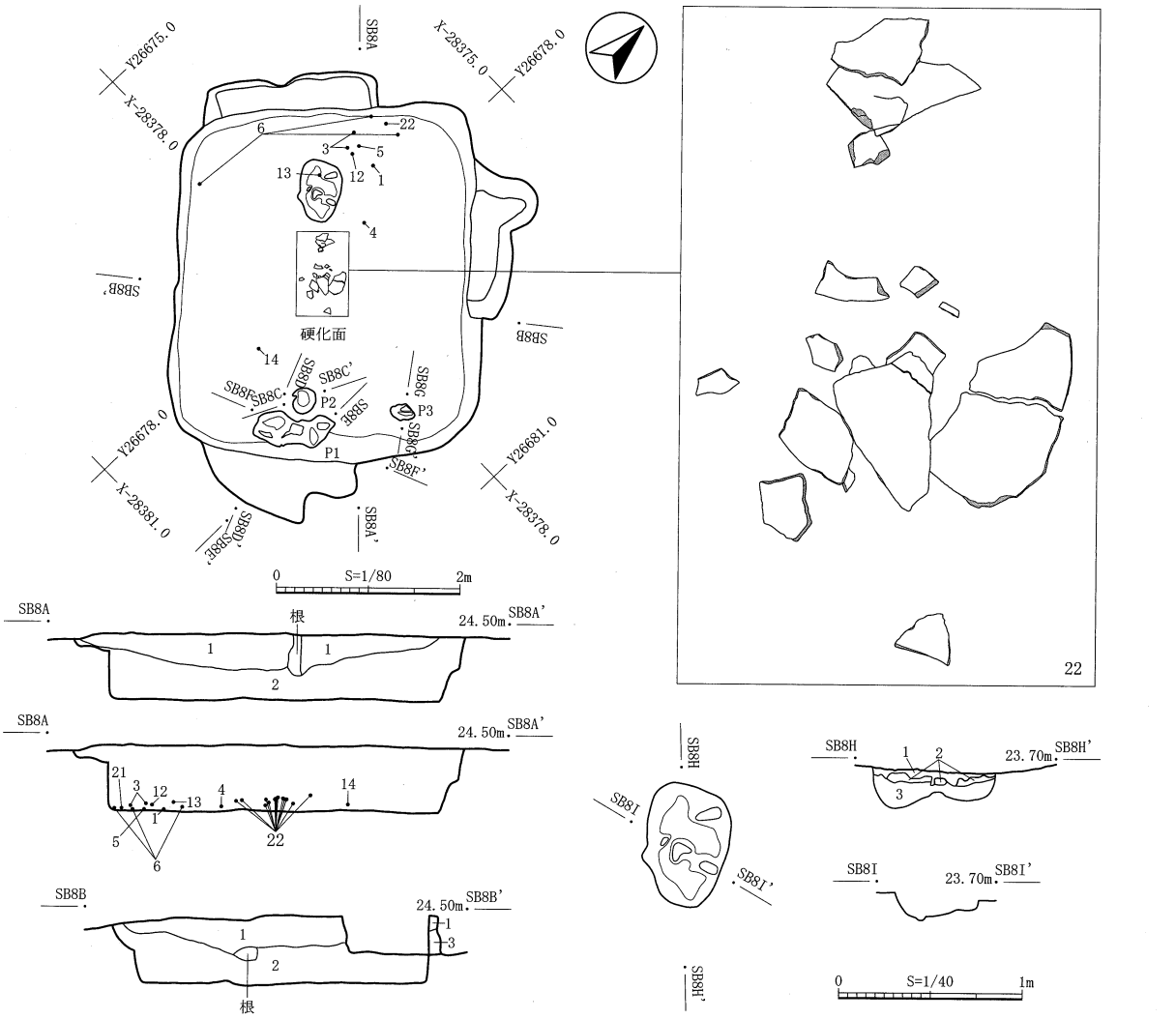
７号竪穴建物跡

時期：弥生時代後期　**検出面**：基本層序３層　**平面形態**：胴張隅丸長方形

新旧関係：７号竪穴建物跡＜14Ｐ

規模：長軸長6.77m短軸長5.02m　深さ0.80m

構造：炉が１基，そして柱穴と考えられるＰ１～Ｐ４が検出された。Ｐ５はその位置から貯蔵穴と考えられる。Ｐ６は壁から炉に向かって斜め方向に掘りこまれていることから入口施設に関わるピットと考えられる。Ｐ７は掘り込みが浅く，その性格は不明である。本遺構の中央の一部を除き，床面は強く硬化していた。炉には被熱面が見られ，炉の２層から

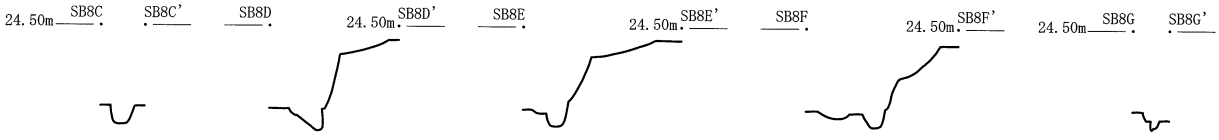


8号竪穴建物跡土層説明

1層　黒 色 土(7.5YR2/1) しまりやや強い，粘性やや弱い，ローム粒子微量，極暗褐色土ブロック微量含む。
2層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり中，粘性弱い，ロームブロック・粒子微量，焼土ブロック微量含む。
3層　褐 色 土(7.5YR4/4) 基本層序4層。

8号竪穴建物跡炉跡土層説明

1層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり中，粘性中，ロームブロック・粒子微量，焼土ブロック・粒子微量含む。
2層　暗赤褐色土(5YR3/6) しまり強い，粘性やや弱い，焼土ブロック多量，焼土粒子微量含む。
3層　褐 色 土(7.5YR4/6) しまり強い，粘性中。



第21図　8号竪穴建物跡（1）

は焼土ブロックが多量に検出された。

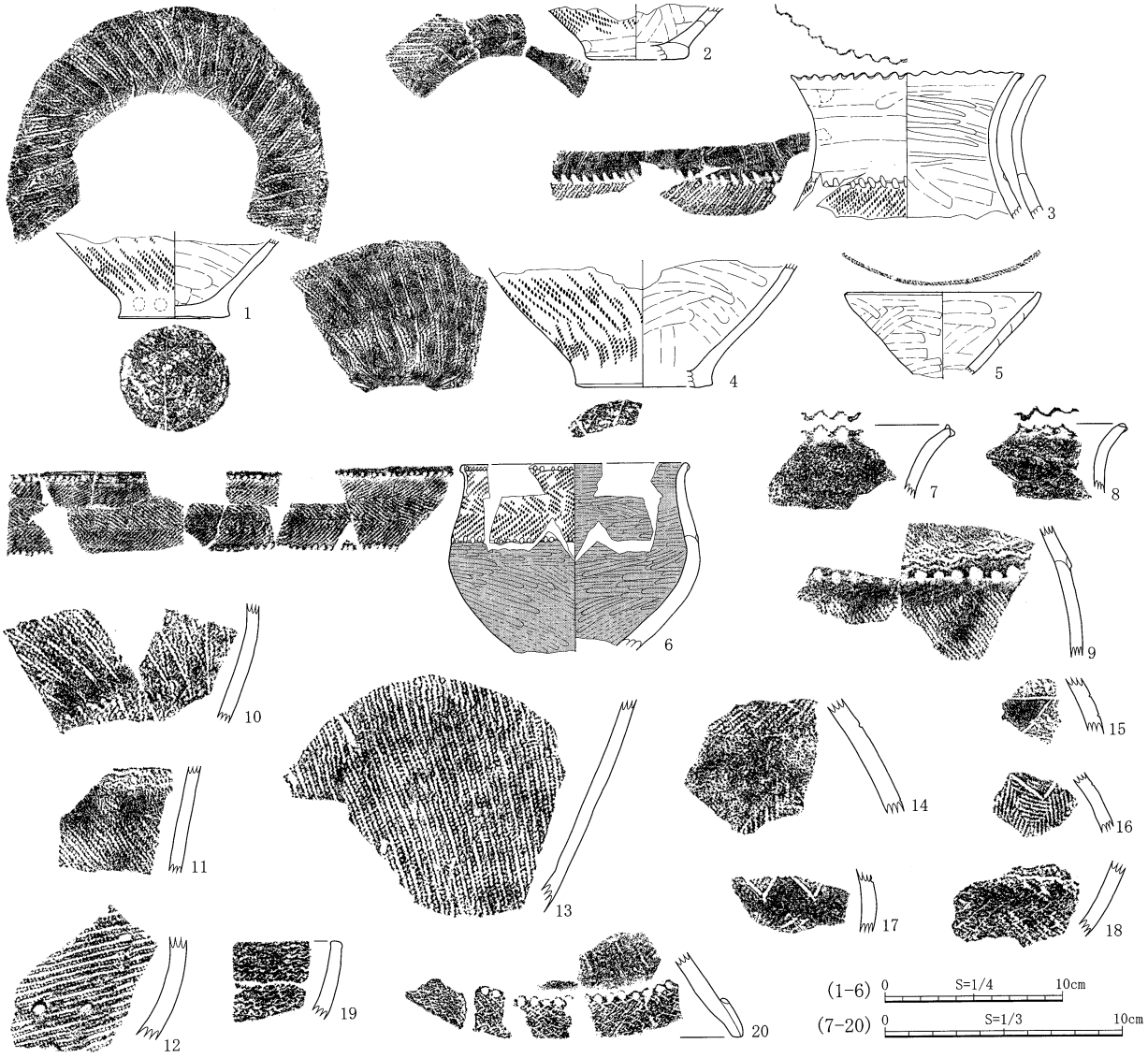
埋土堆積状況：いわゆるレンズ状堆積を呈していた。

出土遺物点数：弥生土器60点

出土遺物重量：弥生土器1,251g

遺物出土状況：1～2層を上層，3～4層を下層として遺物を取り上げた。遺物は上層から床面直上にかけて出土した。

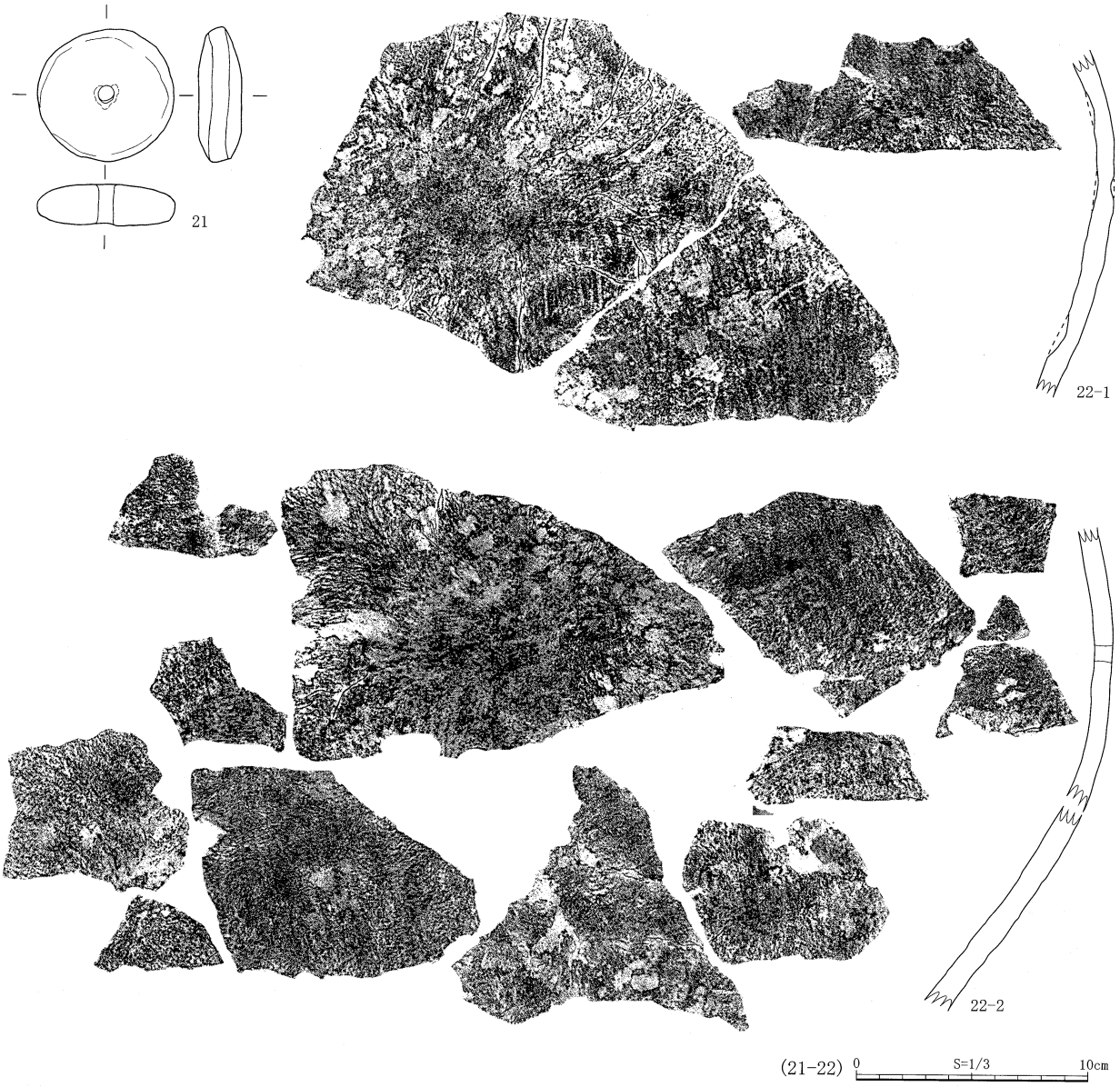
遺物：1の胎土には大粒の石英が多量に含まれている。2の胎土には海綿骨針が含まれてい



第 22 図　８号竪穴建物跡（２）

第 18 表　８号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）

土器・土製品									
遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
1	弥生後期 甕	胴～底部 遺存 100%	底　径：8.3cm 遺存高：4.4cm	外面：明黄褐色 (10YR7/6)， 橙色 (7.5YR6/6)，黒斑 内面：橙色 (7.5YR7/6)，黒斑	外面：RL ＋ L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：スス 内面：なし	床面直上	底部木葉痕あり
2	弥生後期 甕	底部 遺存 20%	底　径：(5.3)cm 遺存高：3.1cm	外面：にぶい赤褐色 (5YR5/4) 内面：にぶい黄橙色 (10YR 6/4)	外面：ナデ，RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，長石，黒色粒	外面：スス 内面：コゲ	下層	
3	弥生後期 甕	口縁～胴部 遺存 40%	口　径：(12.6)cm 遺存高：8.2cm	外面：にぶい橙色 (7.5YR7/4) 内面：にぶい橙色 (7.5YR7/4)	外面：ナデ，縄文によるキザミ，LR ＋ R・R 内面：ヘラナデ，ミガキ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：スス 内面：なし	下層	
4	弥生後期 甕	胴～底部 遺存 20%	底　径：(7.7)cm 遺存高：6.7cm	外面：にぶい橙色 (7.5YR 6/4)，黒斑 内面：にぶい橙色 (7.5YR 6/4)，黒斑	外面：RL ＋ L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
5	弥生後期 浅鉢	口縁～胴部 遺存 25%	口　径：(10.6)cm 遺存高：4.6cm	外面：橙色 (7.5YR7/6)，橙色 (7.5YR6/6) 内面：橙色 (7.5YR6/6)，黒斑	外面：ヘラナデ，RL 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	床面直上	
6	弥生後期 広口壺	口縁～胴部 遺存 30%	口　径：(12.4)cm 胴部最大径：(14.2)cm 遺存高：10.6cm	外面：橙色 (5YR6/8)，赤彩，黒斑 内面：橙色 (7.5YR6/8)，赤彩，黒斑	外面：キザミ，ミガキ，LR+R・L 内面：ミガキ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層 床面直上	
7	弥生後期 甕	口縁部 破片	－	外面：にぶい黄褐 (10YR5/4) 内面：橙色 (7.5YR6/6)，黒斑	外面：ナデ，交互押捺 内面：ヘラナデ	石英，長石，黒色粒	外面：スス 内面：なし	下層	



第 23 図　８号竪穴建物跡（２）

第 19 表　８号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）

遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
8	弥生後期 甕	口縁部 破片	－	外面：にぶい赤褐色 (5YR5/4) 内面：にぶい赤褐色 (5YR5/4), にぶい赤褐色 (5YR5/3)	外面：ナデ，交互押捺 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
9	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：黄橙色 (7.5YR7/8) 内面：橙色 (7.5YR7/6)，にぶい橙色 (7.5YR7/4)	外面：一段輪積み，S 字状結節文，RL ＋ L・L，キザミ 内面：ヘラナデ	石英，長石，黒色粒	なし	埋土	
10	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：明黄褐色 (10YR6/6) 内面：明黄褐色 (10YR6/6)	外面：RL ＋ L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススか 内面：コゲ	上層	
11	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (2.5YR6/8) 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面：ナデ，RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
12	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR7/6) 内面：にぶい黄橙色 (10YR 5/4)，黒褐色 (10YR3/1)	外面：RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	外面に指で押さえた痕あり
13	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい黄橙色 (10YR 6/4) 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：RL ＋ L・L 内面：剝落ひどく不明	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススか 内面：なし	下層	内面剝落ひどく調整不明 大粒の石英多量含む

第 20 表　８号竪穴建物跡出土遺物観察表（３）

遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
14	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：橙色（7.5YR6/6），黒斑 内面：橙色（2.5YR6/8）	外面：LR，RL，沈線 内面：ヘラナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	外面磨耗顕著で調整不明
15	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：橙色（7.5YR7/6），赤彩 内面：橙色（7.5YR7/6）	外面：S 字状結節文，沈線 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
16	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：橙色（7.5YR7/6），赤彩 内面：橙色（7.5YR7/6）	外面：LR，RL，沈線 内面：ヘラナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	外面調整不明 内面少々剝落
17	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：明褐色（7.5YR5/6），赤彩 内面：：明褐色（7.5YR5/6）	外面：ナデ，LR，沈線 内面：ナデ	シャモット，石英，長石，黒色粒	なし	上層	
18	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：橙色（5YR6/6） 内面：にぶい赤褐色（5YR5/4）	外面：附加条３種（LR＋０段の条），S 字状結節文 内面：ミガキ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	埋土	
19	弥生後期 浅鉢	口縁部 破片	－	外面：橙色（5YR7/8），にぶい赤褐色（5YR5/4） 内面：灰褐色（5YR4/2），にぶい赤褐色（5YR5/4）	外面：S 字状結節文 内面：ミガキ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	
20	弥生後期 高坏	脚部 破片	－	外面：明黄褐色（10YR7/6），にぶい黄橙色（10YR6/4），赤彩，黒斑 内面：にぶい黄褐色（10YR 5/4），にぶい黄褐色（10YR 5/3），黒斑	外面：ナデ，キザミ，複合脚，附加条３種（軸不明＋L） 内面：ナデ	シャモット，石英，長石，黒色粒	なし	下層	
21	弥生後期 紡錘車	遺存 100%	直　径：5.9cm 厚　さ：1.8cm	明赤褐色（5YR5/6），灰褐色（7.5YR5/2）	内外面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	床面直上	
22	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：橙色（7.5YR7/6） 内面：にぶい黄橙色（10YR 7/4）	外面：ミガキ 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒，赤色粒	なし	下層	外面摩耗・剥落著しく，内面剝落著しい

る。６・14・15 の胎土にはシャモットが含まれている。15 は壺の肩部で外面が摩耗しており，内面も剥落が著しい。

８号竪穴建物跡

時期：弥生時代後期　**検出面**：基本層序３層　**平面形態**：隅丸長方形

規模：長軸長 3.87m(4.90m)，短軸長 3.20m(3.91m)，深さ 0.54m(0.74m)

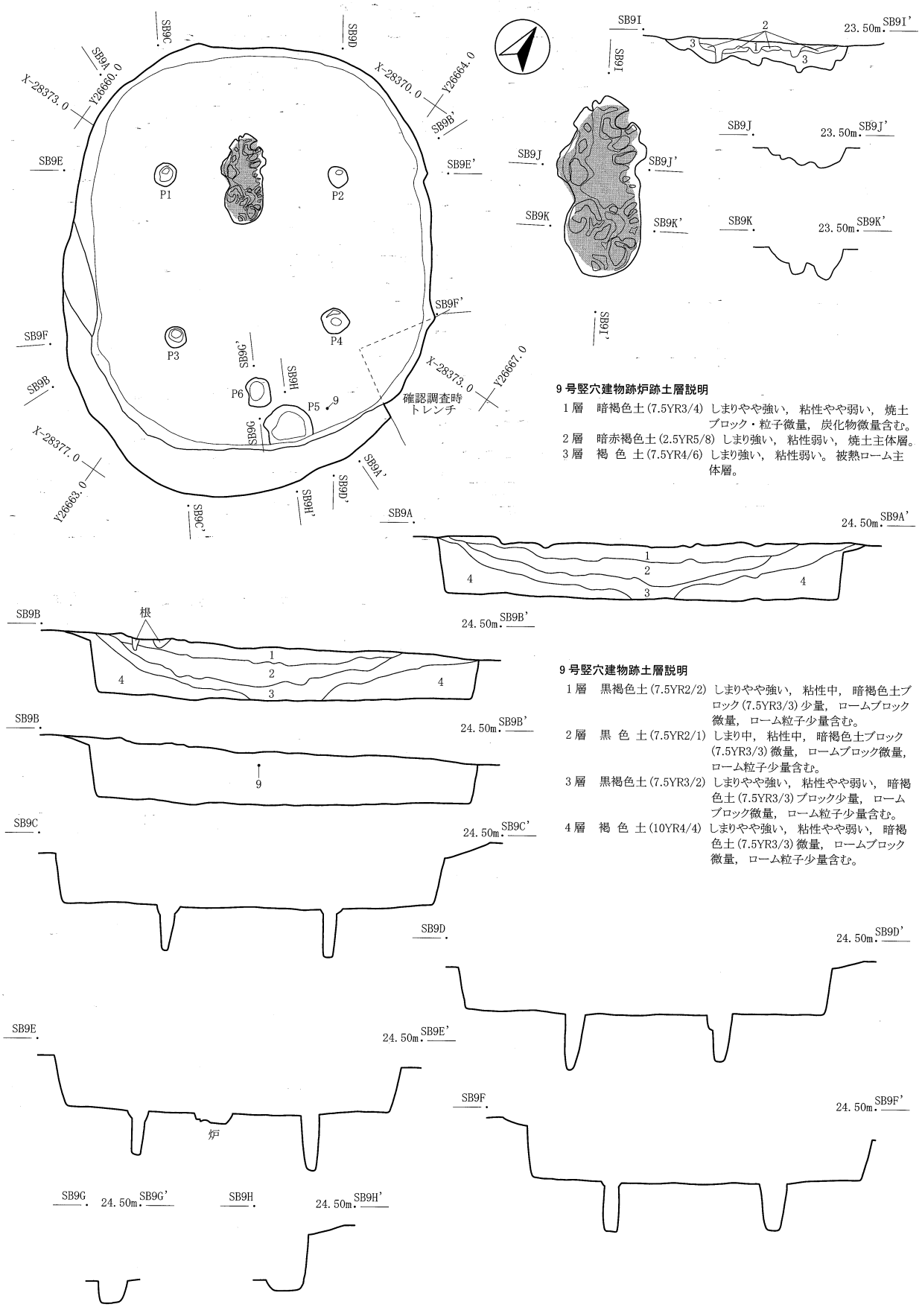
構造：床面は全面が強く硬化していた。炉は１基検出された。炉の埋土では焼土ブロックが多量に確認されたが，被熱面は検出されなかった。ピットは３基検出され，Ｐ１は位置や深さから貯蔵穴と考えられる。また，Ｐ２はその位置から入口施設に関わるピットと考えられる。一方，Ｐ３は本遺構に伴うものかどうか確証はなく，直径は狭く，掘り込みも浅い。なお，柱穴と考えられるピットは検出されなかった。本遺構の北東側，南東側，そして北西側からは竪穴壁上端部の外側に浅い掘り込みが確認され，その断面の特徴としては緩やかに傾斜するものと半Ｕ字状を呈したものが認められた。

埋土堆積状況：いわゆるレンズ状堆積で，本遺構の北東側，南東側，そして北西側で確認された浅い掘り込みから竪穴壁の内側に向かって１層が入り込んでいた状況が見られた。

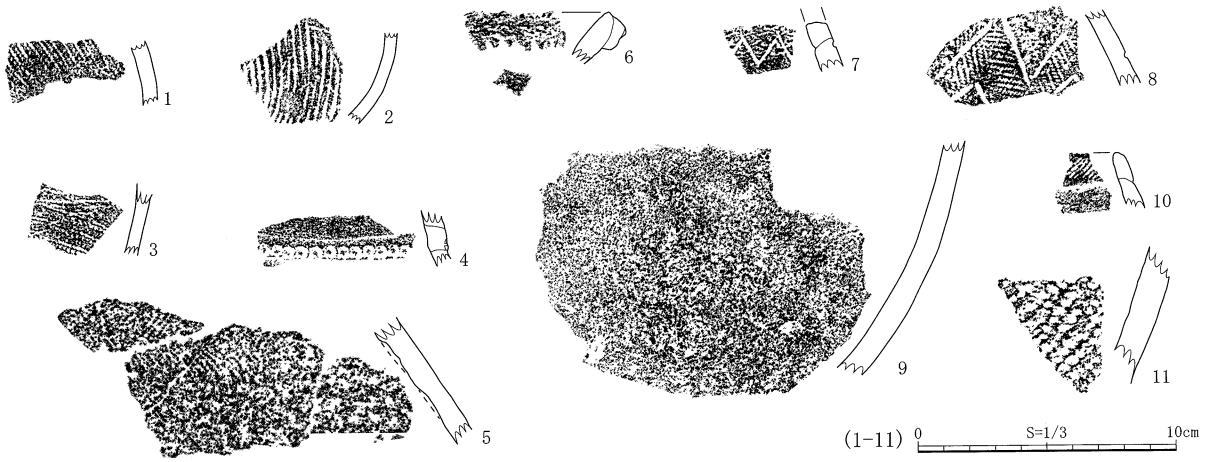
出土遺物点数：弥生土器 31 点

出土遺物重量：弥生土器 3,780g，弥生時代土製品 44g

遺物出土状況：１層を上層，２層を下層として遺物を取り上げた。上層出土の遺物は少なく，下層から床面直上にかけて多くの遺物が出土した。壺の胴部片である 22 は各破片が散らばるように下層から出土し，さらにはそれらの破片の多くが接合しなかった。このことから，本来は大形壺だった 22 の胴部片の一部がバラバラな状態で本遺構に投げ捨てられた



第 24 図　９号竪穴建物跡（１）



第 25 図　９号竪穴建物跡（２）

第 21 表　９号竪穴建物跡出土遺物観察表

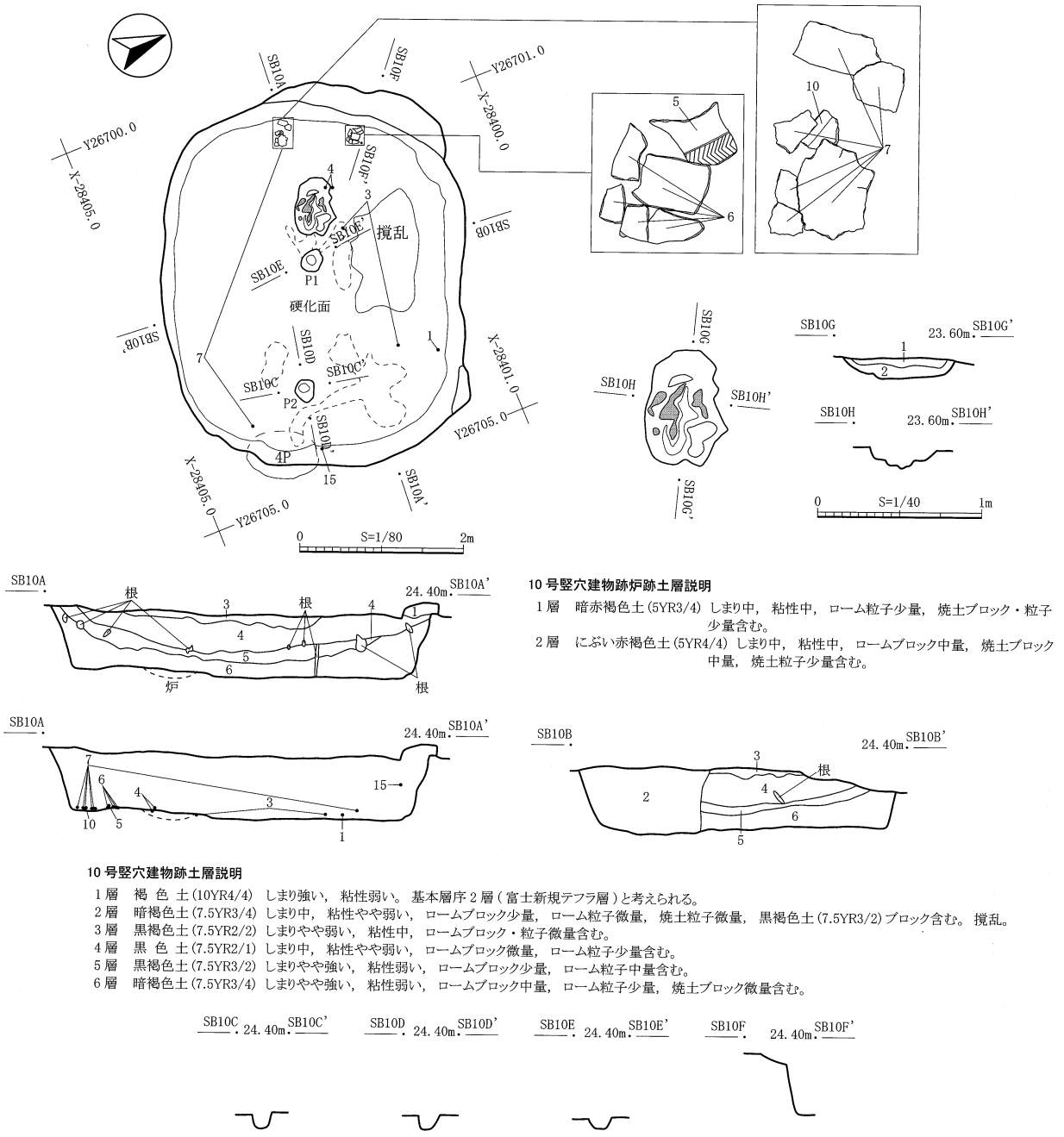
土器									
遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
1	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：黒褐色（7.5YR3/1） 内面：にぶい黄橙色（10YR 6/4）	外面：RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススの付着 内面：コゲの付着	埋土一括	
2	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい黄橙色（10YR 6/4），黒斑 内面：にぶい黄橙色（10YR 6/4），黒斑	外面：RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	
3	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色（7.5YR7/6），黒斑 内面：橙色（7.5YR7/6）	外面：RL ＋ L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
4	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：黒褐色（7.5YR3/1） 内面：黒褐色（7.5YR3/1）	外面：ナデ，刺突 内面：ナデ	海綿骨針，石英，長石	なし	下層	
5	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：にぶい黄橙色（10YR 6/3），にぶい黄橙色（10YR 7/4） 内面：浅黄橙色（10YR8/4）	外面：LR，RL，S 字状結節文 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	外面の磨耗，内面の剝落著しい
6	弥生後期 壺	口縁部 破片	－	外面：橙色（7.5YR6/6），黒斑 内面：赤彩	外面：複合口縁，ナデ，S 字状結節文 内面：ミガキ	海綿骨針，石英，長石	なし	上層	
7	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：灰褐色（7.5YR6/2） 内面：灰褐色（7.5YR6/2）	外面：S 字状結節文，沈線 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	内面やや剝落
8	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：橙色；（7.5YR7/6） 内面：にぶい橙色（7.5YR7/4）	外面：ミガキ，LR，沈線 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	埋土一括	外面一部剝落，内面剝落顕著
9	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：明黄褐色（10YR7/6） 内面：明黄褐色（10YR7/6）	外面：磨耗により不明 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層 下層	外面の磨耗著しい
10	弥生後期 浅鉢ないし無頸壺	口縁部 破片	－	外面：橙色（7.5YR7/6） 内面：にぶい褐色（7.5YR5/4）	外面：ナデ，LR 内面：ナデ	石英，長石，黒色粒	なし	上層	
11	縄文中期 深鉢	胴部 破片	－	外面：橙色（7.5YR7/6），黒斑 内面：褐灰色（7.5YR4/1）	外面：RL 内面：ナデ	石英，長石	なし	下層	

ものと考えられる。１・５・21 は床面直上から出土し，６は下層から床面直上にかけて出土した。

遺物：13 は大粒の石英を多量が胎土に含まれており，器種は甕と思われる。16・17・18 は胎土にシャモットが含まれた壺，20 は胎土にシャモットが含まれた高坏である。22 は大形壺で外面は摩耗と剝落，内面は剝落が著しい。

９号竪穴建物

時期：弥生時代後期　**検出面**：基本層序３層　**平面形態**：胴張隅丸長方形



10号竪穴建物跡炉跡土層説明

1層　暗赤褐色土(5YR3/4) しまり中，粘性中，ローム粒子少量，焼土ブロック・粒子少量含む。
2層　にぶい赤褐色土(5YR4/4) しまり中，粘性中，ロームブロック中量，焼土ブロック中量，焼土粒子少量含む。

10号竪穴建物跡土層説明

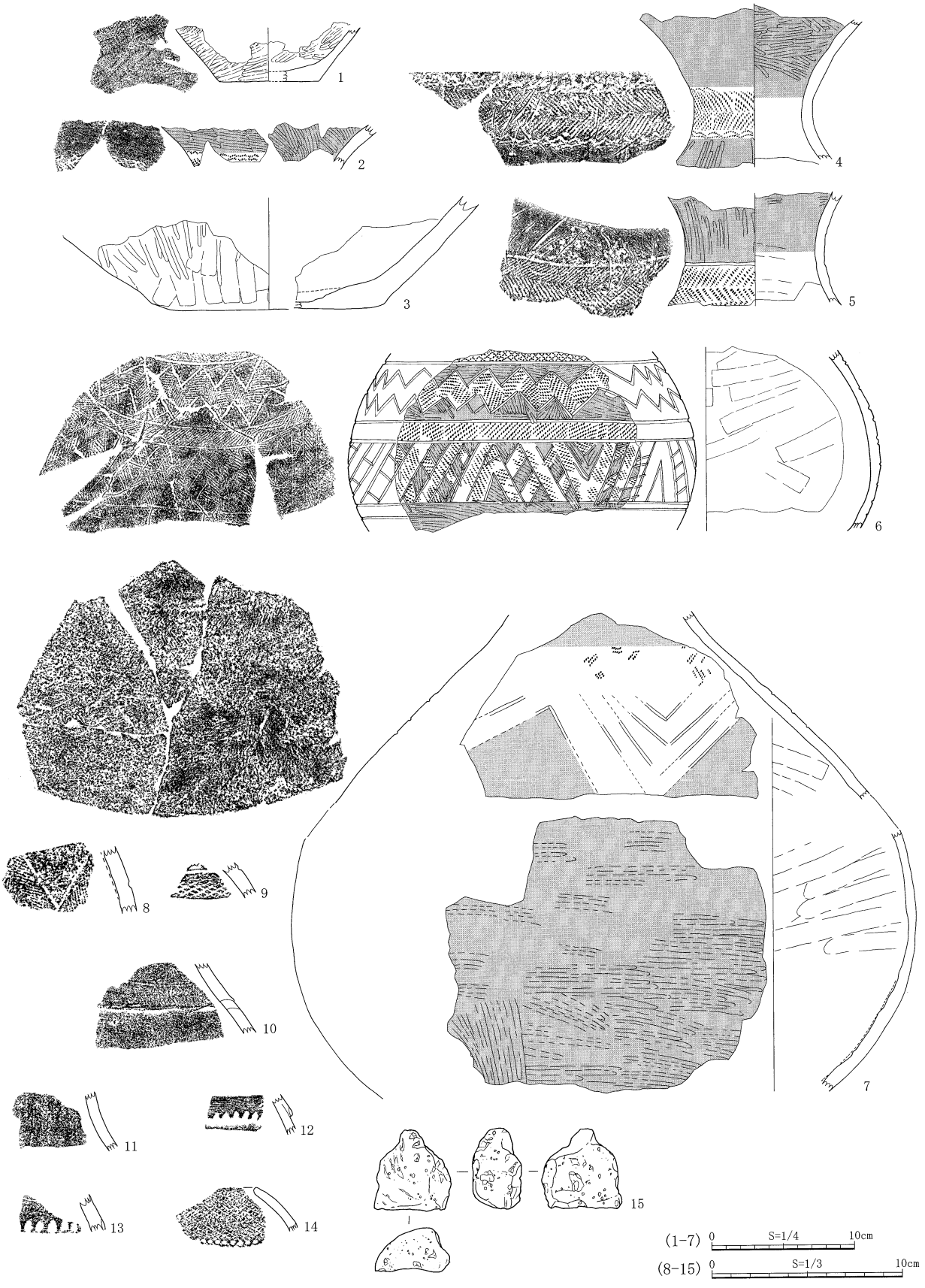
1層　褐 色 土(10YR4/4) しまり強い，粘性弱い。基本層序2層(富士新規テフラ層)と考えられる。
2層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック少量，ローム粒子微量，焼土粒子微量，黒褐色土(7.5YR3/2)ブロック含む。撹乱。
3層　黒褐色土(7.5YR2/2) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
4層　黒 色 土(7.5YR2/1) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック微量，ローム粒子少量含む。
5層　黒褐色土(7.5YR3/2) しまりやや強い，粘性弱い，ロームブロック少量，ローム粒子中量含む。
6層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや強い，粘性弱い，ロームブロック中量，ローム粒子少量，焼土ブロック微量含む。

第26図　10号竪穴建物跡（1）

規模：長軸長5.69m(6.34m)　短軸長4.92m(5.20m)　深さ0.83m(0.97m)

構造：炉は1基，ピットは6基検出された。P1～P4は柱穴，P5はその位置と深さから貯蔵穴，P6はその位置から出入口の施設に関わるピットと考えられる。炉の底面には被熱面が見られ，炉の2層は焼土主体層だった。本遺構の南東側から南西側にかけて竪穴壁上端部から外方に向かって浅い掘り込みが確認され，その底面は緩やかに傾斜していた。床面は全面が強く硬化していた。

埋土堆積状況：いわゆるレンズ状堆積を呈していた。4層は竪穴壁外側の浅い掘り込みから竪穴壁内側に向かって入り込んでいた。



第 27 図　10 号竪穴建物跡（２）

第 22 表　10 号竪穴建物跡出土遺物観察表

土器

遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
1	弥生後期 甕	底部 遺存 35%	底　径：(7.0)cm 遺存高：3.2cm	外面：黒褐色 (10YR3/2) 内面：黒褐色 (10YR4/3)	外面：LR+R・R，ミガキ 内面：ミガキ	石英，角閃石，長石，赤色粒，黒色粒	外面：ススあり 内面：コゲあり	下層	
2	弥生後期 壺	頸部 遺存 20%	遺存高：3.2cm	外面：橙色 (7.5YR6/6)，赤彩 内面：橙色 (7.5YR6/6)，赤彩	外面：ミガキ，RL，S 字状結節文 内面：ミガキ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
3	弥生後期 壺	底部 遺存 70%	底　径：(16.0)cm 遺存高：7.8cm	外面：橙色 (7.5YR7/6) 内面：淡黄色 (7.5YR8/4)	外面：ヘラナデ，ミガキ 内面：不明	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層 床面直上	内面剝落顕著
4	弥生後期 壺	頸部 遺存 40%	遺存高：11.6cm	外面：黄褐色 (10YR5/6)，赤彩 内面：明黄褐色 (10YR7/6)，赤彩	外面：ミガキ，LR，RL，S 字状結節文 内面：ナデ，ミガキ	シャモット，角閃石，石英，長石，黒色粒	なし	床面直上	
5	弥生後期 壺	頸部 遺存 40%	遺存高：7.7cm	外面：橙色 (7.5YR6/6)，赤彩 内面：橙色 (7.5YR6/6)，赤彩	外面：ミガキ，RL，LR，沈線 内面：ナデ，ミガキ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	床面直上	内外面剝落顕著 赤彩は内外面に断片的に残る
6	弥生後期 壺	胴部 遺存 20%	胴部最大径：(24.3)cm 遺存高：12.8cm	外面：橙色 (7.5YR7/6)，赤彩，黒斑 内面：明赤褐色 (2.5YR5/6)	外面：ミガキ，LR，RL，沈線，附加条 3 種（原体は判別難しい） 内面：ヘラナデ	シャモット，海綿骨針，石英，角閃石，黒色粒	なし	床面直上	
7	弥生後期 壺	遺存 15%	胴部最大径：(43.6)cm 遺存高：(33.7)cm	外面：浅黄橙色 (7.5YR8/6)，橙色 (7.5 YR 6/6)，赤彩 内面：にぶい黄橙色 (10YR 6/3)	外面：ミガキ，LR，RL，S 字状結節文，沈線 内面：ナデ，ヘラナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	内外面剝落顕著 赤彩は外面に断片的に残る
8	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：黄橙色 (7.5YR7/8) 内面：浅黄橙色 (10YR8/4)	外面：LR，沈線 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	
9	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：浅橙色 (7.5YR8/4) 内面：にぶい黄橙色 (10YR5/3)	外面：附加条 3 種，沈線 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
10	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (5YR6/8) 内面：橙色 (5YR6/8)	外面：ナデ 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	床面直上	
11	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：灰褐色 (7.5YR5/2) 内面：明赤褐色 (5YR5/6)	外面：ナデ 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	
12	弥生後期 浅鉢か 無頸壺	胴部 破片	－	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/4) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/4)	外面：ナデ，縄文によるキザミ 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
13	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい橙色 (7.5YR6/4) 内面：にぶい橙色 (7.5YR 6/4)	外面：ナデ，縄文によるキザミ 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層	
14	弥生後期 浅鉢か 無頸壺	口縁部 破片	－	外面：浅黄色 (7.5Y7/4)，黒斑？ 内面：浅黄色 (7.5Y7/4)，赤彩	外面：キザミ，附加条 3 種 (LR＋L？) 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	

石製品

遺物No.	型式・器種等	石材	寸法	観察所見	出土層位	備考
15	軽石	軽石	最大長：42mm 最大幅：39mm 最大厚：23mm	くすんだ白色の軽石。明確な加工，使用痕は認められない。	下層	

出土遺物点数：弥生土器 44 点

出土遺物重量：弥生土器 671g

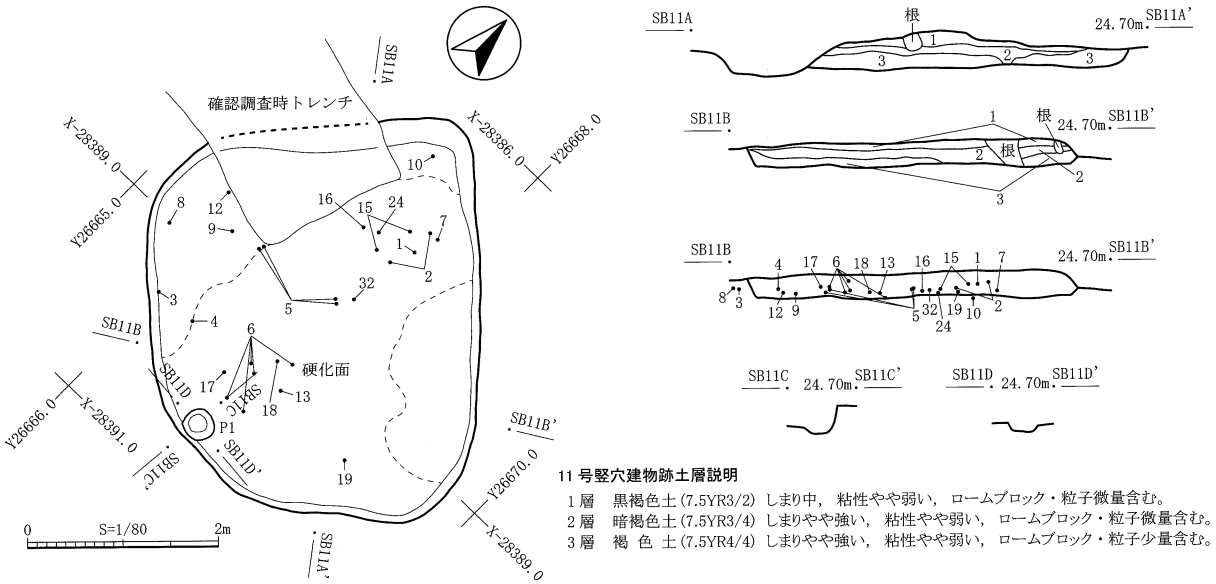
遺物出土状況：１～３層を上層，４層を下層として遺物を取り上げた。

遺物：５・８・９の胎土にはシャモットが含まれ，４・６には海綿骨針が含まれている。５は壺で外面は摩耗しており，内面も剥落が著しい。

10 号竪穴建物跡

時期：弥生時代後期　**検出面**：基本層序３層　**平面形態**：胴張隅丸長方形

新旧関係：４Ｐ＜ 10 号竪穴建物跡



第 28 図　11 号竪穴建物跡（１）

規模：長軸長 4.47m(4.69m)，短軸長 3.50m(3.68m)，深さ 0.80m

構造：本遺構からは炉が１基とＰ１，Ｐ２が検出された。炉には被熱面が確認され，炉の埋土中の焼土ブロック・粒子は１層において少量，２層において中量検出された。Ｐ１とＰ２は掘り込みが浅いが，他に柱穴と考えられるピットもないことから，いずれかもしくは両方が柱穴だった可能性がある。北西側の竪穴壁上端部の外側では浅い掘り込みが認められ，その断面は緩やかな傾斜を呈していた。床面は大部分が硬化していた。

埋土堆積状況：いわゆるレンズ状堆積を呈していた。１層は基本層序２層（富士新規テフラ層）と考えられることから，本遺構は新規富士テフラ層が堆積する前にほぼ埋まっていたと考えられる。

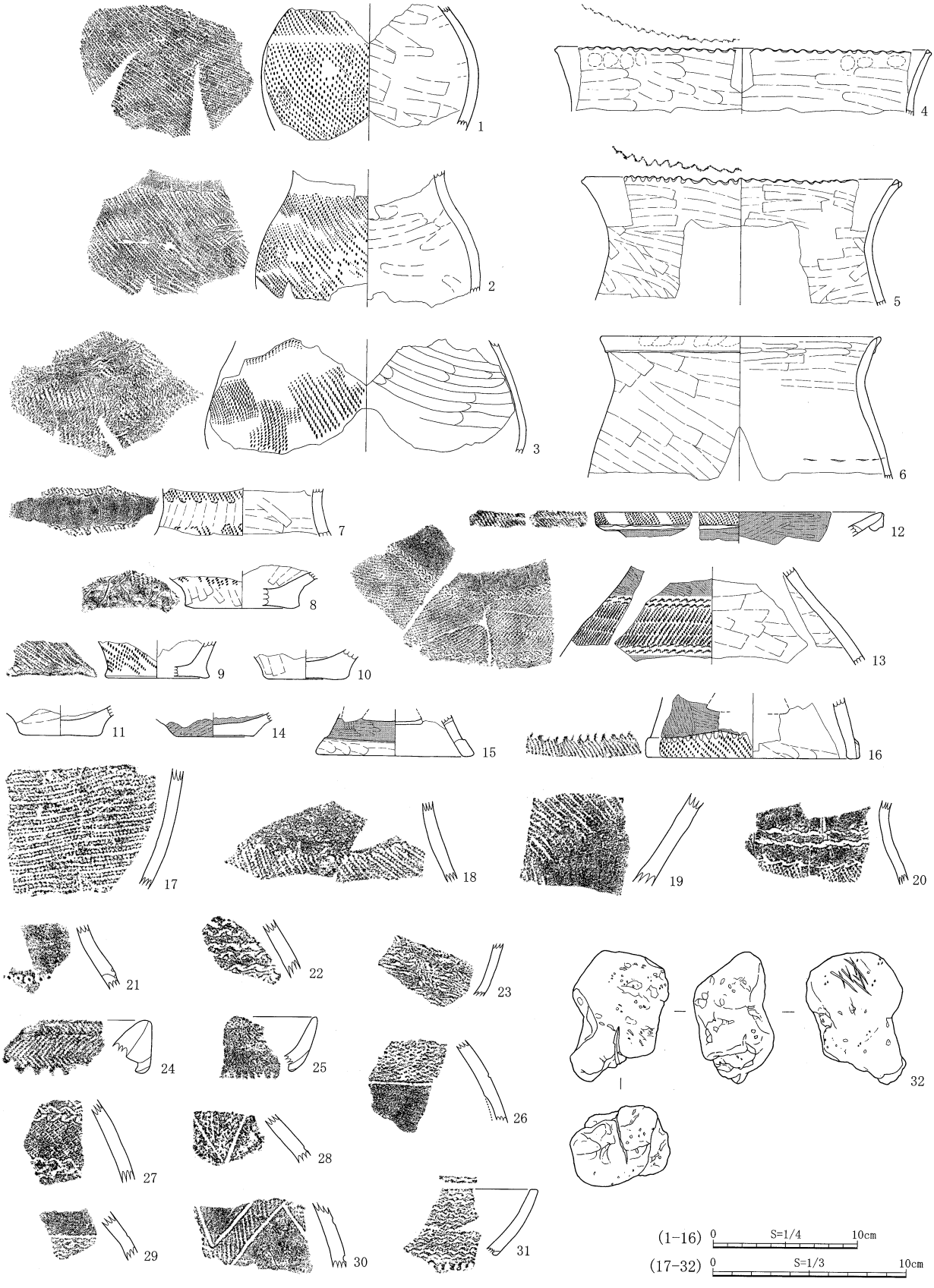
出土遺物点数：弥生土器 104 点，弥生時代石器１点

出土遺物重量：弥生土器 2,910g，弥生時代石器 8g

遺物出土状況：１～５層を上層，６層を下層として遺物を取り上げた。上層出土の遺物は少なく，多くが下層から床面直上にかけて出土した。４・５は床面直上から出土し，６は床面直上から土圧で潰れた状態で出土した。また，７は床面から若干浮き，土圧で潰れた状態で出土した。

遺物：２～７・９・14 の胎土にはシャモットが含まれている。東京湾岸系統の壺が目立ち，とくに６はいわゆる幾何学文装飾壺で八千代市での出土はきわめて珍しい。６の最上部には附加条３種が施され，それ以外にはＬＲによる施文が施されている。７は大形壺で外面の摩耗が著しく判別は難しいが，おそらく胴部上半に２つの山形文が施文されていると考えられる。15 は軽石で明瞭な加工，使用痕は認められない。

備考：本遺構と切り合っていた４Ｐは断片的に残っていたにすぎず，その特徴については不明である。



第 29 図　11 号竪穴建物跡（２）

第 23 表　11 号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）

土器									
遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
1	弥生後期 甕	胴部 遺存 15%	胴部最大径：(15.1)cm 遺存高：8.6cm	外面：にぶい黄橙色 (10YR 7/4)，橙色 (5YR6/6) 内面：明赤褐色 (5YR5/6)	外面：RL ＋ L・L 内面：ヘラナデ，ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	中層 下層	
2	弥生後期 甕	胴部 遺存 30%	胴部最大径：(15.7)cm 遺存高：9.6cm	外面：にぶい黄褐色 (10YR 4/5) 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面：RL+L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，赤色粒，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	中層 下層 床面直上	
3	弥生後期 甕	胴部 遺存 20%	胴部最大径：(22.3)cm 遺存高：7.9cm	外面：にぶい黄褐色 (10YR 4/3)，黒斑 内面：にぶい黄褐色 (10YR 4/3)，黒斑	外面：ナデ，LR 内面：ナデ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層	
4	弥生後期 甕	口縁部 遺存 15%	口　径：(25.6)cm 遺存高：4.5cm	外面：黄橙色 (7.5YR7/8) 内面：にぶい黄橙色 (7.5YR 6/4)	外面：ナデ，交互押捺 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：ススあり	上層 中層 下層	
5	弥生後期 甕	口縁～胴部 遺存 30%	口　径：(21.4)cm 遺存高：8.8cm	外面：にぶい橙色 (7.5YR 7/4)，黒斑 内面：：にぶい橙色 (7.5YR 7/4)，黒斑	外面：ヘラナデ，交互押捺 内面：ヘラナデ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：なし 内面：ススあり	下層 床面直上	
6	弥生後期 広口壺	口縁～胴部 遺存 30%	口　径：(19.3)cm 遺存高：10.0cm	外面：にぶい橙色 (7.5YR6/4) 内面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)	外面：複合口縁，ヘラナデ 内面：ヘラナデ，ミガキ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：コゲあり	上層 中層 下層 床面直上	形態的には広口壺だが，用途は煮炊き用と考えられる
7	弥生後期 甕	頸部 遺存 25%	遺存高：3.2cm	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/3) 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面：ヘラナデ，RL ＋ L・L 内面：ヘラナデ	海綿骨針，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	上層 中層 下層	
8	弥生後期 甕	底部 遺存 25%	底　径：(7.8)cm 遺存高：3.0cm	外面：橙色 (5YR6/6)，灰黄褐色 (10YR4/2) 内面：橙色 (5YR6/6)	外面：ナデ，RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，長石，黒色粒	なし	上層	底部木葉痕あり
9	弥生後期 甕	底部 遺存 25%	底　径：(7.2)cm 遺存高：2.6cm	外面：橙色 (7.5YR7/6) 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
10	弥生後期 甕	底部 遺存 60%	底　径：5.5cm 遺存高：2.1cm	外面：にぶい赤褐色 (5YR5/4) 内面：にぶい橙色 (7.5YR 7/4)，黒斑	外面：ヘラナデ 内面：ナデ	石英，長石，黒色粒	なし	下層	
11	弥生後期 甕	底部 遺存 60%	底　径：(5.2)cm 遺存高：2.1cm	外面：橙色 (7.5YR7/6)，黒斑 内面：橙色 (7.5YR7/6)，黒斑	外面：ナデ 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，赤色粒，黒色粒	なし	上層 下層	
12	弥生後期 壺	口縁部 遺存 15%	口　径：(19.8)cm 遺存高：2.2cm	外面：明黄褐色 (10YR7/6)，黄褐色 (10YR5/6)，赤彩 内面：明黄褐色 (10YR7/6)，灰黄褐色 (10YR4/2)，赤彩	外面：複合口縁，ナデ，RL 内面：ナデ，ミガキ	海綿骨針，石英，赤色粒，黒色粒	なし	上層	
13	弥生後期 壺	肩部 遺存 20%	遺存高：6.8cm	外面：橙色 (7.5YR6/6)，赤彩 内面：にぶい黄褐色 (10YR 5/4)	外面：ミガキ，S 字状結節文，附加条 3 種 (LR ＋附加原体不明) 内面：ヨコナデ，ヘラナデ	海綿骨針，シャモット，石英，角閃石，長石	なし	上層 下層 床面直上	15 号竪穴建物跡No. 11 と同一個体か？
14	弥生後期 浅鉢	底部 遺存 80%	底　径：5.6cm 遺存高：1.7cm	外面：橙色 (7.5YR6/6)，赤彩 内面：橙色 (7.5YR6/6)，赤彩	外面：ナデ 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
15	弥生後期 高坏	脚部 遺存 50%	底　径：(11.0)cm 遺存高：2.9cm	外面：明黄褐色 (10YR7/6)，赤彩，黒斑 内面：明黄褐色 (10YR7/6)，黒斑	外面：ミガキ，輪積みによる複合状脚部 内面：ナデ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒，小石	なし	上層 中層 下層	小石（粗い粒子の砂粒）多量含む
16	弥生後期 高坏	脚部 遺存 15%	底　径：(14.6)cm 遺存高：4.4cm	外面：橙色 (7.5YR6/6)，赤彩 内面：橙色 (7.5YR7/6)，黒斑	外面：ミガキ，複合脚，RL，縄文によるキザミ 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，黒色粒	なし	上層 下層	
17	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR7/6)，黒斑 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	中層 下層	内面剝落顕著 粗い粒子の石英多量含む
18	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6) 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：ナデ，RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層 下層	粗い粒子の石英多量含む
19	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：灰褐色 (7.5YR4/2) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/3)	外面：ナデ，RL ＋ L・L 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，赤色粒，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	床面直上	
20	弥生後期 甕	頸部 破片	－	外面：黒褐色 (10YR3/2) 内面：橙色 (7.5YR6/6)，にぶい褐色 (7.5YR5/4)	外面：直前段 3 条 (RL ？)，S 字状結節文 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	上層	
21	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6) 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面：ナデ，筒状工具によるキザミ 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	
22	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい橙色 (7.5YR6/4) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/4)	外面：ヘラ描波状文 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
23	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい黄橙色 (10YR 6/4)，橙色 (7.5YR7/6) 内面：橙色 (7.5YR6/6)，黒褐色 (7.5YR3/1)	外面：RL（端末を縛っている可能性あり） 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層	
24	弥生後期 壺	口縁部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR7/6) 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：複合口縁，LR，RL，縄文によるキザミ 内面：磨耗により不明	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	床面直上	器面磨耗著しい
25	弥生後期 壺	口縁部 破片	－	外面：橙色 (5YR7/8) 内面：橙色 (5YR7/8)	外面：キザミ，LR，RL 内面：不明	シャモット，石英，長石，黒色粒	なし	下層	磨耗著しく調整不明，縄文も断片的

第 24 表　11 号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）

遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
26	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：明黄褐色(10YR7/6)，赤彩，黒斑 内面：橙色(7.5YR7/6)，黒斑	外面：ミガキ，附加条３種ないしは網目状撚糸文，沈線 内面：ヘラナデ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	
27	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：明黄褐色(10YR7/6)，赤彩，黒斑 内面：明黄褐色(10YR7/6)，黒斑	外面：S 字状結節文，附加条３種(LR＋R) 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
28	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：にぶい赤褐色(5YR5/4) 内面：橙色(5YR6/6)	外面：附加条３種，沈線 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，黒色粒	なし	上層	
29	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：にぶい黄橙色(10YR 7/4)，赤彩 内面：橙色(7.5YR7/6)	外面:ミガキ，S 字状結節文，沈線 内面：ヘラナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	
30	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：にぶい黄橙色(10YR 7/4)，黒斑 内面：浅黄橙色(10YR8/4)	外面：ミガキ，LR，沈線 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススか 内面：なし	下層	
31	弥生後期 浅鉢	口縁部 破片	－	外面：にぶい黄橙色(10YR 6/4)，明黄褐色(10YR7/6) 内面：赤彩	外面：キザミ，S 字状結節文 内面：ミガキ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	

石製品

遺物No.	型式・器種等	石材	寸法	観察所見	出土層位	備考
32	軽石	軽石	最大長：69mm 最大幅：51mm 最大厚：43mm	表面には磨面といったものは見られないが，鋭利な利器によってつけられた深いキズが１つと複数の浅いキズが見られる。もしかしたら鉄器によってつけられたキズかもしれない。	下層	

11 号竪穴建物跡

時期：弥生時代後期　**検出面**：基本層序３層　**平面形態**：不整方形

規模：長軸長 4.27m，短軸長 3.50m，深さ 0.39m

構造：ピットは１基，炉は検出されなかった。Ｐ１は掘り込みが浅く，柱穴として機能したと考えることは難しい。床面は一部を除いて硬化していた。本遺構の掘り込みは浅く，床面は基本層序４層（ソフトローム層）まで到達していなかった。

埋土堆積状況：いわゆるレンズ状堆積と考えられる。

出土遺物点数：弥生土器 719 点，弥生時代石器４点

出土遺物重量：弥生土器 6,110g，弥生時代石器 39g

遺物出土状況：１層を上層，２層を中層，３層を下層として遺物を取り上げた。遺物は上層から床面直上にかけて特定の層位に偏ることなく多量に出土した。

遺物：３・５・７・12・13・15・26 には海綿骨針が含まれている。また，13・14・16・19・22・25・28 ～ 30 にはシャモットが含まれている。13 には，実測図で表現できなかったが，附加条の原体がきわめて細く，軸縄の節が明瞭な附加条３種が施されている。さらに，13 は文様と赤彩の状態，胎土の類似性から 15 号竪穴建物跡出土№.11 と同一個体の可能性がある。32 は軽石で鋭利な利器によると考えられる深いキズと浅い複数のキズがついている。

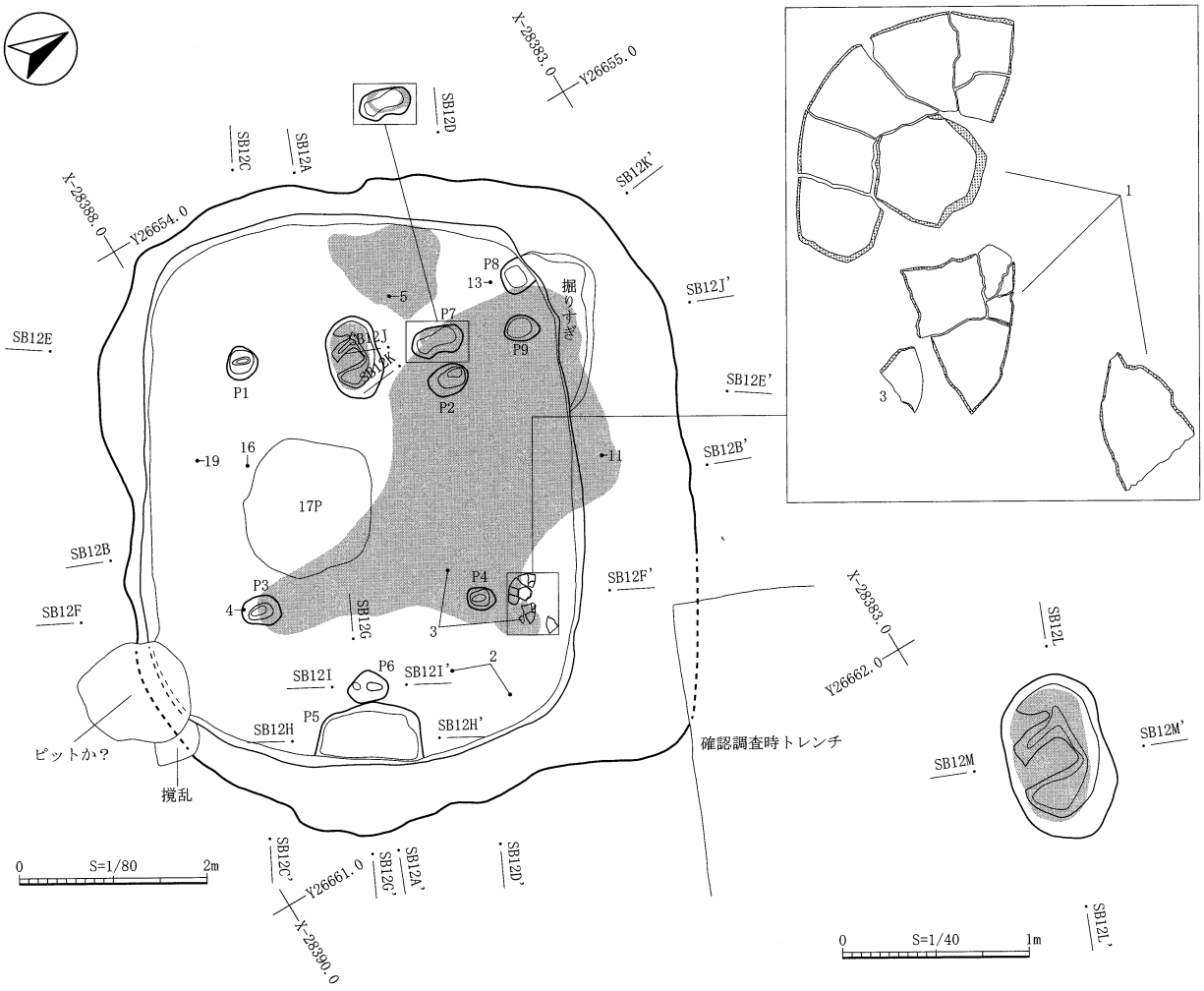
12 号竪穴建物跡

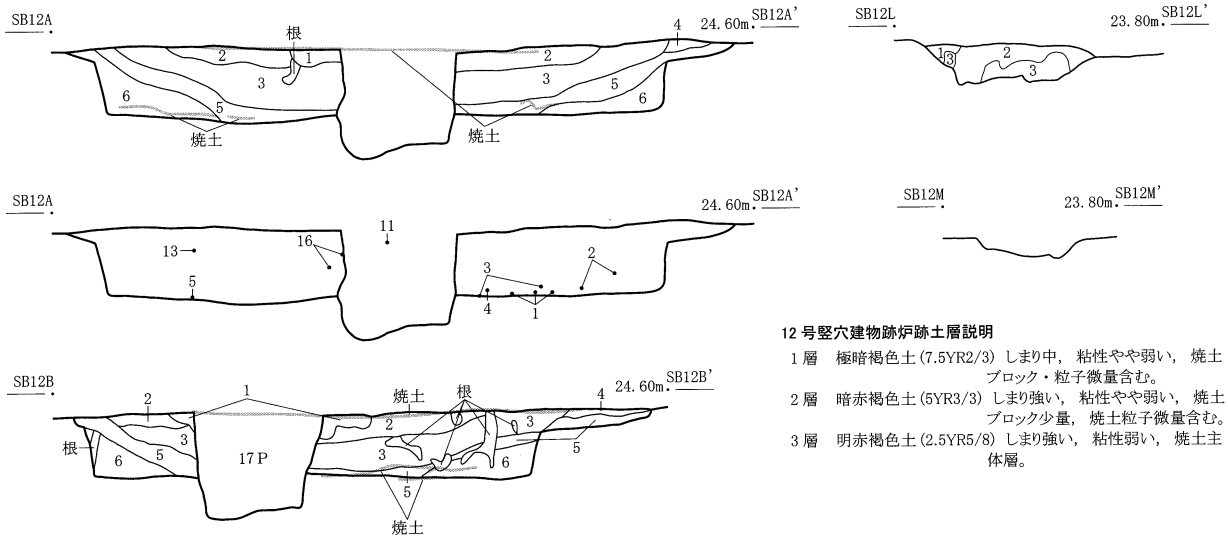
時期：弥生時代後期　**検出面**：基本層序３層　**平面形態**：胴張隅丸長方形

新旧関係：12 号竪穴建物跡＜ 17 Ｐ

規模：長軸長 5.95m(7.05m)，短軸長 4.71m(6.17m)，深さ 0.66m(0.87m)

構造：本遺構からは炉が１基検出され，被熱面も確認された。炉の３層は焼土主体層であっ





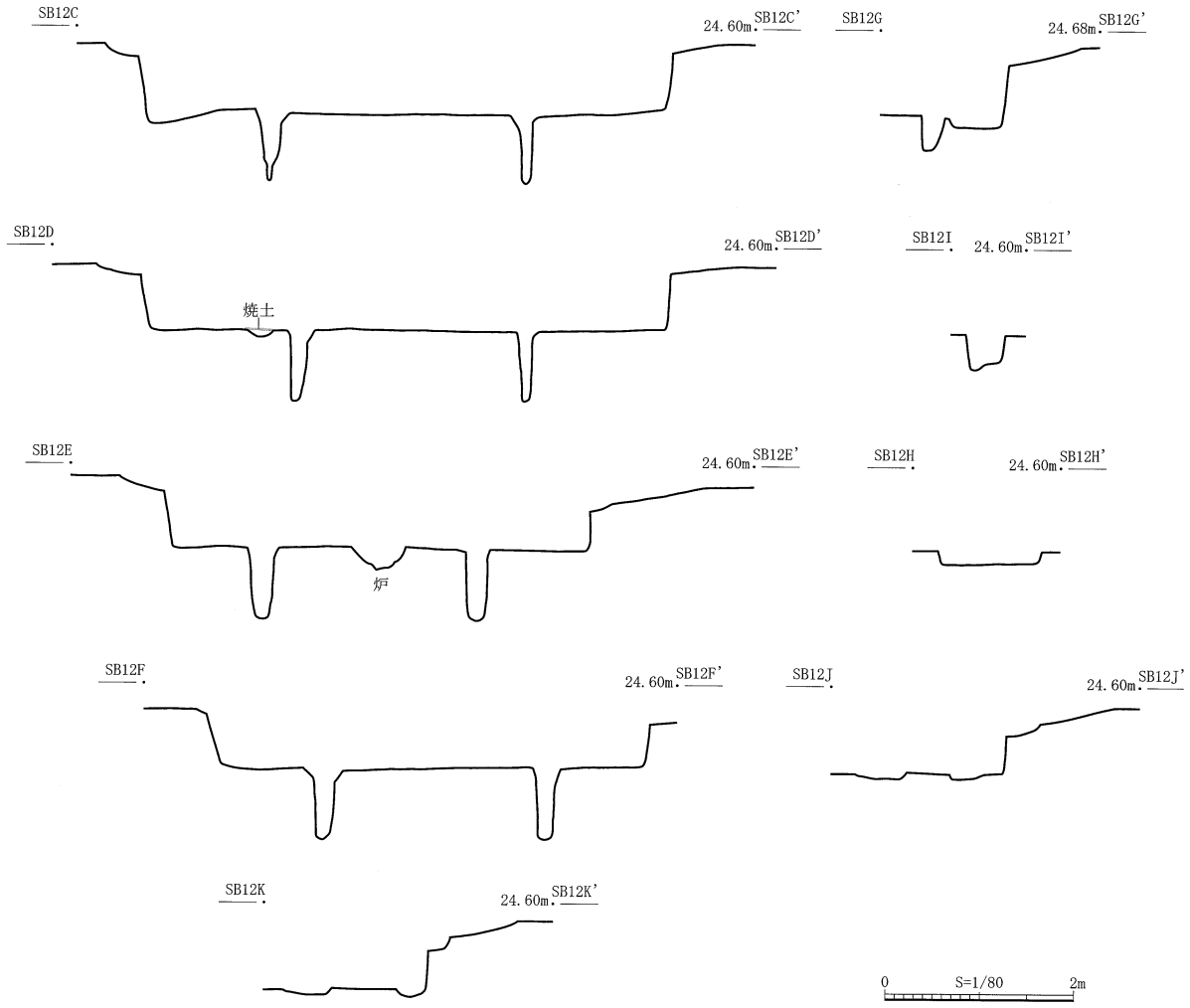
12 号竪穴建物跡炉跡土層説明

1 層　極暗褐色土 (7.5YR2/3)　しまり中，粘性やや弱い，焼土ブロック・粒子微量含む。
2 層　暗赤褐色土 (5YR3/3)　しまり強い，粘性やや弱い，焼土ブロック少量，焼土粒子微量含む。
3 層　明赤褐色土 (2.5YR5/8)　しまり強い，粘性弱い，焼土主体層。

12 号竪穴建物跡土層説明

1 層　褐 色 土 (7.5YR4/4)　しまりやや強い，粘性中，ロームブロック少量，ローム粒子微量含む。
2 層　黒褐色土 (7.5YR2/2)　しまり弱い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。
3 層　黒 色 土 (7.5YR2/1)　しまりやや強い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
4 層　暗褐色土 (7.5YR3/4)　しまり中，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
5 層　暗褐色土 (7.5YR3/4)　しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック微量，ローム粒子少量含む。
6 層　褐 色 土 (7.5YR4/4)　しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック少量，ローム粒子少量含む。

第 30 図　12 号竪穴建物跡（1）



第 31 図　12 号竪穴建物跡（２）

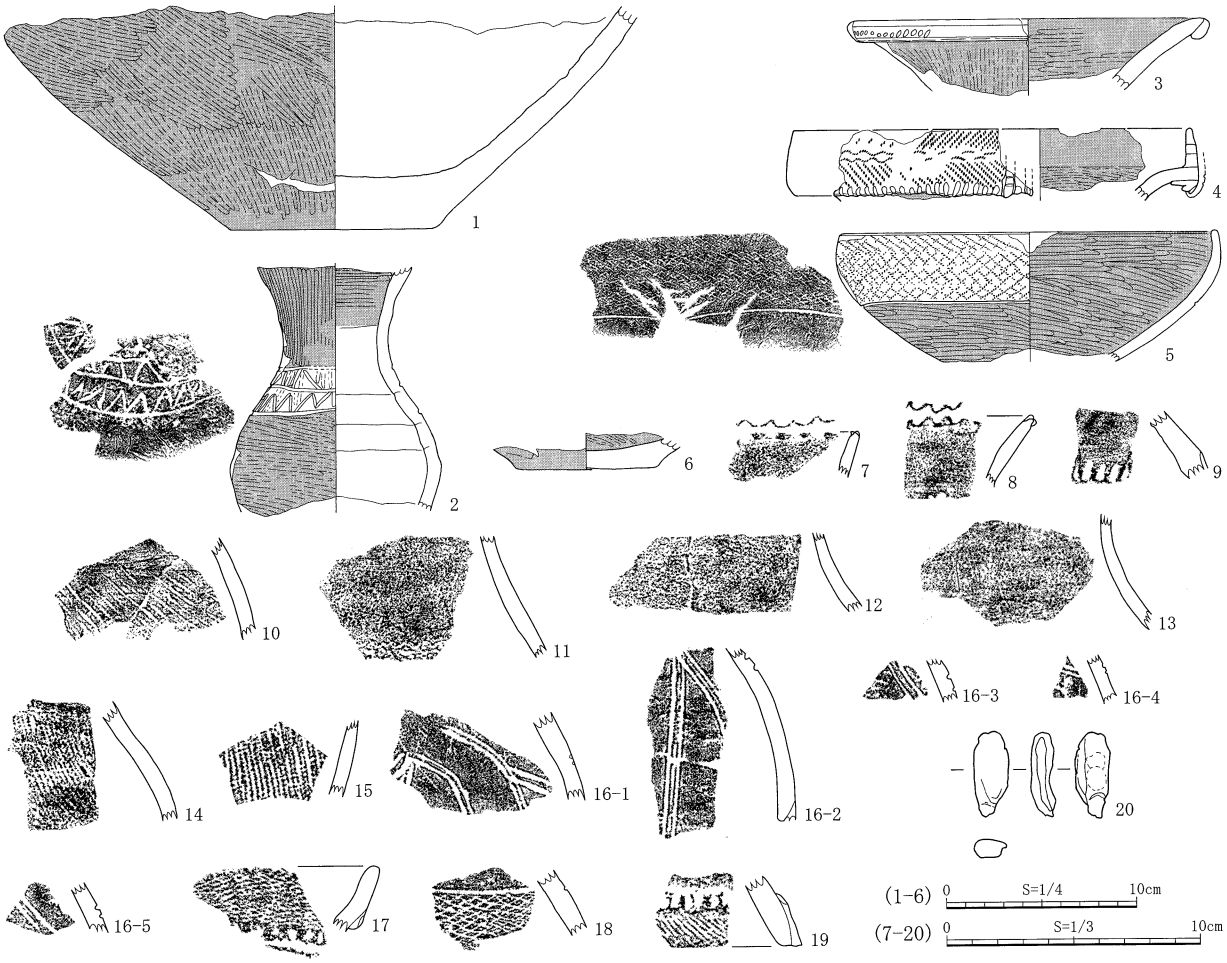
た。Ｐ１～Ｐ４は柱穴と考えられる。Ｐ５はその位置と深さから貯蔵穴，Ｐ６はその位置から入口施設に関わるものと考えられる。Ｐ７は掘り込みが浅く，焼土と被熱面が確認されたことから火を焚く目的で構築されたと考えられ，副炉的用途として使われた可能性がある。Ｐ８は竪穴壁沿いに構築されており，性格は不明だが，本遺構に伴うものと考えられる。Ｐ９は掘り込みが浅く，その性格も不明なために確実に本遺構に伴うものとは断言できない。本遺構では竪穴壁の外側に浅い掘り込みが全周するように確認され，その断面は緩やかに傾斜したものだった。床面は全面が強く硬化していた。

埋土堆積状況：いわゆるレンズ状堆積だった。１～２層では広範囲に焼土が確認され，５～６層にかけても焼土が検出された。竪穴壁外側で確認された浅い掘り込みから竪穴壁内側に向かって入り込むように５層および６層は堆積していた。

出土遺物点数：弥生土器 172 点，弥生時代土製品１点

出土遺物重量：弥生土器 3,826 点，弥生時代土製品５ｇ

遺物出土状況：１層・２層・３層を上層とし，５層と６層を下層として遺物を取り上げた。遺物は上層から床面直上にかけて出土したが，上層出土の遺物はやや少なかった。１は床



第 32 図　12 号竪穴建物跡（３）

第 25 表　12 号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）

土器・土製品									
遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土状況	備考
1	弥生後期 壺	胴～底部 遺存 95%	底　径：10.7cm 遺存高：11.8cm	外面：明赤褐色 (2.5YR5/8)，赤彩 内面：橙色 (2.5YR6/8)	外面：ミガキ 内面：不明	石英，角閃石，長石，赤色粒，黒色粒	外面：ススあり 内面：ススあり	下層 床面直上	ススは断面にもあり、壺を煮炊き用に転用したと思われる 内面剝落顕著
2	弥生後期 壺	頸～胴部 遺存 40%	胴部最大径：(11.1)cm 遺存高：13.2cm	外面：橙色 (7.5YR7/6)，赤彩，黒斑 内面：橙色 (7.5YR7/6)，赤彩，黒斑	外面：ミガキ，沈線 内面：ナデ，ミガキ	シャモット，石英，角閃石，長石，赤色粒，黒色粒	なし	下層	器面の凹凸が強い
3	弥生後期 壺	口縁部 遺存 30%	口　径：(18.4)cm 遺存高：4.0cm	外面：にぶい橙 (7.5YR6/4)，にぶい橙色 (7.5YR7/4)，赤彩 内面：赤彩	外面：ミガキ，複合口縁，キザミ 内面：ミガキ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	床面直上	器面の剝落やや顕著
4	弥生後期 壺	口縁部 遺存 15%	口　径：(20.8)cm 遺存高：3.8cm	外面：浅黄橙色 (7.5YR8/6)，赤彩 内面：赤彩	外面：キザミ，RL，LR，S字状結節文，棒状浮文 内面：ミガキ	石英，角閃石，長石，赤色粒，黒色粒	なし	下層	外面磨耗著しい 内面剝落著しい
5	弥生後期 浅鉢	口縁～胴部 遺存 20%	口　径：(19.6)cm 遺存高：6.9cm	外面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)，橙色 (7.5YR7/4)，赤彩，黒斑 内面：赤彩	外面：ミガキ，附加条３種（軸縄不明・附加 R），沈線 内面：ミガキ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	床面直上	
6	弥生後期 浅鉢	底部 遺存 30%	底　径：(7.5)cm 遺存高：1.9cm	外面：橙色 (7.5YR7/6)，赤彩，黒斑 内面：橙色 (7.5YR7/6)，赤彩	外面：ヘラナデ 内面：ミガキ	海綿骨針，石英，長石，赤色粒，黒色粒	なし	下層 床面直上	
7	弥生後期 甕	口縁部 破片	－	外面：黒褐色 (7.5YR3/1) 内面：黒褐色 (7.5YR3/1)，にぶい褐色 (7.5YR5/3)	外面：ナデ，交互押捺 内面：ナデ	石英，長石，黒色粒	なし	下層 床面直上	交互押捺にツメ痕あり
8	弥生後期 甕	口縁部 破片	－	外面：橙色 (5YR6/6)，黒斑 内面：橙色 (5YR6/6)，黒斑	外面：ナデ，交互押捺 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	

第 26 表　12 号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）

遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土状況	備考
9	弥生後期 広口壺	肩部 破片	－	外面：橙色（7.5YR7/6），赤彩 内面：橙色（7.5YR7/6）	外面：縄文によるキザミ，ミガキ 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	内面剝落あり
10	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：灰褐色（7.5YR5/2） 内面：灰褐色（7.5YR5/2）	外面：RL+L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：コゲ	下層	
11	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：灰黄褐色（10YR5/2），黒褐色（5YR3/1） 内面：浅黄橙色（7.5YR8/4），灰褐色（7.5YR4/2），にぶい褐色（7.5YR5/3）	外面：櫛描直線文，S 字状結節文 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：コゲ	上層	
12	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：灰褐色（7.5YR4/2），黒褐色（7.5YR2/2），にぶい橙色（7.5YR7/3） 内面：明赤褐色（2.5YR5/6），浅黄橙色（10YR8/4），灰黄褐色（10YR4/2）	外面：ナデ 内面：ヘラナデ，ミガキ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：コゲ	下層 床面直上	
13	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色（5YR7/8） 内面：にぶい赤褐色（5YR 5/4），灰褐色（5YR4/2）	外面：ナデ 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	上層	
14	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：褐灰色（10YR4/1），黒褐色（10YR3/1） 内面：褐灰色（10YR4/1），灰黄褐色（10YR5/2）	外面：直前段３条（RL） 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層	
15	弥生後期 不明	胴部 破片	－	外面：橙色（7.5YR6/6） 内面：橙色（7.5YR6/6）	外面：LR+R・R 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	大粒の石英多量含む
16	弥生後期 壺？	胴部 破片	－	外面：橙色（7.5YR7/6），にぶい橙色（7.5YR6/4） 内面；橙色（7.5YR6/6），にぶい褐色（7.5YR6/3）	外面：ナデ，２本１単位の櫛描文 内面：ナデ，ミガキ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	上層 下層	
17	弥生後期 壺	口縁部 破片	－	外面：にぶい橙色（7.5YR7/3） 内面：灰褐色（7.5YR5/2），赤彩	外面：受口状口縁，ナデ，附加条３種ないしは網目状撚糸文，キザミ 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	
18	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：にぶい黄橙色（10YR 7/4），赤彩 内面：にぶい黄橙色（10YR 7/4），赤彩	外面：ミガキ，附加条３種ないしは網目状撚糸文，沈線 内面：ナデ	海綿骨針，シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	炉埋土	内面剝落顕著
19	弥生後期 高坏	脚部 破片	－	外面：明赤褐色（2.5YR5/6），橙色（7.5YR6/6） 内面：橙色（7.5YR7/6）	外面：RL，キザミ 内面：ナデ	シャモット，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
20	弥生後期 不明土製品	遺存 100% ？	－	橙色（5YR6/6）	側面に溝状筋，ユビオサエ，爪痕	長石，黒色粒	なし	炉埋土	

面直上から出土した。おそらく胴部のあたりが床面に着いて底面は傾いた状態で置かれ，その後土圧によって潰れたと考えられる。また，11 は浅い掘り込みから出土した。炉内からは 20 が出土した。

遺物：２・３・５・９・14・17・19 の胎土にはシャモットが含まれ，６の胎土には海綿骨針が含まれている。18 の胎土にはシャモットと海綿骨針が含まれている。16 はあまり類例がない土器で器種はおそらく壺になるのではないかと思われる。文様は２本１単位の櫛描文が施文されているが，その文様がどのようなものを描いたのかは不明である。20 は性格不明の土製品でユビオサエなどがはっきりと確認できる。

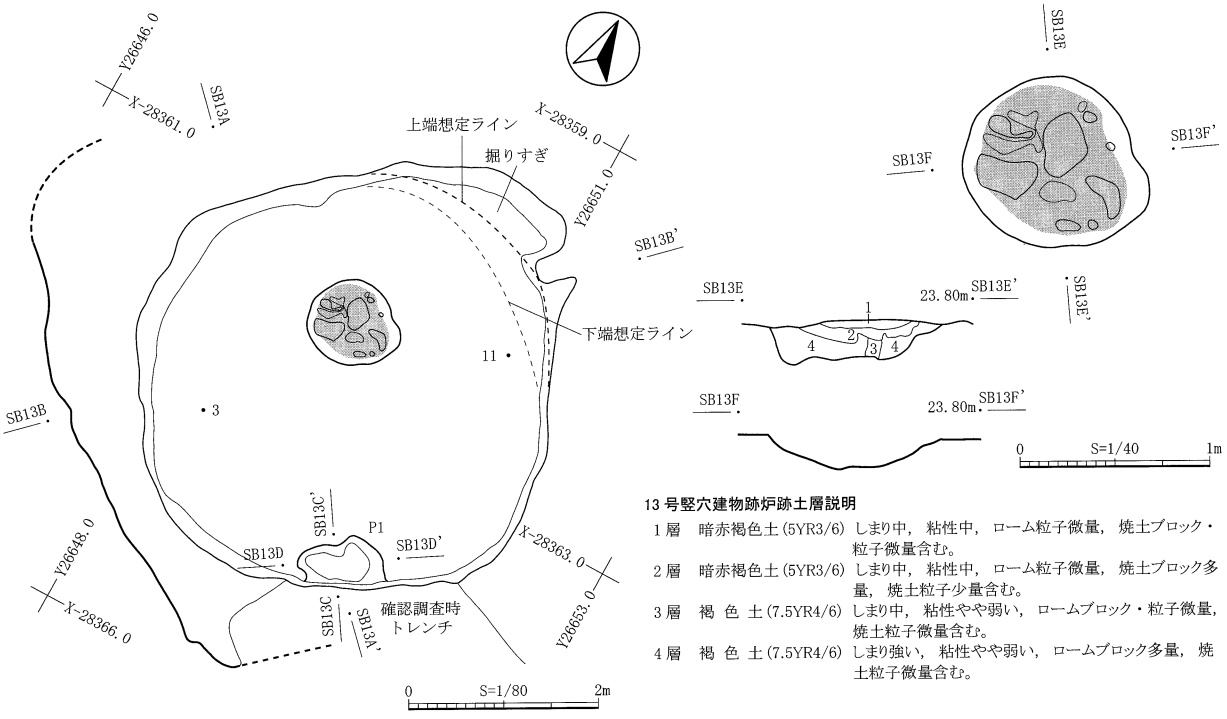
備考：調査区南側のピットらしき掘り込みについては当初撹乱として完掘したが，17 P と埋土の特徴が似ており，撹乱ではなかった可能性がある。

13 号竪穴建物跡

時期：弥生時代後期　**検出面**：基本層序３層　**平面形態**：不整胴張隅丸方形

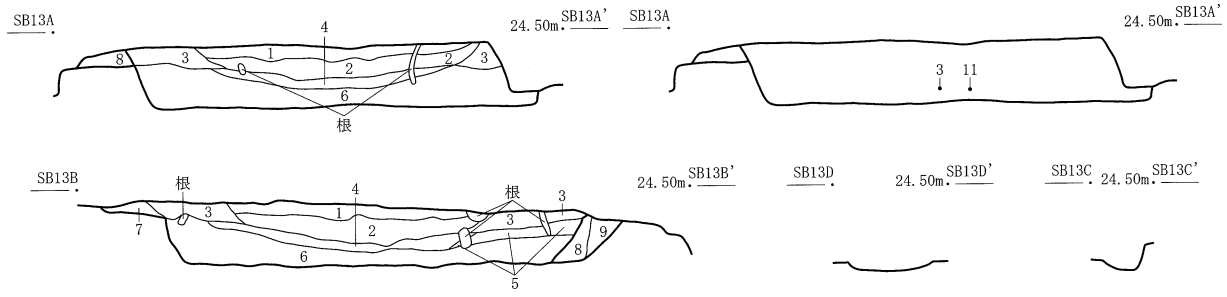
規模：長軸長 4.38m，短軸長 4.16m(5.05m)，深さ 0.66m(0.71m)

構造：炉は１基，ピットは１基検出された。炉には被熱面が確認され，炉の２層からは焼土ブロックが多量に検出された。Ｐ１はその位置と深さから貯蔵穴と考えられる。なお，柱



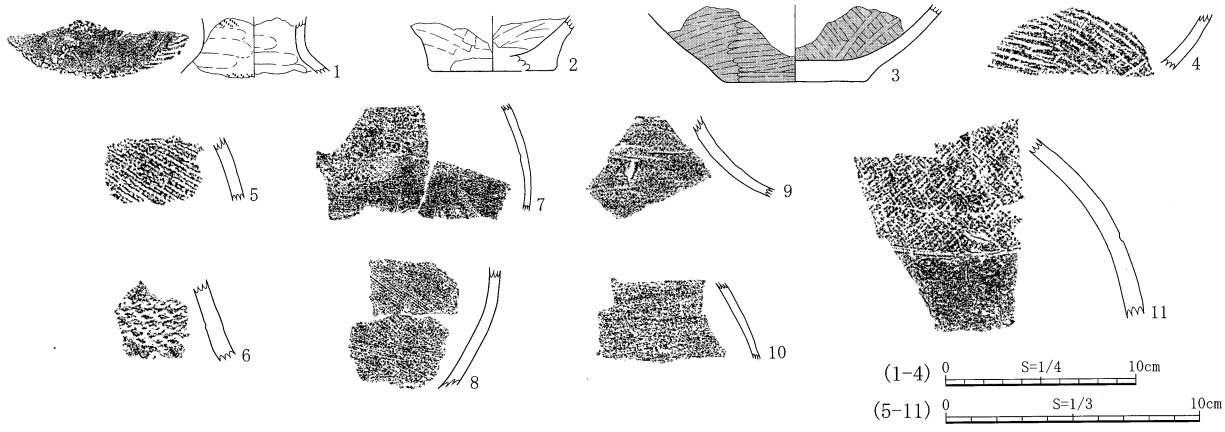
13 号竪穴建物跡炉跡土層説明

1 層　暗赤褐色土 (5YR3/6)　しまり中，粘性中，ローム粒子微量，焼土ブロック・粒子微量含む。
2 層　暗赤褐色土 (5YR3/6)　しまり中，粘性中，ローム粒子微量，焼土ブロック多量，焼土粒子少量含む。
3 層　褐 色 土 (7.5YR4/6)　しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量，焼土粒子微量含む。
4 層　褐 色 土 (7.5YR4/6)　しまり強い，粘性やや弱い，ロームブロック多量，焼土粒子微量含む。



13 号竪穴建物跡土層説明

1 層　黒褐色土 (7.5YR2/2)　しまり中，粘性中，ローム粒子微量含む。
2 層　黒 色 土 (7.5YR2/1)　しまり中，粘性中，ローム粒子微量含む。
3 層　黒褐色土 (7.5YR2/2)　しまりやや強い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
4 層　黒褐色土 (7.5YR3/2)　しまり中，粘性やや弱い，ローム粒子微量含む。
5 層　褐 色 土 (7.5YR4/4)　しまりやや弱い，粘性やや弱い，ローム粒子微量含む。
6 層　暗褐色土 (10YR3/4)　しまり中，粘性中，ロームブロック・粒子少量含む。
7 層　暗褐色土 (7.5YR3/4)　しまり中，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
8 層　褐 色 土 (7.5YR4/6)　しまり強い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。風倒木痕の埋土と思われる。
9 層　褐 色 土 (7.5YR4/6)　しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。風倒木痕の埋土と思われる。



第 33 図　13 号竪穴建物跡

第 27 表　13 号竪穴建物跡出土遺物観察表

土器									
遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土状況	備考
1	弥生後期 壺	頸部 遺存 25%	遺存高：2.9cm	外面：橙色 (7.5YR7/6)，にぶい橙色 (7.5YR6/4) 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面：ナデ，RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，長石，黒色粒	なし	床面直上	
2	弥生後期 甕	底部 遺存 20%	底　径：(6.5)cm 遺存高：2.8cm	外面：にぶい赤褐色 (5YR5/4) 内面：にぶい褐色 (7.5YR6/3)	外面：ヘラナデ 内面：ヘラナデ	海綿骨針，石英，長石，黒色粒	なし	上層	
3	弥生後期 浅鉢	底部 遺存 60%	底　径：7.4cm 遺存高：4.1cm	外面：浅黄橙色 (10YR8/4)，赤彩，黒斑 内面：赤彩，黒斑	外面：ミガキ 内面：ミガキ	シャモット，海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
4	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい褐色 (7.5YR 6/3)，黒斑 内面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)	外面：RL ＋ L・L 内面：ヘラナデ	石英，長石，赤色粒，黒色粒	なし	上層	内面少々剝落
5	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい赤褐色 (5YR 5/4)，黒斑 内面：にぶい赤褐色 (5YR 5/4)，黒斑	外面：RL ＋ L・L 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	P1埋土	
6	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：灰褐色 (5YR5/2) 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：ミガキ，S 字状結節文 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，赤色粒，黒色粒	なし	下層	
7	弥生終末～古墳前期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい黄橙色 (10YR6/3) 内面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)，にぶい黄橙色 (10YR6/4)	外面：ヘラナデ，ミガキ 内面：ヘラナデ，ミガキ	石英，角閃石，黒色粒	外面：ススか 内面：コゲ	下層	No. 9，No. 10 と同一個体か
8	弥生終末～古墳前期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい赤褐色 (5YR 5/4)，黒斑 内面：にぶい赤褐色 (5YR 5/3)，黒斑	外面：ハケ 内面：ハケ，ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	床面直上	
9	弥生終末～古墳前期 甕	胴部 破片	－	外面：灰白色 (7.5YR8/2) 内面：橙色 (7.5YR6/6)，にぶい褐色 (7.5YR5/4)	外面：ヘラナデ 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，黒色粒	外面：ススか 内面：なし	上層	No. 7，No. 10 と同一個体か 内面少々剝落
10	弥生終末～古墳前期 甕	胴部 破片	－	外面：灰白色 (7.5YR8/2)，にぶい黄橙色 (10YR6/3) 内面：橙色 (7.5YR6/6)，明褐色 (7.5YR5/6)	外面：ヘラナデ 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，黒色粒	外面：ススか 内面：なし	下層	No. 7，No. 9 と同一個体か
11	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：橙色 (5YR6/6) 内面：橙色 (5YR6/6)，にぶい赤褐色 (5YR5/4)	外面：ミガキ，附加条 3 種 (LR ＋ R)，沈線 内面：ナデ	シャモット，海綿骨針，石英，角閃石，黒色粒	なし	下層	

穴と考えられるピットの類は検出されなかった。本遺構の南から西側にかけて竪穴壁上端部の外側で浅い掘り込みが確認され，その断面は緩やかに傾斜していた。床面は全面が硬化していた。

埋土堆積状況：いわゆるレンズ状堆積を呈していた。

出土遺物点数：弥生土器 41 点

出土遺物重量：弥生土器 525g

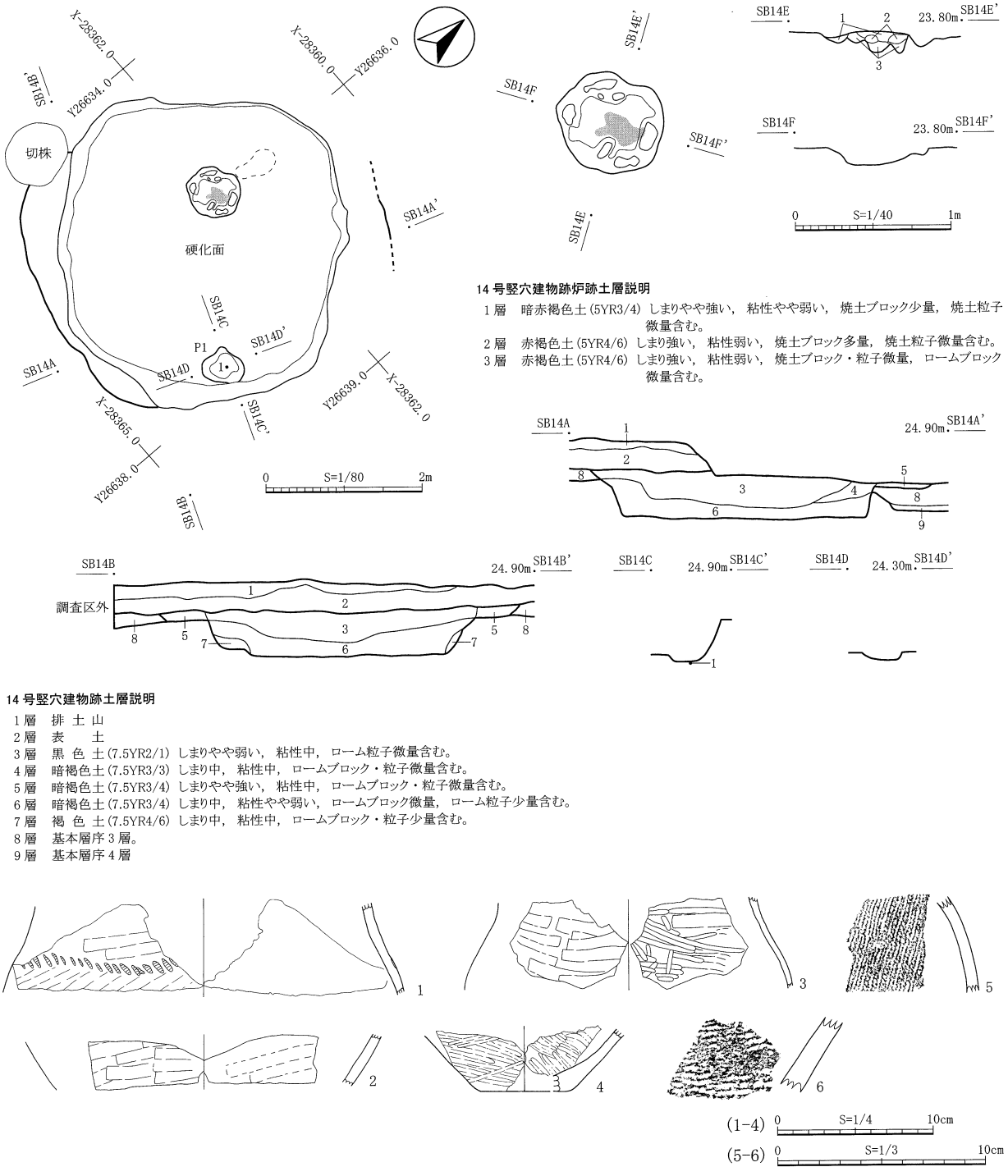
遺物出土状況：１～４層を上層，５～７層を下層として遺物を取り上げた。遺物は上層から床面直上にかけて出土したが，遺物の出土量は少なく，ほとんどが破片で復元実測できるものは少なかった。

遺物：１の胎土には海綿骨針が含まれ，３・11 の胎土にはシャモットと海綿骨針が含まれている。

備考：本遺構の北東側を掘りすぎてしまったのは竪穴壁の位置にちょうど風倒木痕があり，それに気づかずに掘り進めてしまったためである。また，北西側の浅い掘り込みが消失してしまったのは重機による面下げの段階で深く掘削してしまったためである。

14 号竪穴建物跡

時期：弥生時代後期　**検出面**：基本層序３層　**平面形態**：不整胴張方形



第34図　14号竪穴建物跡

規模：長軸長3.94m，短軸長3.64m(4.17m)，深さ0.48m(0.62m)

構造:本遺構からは炉が1基，ピットが1基検出された。炉の底面からは被熱面が検出され，炉の2層からは焼土ブロックが多量に認められた。P1はその位置と深さから貯蔵穴と考えられる。なお，本遺構から柱穴と考えられるピットの類は確認されなかった。本遺構の南側から南西側にかけ，そして北東側において竪穴壁上端部から外側に向かって浅い掘り

第 28 表　14 号竪穴建物跡出土遺物観察表

土器									
遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
1	弥生後期 甕	胴部 遺存 15%	遺存高：5.9cm	外面：橙色 (7.5YR6/6)，にぶい黄橙色 (10YR7/4) 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：ヘラナデ 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススor内面：なし	P1底面	
2	弥生後期 壺	胴部 遺存 15%	遺存高：3.3cm	外面：にぶい橙色 (7.5YR7/4) 内面：にぶい橙色 (7.5YR7/4)，浅黄橙色 (7.5YR8/4)	外面：ヘラナデ 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススor内面：コゲ	床面直上	
3	弥生終末～古墳前期 甕	胴部 遺存 15%	遺存高：5.9cm	外面：黄橙色 (7.5YR7/8)，黒斑 内面：浅黄橙色 (7.5YR8/6)，黒斑	外面：ヘラナデ 内面：ヘラナデ，ミガキ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススor内面：なし	床面直上	
4	弥生後期 浅鉢	底部 遺存 15%	底　径：(5.9)cm 遺存高：4.0cm	外面：灰褐色 (10YR5/2)，黒斑 内面：橙色 (7.5YR7/6)，黒斑	外面：ミガキ 内面：ミガキ	石英，長石，黒色粒	なし	上層	
5	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：黄褐色 (10YR5/6)，にぶい黄橙色 (10YR6/3) 内面：赤褐色 (5YR4/8)，灰褐色 (7.5YR5/2)，橙色 (5YR 7/6)	外面：LR+R・R 内面：ミガキ	石英，角閃石，長石，赤色粒，黒色粒	外面：ススor内面：なし	上層	
6	縄文中～後期 深鉢	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6)，にぶい黄橙色 (10YR6/3) 内面：にぶい橙色 (5YR6/4)，にぶい赤褐色 (5YR5/4)	外面：R 内面：ミガキ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	埋土一括	

込みが確認された。この浅い掘り込みの底面は，平らな面と緩やかな立ち上がりからなっていた。なお，東側の浅い掘り込みの北側および南側は確認調査時のトレンチによって消失していた。床面は大部分が硬化していた。

埋土堆積状況：本遺構では運よく表土から床面直上にかけて一連の堆積過程を確認することができた。本遺構の堆積はいわゆるレンズ状堆積と考えられる。３号竪穴建物跡や 10 号竪穴建物跡とは異なり，新規富士テフラ層と考えられる堆積は確認されず，表土の直下からは基本層序３層が検出された。

出土遺物点数：33 点

出土遺物重量：285g

遺物出土状況：３層を上層，４～７層を下層として遺物を取り上げた。遺物は上層から床面直上にかけて出土した。

遺物：６は縄文中期～後期と考えられる深鉢の破片である。

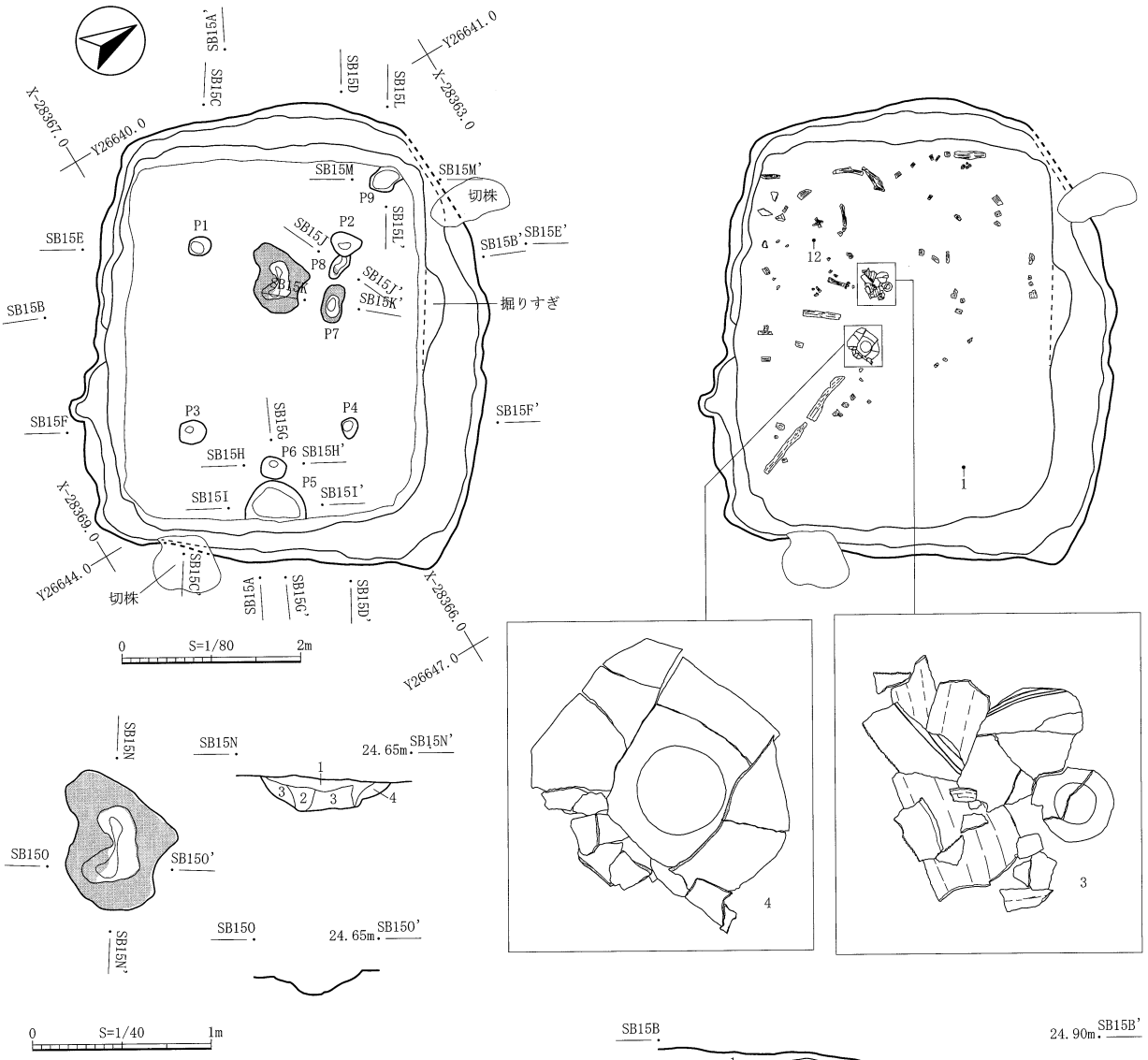
備考：本遺構は平沢遺跡ｃ地点における確認調査で検出された竪穴建物跡である。セクション観察のためのベルトについては表土から床面直上にかけて確認できる箇所に設定したため，その位置は本遺構の中心から大きくずれている。

15 号竪穴建物跡

時期：弥生時代後期　**検出面**：基本層序３層　**平面形態**：胴張隅丸長方形

規模：長軸長 4.37m(5.17m)，短軸長 3.57m(4.39m)，深さ 0.67m(0.91m)

構造：本遺構からは炉が１基，ピットが９基検出された。炉の底面からは被熱面が検出され，炉の埋土３層からは焼土ブロックが多量検出された。Ｐ１～Ｐ４は柱穴で，Ｐ５は竪穴壁沿いにある点とその深さから貯蔵穴と考えられる。Ｐ６はその位置とやや斜めに掘り込まれていたことから入口施設に関わるピットと考えられる。Ｐ７とＰ８は浅いピットだが，焼土と被熱面が確認されたことから火を焚く目的で構築されたと考えられる。断言はでき



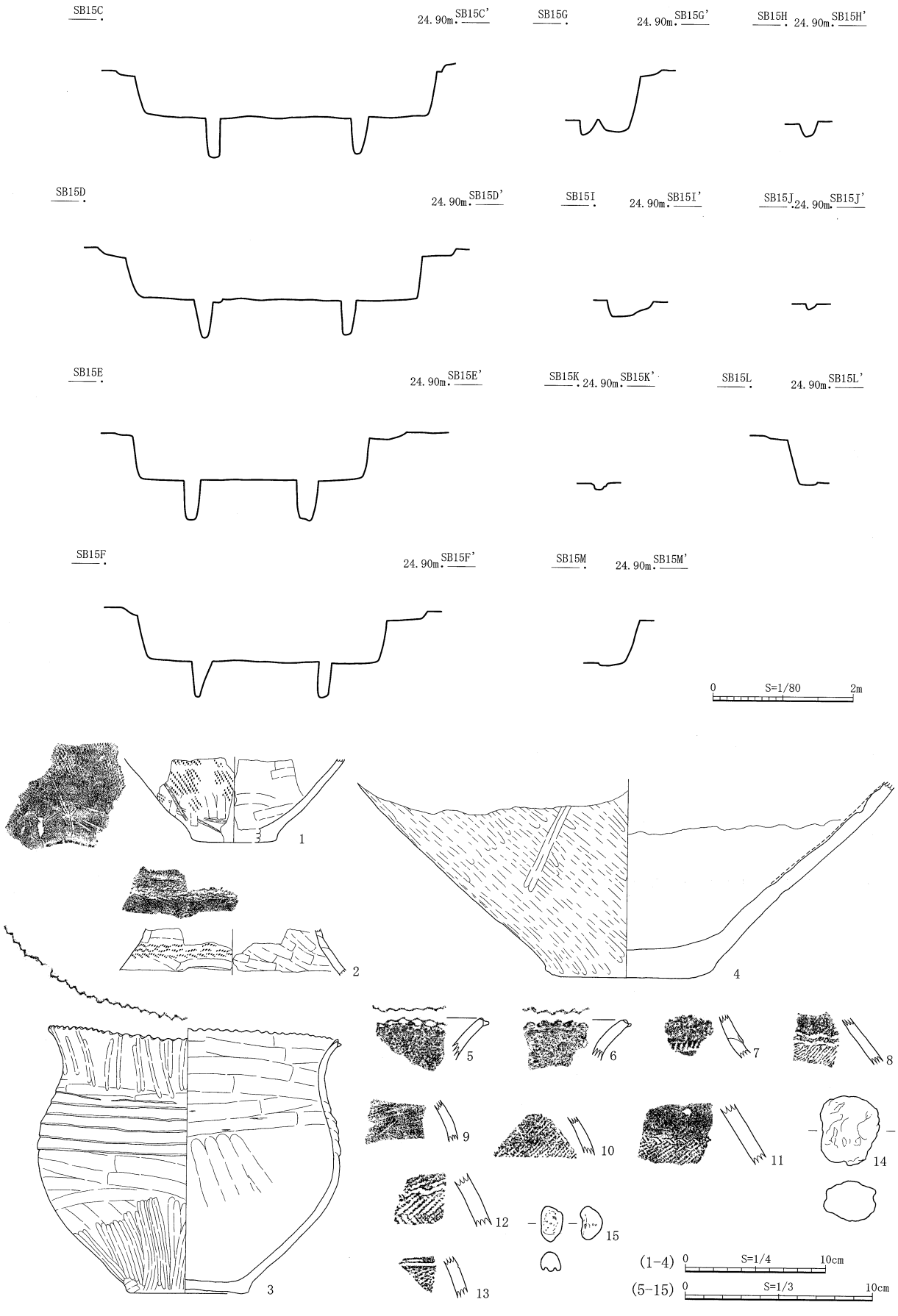
15 号竪穴建物跡炉跡土層説明

1 層　極暗赤褐色土 (5YR2/4) しまり中，粘性やや弱い，焼土ブロック・粒子微量含む。
2 層　暗赤褐色土 (5YR3/3) しまりやや強い，粘性中，焼土粒子微量含む。
3 層　赤褐色土 (2.5YR4/8) しまり強い，粘性やや弱い，焼土ブロック多量，焼土粒子微量含む。
4 層　暗褐色土 (7.5YR3/3) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック微量含む。

15 号竪穴建物跡土層説明

1 層　排 土 山
2 層　表　　土
3 層　極暗褐色土 (7.5YR2/3) しまりやや強い，粘性やや弱い，ローム粒子微量含む。
4 層　黒褐色土 (7.5YR2/2) しまり中，粘性やや弱い，ローム粒子微量含む。
5 層　黒 色 土 (7.5YR2/1) しまり中，粘性中，ローム粒子微量含む。
6 層　暗褐色土 (7.5YR3/4) しまりやや強い，粘性中，ロームブロック微量，ローム粒子少量含む。
7 層　暗褐色土 (7.5YR3/3) しまり中，粘性やや弱い，ローム粒子少量含む。
8 層　褐 色 土 (7.5YR4/4) しまりやや強い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。
9 層　暗褐色土 (7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性中，ローム粒子微量含む。
10 層　暗褐色土 (7.5YR3/3) 黒色土 (7.5YR2/1) ブロック少量，ローム粒子微量含む。

第 35 図　15 号竪穴建物跡 (1)



第 36 図　15 号竪穴建物跡（２）

第29表　15号竪穴建物跡出土遺物観察表

土器・土製品

遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
1	弥生後期 甕	胴～底部 遺存 20%	底　径：(6.0)cm 遺存高：6.0cm	外面：橙色 (7.5YR6/6), 灰褐色 (5YR5/2) 内面：褐灰色 (5YR4/1)	外面：ヘラナデ，ナデ，RL＋LL 内面：ヘラナデ	石英，長石，黒色粒	外面：なし 内面：コゲ	床面直上	
2	弥生後期 甕	胴部 遺存 15%	遺存高：3.3cm	外面：黒褐色 (7.5YR3/1) 内面：褐灰色 (7.5YR4/1)	外面：ヘラナデ，S字状結節文 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススか 内面：なし	下層	
3	弥生後期 甕	口縁～底部 遺存 95%	口　径：20.6cm 胴部最大径：21.6cm 底　径：8.7cm 器　高：19.2cm	外面：橙色 (5YR6/8)，にぶい赤褐色 (5YR4/3)，黒斑 内面：橙色 (5YR6/8)，にぶい赤褐色 (5YR4/3)	外面：ヘラナデ，ミガキ，交互押捺 内面：ヘラナデ，ナデ	石英，長石，黒色粒	外面：ススか 内面：コゲ	上層 床面直上	
4	弥生後期 壺	胴～底部 遺存 100%	底　径：12.0cm 遺存高：14.2cm	外面：橙色 (7.5YR7/6)，橙色 (2.5YR7/8)，黒斑 内面：橙色 (7.5YR7/6)，橙色 (2.5YR7/8)	外面：ミガキ 内面：剝落顕著により調整不明	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：なし 内面：ススか	下層	
5	弥生後期 甕	口縁部 破片	－	外面：にぶい赤褐色 (5YR5/3) 内面：にぶい橙色 (5YR6/4)，黒斑	外面：ナデ，交互押捺 内面：ナデ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススか 内面：なし	下層	
6	弥生後期 甕	口縁部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6) 内面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)	外面：ヘラナデ，一方向からの押捺 内面：ヘラナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	内面剝落顕著
7	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：明赤褐色 (2.5YR5/6)，灰赤色 (2.5YR4/2) 内面：赤灰色 (2.5YR5/2)	外面：ナデ，キザミ 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススか 内面：なし	床面直上	
8	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR7/6) 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面：S字状結節文、直前段半撚 (LL) 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
9	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：灰褐色 (7.5YR5/2)，褐灰色 (7.5YR4/1) 内面：灰黄褐色 (10YR4/2)	外面：横方向の櫛描 内面：ミガキ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススか 内面：なし	下層	
10	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい橙色 (5YR6/3)，黒斑 内面：にぶい橙色 (7.5YR 6/4)，黒斑	外面：ナデ，LR+R・R 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	埋土一括	
11	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：にぶい橙色 (7.5YR7/4)，にぶい黄橙色 (10YR7/4)，赤彩 内面：灰黄褐色 (10YR4/2)，にぶい黄橙色 (10YR6/4)	外面：S字状結節文，附加条3種 (LR＋附加原体不明) 内面：ミガキ	シャモット，海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	11号竪穴建物跡No. 13と同一個体の可能性あり
12	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：にぶい黄橙色 (10YR7/4)，橙色 (2.5YR6/6)，赤彩 内面：橙色 (5YR6/8)	外面：LR，RL，S字状結節文 内面：ナデ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	埋土一括	
13	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：赤彩，黒斑 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面：附加条3種ないしは網目状撚糸文，沈線 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，黒色粒	なし	下層	
14	弥生後期 焼成粘土塊	遺存 100%	最大長：38mm 最大幅：32mm 最大厚：22mm	にぶい橙色 (7.5YR6/4)，黒斑	－	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	

石製品

遺物No.	型式・器種等	石材	寸法	観察所見	出土層位	備考
15	軽石	軽石	最大長：19mm 最大幅：12mm 最大厚：11mm	くすんだ白色の軽石。明確な使用痕や磨面といったものは認められない。	下層	

ないが，副炉的用途として使われた可能性がある。Ｐ９は本遺構の下端に沿って作られたピットだったことから本遺構に伴うものと考えられるが，その性格については不明である。本遺構の竪穴壁の外側では浅い掘り込みがほぼ全周した状態で確認された。その断面は竪穴壁沿いがやや平坦で，立ち上がりは緩やかな傾斜を呈していた。床面は全面が強く硬化していた。

埋土堆積状況：本遺構では運よく表土から床面直上にかけて一連の堆積過程を確認することができたが，３号竪穴建物跡や10号竪穴建物跡のように新規富士テフラ層は認められなかった。本遺構における埋土の堆積はいわゆるレンズ状で，竪穴壁外側で確認された浅い掘り込みから竪穴壁内側へと入り込むように７層が堆積していた。Ａ－Ａ’で確認された

10層は竪穴壁から上方へと不自然に立ち上がっており，もしかしたら壁板があった状態で堆積した層かもしれない。

炭化物検出状況：本遺構では下層から床面直上にかけて炭化材が多数検出された。とくに本遺構の南側および西側で炭化材が集中して確認され，南側の炭化材の中には長さが約140cmのものあった。ところが，これだけの炭化材が検出されたにもかかわらず，本遺構からは焼土がほとんど検出されなかった。もし，火災にあった竪穴建物跡であるなら焼土が検出されないというのは考えがたいことから，これらの炭化材は本遺構の廃絶後に投棄されたと考えるのが妥当である。

出土遺物点数：弥生土器76点，弥生時代土製品1点，弥生時代石器1点

出土遺物重量：弥生土器3,010g，弥生時代土製品22g，弥生時代石器2g

遺物出土状況：遺物は上層から床面直上にかけて出土した。焼成粘土塊である14は下層から出土した。出土土器は破片が多いが,その中にあって３と４は良好な出土状態であった。４は胴部上半を欠いた大形壺だが，底部外面が上を向いた状態で出土したことから，４は伏せた状態で置かれ，その後土圧によって潰れたものと考えられる。３も４と同様に底部外面が上を向いた状態で出土したことから，口縁部を下にして伏せた状態で置かれ，その後土圧によって潰れたものと考えられる。

遺物：４・５・７・９・13の胎土にはシャモットが含まれている。一方，６の胎土には海綿骨針が含まれている。11の胎土にはシャモットに加えて海綿骨針も含まれている。さらに，11は附加条の原体が細く，軸縄の節が明瞭な附加条3種が施されており，文様と赤彩の状態，胎土の類似性から11号竪穴建物跡出土№13と同一個体の可能性がある。

備考：本遺構の10層については現場で土層観察を行なうことを失念してしまっていた。そのため，写真から色調および含まれている各種ブロック・粒子を判断したが，しまりや粘性については記載できなかった。また，本遺構から出土した炭化材の自然科学分析については行なっていない。

16号竪穴建物跡

時期：弥生時代後期　**検出面**：基本層序３層　**平面形態**：胴張隅丸長方形

新旧関係：16号竪穴建物跡＜１号溝跡・２号溝跡・22Ｐ・28Ｐ

規模：長軸長4.85m　短軸長4.18m　深さ0.52m

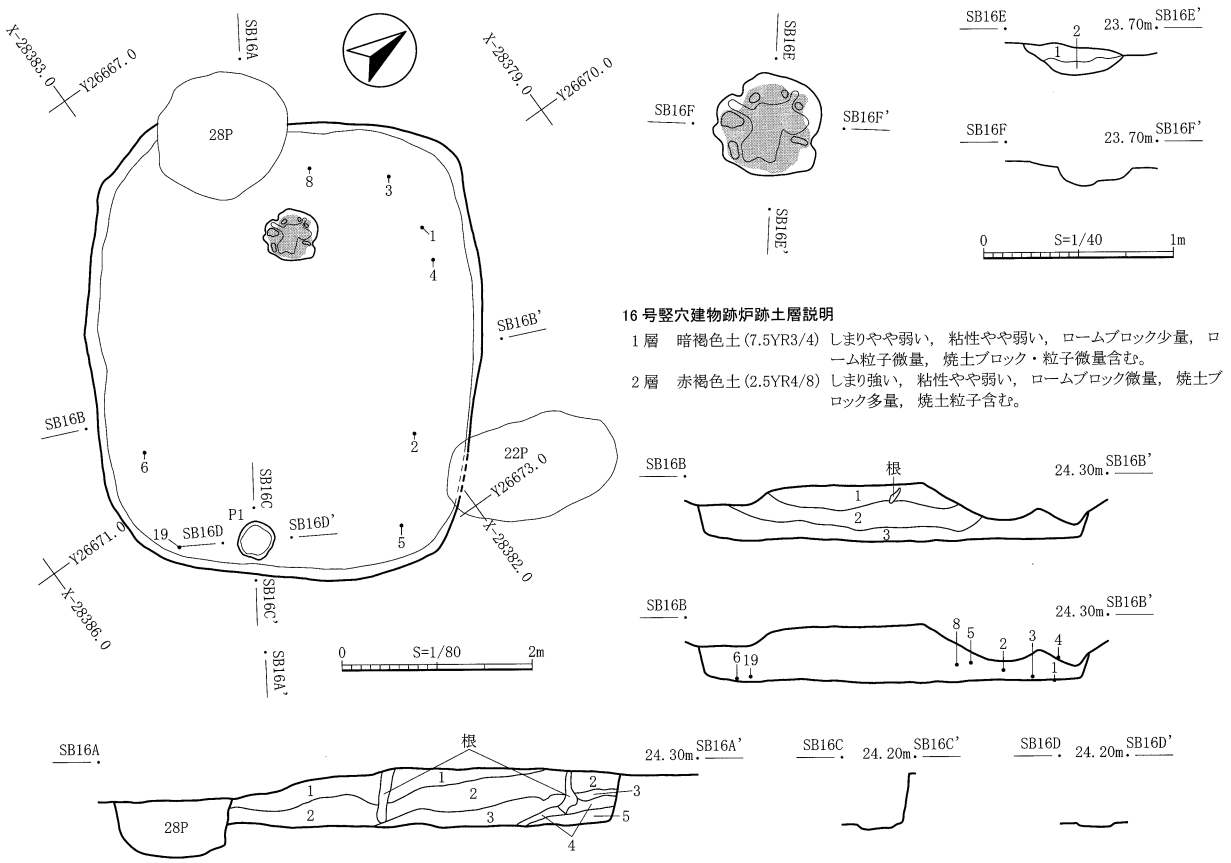
構造：炉が１基，ピットが１基検出された。炉の底面では被熱面が認められ，炉の埋土２層からは多量の焼土ブロックが検出された。Ｐ１はその位置と深さから貯蔵穴と考えられる。柱穴と考えられるピットは検出されなかった。床面は全面が強く硬化していた。

埋土堆積状況：いわゆるレンズ状堆積を呈していた。

出土遺物点数：弥生土器123点

出土遺物重量：弥生土器1,541g

遺物出土状況：１～２層を上層，３層以下を下層として遺物を取り上げた。遺物は上層から床面直上にかけて出土した。



16 号竪穴建物跡炉跡土層説明

1 層　暗褐色土 (7.5YR3/4)　しまりやや弱い，粘性やや弱い，ロームブロック少量，ローム粒子微量，焼土ブロック・粒子微量含む。
2 層　赤褐色土 (2.5YR4/8)　しまり強い，粘性やや弱い，ロームブロック微量，焼土ブロック多量，焼土粒子含む。

16 号竪穴建物跡土層説明

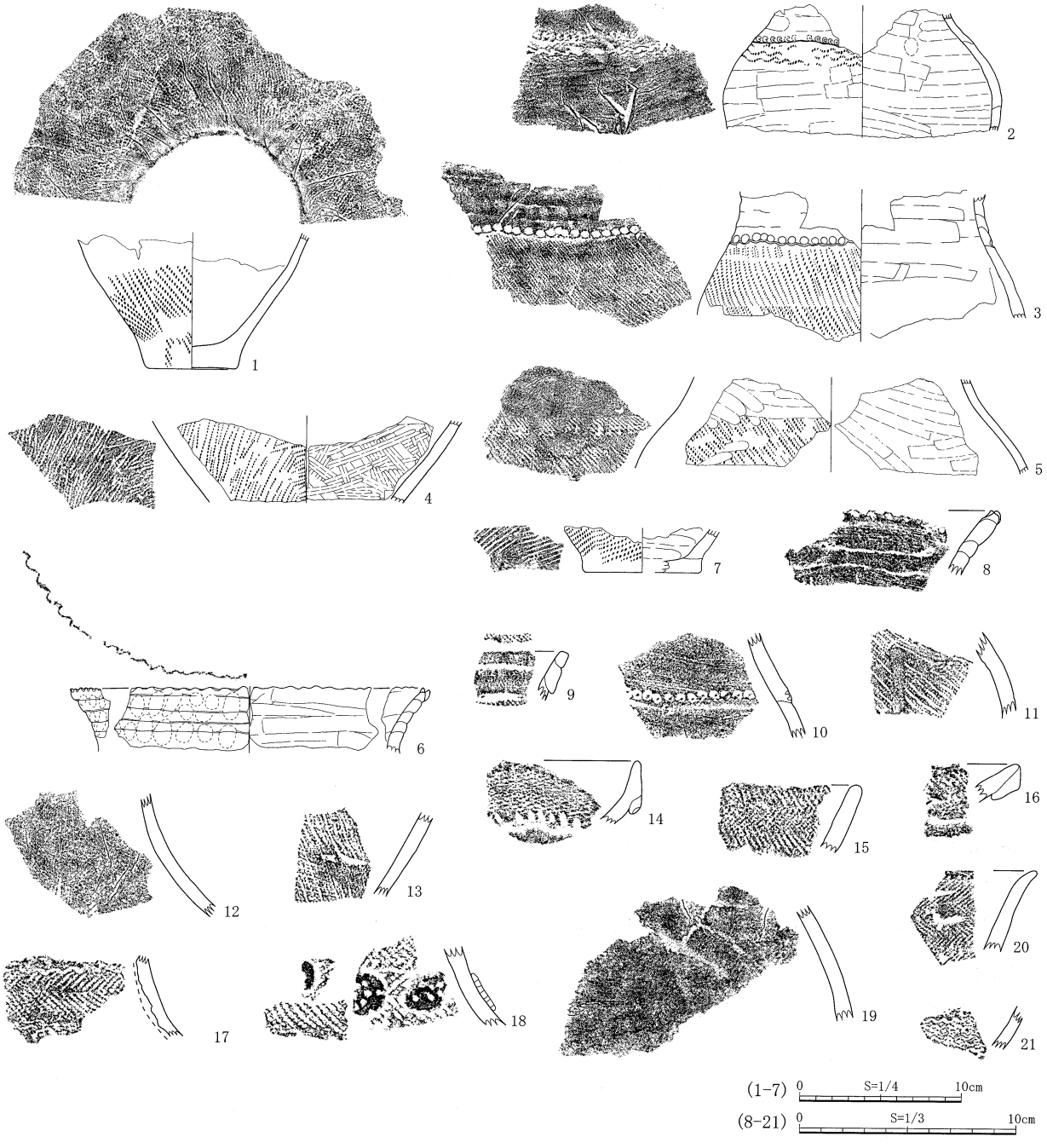
1 層　暗褐色土 (7.5YR3/4)　しまりやや強い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。
2 層　暗褐色土 (7.5YR3/4)　しまり強い，粘性やや弱い，ロームブロック少量，ローム粒子微量含む。
3 層　暗褐色土 (7.5YR3/3)　しまりやや強い，粘性やや弱い，ロームブロック少量，ローム粒子微量含む。
4 層　黒褐色土 (7.5YR3/2)　しまりやや強い，粘性やや弱い，ローム粒子微量含む。
5 層　暗褐色土 (7.5YR3/4)　しまりやや強い，粘性やや弱い，ローム粒子微量含む。

第 37 図　16 号竪穴建物跡（１）

第 30 表　16 号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）

土器

遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
1	弥生後期 甕	胴～底部 遺存 100%	底　径：5.6cm 遺存高：8.5cm	外面：橙色 (7.5YR7/6)，にぶい橙色 (7.5YR7/4) 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：直前段多条 (RL) 内面：剥落により不明	石英，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：コゲあり	床面直上	
2	弥生後期 甕	胴部 遺存 20%	胴部最大径：(17.2)cm 遺存高：8.1cm	外面：橙色 (7.5YR6/6) 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面：ヘラナデ，S 字状結節文 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：コゲあり	下層	
3	弥生後期 甕	頸～胴部 遺存 15%	遺存高 :8.4cm	外面：橙色 (7.5YR6/6)，にぶい赤褐色 (5YR5/4) 内面：にぶい褐色 (7.5YR6/3)	外面：縄文によるキザミ，LR+L・L 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，赤色粒，黒色粒	外面：コゲあり 内面：なし	下層	
4	弥生後期 甕	胴部 遺存 20%	遺存高：5.3cm	外面：明褐色 (7.5YR5/6) 内面：褐灰色 (7.5YR4/1)	外面：直前段 4 条 (LR) 内面：ヘラナデ，ミガキ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	上層	
5	弥生後期 甕	胴部 遺存 20%	遺存高：5.9cm	外面：褐色 (7.5YR4/4) 内面：明黄褐色 (10YR6/6)	外面：ナデ，LR+L・L 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	上層	
6	弥生後期 甕	口縁～頸部 遺存 15%	口　径：(21.7)cm 遺存高：4.1cm	外面：橙色 (5YR7/6) 内面：橙色 (5YR6/8)	外面：ナデ，ユビオサエ，交互押捺 内面：ヘラナデ	シャモット，海綿骨針，石英，角閃石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層 床面直上	
7	弥生後期 甕	底部 遺存 20%	底　径：(7.2)cm 遺存高：2.8cm	外面：浅黄橙色 (7.5 YR 8/6)，黒斑 内面：浅黄橙色 (7.5 YR 8/6)	外面：LR+R・R 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：なし 内面：コゲあり	下層	
8	弥生後期 甕	口縁部 破片	－	外面：にぶい黄褐色 (10YR5/3) 内面：にぶい黄橙色 (10YR6/4)，にぶい黄褐色 (10YR5/3)	外面：ナデ，交互押捺 内面：ヘラナデ	海綿骨針，石英，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	上層	



第 38 図　16 号竪穴建物跡（２）

第 31 表　16 号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）

遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
9	弥生後期 甕	口縁部 破片	－	外面：橙色（7.5YR6/6），黒斑 内面：橙色（7.5YR6/6），黒斑	外面：RL 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：スス 内面：なし	下層	
10	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい褐色（7.5YR6/3） 内面：にぶい褐色（7.5YR5/3），にぶい褐色（7.5YR6/3）	外面：ヘラナデ 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	
11	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色（7.5YR7/6），にぶい褐色（7.5YR5/4） 内面：にぶい褐色（7.5YR5/4）	外面：RL+L・L，ナデ 内面：ヘラナデ	石英，長石，黒色粒	なし	下層	
12	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい褐色（7.5 YR 5/3），にぶい黄橙色（10 YR 6/4） 内面：橙色（5 YR 6/6）	外面：ヘラナデ 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：なし 内面：コゲ	上層	

第 32 表　16 号竪穴建物跡出土遺物観察表（３）

遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
13	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：明赤褐色 (2.5YR5/6) 内面：にぶい赤褐色 (2.5YR 5/3)	外面：RL+L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：なし 内面：コゲ	下層	
14	弥生後期 壺	口縁部 破片	－	外面：灰褐色 (7.5YR4/2)，にぶい褐色 (7.5YR5/3)，浅黄橙色 (10YR8/4) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/4)，赤彩	外面：ナデ，キザミ，附加条３種ないしは網目状撚糸文 内面：ミガキ	シャモット，石英，角閃石，長石，赤色粒，黒色粒	なし	下層	内外面磨耗している
15	弥生後期 壺	口縁部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR7/6) 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：LR，RL 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	
16	弥生後期 壺	口縁部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6) 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面：複合口縁，RL 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	床面直上	
17	弥生後期 壺	頸部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6) 内面：橙色 (7.5YR6/8)	外面：ミガキ，LR，RL，S字状結節文 内面：不明	シャモット，石英，長石，黒色粒	なし	上層	内面剝落顕著で調整不明
18	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：橙色 (5YR6/6) 内面：橙色 (5YR6/6)	外面：LR，RL，円形浮文 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層 下層	内面一部剝落
19	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：浅黄橙色 (7.5 YR 8/4)，赤彩 内面：にぶい橙色 (7.5 YR 7/4)	外面：ミガキ 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	内面剝落著しい
20	弥生後期 広口壺	口縁部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR7/6) 内面：橙色 (7.5YR7/6)，赤彩	外面：LR，RL 内面：ミガキ	石英，角閃石，長石，赤色粒，黒色粒	なし	上層	
21	弥生後期 浅鉢	胴部 破片	－	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/3) 内面：赤彩，黒斑	外面：S字状結節文 内面：ミガキ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	

遺物:14･17･18･19･21 は胎土にシャモットが含まれ，８の胎土には海綿骨針が含まれている。６の胎土にはシャモットに加えて海綿骨針も含まれている。

17 号竪穴建物跡

時期：弥生時代後期　　**検出面**：基本層序３～４層　**平面形態**：不整方形か？

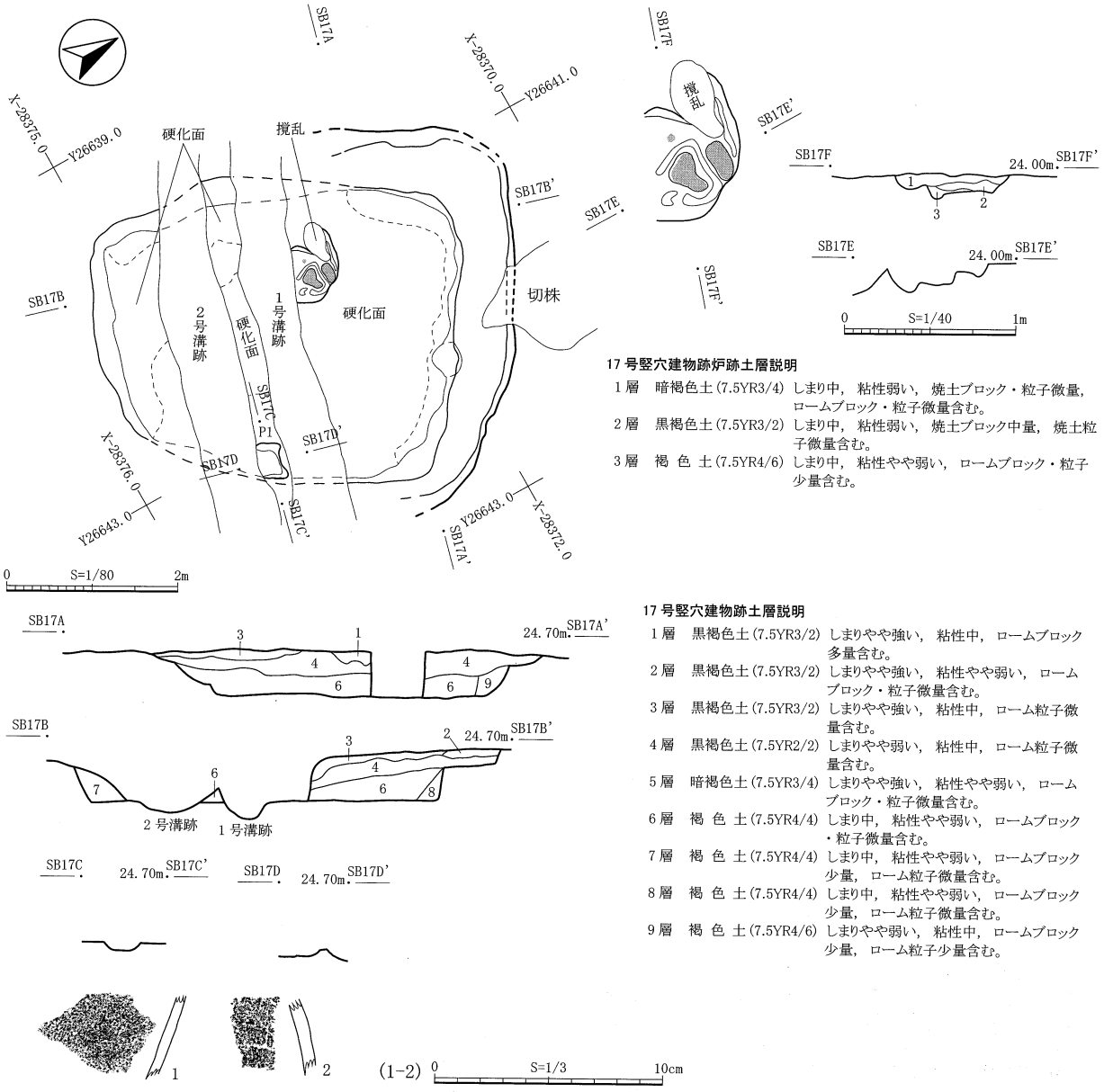
新旧関係：17 号竪穴建物跡＜１号溝跡・２号溝跡

規模：長軸長 4.36m(4.97m)，短軸長 3.47m(4.12m)，深さ 0.38m(0.63m)

構造：本遺構からは炉が１基，ピットが１基検出された。炉の底面ではブロック状に分かれた被熱面が認められ，炉の埋土２層からは焼土ブロックが中量検出された。Ｐ１はその位置と深さから貯蔵穴と考えられる。一方，柱穴と考えられるピットは検出されなかった。北西から東側にかけて竪穴壁外側で浅い掘り込みが確認されたが，大部分は１号溝跡と２号溝跡に壊されたと考えられる。その底面は平坦で立ち上がりがやや急であるものと，緩やかに傾斜して立ち上がっていたものの２つが認められた。今回の調査で検出された竪穴建物跡の中でも本遺構はやや異質である。なぜなら，他の竪穴建物跡は貯蔵穴から炉を結ぶラインに長軸があることがほとんどだったのに対し，本遺構の長軸は上記のラインと直角に交わったところにあったからである。１号溝跡と２号溝跡に壊されていたために断片的ではあるが，床面は大部分が硬化していたと考えられる。

埋土堆積状況：いわゆるレンズ状堆積と考えられる。６層は竪穴壁外側の浅い掘り込みから壁内側に向かって入り込むように堆積していた。壁沿いで検出された７～９層は埋土の特徴から壁が崩れて堆積した可能性がある。

出土遺物点数：弥生土器３点



17号竪穴建物跡炉跡土層説明

1層　暗褐色土(7.5YR3/4)　しまり中，粘性弱い，焼土ブロック・粒子微量，ロームブロック・粒子微量含む。
2層　黒褐色土(7.5YR3/2)　しまり中，粘性弱い，焼土ブロック中量，焼土粒子微量含む。
3層　褐　色　土(7.5YR4/6)　しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子少量含む。

17号竪穴建物跡土層説明

1層　黒褐色土(7.5YR3/2)　しまりやや強い，粘性中，ロームブロック多量含む。
2層　黒褐色土(7.5YR3/2)　しまりやや強い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。
3層　黒褐色土(7.5YR3/2)　しまりやや強い，粘性中，ローム粒子微量含む。
4層　黒褐色土(7.5YR2/2)　しまりやや弱い，粘性中，ローム粒子微量含む。
5層　暗褐色土(7.5YR3/4)　しまりやや強い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。
6層　褐　色　土(7.5YR4/4)　しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。
7層　褐　色　土(7.5YR4/4)　しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック少量，ローム粒子微量含む。
8層　褐　色　土(7.5YR4/4)　しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック少量，ローム粒子微量含む。
9層　褐　色　土(7.5YR4/6)　しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック少量，ローム粒子少量含む。

第39図　17号竪穴建物跡

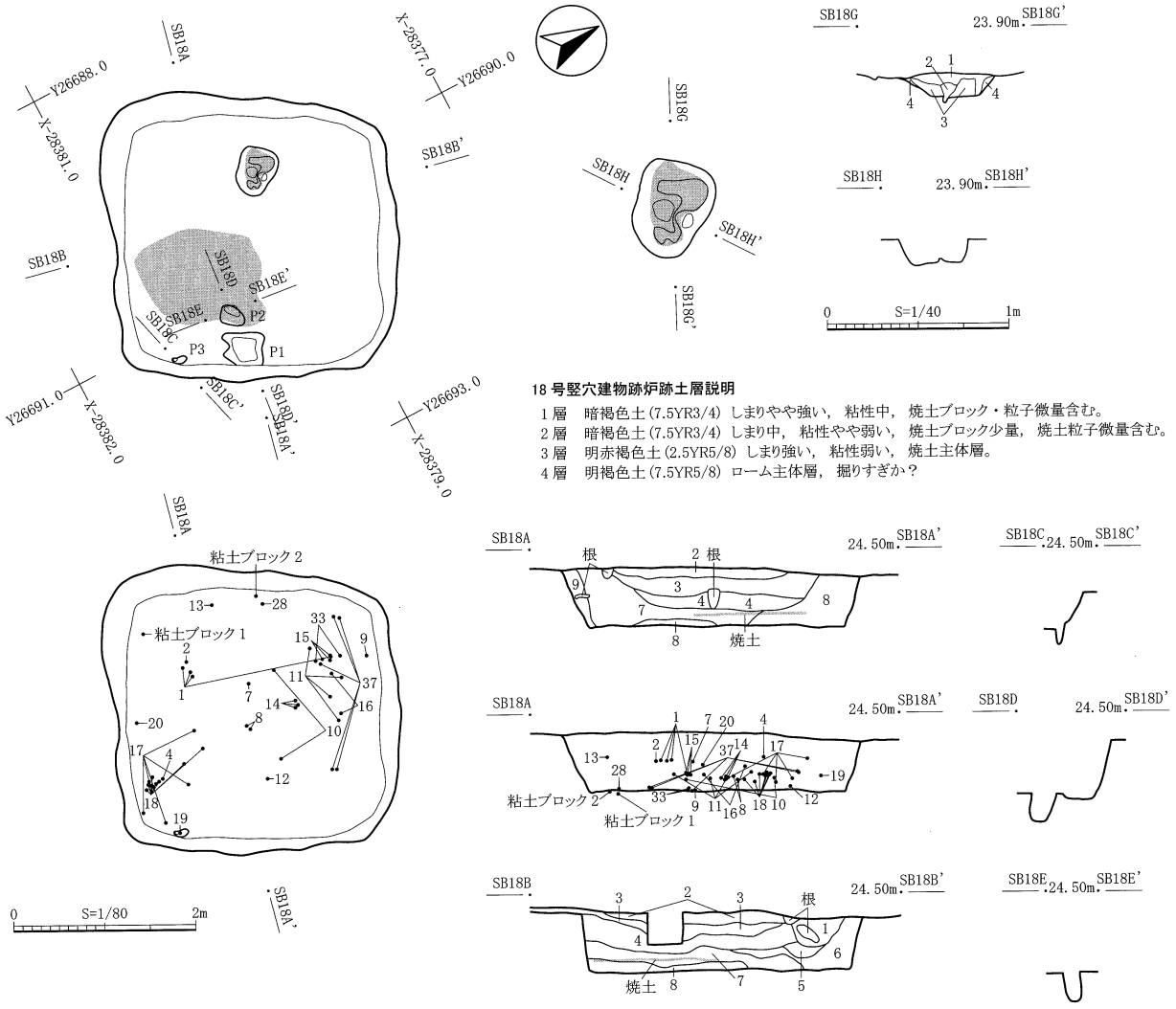
第33表　17号竪穴建物跡出土遺物観察表

土器									
遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
1	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい褐色(7.5YR6/3) 内面：黒褐色(7.5YR3/1)	外面：ナデ 内面：ヘラナデ	石英，長石，角閃石，黒色粒	外面：スス 内面：なし	床面直上	
2	弥生後期 不明	胴部 破片	－	外面：橙色(7.5YR7/6)，黒斑 内面：灰褐色(5YR5/2)	外面：ナデ 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	

出土遺物重量：弥生土器 21g

遺物出土状況：遺物はきわめて少なく，下層から床面直上にかけて出土した。

遺物：１・２ともに無文の破片である。



18 号竪穴建物跡炉跡土層説明

1 層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや強い，粘性中，焼土ブロック・粒子微量含む。
2 層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり中，粘性やや弱い，焼土ブロック少量，焼土粒子微量含む。
3 層　明赤褐色土(2.5YR5/8) しまり強い，粘性弱い，焼土主体層。
4 層　明褐色土(7.5YR5/8) ローム主体層，掘りすぎか？

18 号竪穴建物跡土層説明

1 層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり弱い，粘性やや強い，ロームブロック微量，ローム粒子少量含む。当該遺構の埋土の可能性は低く，ピットなどの遺構が絡んでいたか？
2 層　黒褐色土(7.5YR2/2) しまりやや強い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量，暗褐色土(7.5YR3/4)ブロック多量含む。
3 層　暗褐色土(7.5YR3/3) しまり中，粘性中，ロームブロック少量，ローム粒子中量含む。
4 層　褐 色 土(7.5YR4/4) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック少量，ローム粒子中量含む。
5 層　極暗褐色土(7.5YR2/3) しまり中，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
6 層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック微量，ローム粒子少量含む。
7 層　黒褐色土(7.5YR3/2) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック・粒子微量，焼土ブロック・粒子微量含む。
8 層　黒褐色土(7.5YR3/2) しまりやや強い，粘性やや弱い，ローム粒子微量含む。
9 層　褐 色 土(7.5YR4/4) しまり中，粘性中，ロームブロック・粒子少量含む。

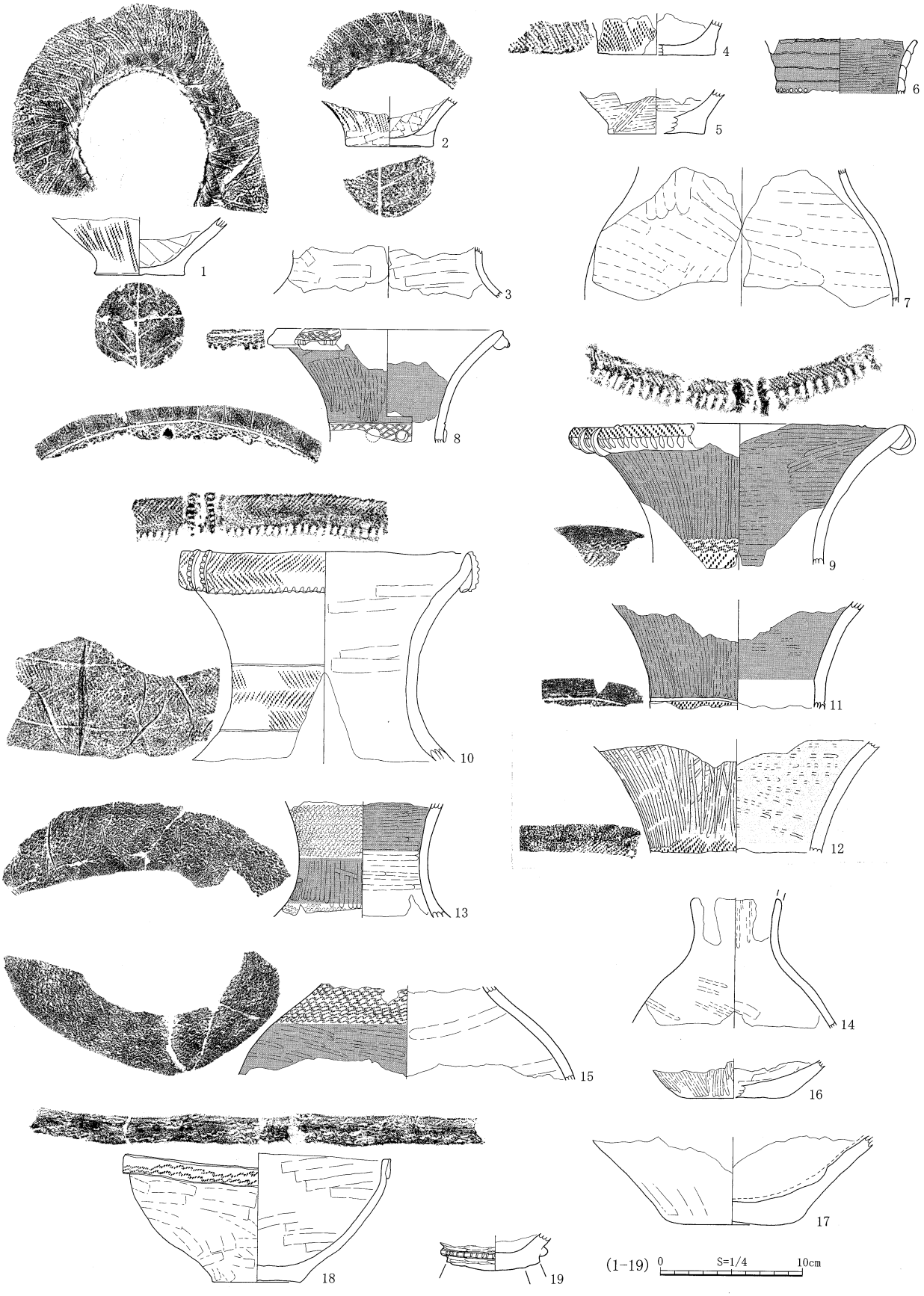
第 40 図　18 号竪穴建物跡（１）

18 号竪穴建物跡

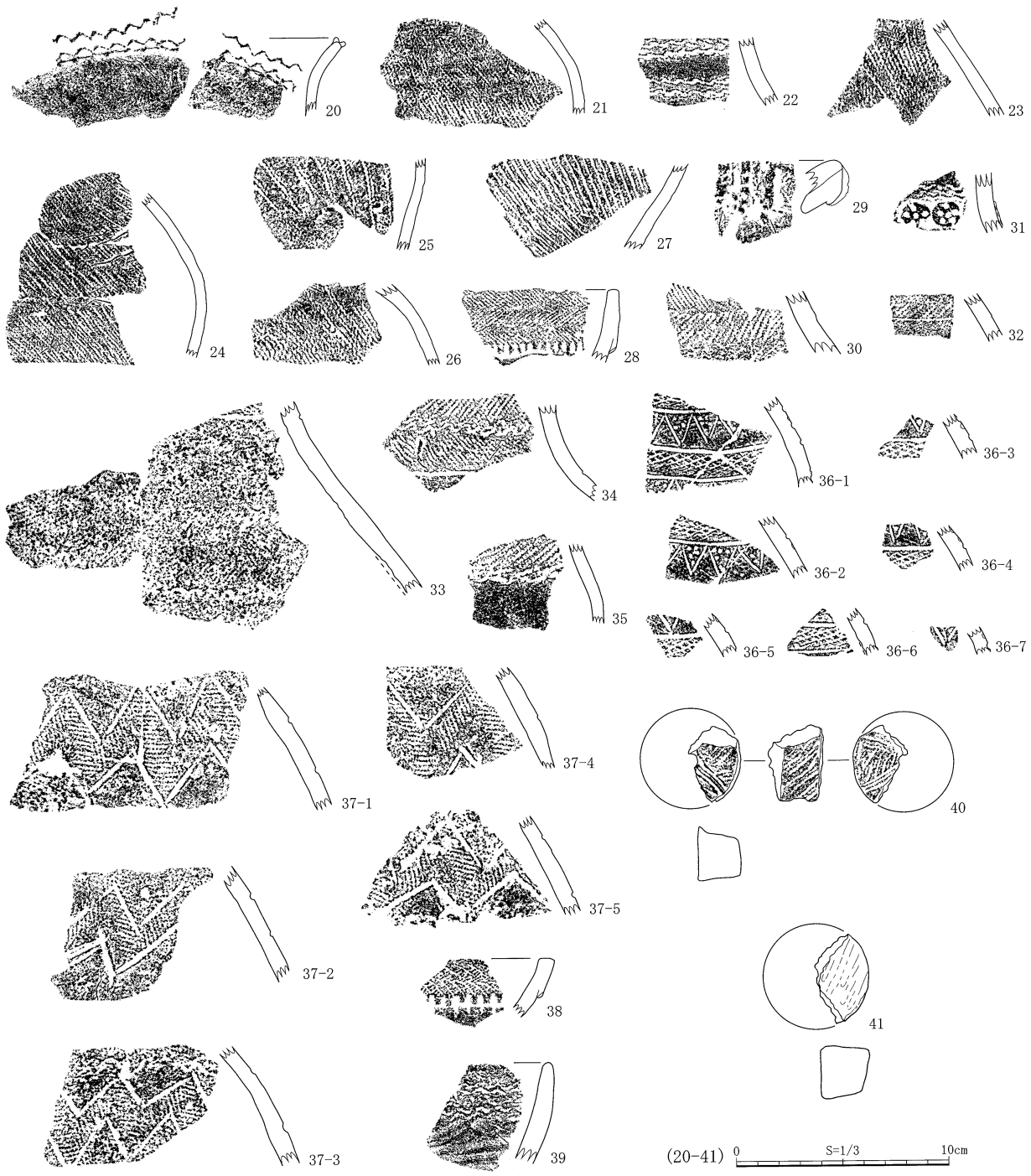
時期：弥生時代後期　**検出面**：基本層序３層　**平面形態**：不整胴張方形

規模：長軸長 3.27m，短軸長 3.21m，深さ 0.65m

構造:本遺構からは炉が１基，ピットが３基検出された。炉の底面からは被熱面が検出され，炉の埋土３層は焼土主体層であった。Ｐ１はその位置と深さから貯蔵穴と考えられる。Ｐ２は竪穴壁に向かって斜め方向に立ち上がる断面形態を呈しており，その位置も踏まえると入口施設に関わるピットと考えられる。Ｐ３は直径が小さいが，深さは 0.22m であり，しっかりと掘り込まれている印象を受ける。ほかに適当なピットもないことから，このピットが柱穴の可能性がある。床面は全面が強く硬化していた。



第 41 図　18 号竪穴建物跡（２）



第 42 図　18 号竪穴建物跡（３）

埋土堆積状況：今回の調査で検出された竪穴建物跡の多くが自然堆積によって埋没したと考えられ，上層は黒色･黒褐色，下層は暗褐色･褐色を呈しており，その違いは顕著であった。また，こうした自然堆積の場合，ロームブロック・粒子の混じり方は下層でやや多かったのに対し，上層では微量しか確認されなかった。一方，本遺構ではこうした色調の差異とは異なり，下層は黒褐色土による埋土であった。さらに，本遺構の上層にあたる３層・４層ではロームブロック・粒子が少量～中量程度入り込んでおり，こうしたことは自然堆積

第 34 表　18 号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）

土器・土製品									
遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
1	弥生後期 甕	底部 遺存 100%	底　径：6.4cm 遺存高：4.2cm	外面：黒褐色 (2.5YR3/2)，明黄褐色 (10YR6/6)，黒斑 内面：明赤褐色 (5YR5/6)	外面：RL ＋ L 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層	底部木葉痕あり
2	弥生後期 甕	底部 遺存 50%	底　径：6.2cm 遺存高：3.5cm	外面：橙色 (5YR7/6)，にぶい橙色 (5YR6/4)，黒斑 内面：にぶい赤褐色 (5YR4/4)，黒斑	外面：ヘラナデ，RL+L 内面：ヘラナデ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層	底部木葉痕あり
3	弥生後期 甕	頸部 遺存 20%	遺存高：3.7cm	外面：明赤褐色 (5YR5/6)，にぶい赤褐色 (5YR4/3) 内面：橙色 (7.5YR6/6)，黒斑	外面：ヘラナデ 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	
4	弥生後期 甕	底部 遺存 20%	底　径：(8.3)cm 遺存高：2.9cm	外面：にぶい赤褐色 (5YR5/4) 内面：褐灰色 (5YR4/1)	外面：RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，長石，黒色粒	外面：なし 内面：コゲ	上層	
5	弥生後期 甕	底部 遺存 25%	底　径：(6.8)cm 遺存高：3.2cm	外面：褐色 (7.5YR4/3) 内面：黒褐色 (7.5YR3/1)	外面：ミガキ 内面：ミガキ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層 炉埋土	
6	弥生後期 甕	口縁～頸部 遺存 40%	口　径：(10.2)cm 遺存高：3.8cm	外面：浅黄橙色 (7.5YR8/4)，黒褐色 (7.5YR3/2)，赤彩，黒斑 内面：黒色 (7.5YR2/1)，赤彩	外面：ミガキ，刺突 内面：ミガキ	角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層	
7	弥生後期 甕	胴部 遺存 15%	遺存高：9.8cm	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/4)，橙色 (7.5YR6/6) 内面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)	外面：ナデ，ヘラナデ 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
8	弥生後期 壺	口縁～頸部 遺存 60%	口　径：(15.8)cm 遺存高：8.0cm	外面：褐色 (7.5YR4/3)，橙色 (7.5YR7/6)，赤彩 内面：橙色 (7.5YR7/6)，赤彩	外面：ミガキ，ヘラナデ，附加条３種（原体は判別難しい） 内面：ミガキ，ヘラナデ	シャモット，海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
9	弥生後期 壺	口縁～頸部 遺存 15%	口　径：(22.7)cm 遺存高：10.2cm	外面：橙色 (7.5YR7/6)，橙色 (5YR7/6)，赤彩，黒斑 内面：赤彩，黒斑	外面：複合口縁，RL，LR，S 字状結節文，縄文によるキザミ，ミガキ 内面：ミガキ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層 床面直上	内面一部剝落あり
10	弥生後期 壺	口縁～頸部 遺存 30%	口　径：(19.8)cm 遺存高：14.8cm	外面：明黄褐色 (2.5YR6/6)，明赤褐色 (2.5YR5/8) 内面：明赤褐色 (2.5YR5/8)	外面：LR，RL，キザミ，沈線 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	外面磨耗により調整不明
11	弥生後期 壺	頸部 遺存 40%	遺存高：7.7cm	外面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)，橙色 (7.5YR7/6)，赤彩 内面：橙色 (7.5YR6/6)，赤彩	外面：ミガキ，LR，沈線 内面：ミガキ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	内面剝落顕著なため，調整は断片的にしか見えず
12	弥生後期 壺	頸部 遺存 25%	遺存高：7.9cm	外面：浅黄色 (2.5Y8/4)，赤彩 内面：赤彩	外面：LR，ミガキ 内面：ミガキ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	内面剝落著しい
13	弥生後期 壺	頸部 遺存 60%	遺存高：8.2cm	外面：にぶい黄橙色 (10YR6/3)，明黄褐色 (10YR7/6)，赤彩 内面：浅黄橙色 (10YR8/4)，にぶい黄橙色 (10YR6/3)，赤彩	外面：ミガキ，S 字状結節文 内面：ナデ，ミガキ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
14	弥生後期 壺	頸部～胴部 遺存 30%	遺存高：9.1cm	外面：にぶい橙色 (5YR6/3) 内面：にぶい橙色 (5YR6/4)	外面：ミガキ 内面：ヘラナデ，ミガキ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	内外面とも剝落が著しく，調整は断片的に確認可
15	弥生後期 壺	肩部 遺存 40%	遺存高：6.6cm	外面：橙色 (7.5YR7/6)，赤彩，黒斑 内面：橙色 (7.5YR7/6)，黒斑	外面：ミガキ，S 字状結節文 内面：ナデ，ヘラナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
16	弥生後期 壺	底部 遺存 80%	底　径：6.8cm 遺存高：2.7cm	外面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)，黒斑 内面：にぶい橙色 (7.5YR7/4)，浅黄橙色 (7.5YR8/6)	外面：ミガキ 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
17	弥生後期 壺	底部 遺存 50%	底　径：7.0cm 遺存高：6.4cm	外面：浅黄橙色 (10YR8/4)，にぶい黄橙色 (10YR7/4) 内面：浅黄橙色 (10YR8/4)	外面：ヘラナデ 内面：不明	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層 下層	内面剝落著しいため調整不明
18	弥生後期 浅鉢	口縁～底部 遺存 80%	口　径：17.8cm 底　径：6.2cm 器　高：9.1cm	外面：明黄褐色 (10YR6/6)，暗褐色 (7.5YR3/3)，黒斑 内面：黒褐色 (7.5YR3/2)，赤褐色 (5YR4/6)，黒斑	外面：複合口縁，S 字状結節文，ヘラナデ 内面：ヘラナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層	
19	弥生後期 高坏	坏部 遺存 100%	遺存高：2.5cm	外面：にぶい黄橙色 (10YR6/4) 内面：にぶい黄橙色 (10YR6/4)，黒斑	外面：キザミ 内面：ヘラナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
20	弥生後期 甕	口縁 破片	－	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/3) 内面：橙色 (7.5YR7/6)，黒斑	外面：ヘラナデ 内面：ヘラナデ	海綿骨針，石英，角閃石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層	
21	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：浅黄橙色 (10YR8/3) 内面：橙色 (7.5YR6/6)，にぶい褐色 (7.5YR5/3)	外面：ナデ，RL ＋ L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	上層	
22	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：明黄褐色 (10YR7/6) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/3)，にぶい褐色 (7.5YR5/4)	外面：ナデ，S 字状結節文 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層	
23	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：褐灰色 (7.5YR4/1)，黒斑 内面：灰褐色 (7.5YR4/2)	外面：RL ＋ L 内面：ナデ	石英，長石，黒色粒	なし	下層	
24	弥生後期 甕？	胴部 破片	－	外面：にぶい赤褐色 (5YR5/4) 内面：にぶい赤褐色 (5YR5/4)，明赤褐色 (5YR5/6)	外面：RL ＋ L・L 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	多量の長石を含む
25	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい黄橙色 (10YR6/3)，黒斑 内面：にぶい黄褐色 (10YR5/4)，明黄褐色 (10YR6/6)	外面：ナデ，RL ＋ L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：コゲ	上層 下層	

第35表　18号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）

遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
26	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：灰褐色(5YR5/2)，黒斑 内面：橙色(7.5YR7/6)，黒斑	外面：RL＋L 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，赤色粒，黒色粒	外面：ススor 内面：なし	下層	
27	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色(7.5YR6/6)，褐色(7.5YR4/4) 内面：にぶい褐色(7.5YR5/3)	外面：RL＋L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：なし 内面：コゲ	下層	
28	弥生後期 壺	口縁部 破片	－	外面：橙色(7.5YR7/6) 内面：橙色(7.5YR7/6)，赤彩	外面：LR，RL，縄文によるキザミ 内面：ミガキ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	床面直上	
29	弥生後期 壺	口縁部 破片	－	外面：橙色(7.5YR6/6)，にぶい橙色(7.5YR6/4) 内面：にぶい褐色(7.5YR6/3)	外面：ナデ，LR，棒状浮文 内面：不明	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	内面剝落により調整不明
30	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：橙色(7.5YR7/6)，にぶい黄褐色(10YR5/3) 内面：橙色(7.5YR7/6)，にぶい黄褐色(10YR5/3)	外面：LR，RL，S字状結節文 内面：不明	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	内面剝落著しいため調整不明
31	弥生後期 壺	頸部 破片	－	外面：橙色(7.5YR6/6)，赤彩 内面：橙色(7.5YR6/6)	外面：LR，S字状結節文，円形浮文，竹管状工具による刺突 内面：ナデ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
32	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：橙色(7.5YR6/6) 内面：橙色(7.5YR6/8)	外面：LR，沈線 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
33	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：明黄褐色(10YR7/6)，赤彩，黒斑 内面：にぶい黄橙色(10YR6/4)	外面：LR，RL，S字状結節文，沈線 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	外面剝落顕著
34	弥生後期 壺	頸部 破片	－	外面：橙色(7.5YR7/6)，にぶい橙色(7.5YR6/4) 内面：浅黄橙色(7.5YR8/6)，黒斑	外面：LR，RL，S字状結節文，沈線 内面：ヘラナデ	シャモット，海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	内面に剝落あり
35	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：橙色(5YR7/6) 内面：橙色(5YR7/6)	外面：ナデ，LR，S字状結節文 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，赤色粒，黒色粒	なし	下層	
36	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：橙色(7.5YR7/6)，赤彩 内面：橙色(7.5YR7/6)	外面：円形刺突文，附加条3種（撚りは判別難しい），沈線，ナデ 内面：ヘラナデ	シャモット，海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層 下層 床面直上	一部剝落あり
37	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：にぶい褐色(7.5YR6/3)，にぶい褐色(7.5YR5/4)，赤彩 内面：浅黄橙色(7.5YR8/4)，黒斑	外面：ミガキ，LR，沈線 内面：不明	シャモット，石英，角閃石，長石，赤色粒，黒色粒	なし	下層 床面直上	内面剝落により調整不明
38	弥生後期 浅鉢	口縁 破片	－	外面：浅黄橙色(10YR8/4)，赤彩 内面：赤彩	外面：複合口縁，附加条3種（原体は判別難しい），キザミ 内面：ミガキ	シャモット，石英，角閃石，黒色粒	なし	下層	
39	弥生後期 浅鉢	口縁～胴部 破片	－	外面：橙色(7.5YR7/6) 内面：橙色(7.5YR7/6)	外面：ナデ，ミガキ，S字状結節文 内面：ナデ，ミガキ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
40	弥生後期 紡錘車	遺存20%	直　径：(4.7)cm 厚　さ：2.6cm	橙色(7.5YR7/6)，橙色(7.5YR6/6)	RL＋L・L	石英，長石，黒色粒	なし	上層	
41	弥生後期 紡錘車	遺存25%	直　径：(5.2)cm 厚　さ：2.5cm	にぶい褐色(7.5YR5/4)	ミガキ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	

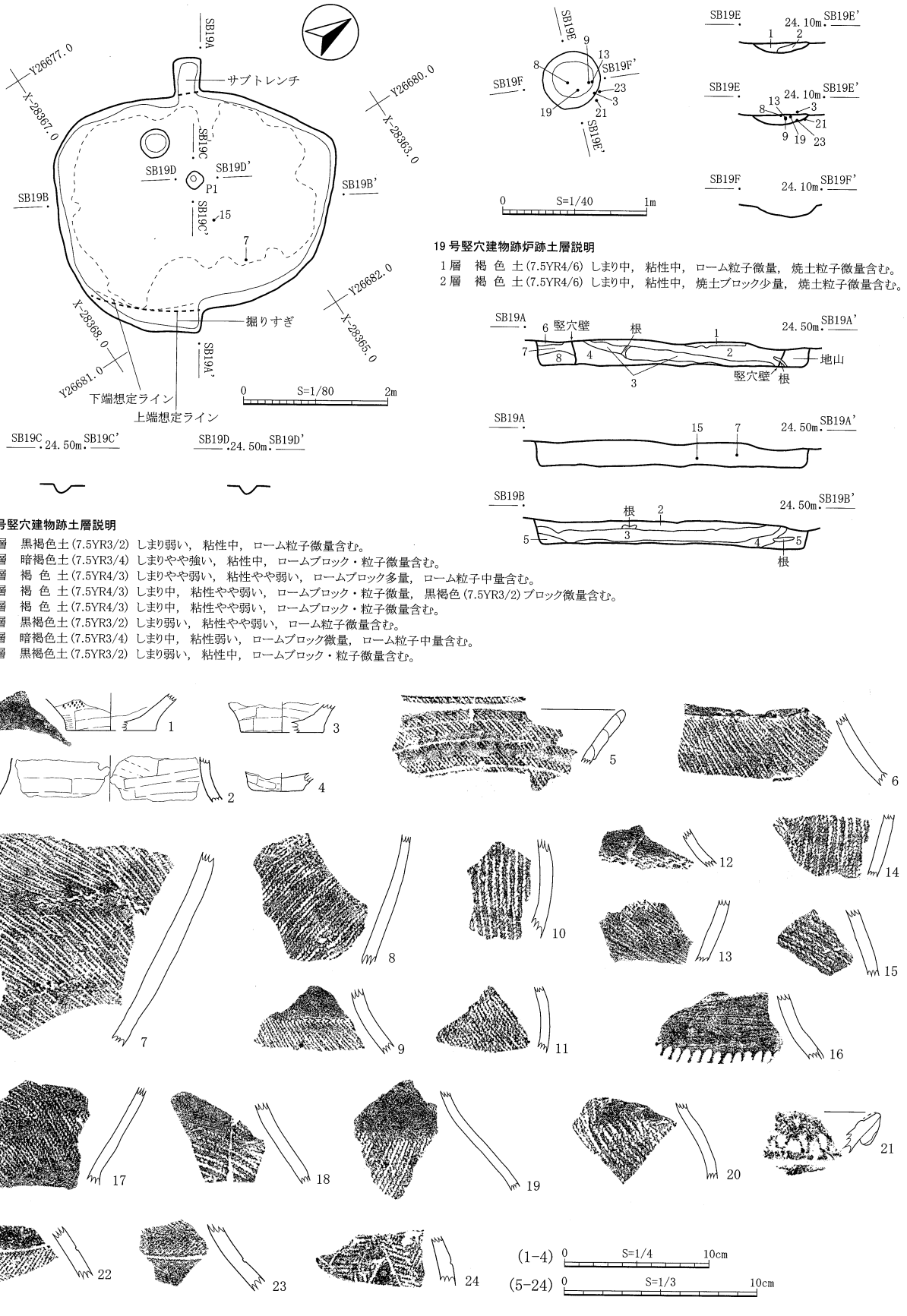
では認められなかった。以上のことを総合すると，本遺構は人為的に埋められた可能性が高いと言える。一方，本遺構からは７層中から焼土も確認された。

出土遺物点数：弥生土器692点，弥生時代土製品２点

出土遺物重量：弥生土器9,673g，弥生時代土製品42g

遺物出土状況：２～３層を上層，４層以下を下層として遺物を取り上げた。今回調査を行なった竪穴建物跡の中で本遺構はとくに出土遺物の量が多く，上層から床面直上にかけて多量に遺物が出土した。このことから本遺構は人為的に埋め戻しつつ，遺物も投棄したものと考えられる。また，白色粘土のブロックが床面直上の２箇所で確認された。

遺物：２・５・20・31の胎土には海綿骨針が含まれ，11・12・14・15・17・18・19・29・30・33・37・38の胎土にはシャモットが含まれている。一方，８・34・36の胎土にはシャモットに加えて海綿骨針も認められる。38は複雑な幾何学文が施された装飾壺の破片と



19号竪穴建物跡炉跡土層説明

1層　褐 色 土(7.5YR4/6) しまり中，粘性中，ローム粒子微量，焼土粒子微量含む。
2層　褐 色 土(7.5YR4/6) しまり中，粘性中，焼土ブロック少量，焼土粒子微量含む。

19号竪穴建物跡土層説明

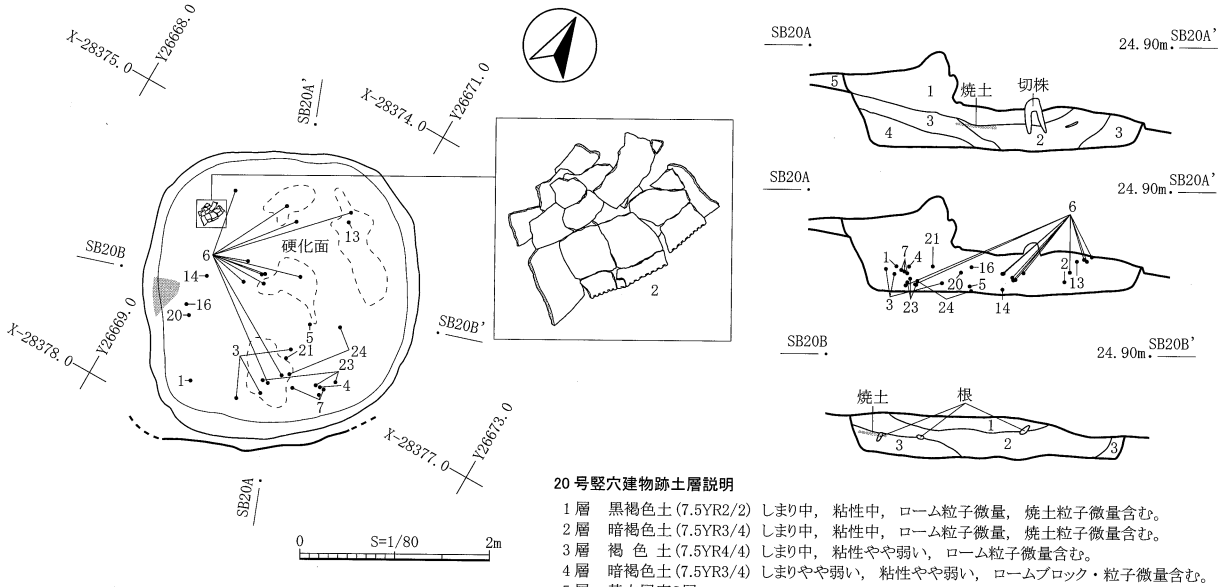
1層　黒褐色土(7.5YR3/2) しまり弱い，粘性中，ローム粒子微量含む。
2層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや強い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
3層　褐 色 土(7.5YR4/3) しまりやや弱い，粘性やや弱い，ロームブロック多量，ローム粒子中量含む。
4層　褐 色 土(7.5YR4/3) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量，黒褐色(7.5YR3/2)ブロック微量含む。
5層　褐 色 土(7.5YR4/3) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。
6層　黒褐色土(7.5YR3/2) しまり弱い，粘性やや弱い，ローム粒子微量含む。
7層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり中，粘性弱い，ロームブロック微量，ローム粒子中量含む。
8層　黒褐色土(7.5YR3/2) しまり弱い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。

第43図　19号竪穴建物跡

第 36 表　19 号竪穴建物跡出土遺物観察表

土器									
遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
1	弥生後期 甕	底部 遺存 20%	底　径：(6.2)cm 遺存高：2.6cm	外面：褐灰色 (7.5YR4/1)，灰褐色 (7.5YR4/2) 内面：赤褐色 (5YR4/6)，にぶい赤褐色 (5YR4/3)	外面：ヘラナデ，ミガキ 内面：ナデ	石英，長石，黒色粒	なし	上層	底部木葉痕あり
2	弥生後期 甕	頸部 遺存 15%	遺存高：3.2cm	外面：赤褐色 (5YR4/6)，黒斑 内面：赤褐色 (5YR4/6)，黒斑	外面：ヘラナデ 内面：ヘラナデ	石英，長石，赤色粒，黒色粒	なし	上層	
3	弥生後期 甕	底部 遺存 25%	底　径：(5.8)cm 遺存高：2.1cm	外面：明赤褐色 (5YR5/6)，灰褐色 (5YR5/2) 内面：灰褐色 (5YR5/2)	外面：ヘラナデ 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：なし 内面：コゲ	下層	
4	弥生後期？ 器種不明	底部 遺存 100%	底　径：3.2cm 遺存高：1.3cm	外面：橙色 (5YR6/8)，黒斑 内面：にぶい黄褐色 (10YR5/3)，橙色 (5YR6/8)	外面：ナデ 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	埋土	
5	弥生後期 甕	口縁 破片	－	外面：褐灰色 (7.5YR4/1) 内面：褐灰色 (7.5YR4/1)，明赤褐色 (5YR5/6)	外面：RL ＋ L・L 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層 床面直上 炉埋土	
6	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/4)，橙色 (7.5YR7/6)，黒斑 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/4)，橙色 (7.5YR7/6)，黒斑	外面：ナデ，RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
7	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR7/6)，黒斑 内面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)，灰褐色 (7.5YR4/2)	外面：RL ＋ L・L 内面：ヘラケズリ	石英，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	上層	
8	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい橙色 (7.5YR6/4) 内面：黒褐色 (7.5YR3/2)	外面：LR ＋ R・R 内面：ナデ，ミガキ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：コゲ	下層 床面直上 炉埋土	
9	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい橙色 (7.5YR6/4) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/3)	外面：RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
10	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：灰褐色 (7.5YR5/2) 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	炉埋土	
11	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：褐灰色 7.5YR4/1) 内面：橙色 (5YR6/6)	外面：RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	上層	
12	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：灰褐色 (7.5YR4/2) 内面：明赤褐色 (5YR5/6)	外面：ナデ，ミガキ，S 字状結節文 内面：ヘラナデ，ミガキ	石英，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：コゲ	埋土一括	
13	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/3)，黒斑 内面：にぶい赤褐色 (5YR5/4)	外面：RL ＋ L・L 内面：ヘラケズリ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	埋土一括	
14	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：灰褐色 (7.5YR4/2) 内面：黒褐色 (7.5YR3/2)	外面：RL ＋ L・L 内面：ナデ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：コゲ	炉埋土	内面剝落顕著
15	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)，黒斑 内面：灰褐色 (7.5YR4/2)	外面：RL ＋ L・L 内面：不明	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	内面剝落顕著で調整判別不可
16	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/3)，褐灰色 (7.5YR4/1) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/4)，橙色 (7.5YR6/6)	外面：ナデ 内面：ナデ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
17	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい橙色 (7.5YR7/4) 内面：灰褐色 (7.5YR4/2)	外面：RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，長石，黒色粒	外面：なし 内面：コゲ	埋土一括	
18	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい黄橙色 (10YR6/3) 内面：にぶい黄橙色 (10YR6/3)	外面：ヘラナデ，RL ＋ L・L 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：コゲ	床面直上	
19	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：黒色 (7.5YR2/1) 内面：褐灰色 (7.5YR4/1)	外面：ナデ，LR ＋ R・R 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	下層	内面剝落あり
20	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：褐灰色 (10YR4/1) 内面：褐灰色 (10YR4/1)	外面：RL ＋ L・L 内面：ナデ	石英，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：コゲ	炉埋土	
21	弥生後期 壺	口縁 破片	－	外面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)，橙色 (7.5YR7/6) 内面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)	外面：複合口縁，キザミ，LR 内面：剝落により判別不可	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	内面剝落著しく調整判別できず
22	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6)，赤彩 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面：ミガキ，LR，RL，沈線 内面：ナデ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	炉埋土	内面少し剝落あり
23	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：橙色 (5YR6/6) 内面：にぶい橙色 (7.5YR7/4)	外面：ヘラナデ，LR，RL，沈線 内面：ヘラナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	埋土一括	
24	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：にぶい褐色 (7.5YR6/3)，橙色 (5YR7/6) 内面：橙色 (5YR6/6)	外面：LR，RL，沈線 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	炉埋土	内面剝落顕著

考えられる。9 ～ 12 はその大きさから大形壺の口頸部と考えられる。



20号竪穴建物跡土層説明

1層　黒褐色土(7.5YR2/2) しまり中，粘性中，ローム粒子微量，焼土粒子微量含む。
2層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり中，粘性中，ローム粒子微量，焼土粒子微量含む。
3層　褐 色 土(7.5YR4/4) しまり中，粘性やや弱い，ローム粒子微量含む。
4層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。
5層　基本層序3層。

第44図　20号竪穴建物跡（1）

19号竪穴建物跡

時期：弥生時代後期　**検出面**：基本層序３層　**平面形態**：不整胴張隅丸長方形

規模：長軸長 3.89m，短軸長 3.02m，深さ 0.36m

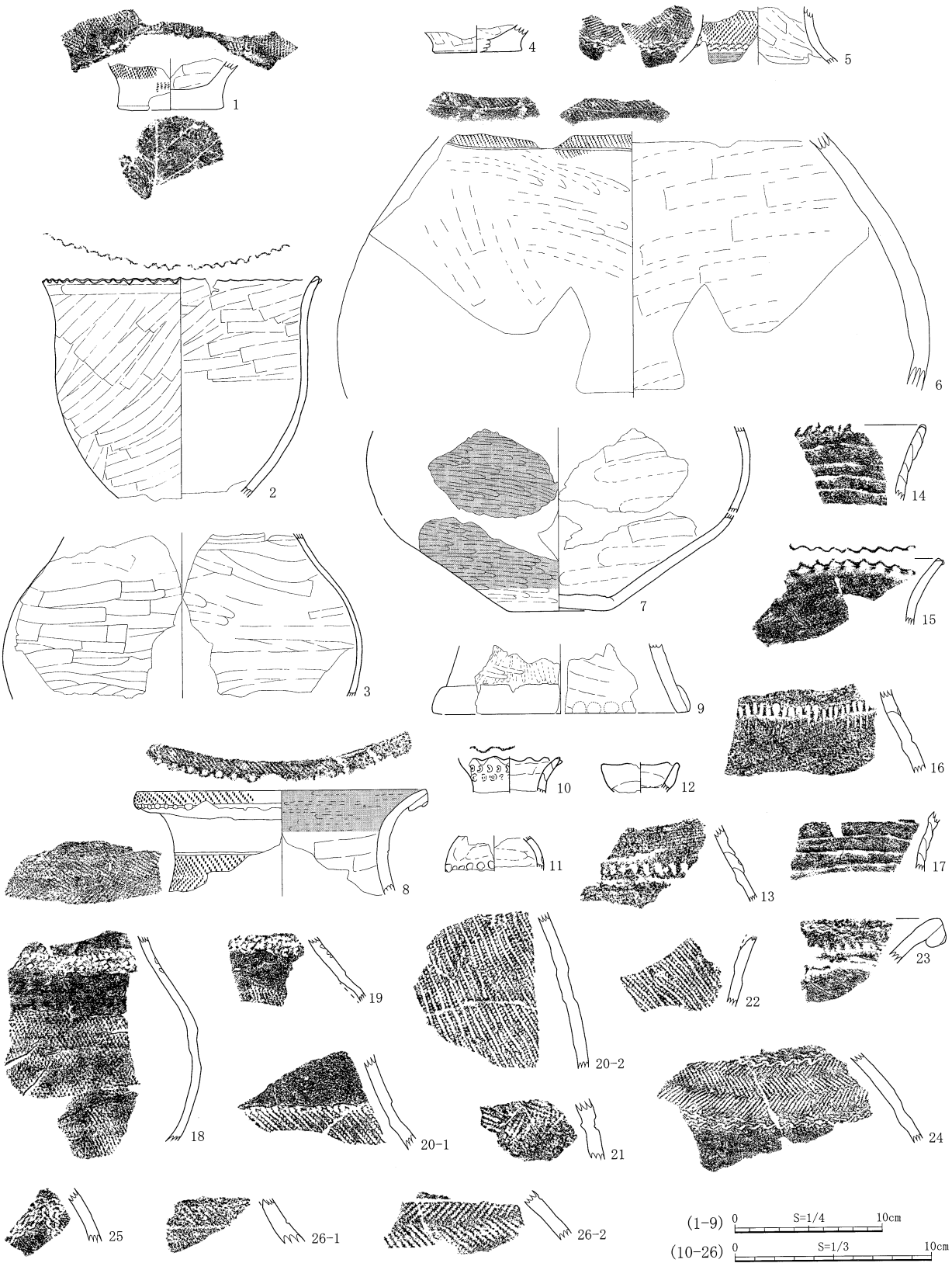
構造:本遺構からは炉が１基，ピットが１基検出された。炉の底面では被熱面が確認できず，焼土についても検出量は少なく，多いもので炉の埋土２層において焼土ブロックが少量認められた程度であった。Ｐ１は掘り込みが浅く，その性格については不明である。確実に柱穴と判断できるピットは検出されなかった。床面については竪穴壁際に沿って未硬化面が見られた。本遺構の掘り込みは浅く，床面はソフトローム層まで達していなかった。

埋土堆積状況：本遺構で検出された各層の埋土は本遺構の北西から南東方向に向かって傾斜しており,いわゆるレンズ状堆積ではなかった。さらに,３層はロームブロックが多量,ローム粒子が中量含まれていた。本遺構はソフトローム層まで掘り込まれていなかったことから，竪穴壁が崩れたことでこれらの多量なロームブロック・粒子が流れ込んだとは考えられない。したがって，これらのロームブロック・粒子は明らかに人為的に本遺構に投げ込まれたと考えざるをえない。以上のことを踏まえると，本遺構の埋土は人為的に埋め戻されたことで形成されたと考えられ．さらには北西方向から南西方向に向かって埋め戻しが行なわれたために北西から南東方向に向かって埋土が傾斜した可能性が指摘できる。

遺物出土状況：１～２層を上層，３層以下を下層として遺物を取り上げた。遺物は上層から下層にかけて出土した。本遺構から出土した遺物はいずれも破片だったが，とくに炉の埋土中から破片が集中して出土した。

遺物：14・16・22の胎土には海綿骨針が含まれており，21・23・24の胎土にはシャモットが含まれている。

備考:本遺構の北西側は周辺の竪穴壁よりも暗く，他の遺構が重なっている可能性があった。



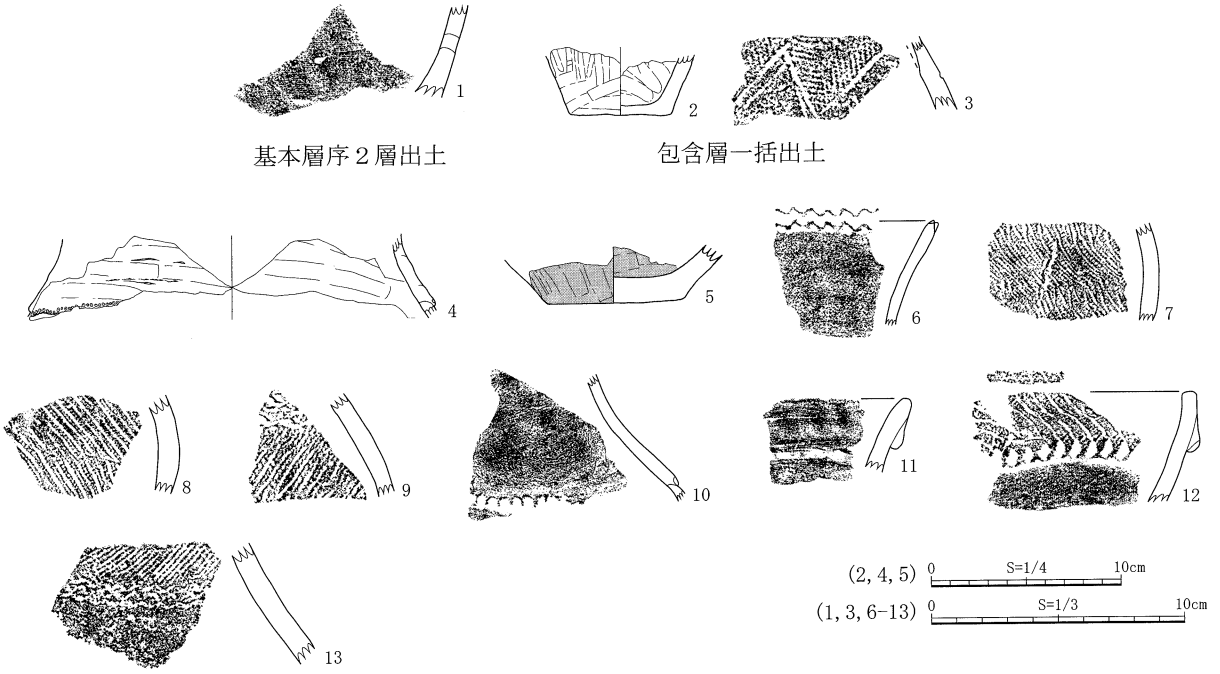
第 45 図　20 号竪穴建物跡（２）

第37表　20号竪穴建物跡出土遺物観察表（１）

土器									
遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
1	弥生後期 甕	底部 遺存 50%	底　径：(6.8)cm 遺存高：3.5cm	外面：にぶい黄橙色 (10YR7/4), 黒斑 内面：不明	外面：ナデ，RL 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：なし 内面：コゲ	下層	内面の色調はコゲの付着により判別できず。木葉痕あり。
2	弥生後期 甕	口縁～胴部 遺存 90%	胴部最大径：17.0cm 口　径：18.4cm 遺存高：15.0cm	外面：黄橙色 (7.5YR7/8)，黒褐色 (7.5YR3/1)，赤褐色 (2.5YR4/8)，黒斑 内面：黄橙色 (7.5YR7/8)，黒褐色 (7.5YR3/1)，黒斑	外面：ナデ，ヘラナデ，交互押捺 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススか 内面：コゲ	下層	
3	弥生後期 甕	胴部 遺存 15%	胴部最大径：(24.2)cm 遺存高：11.0cm	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/4), にぶい橙色 (7.5YR7/4) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/4), にぶい橙色 (7.5YR7/4)	外面：ヘラケズリ，ヘラナデ 内面：ヘラケズリ，ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススか 内面：なし	下層	
4	弥生後期 甕	底部 遺存 30%	底　径：(4.9)cm 遺存高：1.8cm	外面：にぶい赤褐色 (5YR5/4) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/3)	外面：ヘラナデ 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
5	弥生後期 壺	頸～肩部 遺存 20%	遺存高：3.9cm	外面：黄橙色 (10YR8/6)，橙色 (7.5YR7/6)，赤彩，黒斑 内面：橙色 (7.5YR7/6)，橙色 (7.5YR6/6)，黒斑	外面：LR, RL, S字状結節文，ミガキ 内面：ヘラナデ，ナデ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
6	弥生後期 壺	胴部 遺存 25%	胴部最大径：(40.1)cm 遺存高：17.5cm	外面：橙色 (7.5YR6/8)，黒褐色 (7.5YR3/1)，黒斑 内面：黄橙色 (10YR8/6)，橙色 (7.5YR6/6)	外面：ヘラナデ，ミガキ，RL，沈線 内面：ヘラナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層 下層	表面剝落により調整不明
7	弥生後期 壺	胴～底部 遺存 15%	胴部最大径：(25.9)cm 底　径：6.8cm 遺存高：(12.4)cm	外面：浅黄橙色 (10YR8/4)，赤彩，黒斑 内面：明黄褐色 (10YR7/6)，黒斑	外面：ミガキ 内面：ナデ，ヘラナデ	石英，角閃石，長石，赤色粒，黒色粒	なし	下層	
8	弥生後期 広口壺	口縁～胴部 遺存 20%	口　径：(19.2)cm 遺存高：7.2cm	外面：橙色 (7.5YR7/6)，赤彩 内面：橙色 (7.5YR7/6)，赤彩，黒斑	外面：複合口縁，縄による キザミ，LR，RL，沈線 内面：ヘラナデ，ミガキ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層 下層	角閃石多量含む
9	弥生後期 高坏	脚部 遺存 15%	底　径：(17.3)cm 遺存高：4.7cm	外面：橙色 (7.5YR7/6) 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：ミガキ 内面：ナデ，ユビオサエ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	
10	弥生後期 小形甕	口縁～胴部 遺存 20%	口　径：(5.0)cm 遺存高：1.8cm	外面：にぶい黄橙色 (10YR6/4) 内面：にぶい黄橙色 (10YR5/4)	外面：刺突 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
11	弥生後期？ 小形甕？	胴部 遺存 25%	胴部最大径：(5.0)cm 遺存高：1.8cm	外面：褐灰色 (7.5YR4/1) 内面：褐灰色 (7.5YR4/1)	外面：ナデ 内面：ナデ	石英，長石，黒色粒	なし	下層	
12	弥生後期？ 小形浅鉢？	口縁～胴部 遺存 15%	口　径：(3.7)cm 遺存高：1.5cm	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/4), 灰褐色 (7.5YR4/2) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/4), 灰褐色 (7.5YR4/2)	外面：ナデ 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
13	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6) 内面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)	外面：ナデ，キザミ 内面：ヘラケズリ	海綿骨針，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
14	弥生後期 甕	口縁部 破片	－	外面：黒褐色 (7.5YR3/1) 内面：黒褐色 (7.5YR3/1)，灰褐色 (7.5YR4/2)	外面：縄文によるキザミ 内面：ナデ	石英，長石，黒色粒	外面：ススか 内面：なし	下層	
15	弥生後期 甕	口縁～頸部 破片	－	外面：褐灰色 (7.5YR4/1) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/3)	外面：ナデ，交互押捺 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
16	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい黄橙色 (10YR6/4) 内面：にぶい黄橙色 (10YR6/4)	外面：ヘラナデ，キザミ 内面：ヘラナデ，ナデ	海綿骨針，石英，長石，黒色粒	外面：ススか 内面：なし	上層	
17	弥生後期 甕	頸部 破片	－	外面：灰褐色 (7.5YR4/2)，にぶい橙色 (7.5YR6/4) 内面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)，黒斑	外面：ナデ 内面：ナデ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
18	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6)，明褐色 (7.5YR5/6) 内面：橙色 (7.5YR6/6)，黒斑	外面：RL＋L・L，キザミ 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層 下層	No. 19と同一個体か
19	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6) 内面：橙色 (7.5YR6/6)，黒斑	外面：RL＋L・L，キザミ 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	内面一部剝落 No. 18と同一個体か
20	弥生後期 甕？	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR7/6)，橙色 (7.5YR6/6)，黒斑 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面：RL＋L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	大粒の石英多量含む。
21	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)，橙色 (5YR7/6) 内面：橙色 (5YR7/6,5YR6/6)	外面：ナデ，LR，沈線 内面：不明	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	上層	内面剝落により調整不明
22	弥生後期 壺か甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6) 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：RL＋L・L 内面：不明	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	剝落により調整不明。大粒の石英多量含む。
23	弥生後期 壺	口縁 破片	－	外面：にぶい黄橙色 (10YR6/4)，赤彩 内面：赤彩	外面：複合口縁，S字状結節文，キザミ，ミガキ 内面：ミガキ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	
24	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：浅黄橙色 (10YR8/4)，赤彩，黒斑 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：ヘラナデ，S字状結節文，LR，RL 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層 床面直上	
25	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)，橙色 (5YR7/6) 内面：橙色 (5YR7/6)，橙色 (5YR6/6)	外面：ヘラナデ，S字状結節文 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	下層	内面剝落著しい

第 38 表　20 号竪穴建物跡出土遺物観察表（２）

遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
26	弥生後期 壺	胴部 破片	-	外面：橙色(5YR6/6)，にぶい橙色(7.5YR6/4) 内面：橙色(5YR6/6)	外面：ナデ，LR，RL，S字状結節文 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，赤色粒，黒色粒	なし	下層	



第 46 図　遺構外出土の弥生土器

そのため，サブトレンチを設定して掘削したが，結果的に明確な遺構は確認されなかった。一方，南東側の一部については竪穴壁の立ち上がりに気づけず，掘りすぎてしまった。

20 号竪穴建物跡

時期：弥生時代後期　**検出面**：基本層序３層～４層　**平面形態**：胴張隅丸方形

規模：長軸長 3.04m(3.17m)，短軸長 2.91m，深さ 0.56m(0.76m)

構造：炉やピットは検出されなかった。床面は大部分が硬化していたが，部分的に未硬化の面も見られた。本遺構の大部分は基本層序４層で検出されたが，一部基本層序３層で検出されたところもあった。基本層序３層で検出された部分については竪穴壁外側に浅い掘り込みが確認され，おそらく竪穴壁に沿ってさらに広がっていたものと思われる。浅い掘り込みの断面形態は立ち上がりの傾斜が急であった。

埋土堆積状況:いわゆるレンズ状堆積であり，自然堆積によって埋没したものと考えられる。３層中からは焼土も検出された。

遺物出土状況：１層を上層，２層以下を下層として遺物を取り上げた。遺物は上層から床面直上にかけて出土した。とくに２はその出土状況から土器が横倒しになった状態から土圧

第 39 表　遺構外出土弥生土器観察表

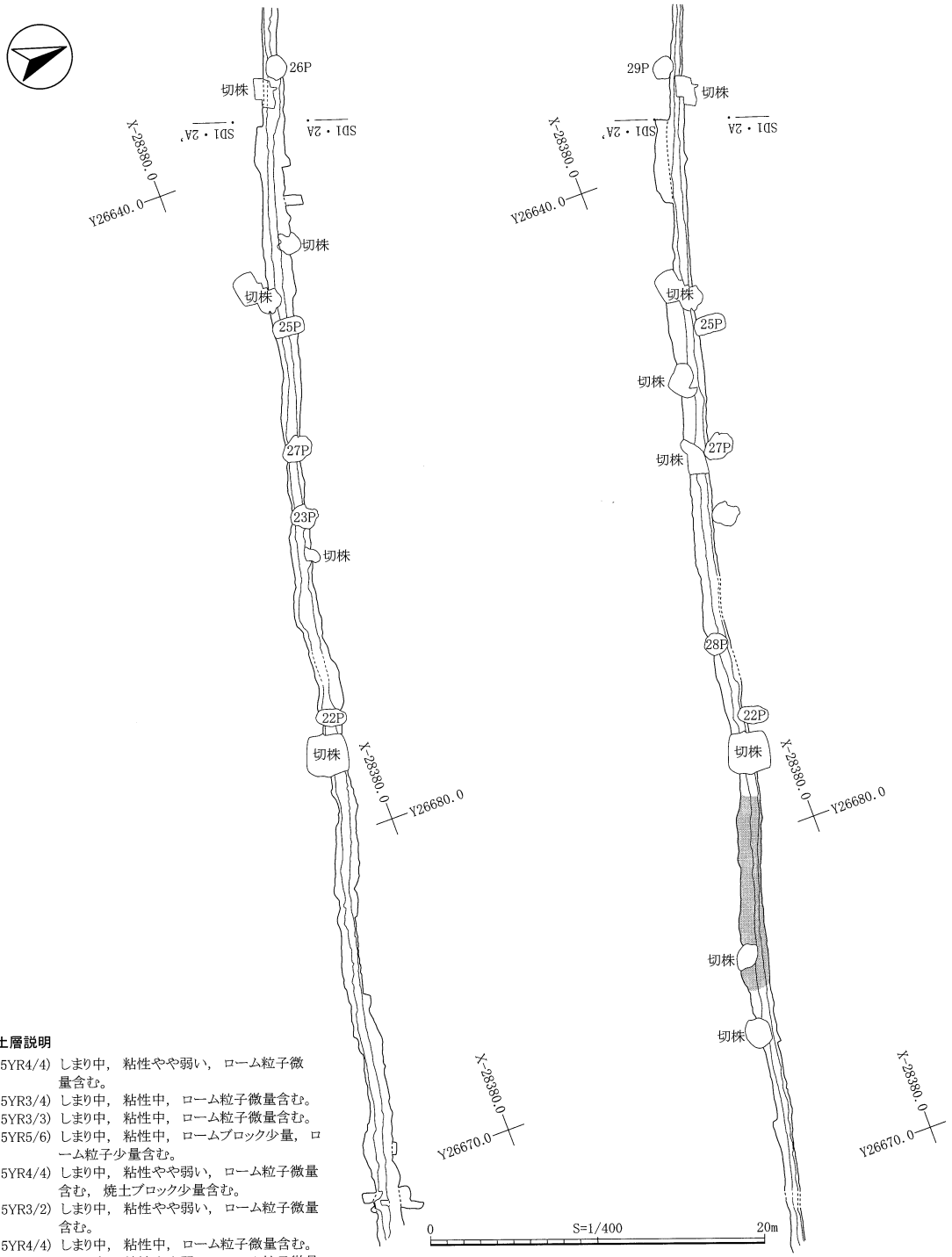
土器									
遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
1	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/3), 黒斑 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/4)	外面：ヘラナデ，ミガキ 内面：ヘラナデ，ミガキ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	基本層序 2層	
2	弥生後期 甕	底部 遺存 15%	底　径：(5.3)cm 遺存高：3.6cm	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/3), 黒斑 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/3), 橙色 (2.5YR6/8)	外面：ヘラナデ，ミガキ 内面：ミガキ	石英，長石，黒色粒	外面：ススコゲ 内面：なし	包含層	
3	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：にぶい黄橙色 (10YR6/4), 黒斑 内面：灰黄褐色 (10YR5/2)	外面：LR，沈線 内面：不明	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	包含層	内面剝落により調整不明
4	弥生後期 甕	胴部 遺存 20%	遺存高：4.5cm	外面：にぶい黄橙色 (10YR7/4) 内面：にぶい黄褐色 (10YR5/3), にぶい赤褐色 (5YR4/3)	外面：ヘラナデ，筒状工具によるキザミ 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ス ス 内面：なし	表土	
5	弥生後期 浅鉢	底部 遺存 40%	底　径：(6.9)cm 遺存高：3.0cm	外面：にぶい橙色 (7.5YR6/4), 赤彩，黒斑 内面：赤彩	外面：ヘラナデ 内面：ヘラナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	表土	
6	弥生後期 甕	口縁部 破片	－	外面：にぶい黄橙色 (10YR7/4) 内面：にぶい黄橙色 (10YR5/3)	外面：ヘラナデ，交互押捺 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ス ス 内面：なし	表土	
7	弥生後期 甕	破片	－	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/4), 橙色 (7.5YR6/6) 内面：灰褐色 (7.5YR4/2)	外面：直前段多条 (RL) 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	表土	内面剝落あり
8	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5 YR 6/6) 内面：褐灰色 (7.5 YR 4/1), 灰褐色 (7.5 YR 5/2)	外面：RL+L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	表土	
9	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/3), にぶい黄橙色 (10YR7/4) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/3), にぶい黄橙色 (10YR7/4)	外面：S 字状結節文，LR+R・R 内面：ヘラナデ	石英，長石，黒色粒	外面：ス ス 内面：なし	表土	
10	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：浅黄橙色 (7.5YR8/6), 橙色 (7.5YR6/6) 内面：浅黄橙色 (7.5YR8/6), 橙色 (7.5YR6/6)	外面：ヘラナデ，キザミ 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	表土	
11	弥生後期 壺	口縁部 破片	－	外面：橙色 (7.5 YR 6/6) 内面：橙色 (7.5 YR 6/6)	外面：複合口縁，ミガキ 内面：ミガキ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	表土	
12	弥生後期 壺	口縁部 破片	－	外面：にぶい赤褐色 (5YR5/3), 橙色 (7.5YR7/6)，赤彩 内面：にぶい赤褐色 (5YR5/3), 橙色 (7.5YR7/6)，赤彩	外面：ミガキ，附加条 3 種（原体判別難しい） 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	表土	
13	弥生後期 壺	胴部 破片	－	外面：にぶい橙色 (7.5YR6/4), 赤彩 内面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)	外面:ミガキ，S 字状結節文，LR 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	表土	

で潰されたものと考えられる。また，６は本遺構に散在した状態で出土した。

遺物：５・13・16・17・23 の胎土には海綿骨針が含まれ，６・９・24・25・26 の胎土にはシャモットが含まれている。

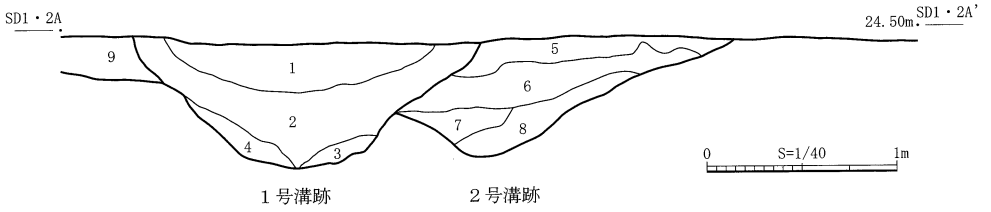
遺構外出土弥生時代遺物

１は基本層序２層から出土した。２・３は包含層一括で取り上げたものである。４以降の遺物は表土から出土した。３・５・12・13 の胎土にはシャモットが含まれている。

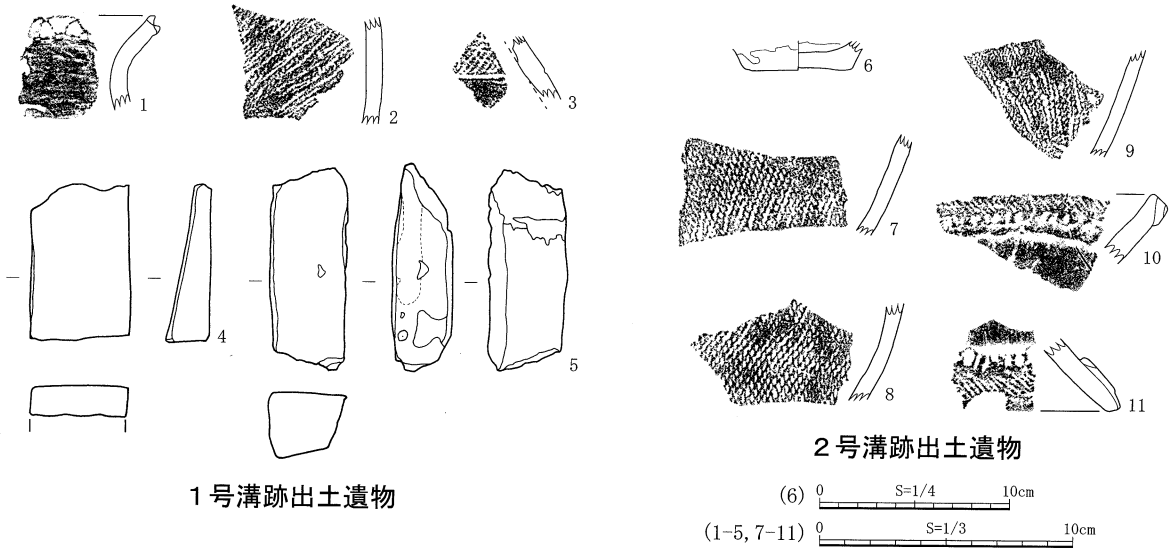


1号溝跡・2号溝跡土層説明

1層　褐 色 土(7.5YR4/4)　しまり中，粘性やや弱い，ローム粒子微量含む。
2層　暗褐色土(7.5YR3/4)　しまり中，粘性中，ローム粒子微量含む。
3層　暗褐色土(7.5YR3/3)　しまり中，粘性中，ローム粒子微量含む。
4層　明褐色土(7.5YR5/6)　しまり中，粘性中，ロームブロック少量，ローム粒子少量含む。
5層　褐 色 土(7.5YR4/4)　しまり中，粘性やや弱い，ローム粒子微量含む，焼土ブロック少量含む。
6層　黒褐色土(7.5YR3/2)　しまり中，粘性やや弱い，ローム粒子微量含む。
7層　褐 色 土(7.5YR4/4)　しまり中，粘性中，ローム粒子微量含む。
8層　暗褐色土(7.5YR3/4)　しまり中，粘性やや弱い，ローム粒子微量含む。
9層　地山，基本層序3層。



第47図　1号溝跡・2号溝跡（1）



第48図　1号溝跡・2号溝跡（2）

第4節　中世以降

1号溝跡

時期：中世以降　**検出面**：基本層序3層　**断面形態**：U字状

新旧関係：16号竪穴建物跡・17号竪穴建物跡・2号溝跡＜1号溝跡という新旧関係は確実である。しかし，22P・23P・25Pとの新旧関係は確認できなかった。なぜなら，本遺構の埋土とピットの埋土は近似しており，遺構確認の段階では両者を区別できず，溝跡を掘る過程で重なり合ったピットを確認次第掘削したからである。

規模：幅1.82m　深さ0.70m

埋土堆積状況：いわゆるレンズ状堆積を呈していた。なお，本遺構は埋没しきっておらず，調査開始前から表土が本遺構の形に添って落ち込んでいたことが確認されていた。

遺物出土状況：本遺構の1層から中世～近世の砥石と考えられる4・5が出土し，本遺構の時期を中世以降と判断したのもこの2点を根拠としている。それ以外としては弥生土器の破片が埋土中から複数出土した。

遺物：4と5は中世～近世と考えられる砥石で，4は一部が欠けているが，各面とも使用痕がはっきりと確認できる。

備考：本遺構は2号溝跡を壊して掘られていたが，2号溝跡と並走するように掘削されていることから，本遺構と2号溝跡には強い関係性があったと考えられる。

2号溝跡

時期：中世以降　**検出面**：基本層序3層　**断面形態**：U字状

新旧関係：16号竪穴建物跡・17号竪穴建物跡＜2号溝跡＜1号溝跡という新旧関係は確実

第 40 表　１号溝跡出土遺物観察表

土器

遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ付着状況	出土層位	備考
1	弥生後期 甕	口縁～頸部 破片	－	外面：にぶい橙色 (7.5YR6/4) 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：ナデ，交互押捺 内面：ミガキ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	埋土	
2	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)，灰黄褐色 (10YR5/2) 内面：にぶい黄橙色 (10YR6/4)，灰黄褐色 (10YR5/2)	外面：直前段多条 (LR) 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：スス 内面：なし	埋土	
3	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR7/6)，赤彩 内面：にぶい橙色 (7.5YR7/4)	外面：ミガキ，LR，沈線 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	埋土	内面剝落著しい

石製品

遺物No.	型式・器種等	石材	寸法	観察所見	出土層位	備考
4	砥石	凝灰岩	最大長：6.2cm 最大幅：3.9cm 最大厚：1.2cm	端部が欠損し，使用面は1面である。	1層	
5	砥石	凝灰岩	最大長：8.0cm 最大幅：2.9cm 最大厚：2.6cm	両端部が欠損し，使用面は2面である。	1層	

第 41 表　２号溝跡出土遺物観察表

土器

遺物No.	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	出土層位	備考
6	弥生後期 甕	底部 遺存 30%	底　径 :(5.5)cm 遺存高：1.5cm	外面：にぶい橙色 (7.5YR6/4) 内面：褐灰色 (7.5YR4/1)	外面：ナデ 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：なし 内面：コゲ	埋土	
7	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい橙色 (10YR7/4)，にぶい黄橙色 (10YR6/3) 内面：にぶい黄橙色 (10YR6/4)	外面：直前段多条 (LR) 内面：ナデ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：スス 内面：なし	埋土	
8	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (5YR6/6) 内面：にぶい黄橙色 (10YR7/4)	外面：直前段多条 (LR) 内面：ヘラナデ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	埋土	内面一部剝落
9	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR7/6)，黒斑 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：直前段多条 (RL) 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	埋土	
10	弥生後期 壺	口縁部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6)，赤彩 内面：橙色 (7.5YR6/6)，赤彩	外面：縄によるキザミ，RL，ミガキ 内面：ミガキ	シャモット，海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	埋土	
11	弥生後期 高坏	脚部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6) 内面：橙色 (7.5YR6/6)，灰褐色 (7.5YR5/2)	外面：複合脚部，RL，縄によるキザミ，鋭利な工具によるキザミ 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	埋土	

である。一方，22 Ｐ・25 Ｐ・27 Ｐ・28 Ｐ・29 Ｐとの切り合い関係は１号溝跡と同様の理由によって不明である。

規模：幅 1.77m，深さ 0.64m

埋土堆積状況：やや歪だが，いわゆるレンズ状堆積と考えられる。１層中からは焼土が検出された。

遺物出土状況：埋土中から弥生土器の破片が数点出土したが，本遺構の時期を決定するようなものではなかった。

遺物：10 の胎土にはシャモットが含まれている。

備考：本遺構は１号溝跡に壊されていたことから，本遺構が掘削されたのは１号溝跡よりも古く，かつ１号溝跡で砥石が出土した点も踏まえると，本遺構の掘削時期は中世の中でお

さまる可能性があるかもしれない。

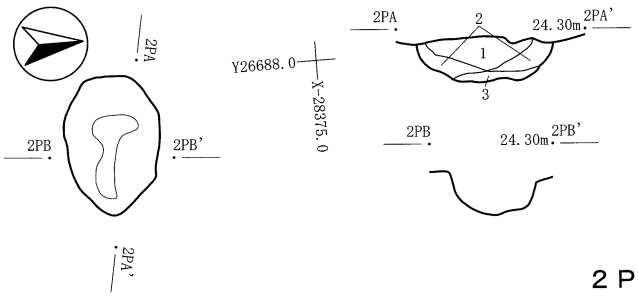
第５節　縄文時代～中近世

土坑

今回の調査で検出された土坑については第42表でまとめたとおりである。検出された土坑はいずれも時期決定のための要素に乏しいが，弥生時代後期の竪穴建物跡との切り合い関係から少なくとも弥生時代よりも新しいと判断できるものが14Ｐ・17Ｐ・22Ｐ・28Ｐである。一方，１号溝跡・２号溝跡と切り合い関係があるピットも複数あったが，いずれも新旧関係について確認することはできなかった。なお，ピットから出土した遺物はいずれも縄文土器や弥生土器の破片であり，時期決定に有効なものは出土しなかった。また，４Ｐのみは10号竪穴建物跡に壊されていたことから，弥生時代あるいはそれ以前の土坑であったと考えられる。

第42表　ピット一覧表

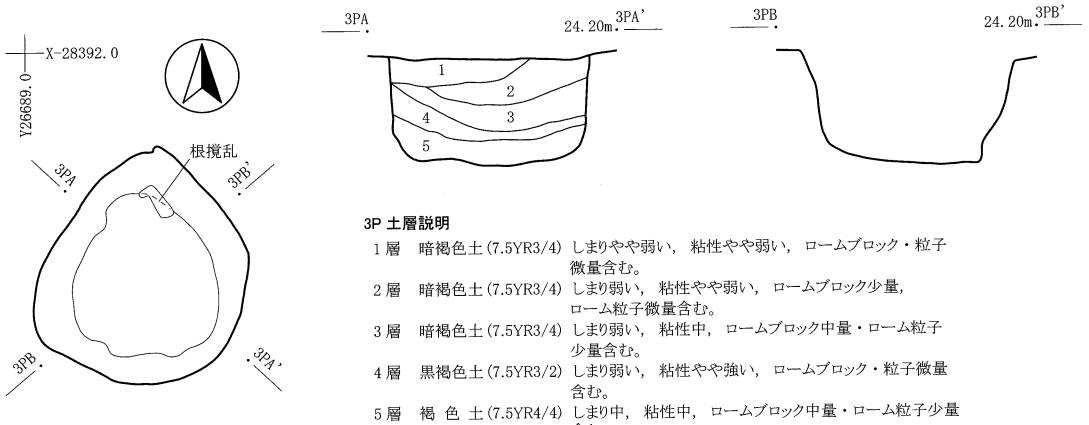
ピット名	規模	新旧関係
2P	長軸長0.73m，短軸長0.46m，深さ0.24m	
3P	長軸長1.15m，短軸長1.06m，深さ0.56m	
4P	不明	4P<10号竪穴建物跡
5P	長軸長1.20m，短軸長0.92m，深さ0.31m	
6P	長軸長1.09m，短軸長0.96m，深さ0.13m	
8P	長軸長1.33m，短軸長0.74m，深さ0.17m	
9P	長軸長1.41m，短軸長1.04m，深さ0.55m	
10P	長軸長1.36m，短軸長1.25m，深さ0.47m	
11P	長軸長1.84m，短軸長1.70m，深さ0.81m	
13P	長軸長1.53m，短軸長1.15m，深さ0.79m	
14P	長軸長0.98m，短軸長0.85m，深さ0.23m	7号竪穴建物跡<14P
16P	長軸長0.69m，短軸長0.67m，深さ0.39m	
17P	長軸長1.52m，短軸長1.37m，深さ1.12m	12号竪穴建物跡<17P
19P	長軸長1.26m，短軸長1.05m，深さ0.45m	おそらく11号竪穴建物跡と切り合い関係があったと考えられるが，確認調査時のトレンチで11号竪穴建物跡の一部が壊されてしまったために不明である。
20P	長軸長1.27m，短軸長0.90m，深さ0.35m	
22P	長軸長1.84m，短軸長1.02m，深さ1.17m	16号竪穴建物跡<22Pで，1号・2号溝跡との新旧は不明である。
23P	長軸長1.60m，短軸長1.49m，深さ1.04m	1号溝跡と切り合い関係にあったが，新旧については確認できなかった。
25P	長軸長1.86m，短軸長1.06m，深さ1.18m	1号・2号溝跡と切り合い関係にあったが，新旧については確認できなかった。
26P	長軸長1.43m，短軸長1.24m，深さ0.72m	
27P	長軸長1.89m，短軸長1.51m，深さ1.36m	2号溝跡と切り合い関係にあったが，新旧については確認できなかった。
28P	長軸長1.34m，短軸長1.28m，深さ0.60m	16号竪穴建物跡<28Pだが，2号溝跡との新旧関係は確認できなかった。
29P	長軸長1.36m，短軸長1.18m，深さ0.43m	2号溝跡と切り合い関係にあったが，新旧については確認できなかった。
30P	長軸長1.50m，短軸長1.28m，深さ1.10m	
31P	長軸長1.47m，短軸長0.92m，深さ0.54m	
32P	長軸長1.88m，短軸長0.82m，深さ0.79m	



2P土層説明

1層　黒褐色土(10YR2/3)　しまり中，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
2層　暗褐色土(10YR3/4)　しまりやや強い，粘性中，ロームブロック微量，ローム粒子少量含む。
3層　暗褐色土(10YR3/4)　しまりやや強い，粘性やや弱い，ロームブロック微量，ローム粒子少量含む。

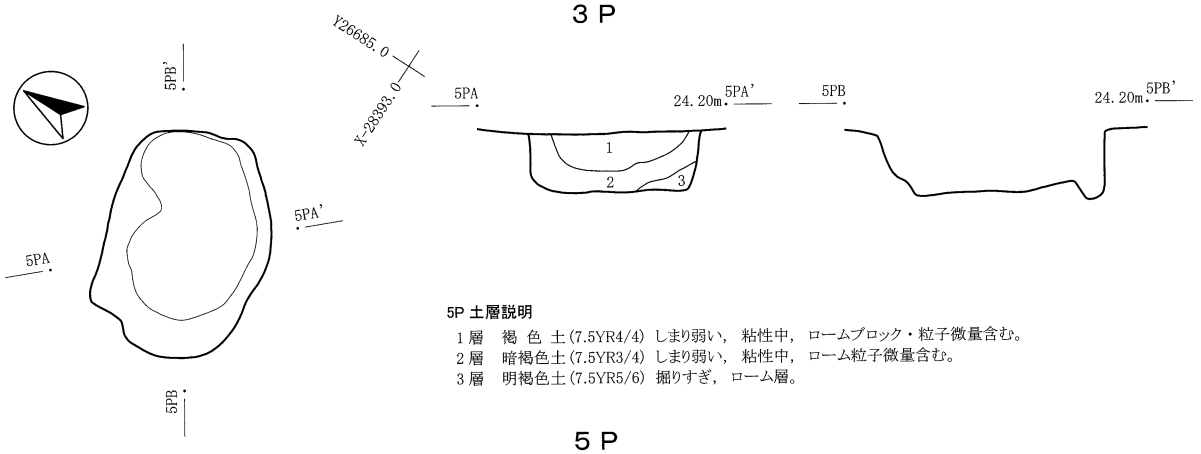
2P



3P 土層説明

1層　暗褐色土(7.5YR3/4)　しまりやや弱い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。
2層　暗褐色土(7.5YR3/4)　しまり弱い，粘性やや弱い，ロームブロック少量，ローム粒子微量含む。
3層　暗褐色土(7.5YR3/4)　しまり弱い，粘性中，ロームブロック中量・ローム粒子少量含む。
4層　黒褐色土(7.5YR3/2)　しまり弱い，粘性やや強い，ロームブロック・粒子微量含む。
5層　褐　色　土(7.5YR4/4)　しまり中，粘性中，ロームブロック中量・ローム粒子少量含む。

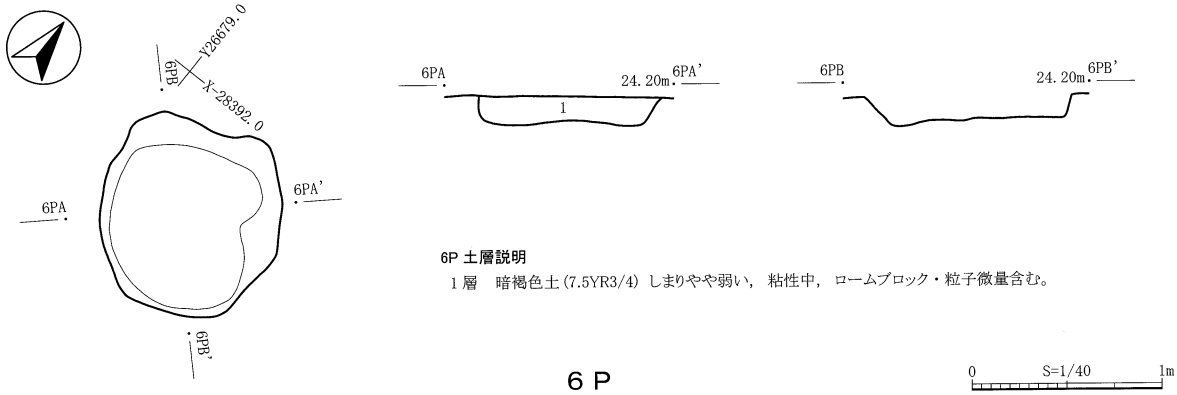
3P



5P 土層説明

1層　褐　色　土(7.5YR4/4)　しまり弱い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
2層　暗褐色土(7.5YR3/4)　しまり弱い，粘性中，ローム粒子微量含む。
3層　明褐色土(7.5YR5/6)　掘りすぎ，ローム層。

5P



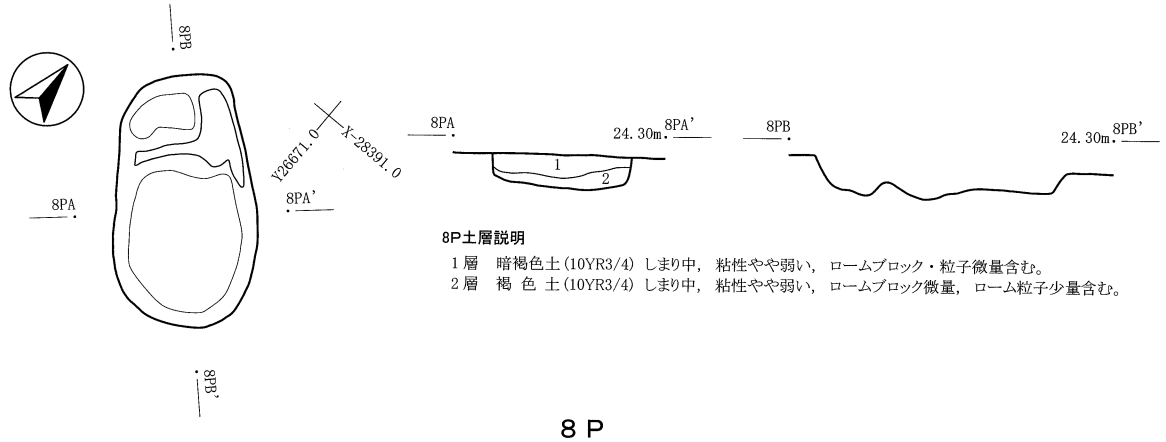
6P 土層説明

1層　暗褐色土(7.5YR3/4)　しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。

6P

0　S=1/40　1m

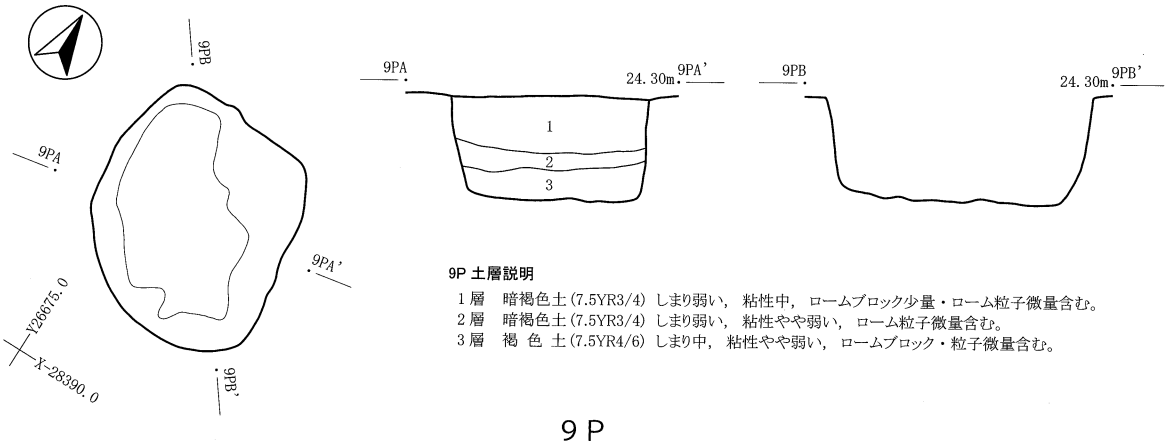
第49図　2P・3P・5P・6P



8P土層説明

1層　暗褐色土(10YR3/4) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。
2層　褐 色 土(10YR3/4) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック微量，ローム粒子少量含む。

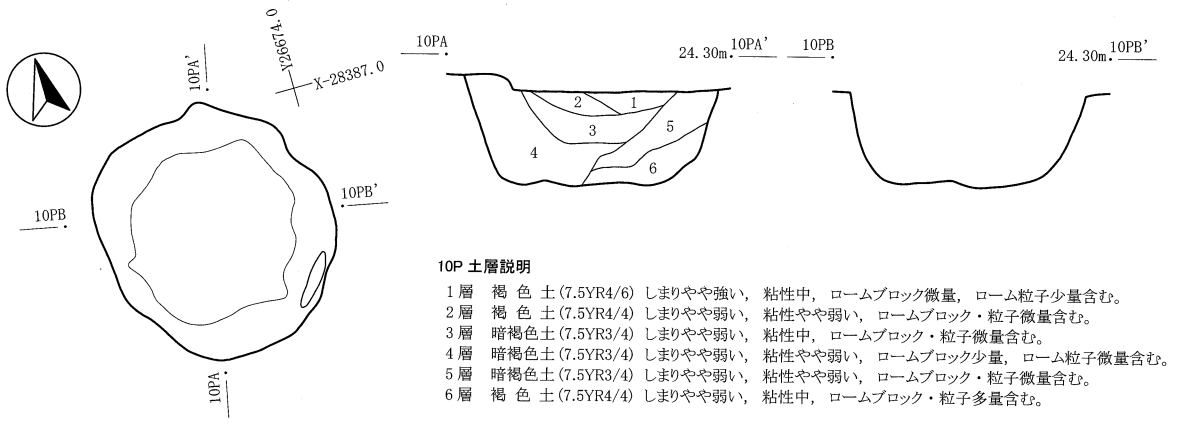
8 P



9P 土層説明

1層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり弱い，粘性中，ロームブロック少量・ローム粒子微量含む。
2層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり弱い，粘性やや弱い，ローム粒子微量含む。
3層　褐 色 土(7.5YR4/6) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。

9 P



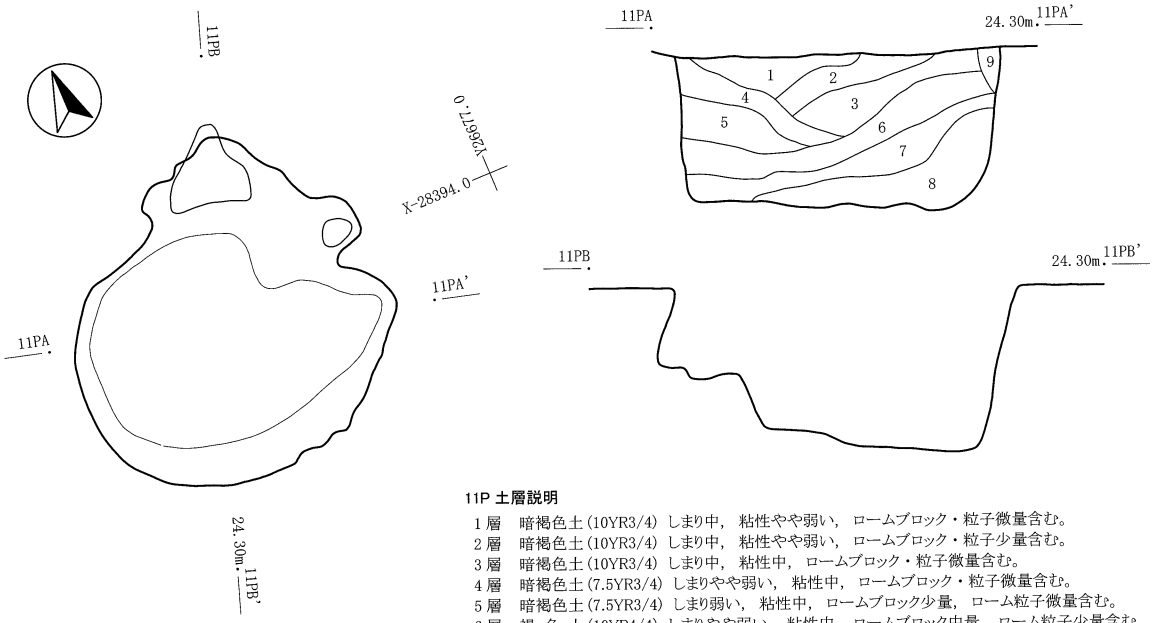
10P 土層説明

1層　褐 色 土(7.5YR4/6) しまりやや強い，粘性中，ロームブロック微量，ローム粒子少量含む。
2層　褐 色 土(7.5YR4/4) しまりやや弱い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。
3層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
4層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性やや弱い，ロームブロック少量，ローム粒子微量含む。
5層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。
6層　褐 色 土(7.5YR4/4) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック・粒子多量含む。

10P

0　S=1/40　1m

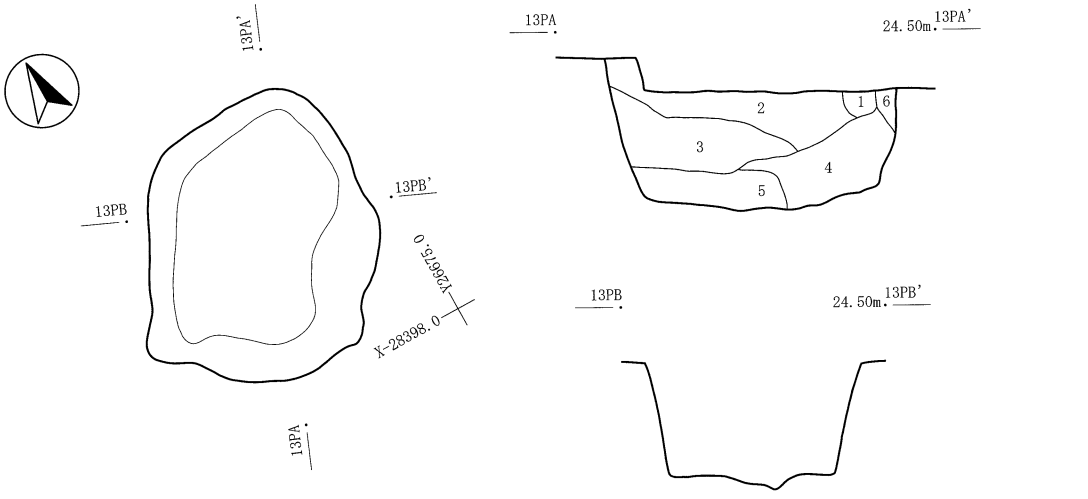
第50図　8P・9P・10P



11P 土層説明

1層　暗褐色土(10YR3/4) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。
2層　暗褐色土(10YR3/4) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子少量含む。
3層　暗褐色土(10YR3/4) しまり中，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
4層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
5層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり弱い，粘性中，ロームブロック少量，ローム粒子微量含む。
6層　褐　色　土(10YR4/4) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック中量，ローム粒子少量含む。
7層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり弱い，粘性やや弱い，ロームブロック微量，ローム粒子少量含む。
8層　褐　色　土(7.5YR4/6) しまり弱い，粘性やや弱い，ロームブロック微量，ローム粒子少量含む。

11P



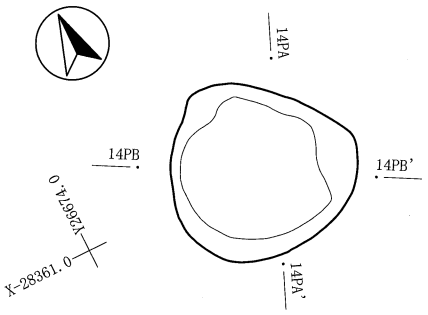
13P 土層説明

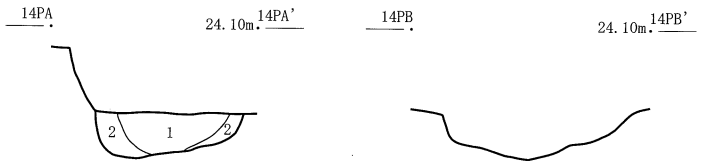
1層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり弱い，粘性中，ロームブ粒子微量含む。
2層　褐　色　土(7.5YR4/6) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック・粒子少量含む。
3層　褐　色　土(7.5YR4/6) しまり弱い，粘性やや弱い，ロームブロック微量，ローム粒子少量含む。
4層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり弱い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
5層　褐　色　土(7.5YR4/6) しまりやや強い，粘性中，ロームブロック多量，ローム粒子少量含む。
6層　明褐色土(7.5YR5/8) ソフトローム層，堀り過ぎ。

13P

0　S=1/40　1m

第51図　11P・13P

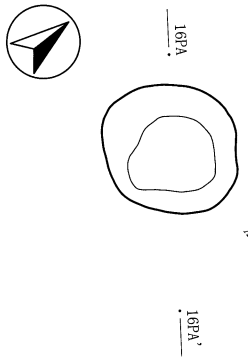




14P 土層説明

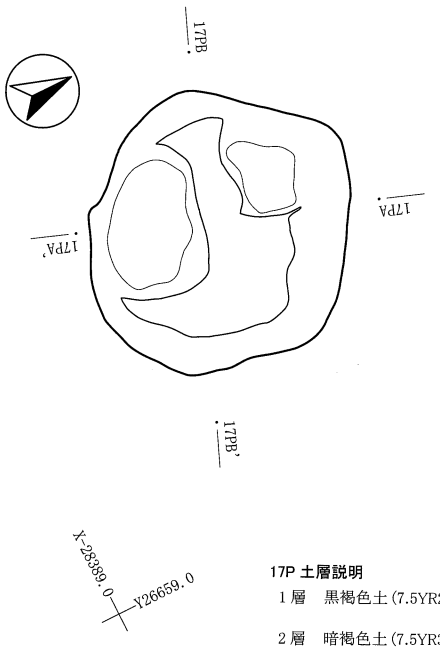
1層　黒褐色土(7.5YR3/2) しまり中，粘性やや弱い，ロームブ粒子微量含む。
2層　暗褐色土(7.5YR3/3) しまり中，粘性中，ローム ブロック・粒子少量含む。

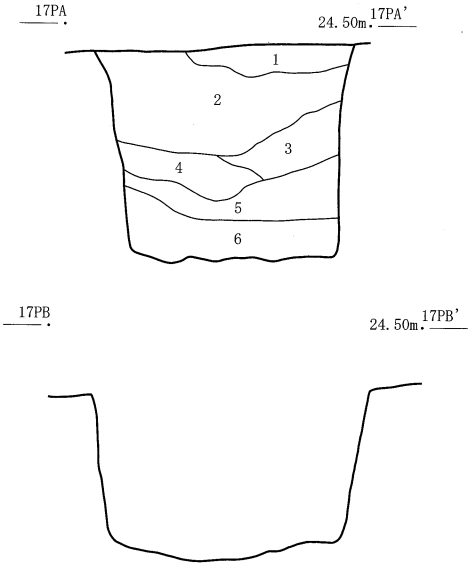
14P



※　埋土は暗褐色土(7.5YR3/4)

16P





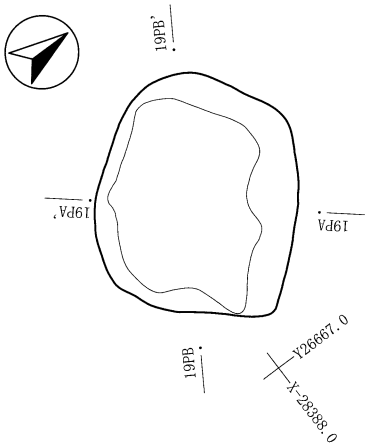
17P 土層説明

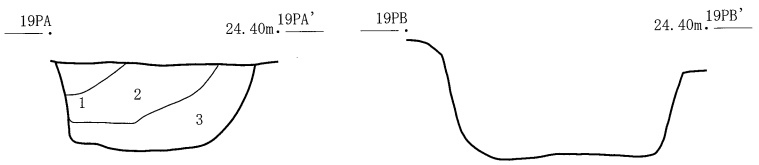
1層　黒褐色土(7.5YR2/2) しまりやや強い，粘性中，暗褐色土ブロック(7.5YR3/4)，ロームブロック少量，ロームブ粒子微量，焼土ブロック微量含む。
2層　暗褐色土(7.5YR3/3) しまりやや弱い，粘性中，黒褐色土ブロック(7.5YR2/2)少量，ロームブロック・粒子微量含む。
3層　黒褐色土(7.5YR2/2) しまりやや弱い，粘性中，暗褐色土ブロック(7.5YR3/4)微量，ロームブロック・粒子微量含む。
4層　黒 色 土(7.5YR2/1) しまり中，粘性中，暗褐色土ブロック(7.5YR3/4)少量，ロームブロック・粒子少量含む。
5層　黒褐色土(7.5YR2/2) しまり弱い，粘性やや強い，暗褐色土ブロック(7.5YR3/4)微量，ロームブロック・粒子少量含む。
6層　黒 色 土(7.5YR2/1) しまり弱い，粘性やや強い，暗褐色土ブロック(7.5YR3/4)微量，ロームブロック・粒子微量含む。

17P

0　S=1/40　1m

第52図　14P・16P・17P

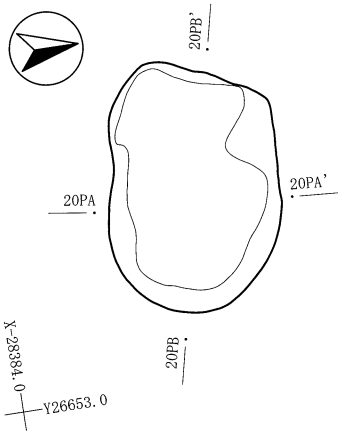


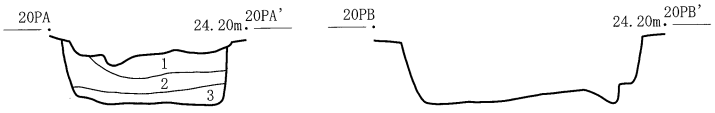


19P 土層説明

1層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック中量，ローム粒子少量含む。
2層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック少量，ローム粒子微量含む。
3層　暗褐色土(7.5YR3/3) しまり中，粘性中，黒褐色土ブロック(7.5YR3/2)中量，ロームブロック少量，ローム粒子微量含む。

19P

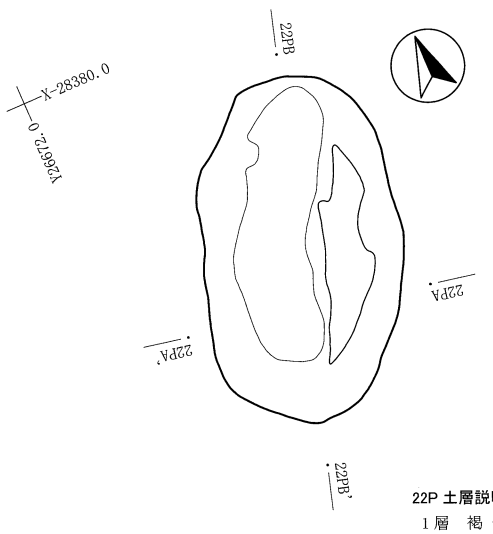


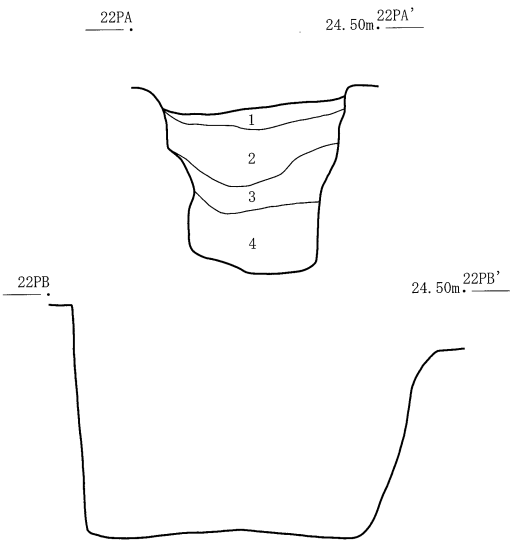


20P 土層説明

1層　褐 色 土(7.5YR4/4) しまり弱い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
2層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
3層　褐 色 土(7.5YR4/4) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック多量，ローム粒子微量含む。

20P





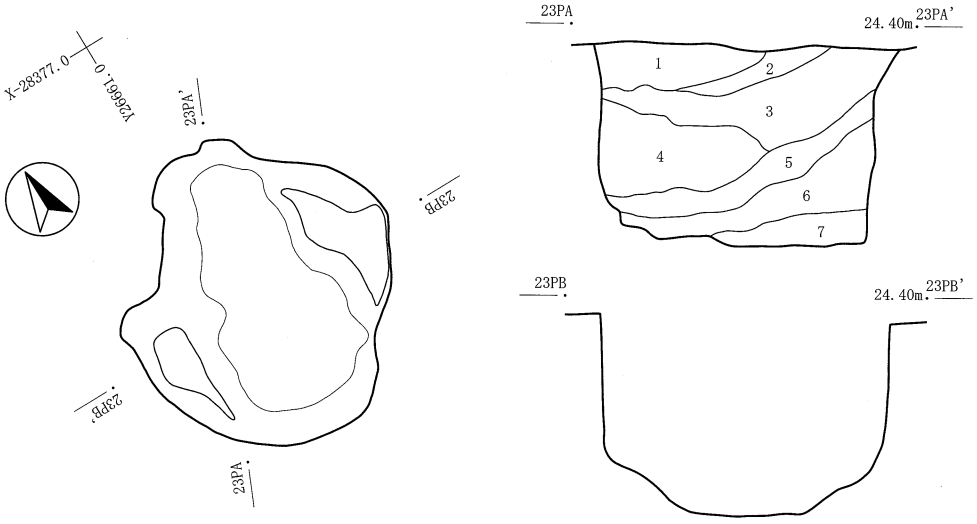
22P 土層説明

1層　褐 色 土(7.5YR4/4) しまり中，粘性弱い，ローム粒子微量含む。
2層　褐 色 土(7.5YR4/4) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック少量，ローム粒子微量含む。
3層　褐 色 土(7.5YR4/3) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
4層　褐 色 土(7.5YR4/4) しまりやや弱い，粘性中，ローム粒子微量含む。

22P

0　S=1/40　1m

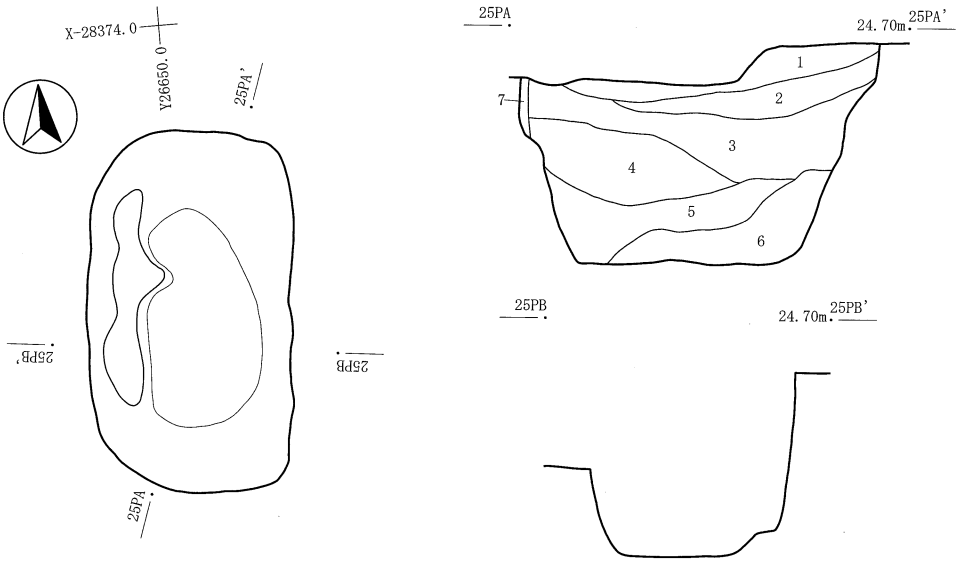
第53図　19P・20P・22P



23P 土層説明

1層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック少量，ローム粒子微量含む。
2層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
3層　褐　色　土(7.5YR4/4) しまり弱い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
4層　褐　色　土(7.5YR4/4) しまり弱い，粘性中，ロームブロック中量，ローム粒子少量含む。
5層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり弱い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。
6層　褐　色　土(7.5YR4/4) しまり弱い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子少量含む。
7層　褐　色　土(7.5YR4/4) しまり弱い，粘性やや弱い，ロームブロック多量，ローム粒子微量含む。

23P



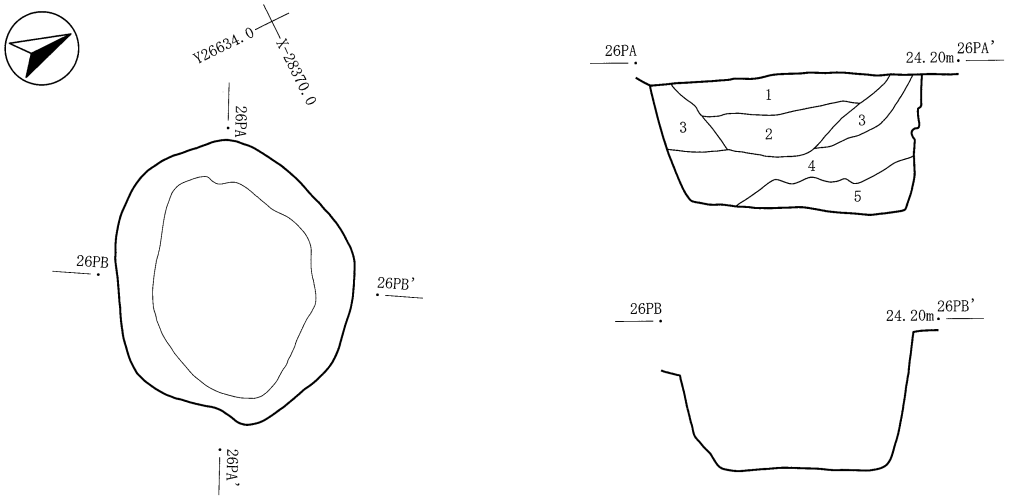
25P 土層説明

1層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり中，粘性中，ロームブロック・粒子少量含む。
2層　暗褐色土(7.5YR3/3) しまりやや弱い，粘性やや強い，ロームブロック・粒子微量含む。
3層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
4層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック少量，ローム粒子微量含む。
5層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり中，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
6層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり中，粘性やや強い，ロームブロック多量含む。

25P

0　S=1/40　1m

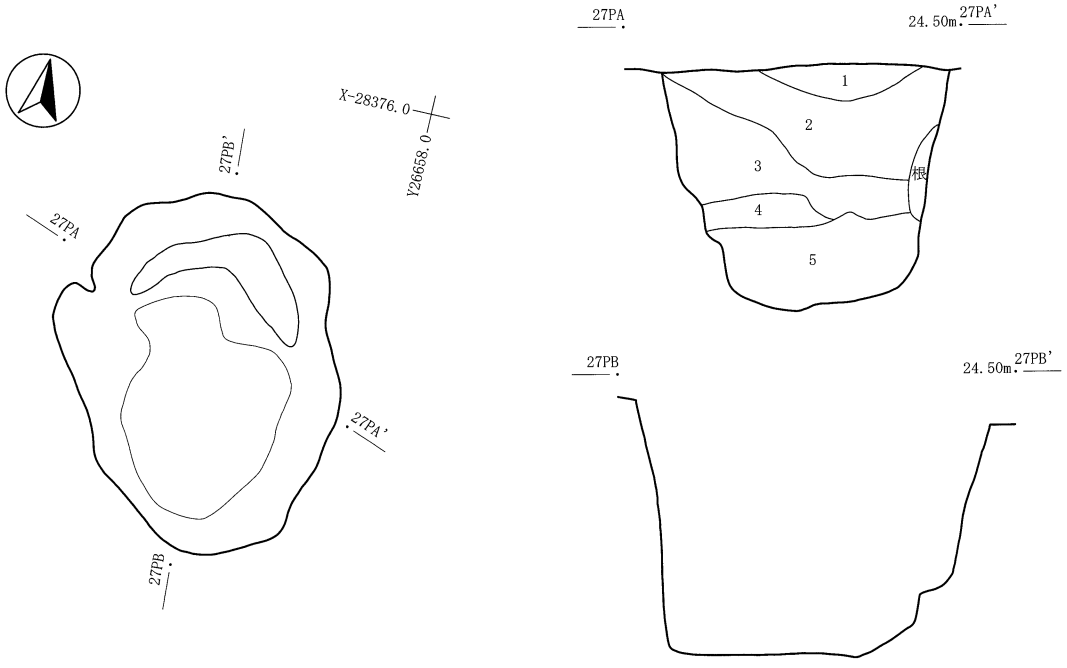
第54図　23P・25P



26P 土層説明

1層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性中，ローム粒子微量含む。
2層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり中，粘性中，ロームブロック中量，ローム粒子少量含む。
3層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
4層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
5層　褐 色 土(7.5YR4/6) しまりやや弱い，粘性やや弱い，ロームブロック多量，ローム粒子少量含む。

26P



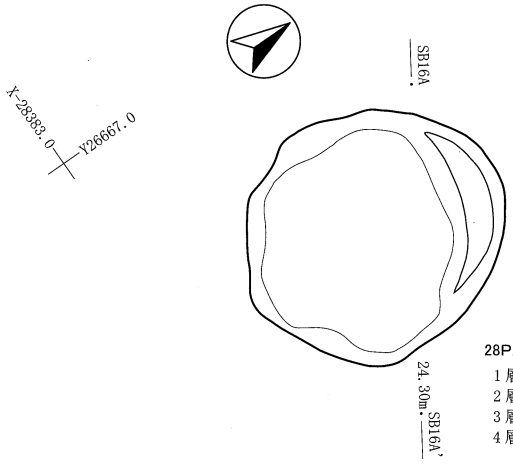
27P 土層説明

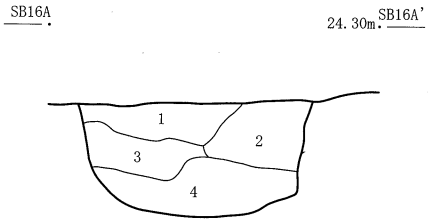
1層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり中，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
2層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり中，粘性中，ロームブロック中量，ローム粒子微量含む。
3層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
4層　褐 色 土(7.5YR4/4) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック中量，ローム粒子微量含む。
5層　褐 色 土(7.5YR4/6) しまり弱い，粘性やや弱い，ロームブロック多量，ローム粒子少量含む。

27P

0　S=1/40　1m

第55図　26P・27P

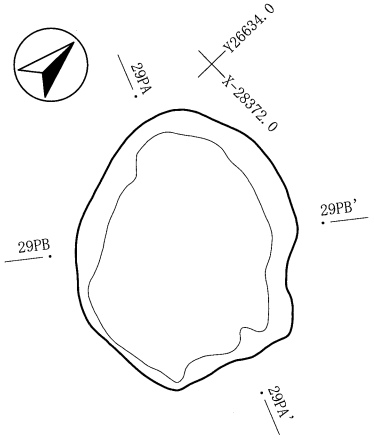


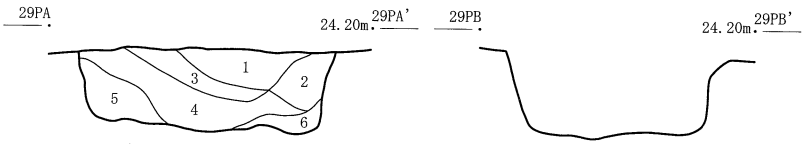


28P土層説明

1層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性やや弱い，ローム粒子微量含む。
2層　暗褐色土(7.5YR3/3) しまり弱い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。
3層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性やや弱い，ロームブロック中量，ローム粒子少量含む。
4層　暗褐色土(7.5YR3/3) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子少量含む。

28P

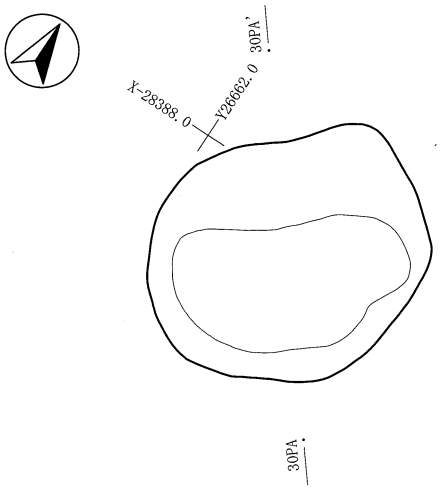


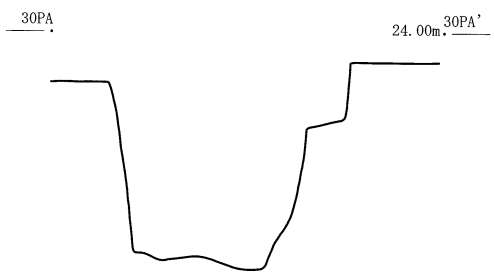


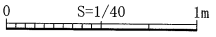
29P 土層説明

1層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子微量含む。
2層　褐 色 土(7.5YR4/4) しまりやや弱い，粘性中，ロームブロック多量，ローム粒子微量含む。
3層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまりやや弱い，粘性やや弱い，ロームブロック少量，ローム粒子少量含む。
4層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり中，粘性中，ロームブロック・粒子微量含む。
5層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック・粒子少量含む。
6層　暗褐色土(7.5YR3/4) しまり中，粘性やや弱い，ロームブロック多量，ローム粒子微量含む。

29P

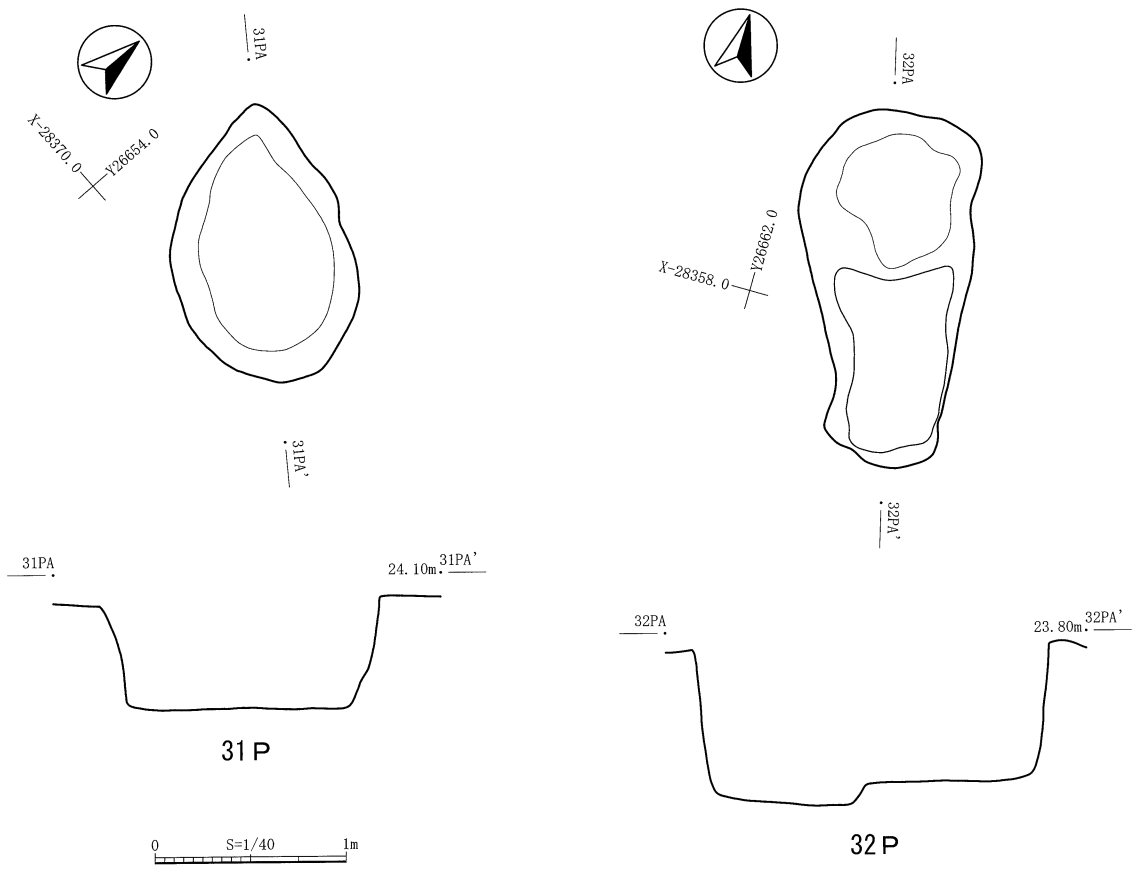




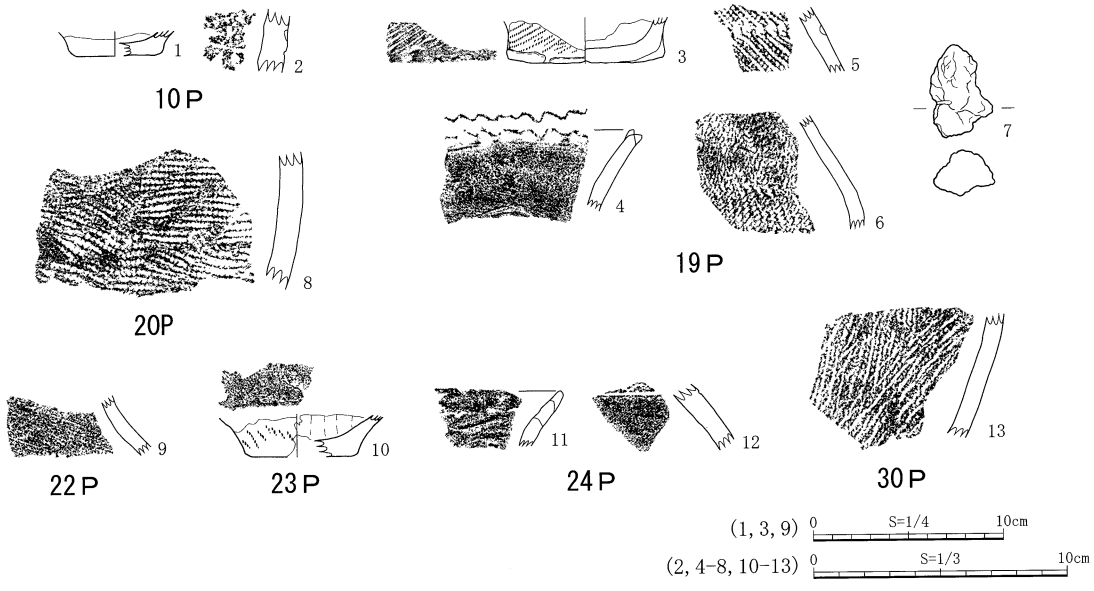


30P

第56図　28P・29P・30P



第57図　31 P・32 P



第58図　ピット出土遺物

第 43 表　ピット出土遺物観察表

土器									
遺物No.	出土遺構	型式・器種等	遺存状態	寸法	色調	文様・成形・調整等	胎土	スス・コゲ	備考
1	10P	弥生後期 甕	底部 遺存 25%	底　径：(4.0)cm 遺存高：1.3cm	外面：明褐色 (7.5YR5/6) 内面：灰褐色 (7.5YR5/1)	外面：ナデ 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：なし 内面：コゲ	
2	10P	縄文中～後期 深鉢	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR7/6) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/3)	外面：キザミ，沈線 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	
3	19P	弥生後期 甕	底部 遺存 15%	底　径：(8.1)cm 遺存高：2.4cm	外面：橙色 (5YR6/8)，赤橙色 (10R6/8) 内面：黄橙色 (7.5YR8/8)	外面：LR+R・R 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：コゲ	
4	19P	弥生後期 甕	口縁部 破片	－	外面：明赤褐色 (5YR5/6)，褐灰色 (5YR4/1) 内面：明赤褐色 (5YR5/6)，褐灰色 (5YR4/1)	外面：ナデ，ヘラナデ，指による交互押捺 内面：ナデ，ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	爪痕が交互押捺のところにある
5	19P	弥生後期 壺か甕	胴部 破片	－	外面：にぶい橙色 (7.5YR6/4) 内面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)	外面：RL+L・L 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	大粒の石英多量含む
6	19P	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい赤褐色 (7.5YR6/3) 内面：にぶい赤褐色 (7.5YR6/3)	外面：RL 内面：ナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	
7	19P	時期不明 焼成粘土塊		－	橙色 (5YR7/6)		長石，黒色粒	なし	
8	20P	縄文中期後半～後期初頭 深鉢	胴部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6) 内面：にぶい黄橙色 (10YR7/4)	外面：RL 内面：ナデ	石英，長石，黒色粒	なし	
9	22P	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)，黒斑 内面：にぶい橙色 (7.5YR6/4)，黒斑	外面：ヘラナデ 内面：ナデ	海綿骨針，石英，角閃石，長石，黒色粒	なし	
10	23P	弥生後期 甕	底部 遺存 15%	底　径：(5.2)cm 遺存高：2.3cm	外面：にぶい褐色 (7.5YR5/4) 内面：にぶい褐色 (7.5YR5/4)	外面：ナデ 内面：ヘラナデ	石英，長石，黒色粒	外面：なし 内面：コゲ	
11	24P	弥生後期 手づくね	口縁部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR7/6)，灰褐色 (7.5YR5/2)，黒斑 内面：橙色 (7.5YR7/6)，灰褐色 (7.5YR5/2)，黒斑	外面：ナデ 内面：ナデ	石英，長石，黒色粒	なし	
12	24P	弥生後期 壺	肩部 破片	－	外面：橙色 (7.5YR6/6)，赤彩 内面：橙色 (7.5YR6/6)	外面：附加条 3 種，ミガキ 内面：ナデ	シャモット，石英，角閃石，長石，赤色粒，黒色粒	なし	
13	30P	弥生後期 甕	胴部 破片	－	外面：褐灰色 (7.5YR4/1) 内面：橙色 (7.5YR7/6)	外面：LR+R・R 内面：ヘラナデ	石英，角閃石，長石，黒色粒	外面：ススあり 内面：なし	

反転前調査区全景（北西から）

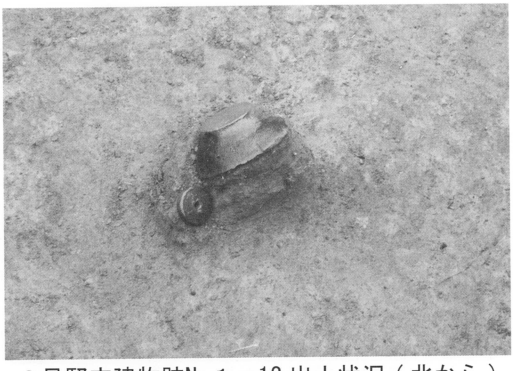
反転後調査区全景（北西から）

１号竪穴建物跡 A-A’（南から）

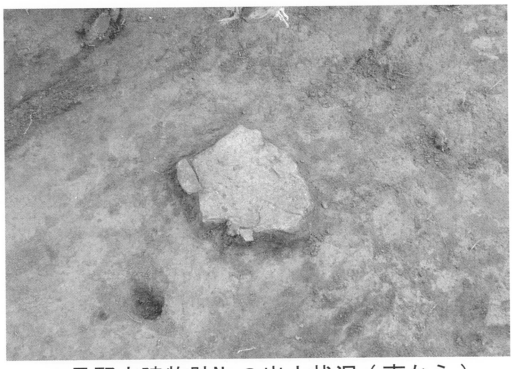
１号竪穴建物跡No.３・12 出土状況（東から）

１号竪穴建物跡炉跡完掘（東から）

１号竪穴建物跡完掘（南東から）



２号竪穴建物跡No.１・12 出土状況（北から）



２号竪穴建物跡No.３出土状況（南から）

写真図版２

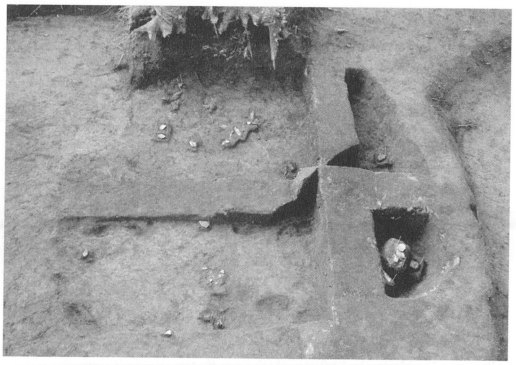
２号竪穴建物跡炉跡完掘（北西から）

２号竪穴建物跡完掘（南東から）

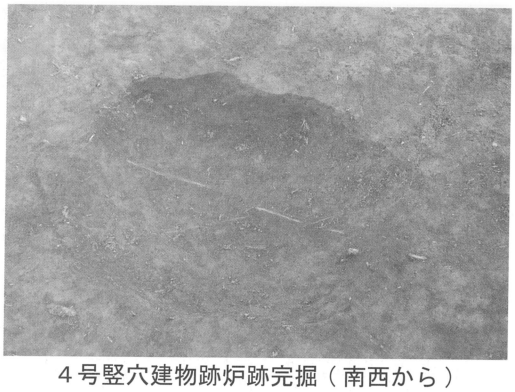
３号竪穴建物跡№１出土状況（南から）

３号竪穴建物跡炉跡完掘（南西から）

３号竪穴建物跡完掘（南東から）



４号竪穴建物跡遺物出土状況（南東から）



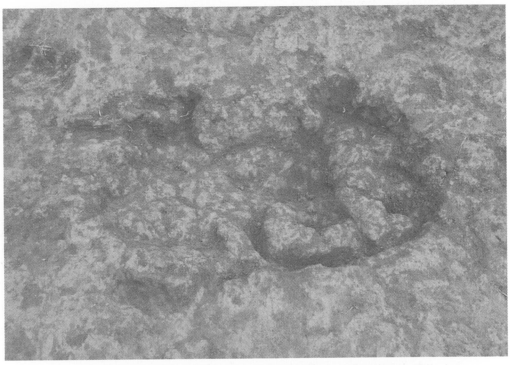
４号竪穴建物跡炉跡完掘（南西から）

４号竪穴建物跡完掘（南東から）

５号竪穴建物跡遺物出土状況（南西から）

５号竪穴建物跡No.１出土状況（西から）

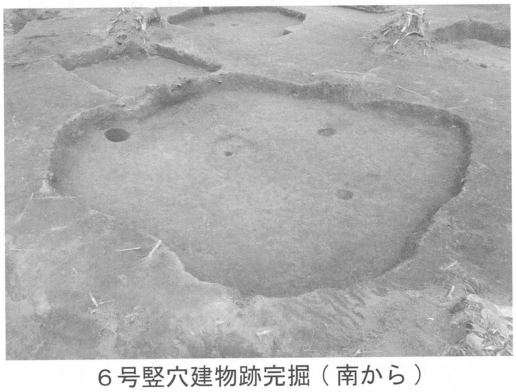
５号竪穴建物跡No.３出土状況（東から）



５号竪穴建物跡炉跡完掘（南西から）

５号竪穴建物跡完掘南東から）

６号竪穴建物跡炉跡完掘（西から）



６号竪穴建物跡完掘（南から）

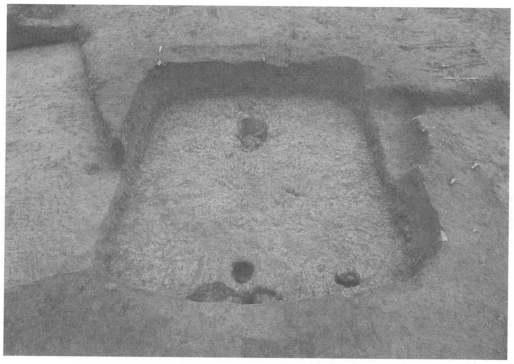
７号竪穴建物跡炉跡完掘（南西から）

写真図版４

７号竪穴建物跡完掘（南東から）

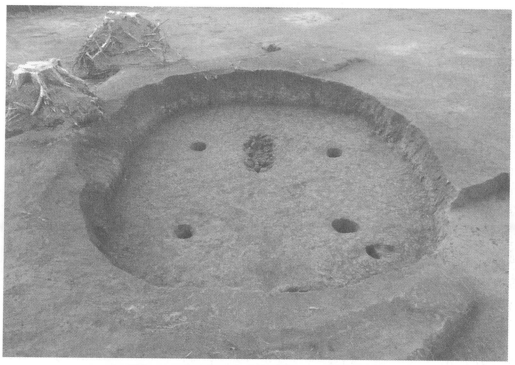
８号竪穴建物跡遺物出土状況（北西から）

８号竪穴建物跡炉跡完掘（南西から）

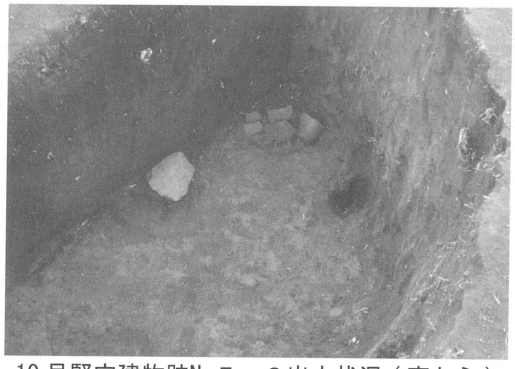


８号竪穴建物跡完掘（南東から）

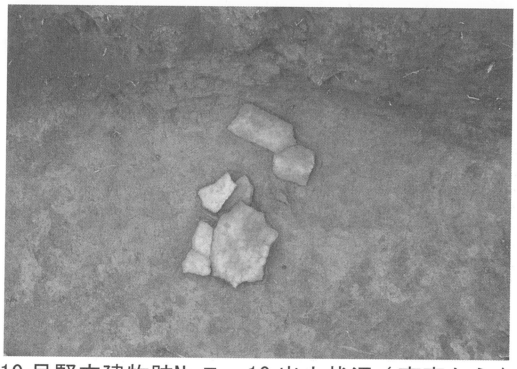
９号竪穴建物跡炉跡完掘（南西から）



９号竪穴建物跡完掘（南東から）

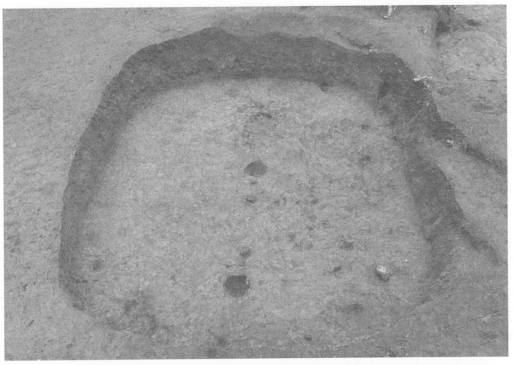


10 号竪穴建物跡No.５・６出土状況（東から）

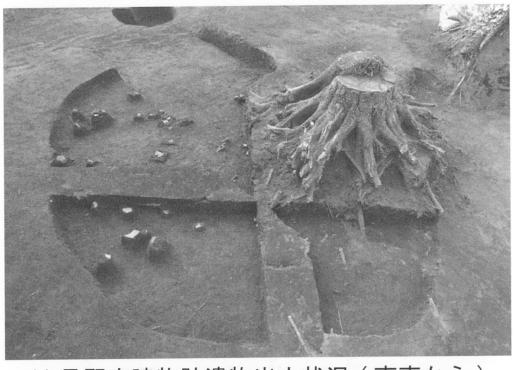


10 号竪穴建物跡No.７・10 出土状況（南東から）

10 号竪穴建物跡炉跡完掘（南西から）



10 号竪穴建物跡完掘（南東から）

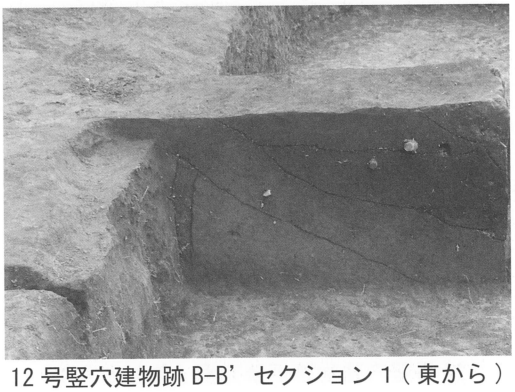


11 号竪穴建物跡遺物出土状況（南東から）

11 号竪穴建物跡完掘（南東から）

12 号竪穴建物跡遺物出土状況（西から）

12 号竪穴建物跡 A-A’ セクション（南から）



12 号竪穴建物跡 B-B’ セクション１（東から）

12 号竪穴建物跡 B-B’ セクション２（東から）

写真図版６

12 号竪穴建物跡炉跡完掘（南西から）

12 号竪穴建物跡完掘（南東から）

13 号竪穴建物跡 B-B’ セクション（南東から）

13 号竪穴建物跡炉跡完掘（南西から）

13 号竪穴建物跡完掘（南東から）

14 号竪穴建物跡 B-B’ セクション１（北東から）

14 号竪穴建物跡 B-B’ セクション２（北東から）

14 号竪穴建物跡炉跡完掘（南西から）

14 号竪穴建物跡完掘（南東から）

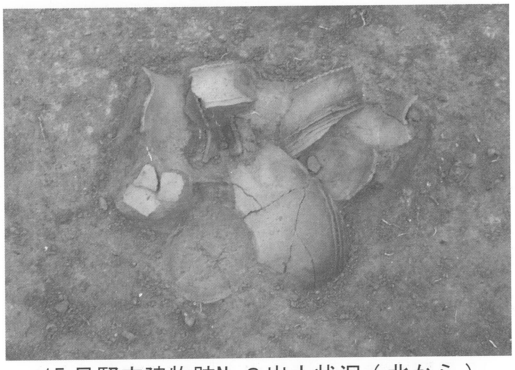
15 号竪穴建物跡 A-A’ セクション１（北東から）

15 号竪穴建物跡 A-A’ セクション２（北東から）

15 号竪穴建物跡 B-B’ セクション１（南東から）

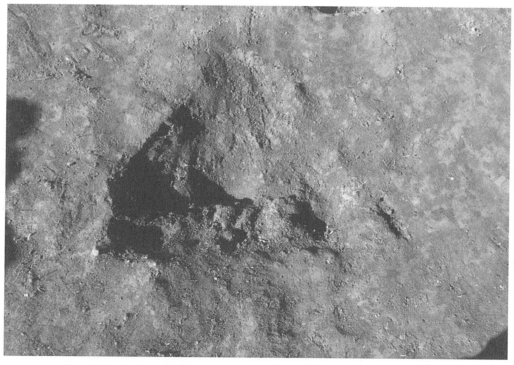
15 号竪穴建物跡 B-B’ セクション２（南西から）

15 号竪穴建物跡遺物出土状況（南東から）

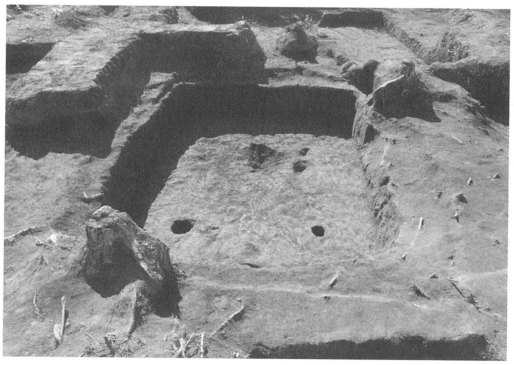


15 号竪穴建物跡No.３出土状況（北から）

15 号竪穴建物跡No.４出土状況（北東から）

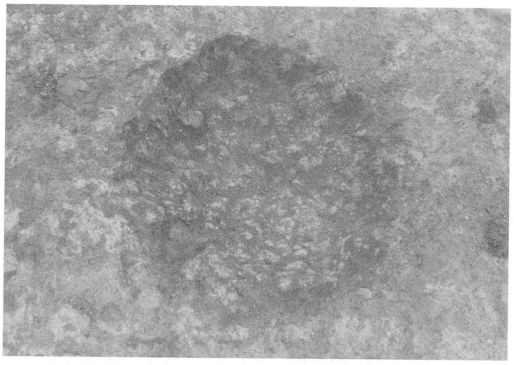


15 号竪穴建物跡炉跡完掘（南西から）



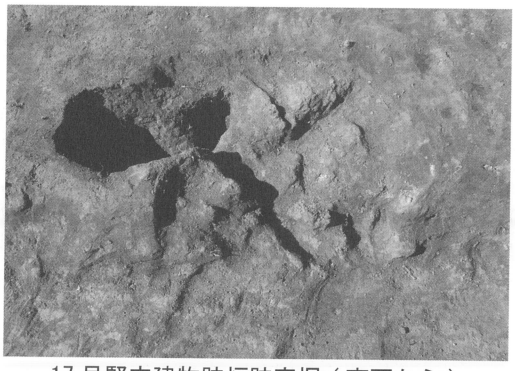
15 号竪穴建物跡完掘（南東から）

16 号竪穴建物跡遺物出土状況（北東から）



16 号竪穴建物跡炉跡完掘（南東から）

16 号竪穴建物跡完掘（南東から）



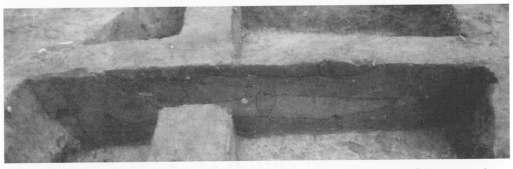
17 号竪穴建物跡炉跡完掘（南西から）

17 号竪穴建物跡完掘（南東から）

18 号竪穴建物跡遺物出土状況（南東から）

18 号竪穴建物跡出土粘土１（北西から）

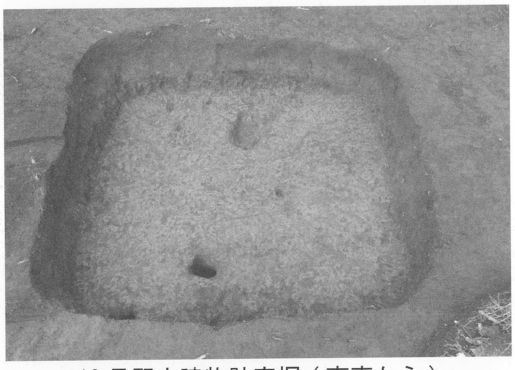
18 号竪穴建物跡出土粘土２（北西から）



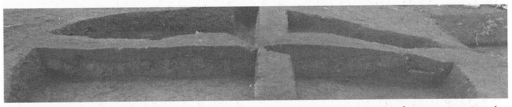
18 号竪穴建物跡 A-A’ セクション（南から）

18 号竪穴建物跡 B-B’ セクション（東から）

18 号竪穴建物跡炉跡完掘（南西から）

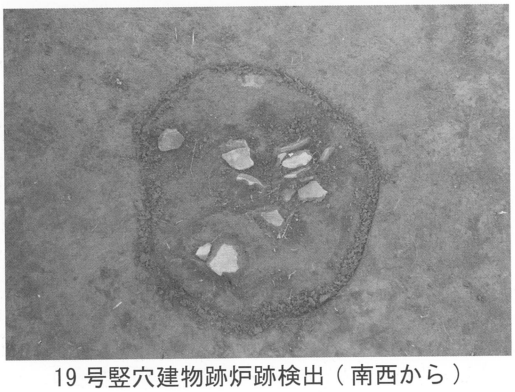


18 号竪穴建物跡完掘（南東から）



19 号竪穴建物跡 A-A’ セクション（南西から）

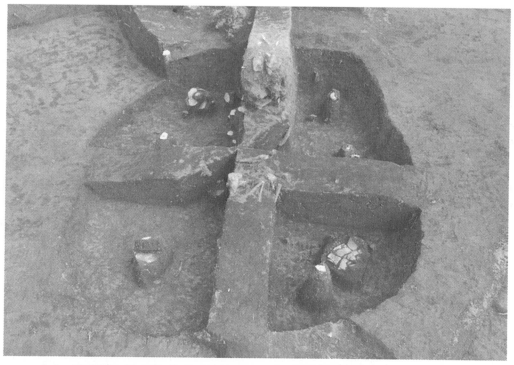
19 号竪穴建物跡 B-B’ セクション（南東から）



19 号竪穴建物跡炉跡検出（南西から）

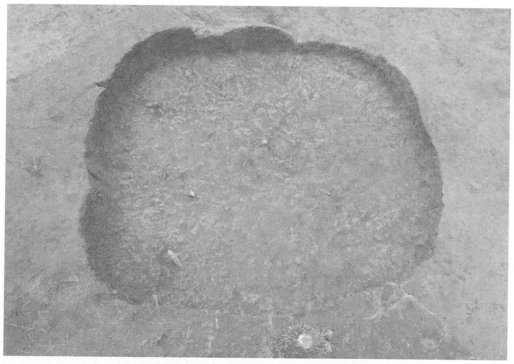
19 号竪穴建物跡完掘（南東から）

写真図版 10



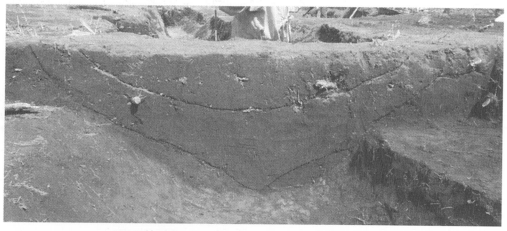
20 号竪穴建物跡遺物出土状況（北から）

20 号竪穴建物跡No.２出土状況（南西から）

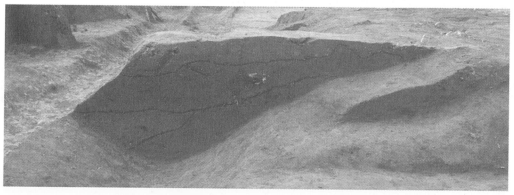


20 号竪穴建物跡完掘（南東から）

１号溝跡・２号溝跡完掘（西から）



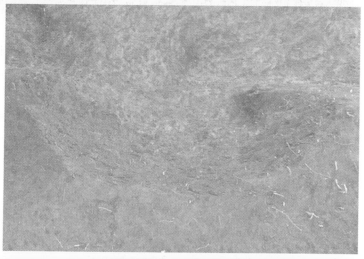
１号溝跡セクション（西から）



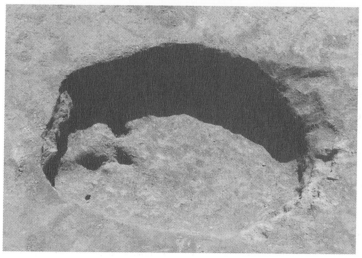
２号溝跡セクション（西から）

２Ｐ完掘（南西から）

３Ｐ完掘（南から）



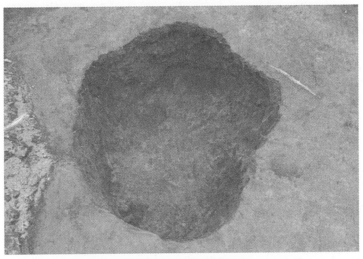
４Ｐ完掘（南東から）

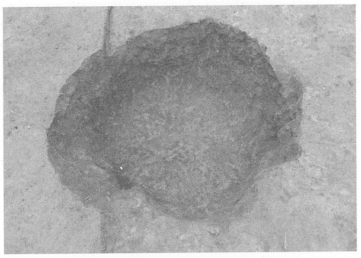


５Ｐ完掘（北から）

６Ｐ完掘（南東から）

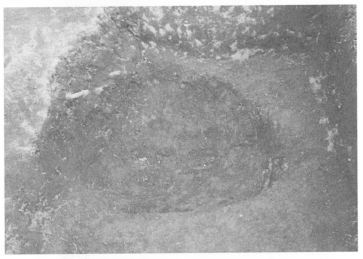
８Ｐ完掘（南西から）


9Ｐ完掘（南東から）


10Ｐ完掘（東から）

11Ｐ完掘（南西から）

13Ｐ完掘（東から）

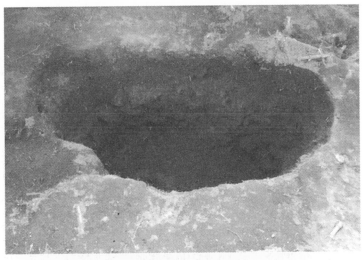

14Ｐ完掘（北西から）

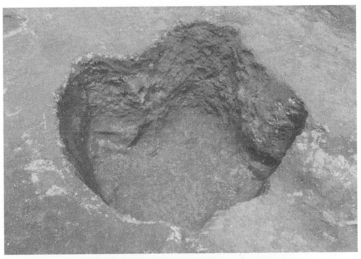
16Ｐ完掘（南東から）

17Ｐ完掘（南西から）

19Ｐ完掘（南西から）

20Ｐ完掘（南西から）


22Ｐ完掘（東から）


23Ｐ完掘（南から）

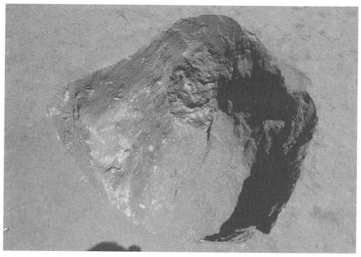
25Ｐ完掘（南から）

26Ｐ完掘（南西から）

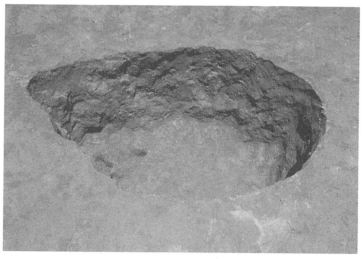
27Ｐ完掘（南西から）

28Ｐ完掘（南西から）

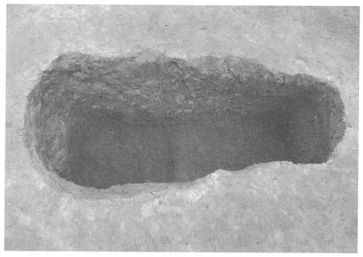
29Ｐ完掘（南西から）



30Ｐ完掘（南西から）

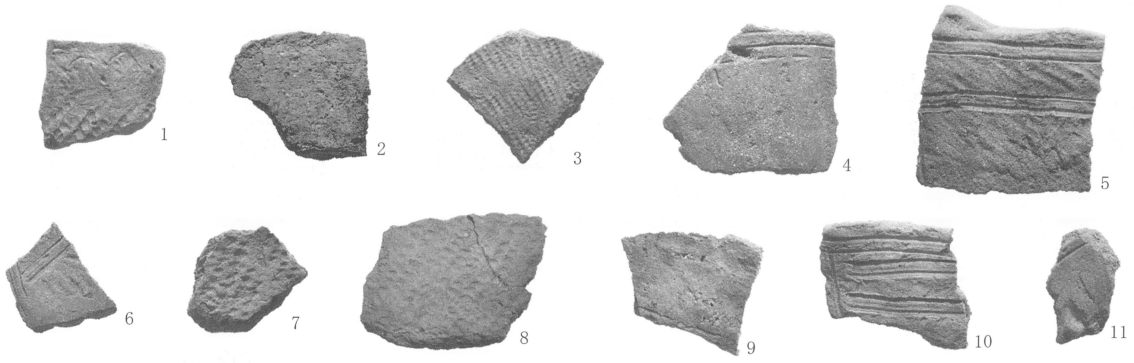


31Ｐ完掘（南西から）

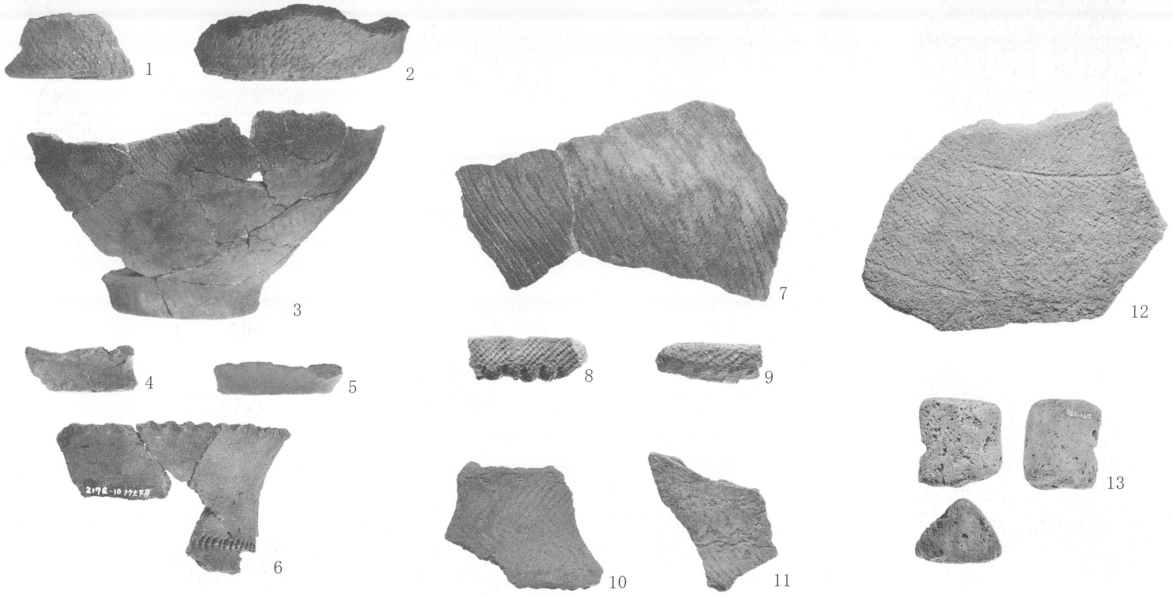


32Ｐ完掘（西から）

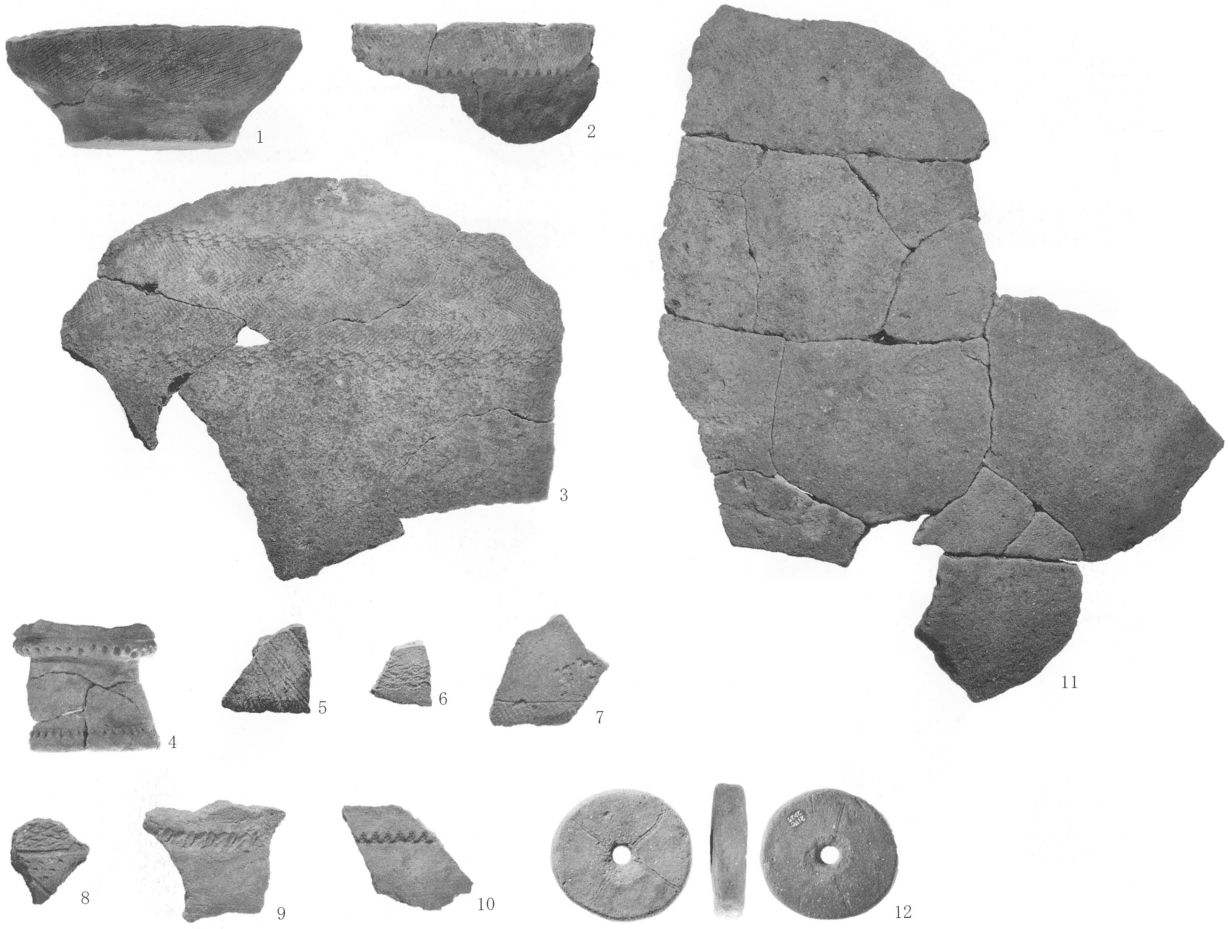
基本層序４層出土ナイフ形石器



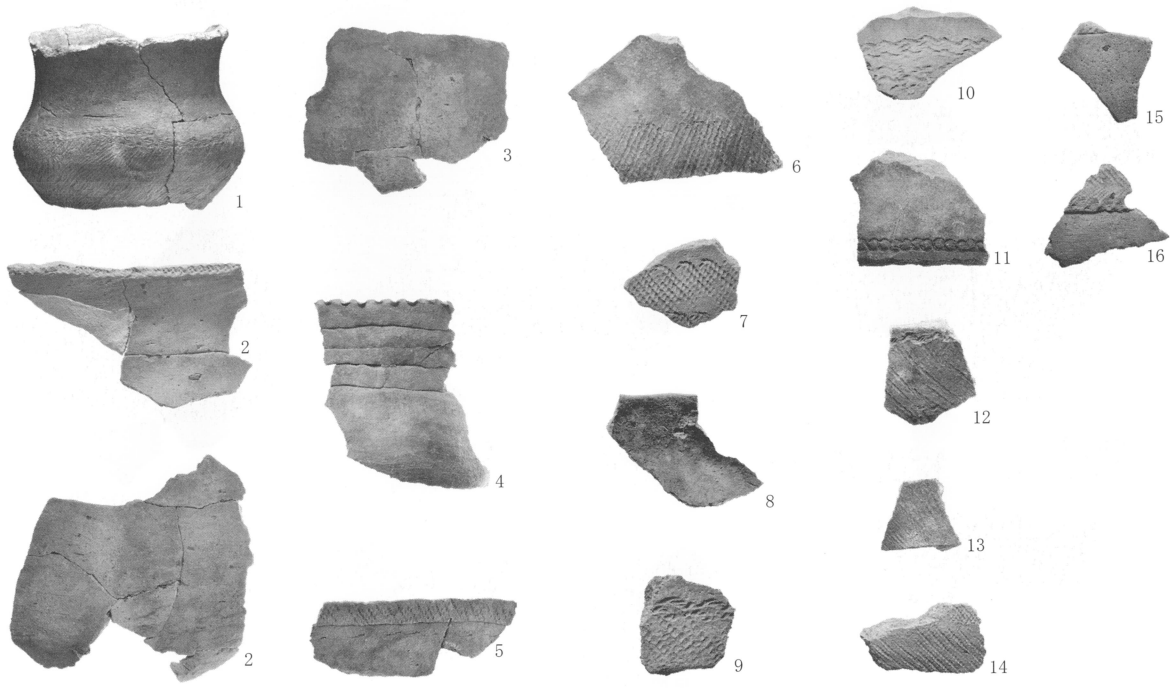
遺構外出土の縄文土器



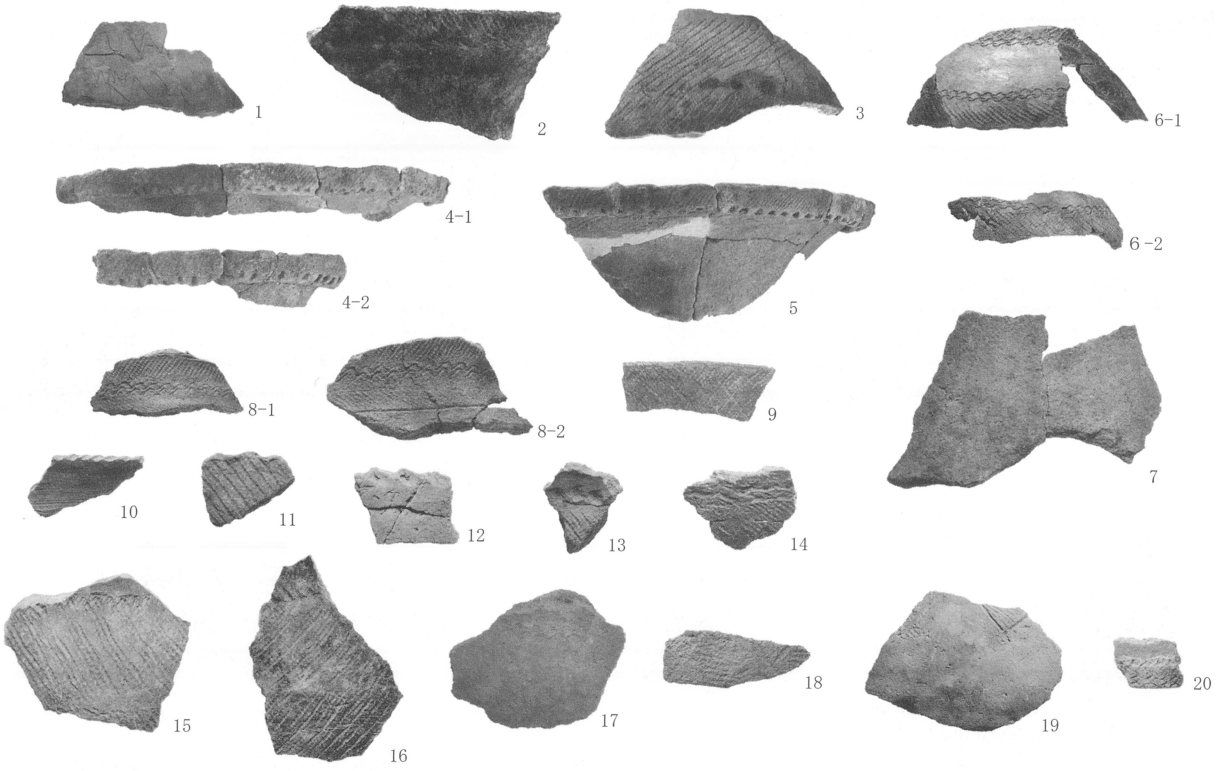
１号竪穴建物跡出土遺物



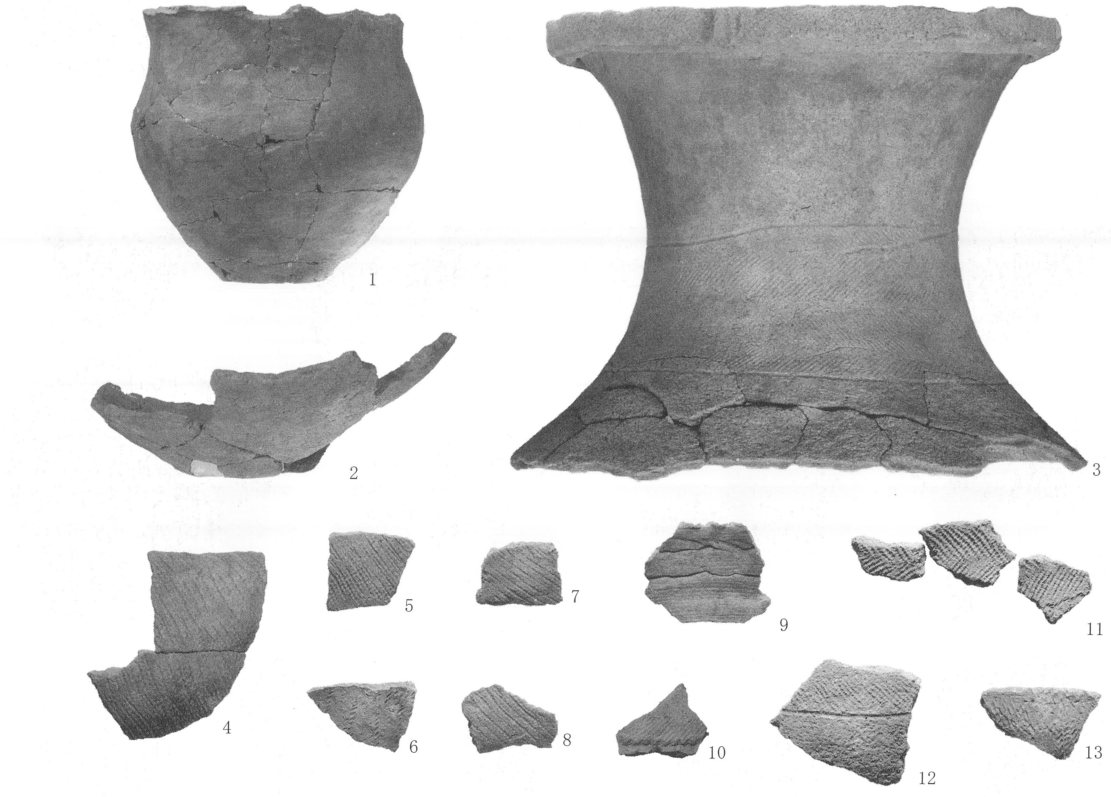
2号竪穴建物跡出土遺物



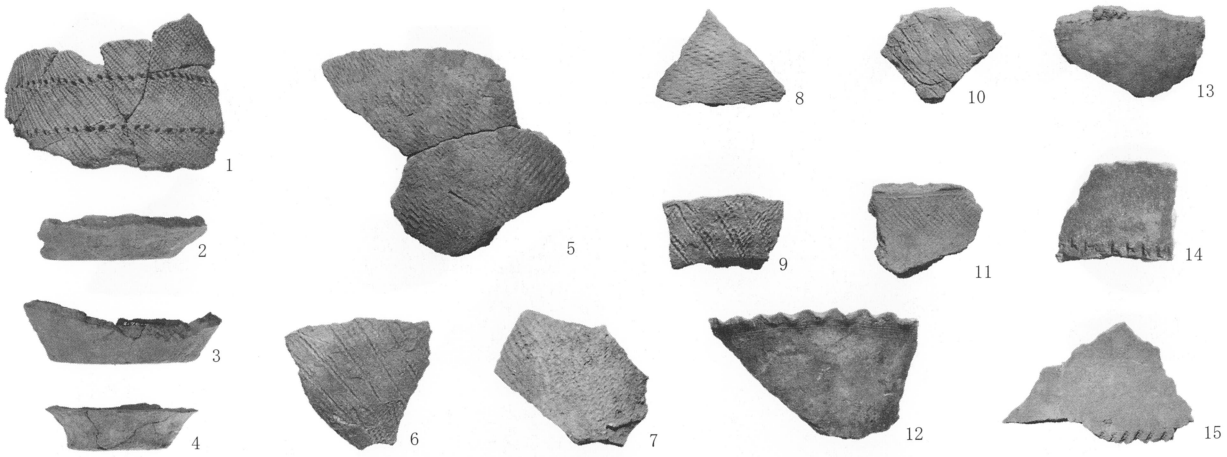
3号竪穴建物跡出土遺物



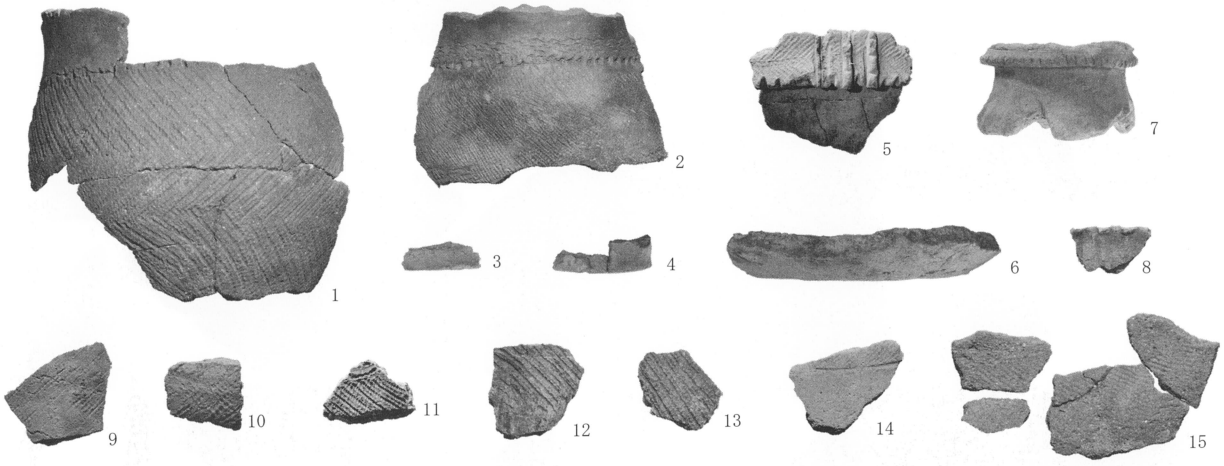
4号竪穴建物跡出土遺物



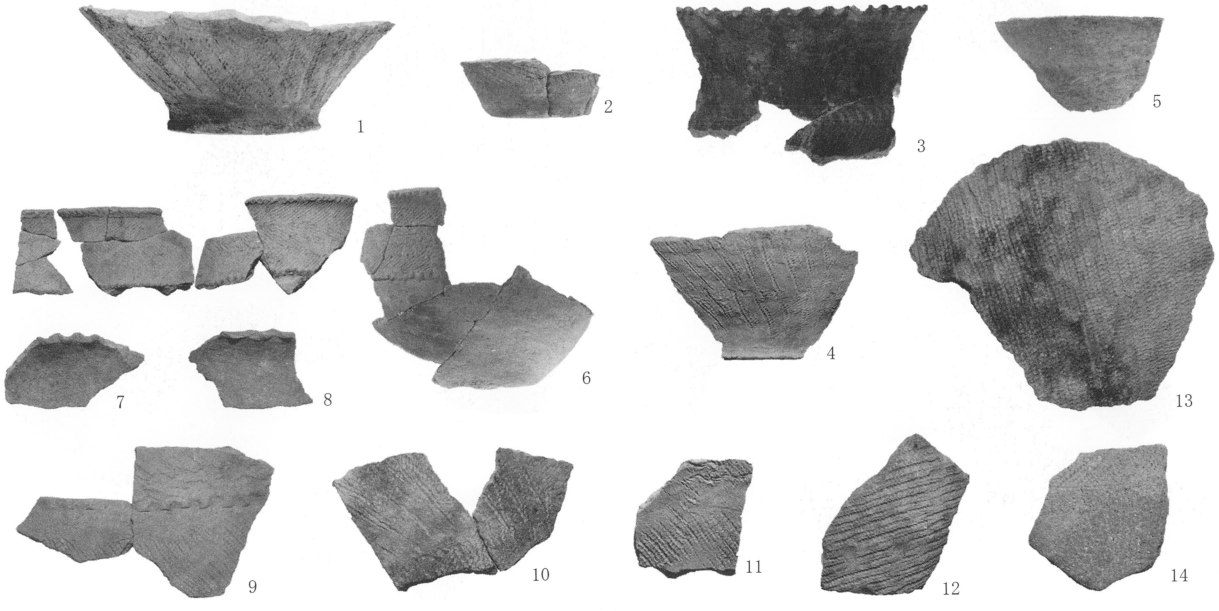
5号竪穴建物跡出土遺物



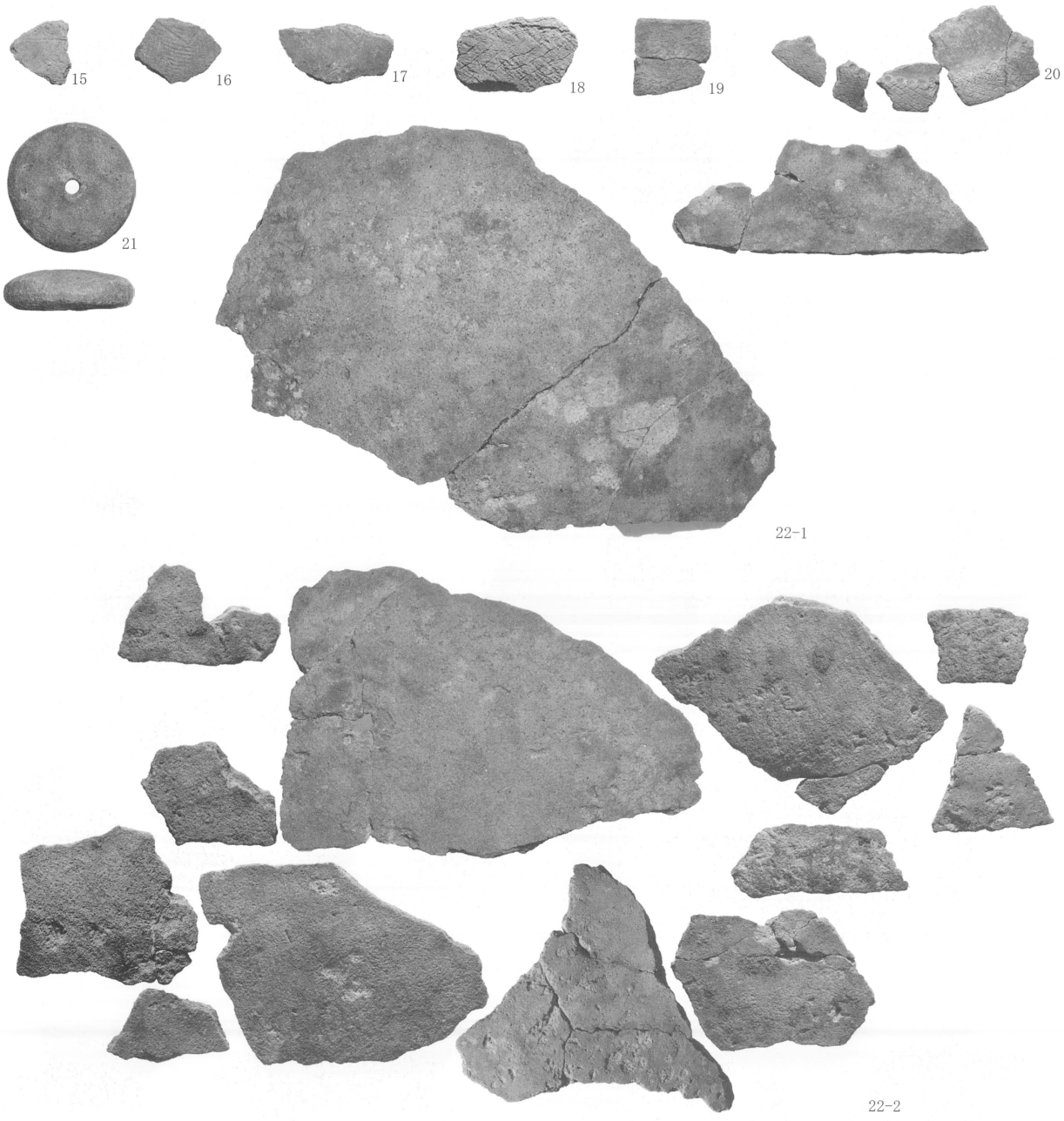
6 号竪穴建物跡出土遺物



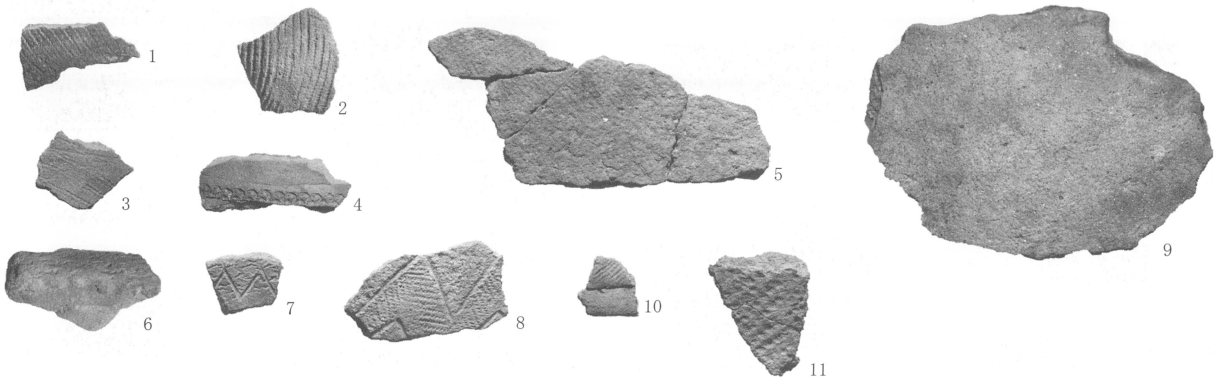
7 号竪穴建物跡出土遺物



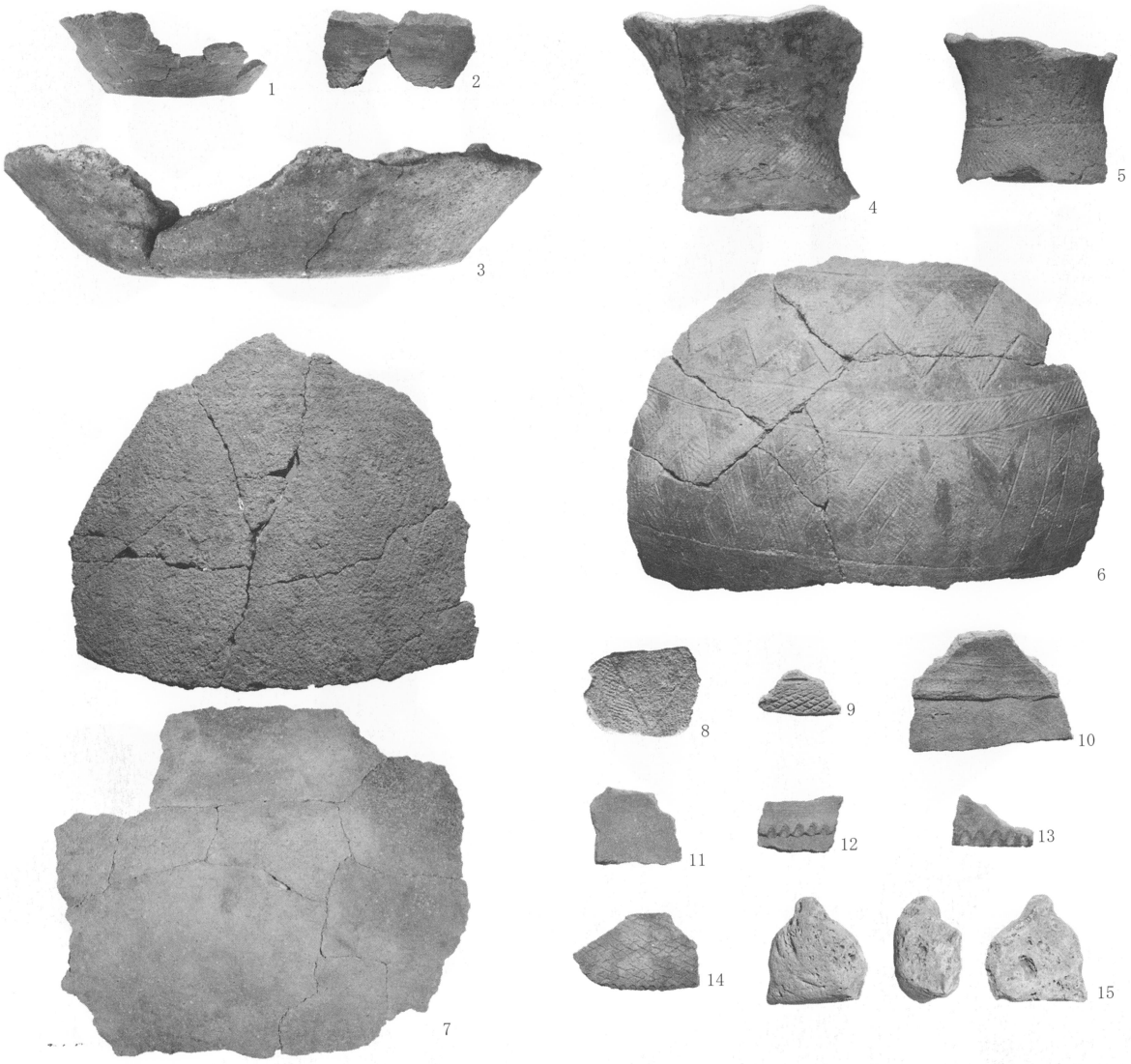
8 号竪穴建物跡出土遺物（１）



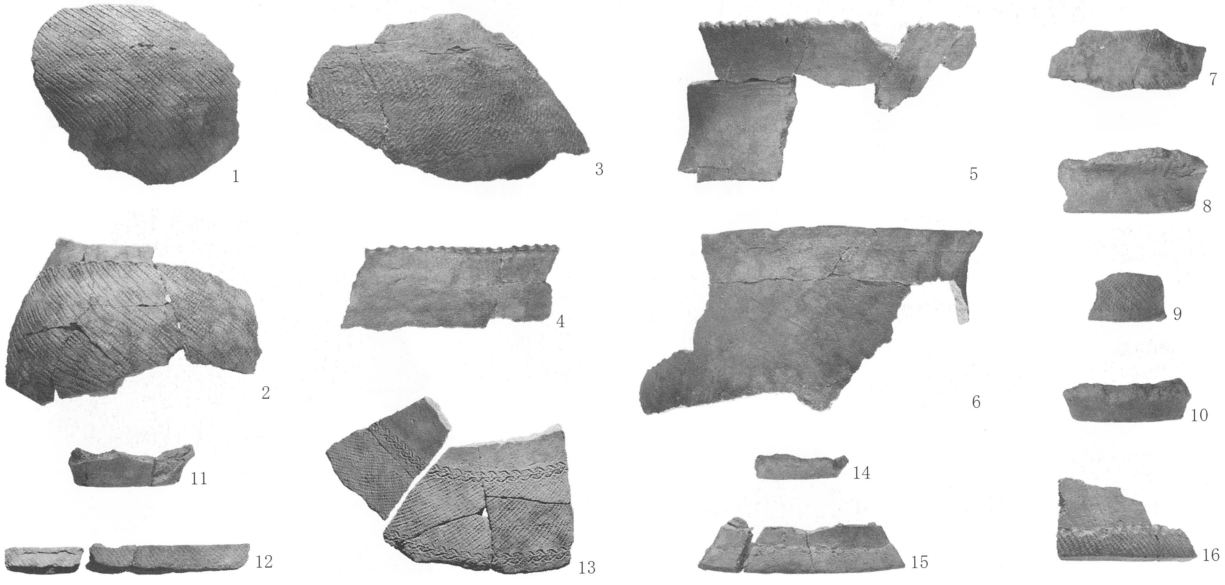
8号竪穴建物跡出土遺物



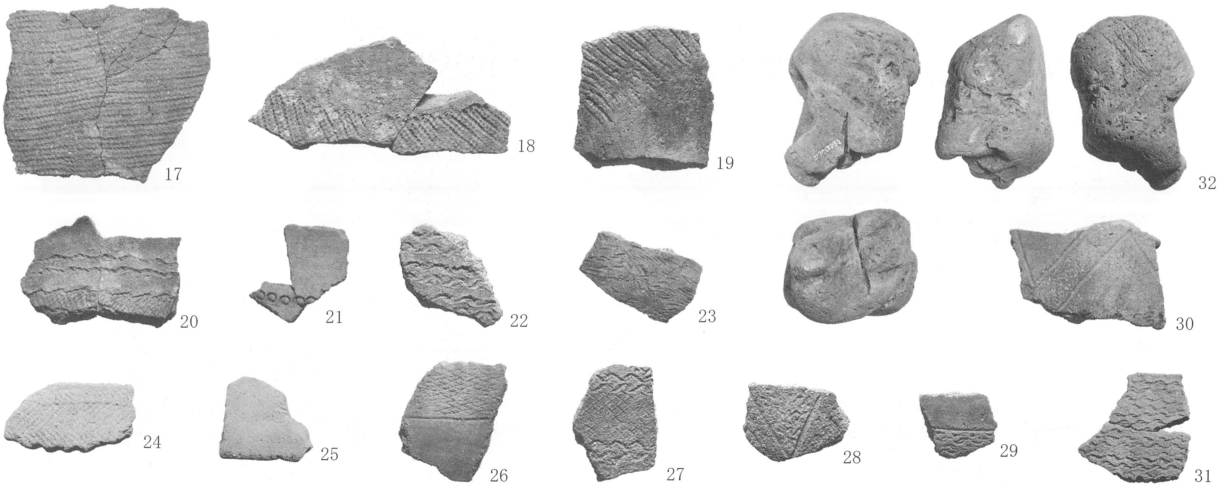
9号竪穴建物跡出土遺物



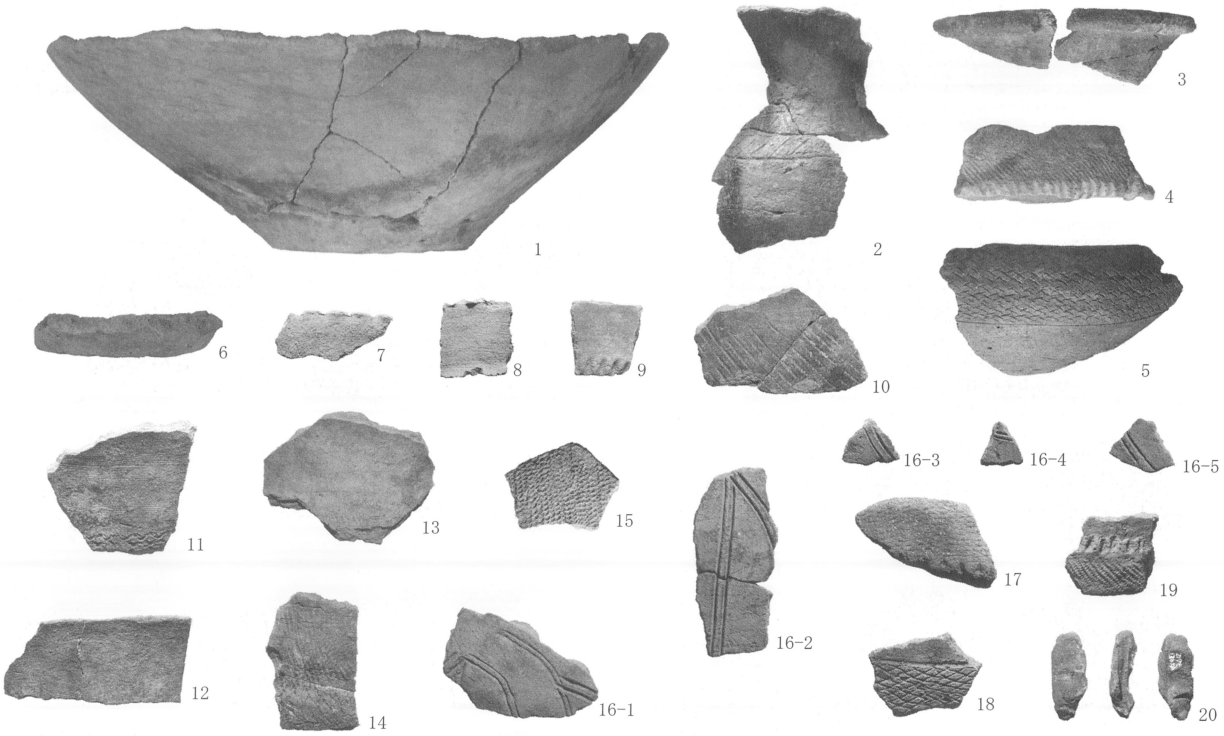
10 号竪穴建物跡出土遺物



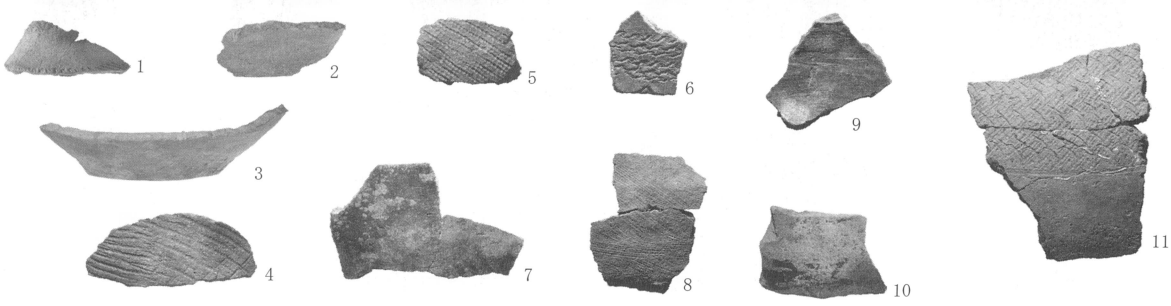
11 号竪穴建物跡出土遺物（1）



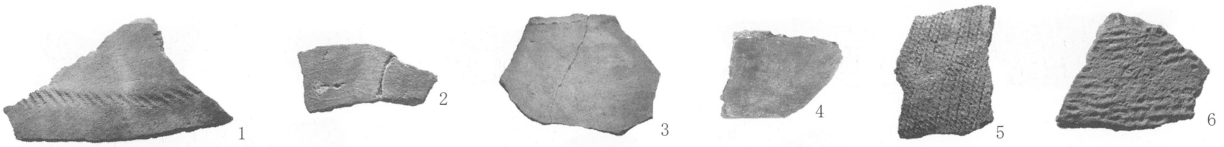
11 号竪穴建物跡出土遺物（２）



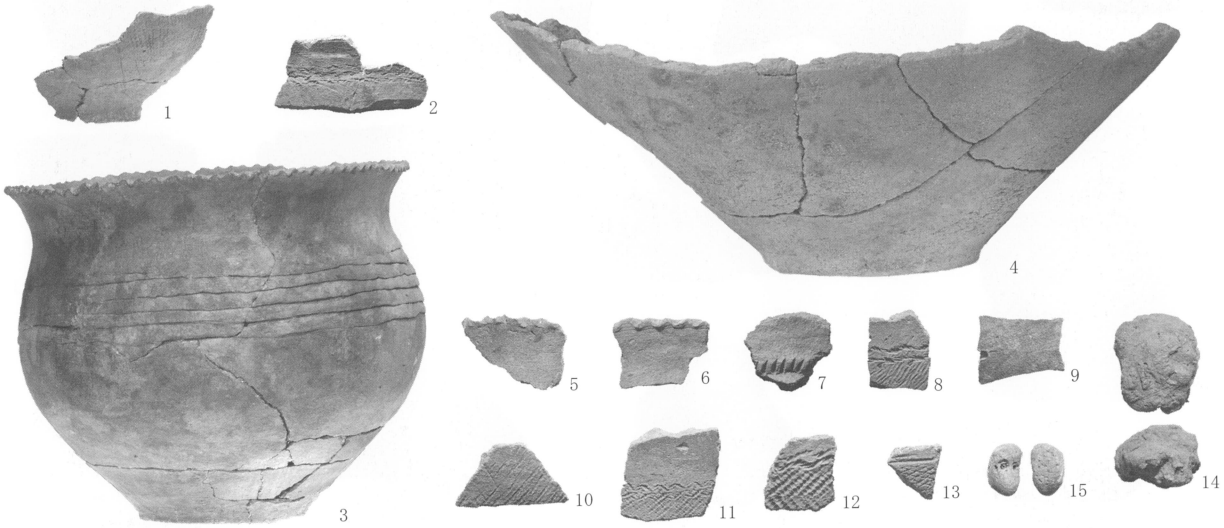
12 号竪穴建物跡出土遺物



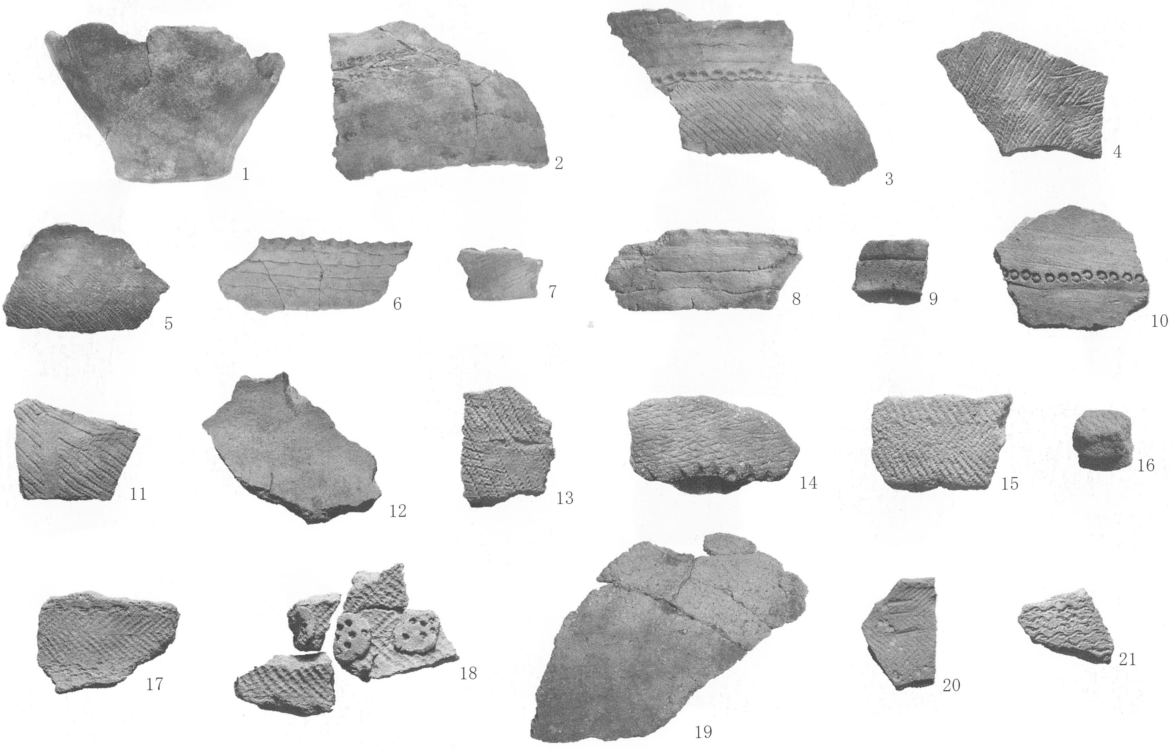
13 号竪穴建物跡出土遺物



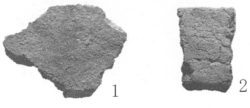
14 号竪穴建物跡出土遺物



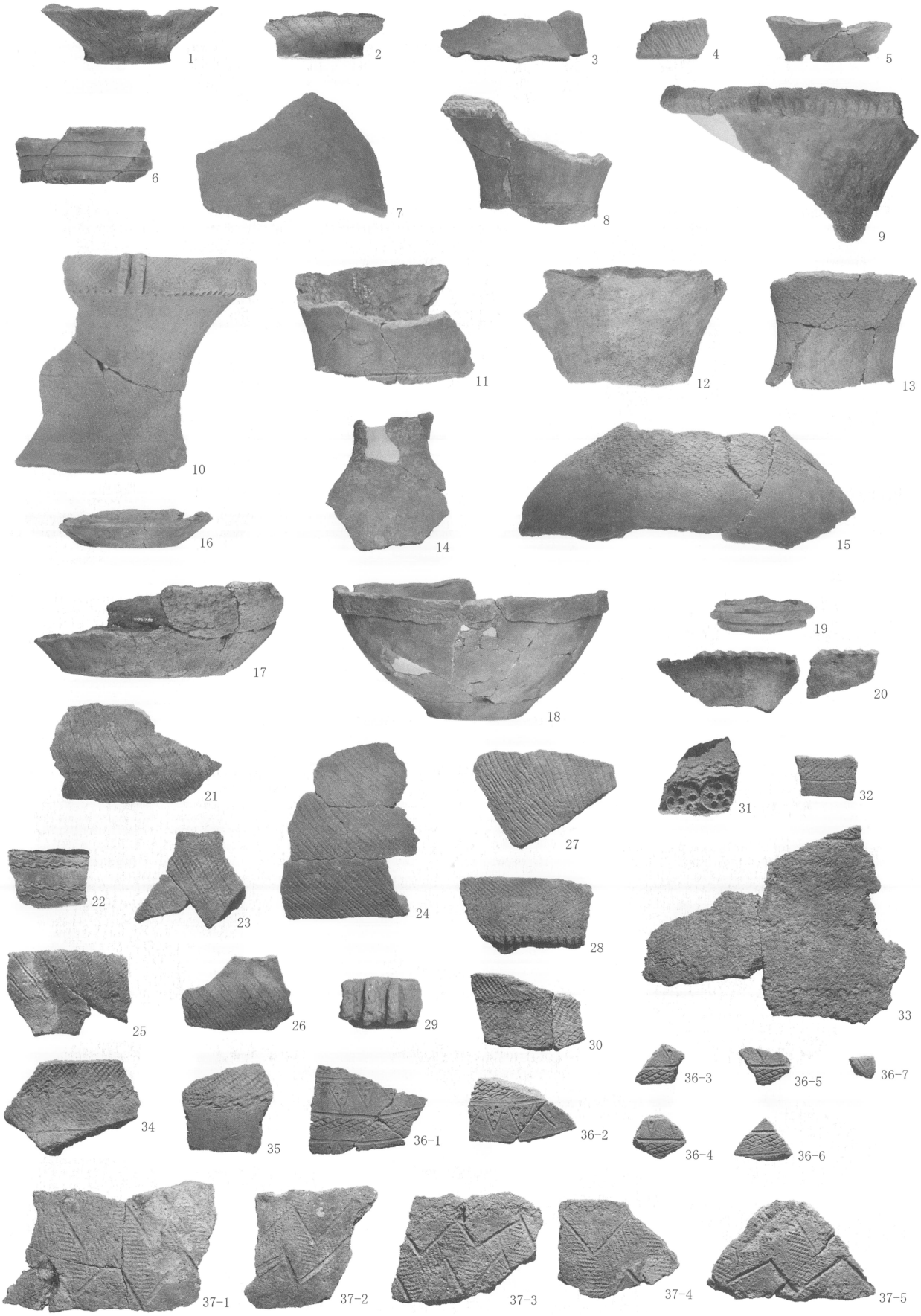
15 号竪穴建物跡出土遺物



16 号竪穴建物跡出土遺物

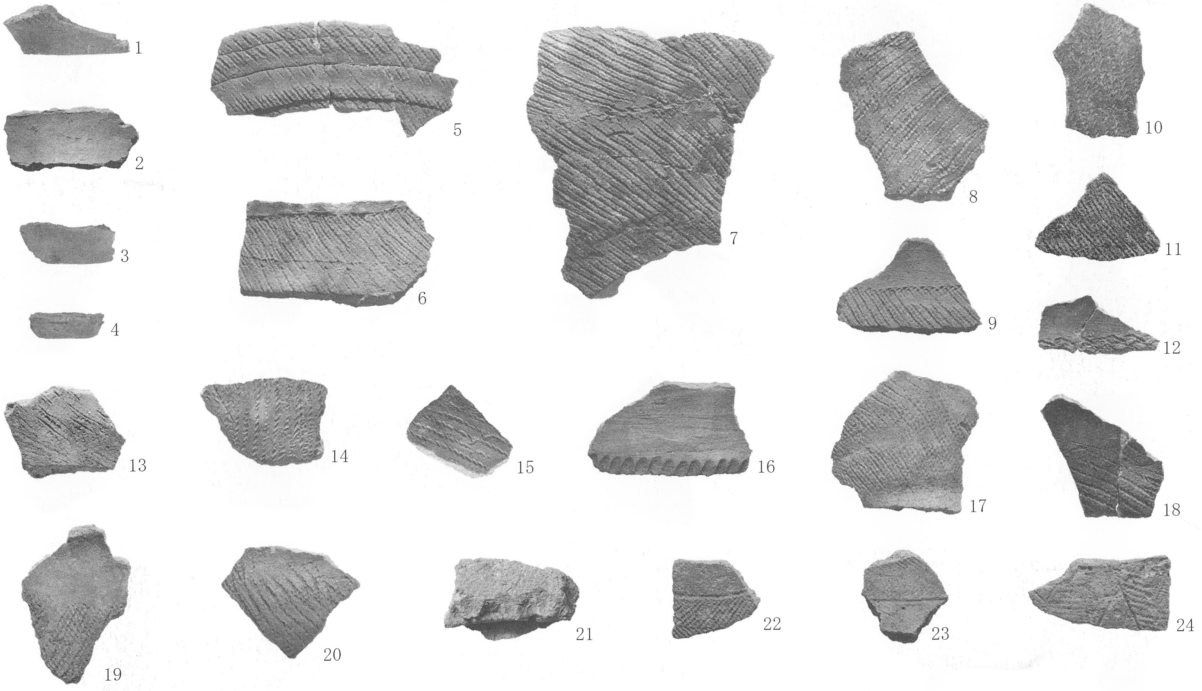


17 号竪穴建物跡出土遺物

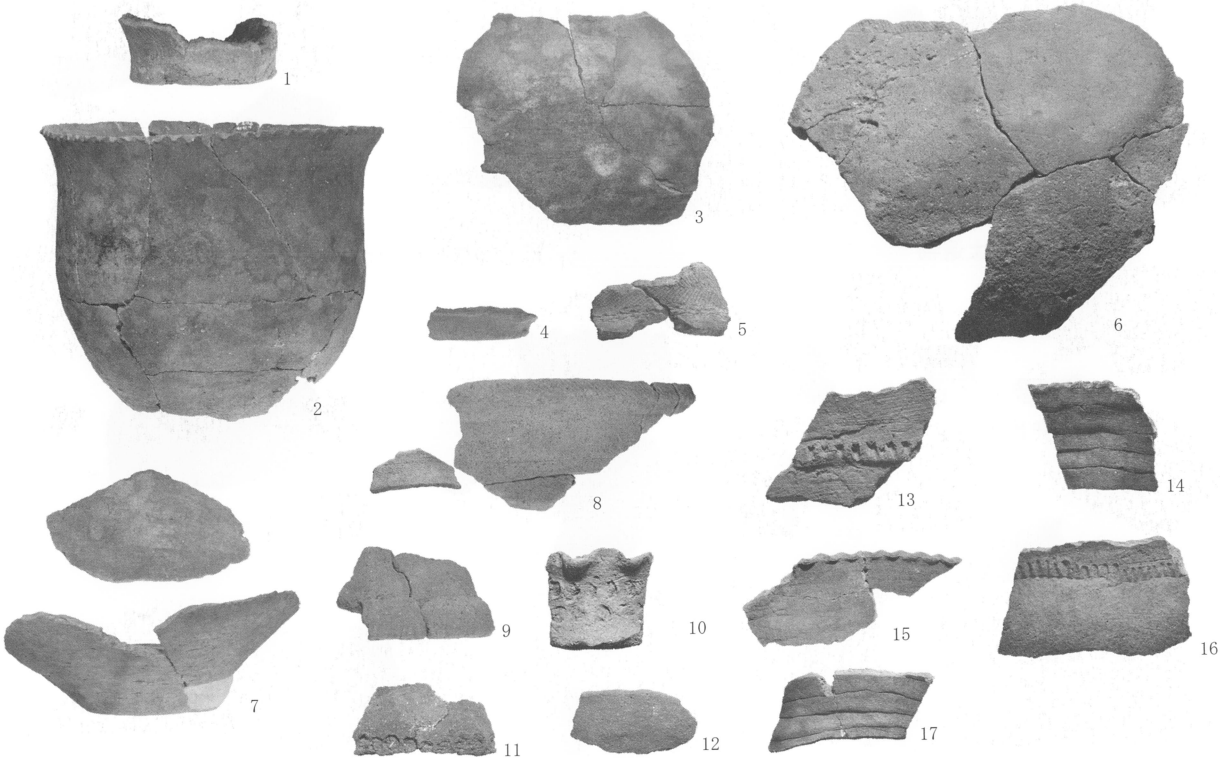


18 号竪穴建物跡出土遺物（１）

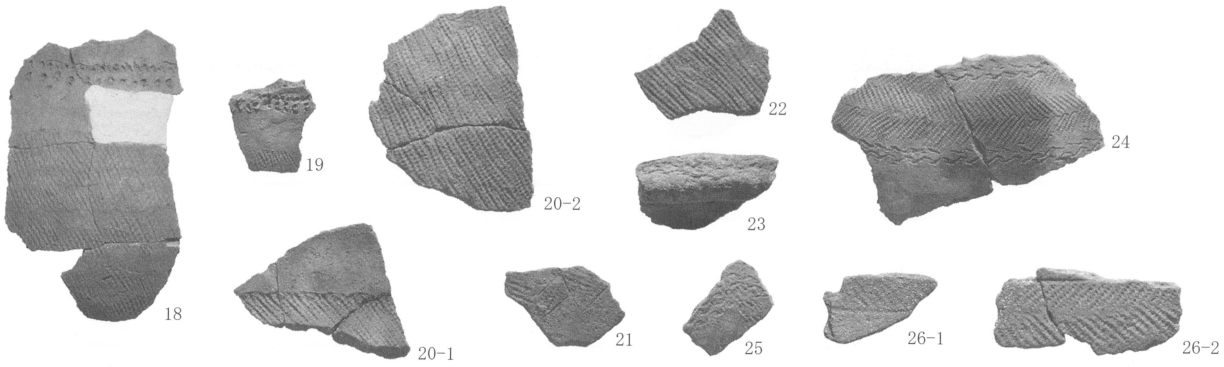
18 号竪穴建物跡出土遺物（２）



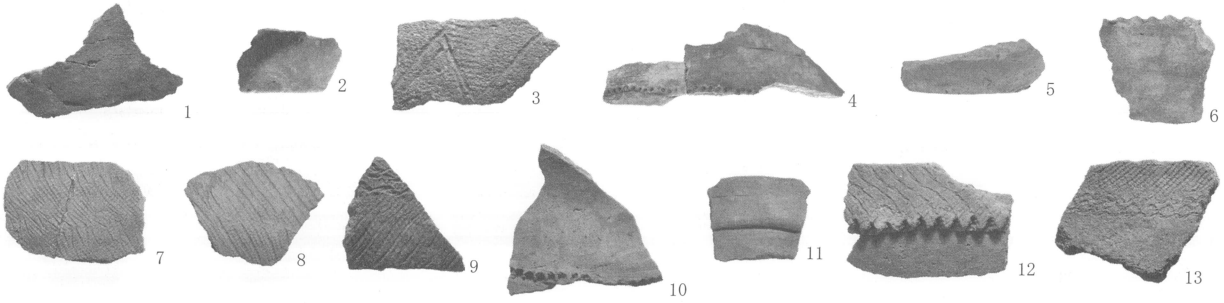
19 号竪穴建物跡出土遺物



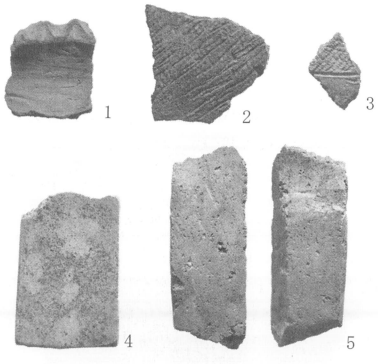
20 号竪穴建物跡出土遺物（１）



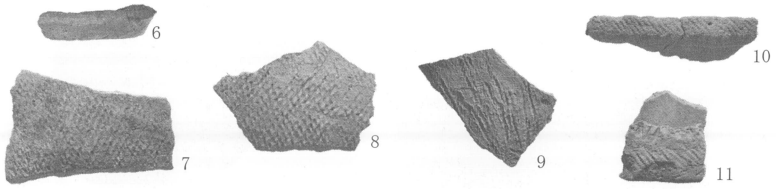
20 号竪穴建物跡出土遺物（２）



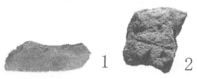
遺構外出土の弥生土器



１号溝跡出土遺物

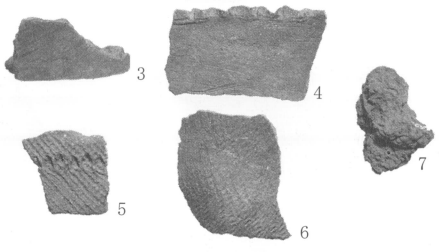


２号溝跡出土遺物

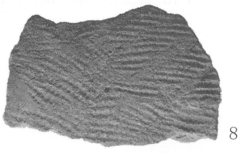


10Ｐ出土遺物

22Ｐ出土遺物

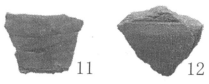


19Ｐ出土遺物

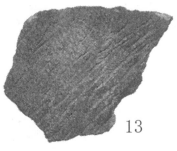


20Ｐ出土遺物

23Ｐ出土遺物



24Ｐ出土遺物



30Ｐ出土遺物

報 告 書 抄 録

ふりがな	ちばけんやちよし　ひらさわいせきいーちてん							
書名	千葉県八千代市　平沢遺跡e地点							
副書名	福祉施設建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
編著者名	轟　直行・林　和也							
編集機関	八千代市教育委員会							
所在地	〒276-0045　千葉県八千代市大和田138番地2　　TEL 047(483)1151　代表							
発行年月日		西暦2017年3月31日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
ひらさわいせきいーちてん 平沢遺跡e地点	かみこうや 上高野151-4, 152-1	12221	217	35度 44分 37秒	140度 7分 41秒	2016.1.6 ～ 2016.6.15	2,635 (上層)	福祉施設 建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
平沢遺跡e地点	集落跡	旧石器時代 縄文時代 弥生時代 中近世	竪穴建物跡20軒 溝跡2条 土坑25基	ナイフ形石器，縄文土器，弥生土器，弥生時代石製品，中近世砥石	
要約	今回の調査では弥生時代後期に位置づけられる集落跡が検出された。 弥生時代の遺構としては多様な平面形態や深さの竪穴建物跡が検出され，中にはロームまで掘りこまれなかったものも認められた。また，竪穴壁の外側に浅い掘り込みがなされた竪穴建物跡が複数確認された。これらがどのような性格かはわからず，今後検討すべき課題と言える。 弥生時代後期の遺物として特筆すべき点は東京湾沿岸に分布の中心があった土器が多数平沢遺跡で出土した点が挙げられる。また，軽石が複数出土しており，中には明らかに鋭利な刃物によるものと考えられるキズがある軽石も出土した。 中世以降の遺構については溝跡が特筆される。a～c地点の調査でも縦横に走る溝跡群が検出されたが，その時期を決定する要素に欠けていた。しかし，今回の調査で中世以降と考えられる砥石が2点出土したことでこれらが中世以降に位置づけられる可能性が高くなった。 土坑については時期を決定できる要素に欠け，詳細な時期について言及することは難しい。 他には旧石器時代のナイフ形石器が1点，縄文時代前期～後期にかけての土器片が複数出土した。				

千葉県八千代市　平沢遺跡e地点

―福祉施設建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書―

発　行　日　　平成29年3月31日

編　　集　　八千代市教育委員会　教育総務課

〒276-0045　八千代市大和田138-2

ＴＥＬ　047-483-1151(代表)

発　　行　　社会福祉法人鳳雄会

印　　刷　　株式会社 山下印刷